黎明三十年

黎明三十年

千葉県立成田北高等学校

校章の由来

成田ニュータウンの北端に位置する本校の校地は、地質時代第四期更新世の地層である成田層が露出していて、太古の海底に堆積した貝類などが化石として大量に出土する。校章は、その貝殻の三枚を組み合わせたデザインで、本校の教育理想「知育・徳育・体育の調和」を形象化し、また校訓「自律・協調・健全」を目指して努力する若人の進歩を貝殻の成長線で示した。中央には校名より「北」の字を配して、国際空港都市、成田から世界に雄飛するジェット機に模し、未来に向かって発展する若人の可能性を表現している。



校　章



校　旗

校歌

作詞　沢田繁二
作曲　寺内昭

一、黎明近き　成田路に
光を待ちて　佇めば
新星北に　またたきて
さやけく開く　英知の門
おお　その名　北高
奮ひ立ち　希望に燃えて
自律の旗　高くかかげん

二、若草萌ゆる　土深く
太古の海が　眠りゐて
校庭に散りしく　白き貝
その成長の　線のごと
おお　その名　北　高
向上の　記章を胸に
協調の輪を　固く結ばん

三、翼を挙げて　ペガサスは
針路を北に　天翔ける
たとへ嵐は　荒ぶとも
若き生命に　力あり
おお　その名　北　高
たくましく　未来に向ひ
健全の道　ともに進まん

創立三十周年に寄せて







創立三十周年をお祝いする

第八代校長　越川　雄次郎

千葉県立成田北高等学校創立三十周年誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私は北高開校時からの七年間と創立二十周年を迎えた平成十二年からの二年間、本校に奉職いたしました。開校の頃は日本経済の興隆期であり、中学校卒業者数は右肩上がりの上昇をみせ、県下で本校と同年の開校は十一校に及ぶという状況でした。本校の学級数も設置当時の一学年四学級から、経済発展の軌跡を追うように、まもなく県下最大規模の三箇学年三十学級へと拡大していきました。

しかし開校当初の校舎は教室棟が一棟だけ、校地全体の水捌けの悪さは相当なもので、一雨来ればグランドはおろか校門から昇降口までの地面が泥濘と化し、人も車も立ち往生していました。一事が万事、足らぬばかりのなかで生徒も職員も工夫を凝らし、生徒会立ち上げの総会は場所を探してついに教室棟屋上で青空総会となりました。また、課外活動の基礎固めに、放課後空き教室を会場として一人一種目生徒職員全員参加の「文化月間」を催し、初代岩上校長先生は書を、石井教頭先生は自作電気スタンドを展示して下さるなど本当の全員参加が実現しました。これが後の「黎明祭」の源であり、こんな風に成田北高校の学校生活は始まりました。当時生徒会を守り立てた本部役員達・実行した生徒達の創意と努力には今思い出しても頭が下がります。

本校に二度目にお世話になったのは、日本が経済バブルの崩壊から立ち直ろうとする時代でしたが、中学校卒業者数の減少は進む一方で、高校の募集学級減について本校もその例外では有り得ない時を迎えていました。さらには高等学校の統廃合まで実施されるという厳しい背景があり、学校運営に様々な影響が及んでいたようです。

私にとっては十数年ぶりの北高でしたが、生徒達は明るく礼儀正しく、整った制服姿はさわやかな印象を与えてくれました。感動したのは、外壁こそ二十年の風雪をしのいできた跡が見えるものの清潔で傷んだ様子が全くない校舎内外の様子でした。生徒達が校舎を大切に使用する精神を受け継いできたことがうかがえ、生徒の気風とともによき伝統が培われていたことをとても嬉しく思いました。赴任後まもなく創立二十周年の記念事業や式典及び祝賀会などが次々に実施され、二十周年記念誌の編集・刊行が行われましたが、実行委員、ＰＴＡ役員の皆様や担当職員の献身的なご尽力によって一つ一つ立派な成果がもたらされたことがつい昨日の事のようです。

オーストラリア姉妹校ワガワガ高校への表敬訪問ができたこと、記念式典に初代校長岩上利男先生をはじめ歴代の全校長先生がご列席くださったことが印象深く思い出されます。

北高に二度にわたり奉職できたことは私にとってこの上ない素晴らしい体験でした。多くの方々との邂逅があり、この北高で教員として育てられたことに深い感謝の念を抱いております。開校以来次々に植えられてきた樹木が大きく成長しているように、たくさんの有為な人材が次々と巣立っていく北高は本当に心強い限りです。成田北高校のさらなる発展を願いつつ拙文を閉じたいと思います。

不易と流行

第九代校長　大録　郷吉

成田北高校創立三十周年、おめでとうございます。創立当初から地域の信頼を得るために日々努力を継続してこられた職員の皆様方、並びに学校に対して惜しみなくご支援をいただいた保護者の皆様方には心から敬意を表します。

私が在任していた頃は、政治・社会的に「教育改革」の波が高まり、学校においても制度や教員意識の改革が強く求められはじめた時期であり、その動きは現在に続いています。

現在進められている「教育改革」がスタートした二十年ほど前の頃、「不易と流行」という文言が話題になりました。この文言は、元々は芭蕉の俳諧用語であり次のように説明されています。

「俳諧には、そのときどきに移り変わっていく表現と、いつまでも人の心をうつ変わらない表現とがある。前者を流行、後者を不易とよぶ。しかし、両者はもともと別ものではない。いっしょうけんめい真実なるものに深まってゆく人は、どうしても同じところに足をとめることができず、必然的に新しい境地へと進む。それが流行である。永遠にわれわれを感嘆させる作品は、その流行の中から生まれる。それが不易である。」

生徒にとって学習指導要領や教育課程が念頭にないのと同様、生徒の不安や悩みに耳を傾け、生きる意欲を引き出す努力をしている教員にとって、学校教育法は念頭にはありません。学校には文書や制度で規定できない大切な部分があることを忘れてはいけないと思っています。

最後になりましたが、成田北高校の益々のご発展を祈念し、お祝いの言葉といたします。





校歌で奮い立て　―創立三十周年に寄せて―

第十代校長　小松　栄三郎

成田北高創立三十周年、まことにおめでとうございます。私は創立三年目の昭和五十七年から教諭として十一年間お世話になり、平成十七年に十三年ぶりに校長として戻って二年間お世話になりました。そして北高を最後に退職するという名誉に浴することができました。

創立三年目の頃は、施設設備も不十分で、池を埋め立てて造成したグランドは、まるで浜辺を歩いているようで、バランスを保ちながら歩くのが難しかったほどです。しかし、生徒諸君や先生方、保護者の皆様は、新しい学校を創る喜びと熱情に溢れていました。

成田ニュータウンが忽然と北総の地に現れ、全国から空港関係者が移住してきて、ひとつの巨大な人工都市が形成された頃、小学校が八校、中学校が四校建設されました。あとは高等学校を待つだけでした。やがてJR成田駅の近くに成田西高等学校が建設され、ニュータウンの北の一角に本校が建設されたのでした。本校は、ニュータウンの北部一帯をカバーする十学級規模の普通科高校として、住民の大きな期待を担って建設されたのです。

そのことだけでも、関係者を熱くしないわけはありません。新しい日本の空の玄関となる成田空港の建設とニュータウンの建設そして本校の学校創りとは、実は一体のものだったのです。だからこそ私たちは燃えました。清楚なブレザーの制服をまとった生徒たちを見て、人々は北高を「成田の学習院」と呼びました。創立十周年が過ぎた頃、中学校の保護者が学校に見え、「こんな近くに、こんな良い学校があったなんて、知らなかった。」と言われたことが忘れられません。本校の評価は、鰻登りに高まっていきました。

さて、北高と言えば校歌。北高の象徴は何と言っても校歌でしょう。この校歌を歌うと、勇気づけられ、まるで自分が北高生になったような錯覚に陥ります。三節の「翼を挙げて　ペガサスは　針路を北に　天翔ける」は、そのスケールの大きさでは他に例を見ないものでしょう。作詞者の沢田繁二先生の思いが伝わってきます。また、旋律も歌う者を高揚させずにはおきません。特に「おおその名　北高　奮い立ち」の部分は、歌う度に涙ぐんでしまうほどです。やはり作曲者の寺内　昭先生の熱い思いが伝わってきます。

このような素晴らしい校歌を持つ北高生は幸せ者というべきです。

生徒諸君！どうか、校歌を歌い継ぎ、歌うたび奮い立ってください。



「三十而立」　記念誌に寄せて

第十一代校長　玉造　功

県立成田北高等学校が創立三十周年を迎えましたことに、心からお慶び申し上げます。

平成十九年の三月末のある日、事務引継ぎに成田北高校を訪れました。千葉方面から成田ニュータウンの中央通りを進み、北高前の交差点で右折した途端、広々としたグラウンドの向こうに、校舎を桜の花が帯状にとりまく光景が目に飛び込んできました。

それから二年間、様々なことがありましたが、喜怒哀楽のうち喜びの多い楽しい日々を過ごすことができました。これも偏に先生方やＰＴＡの皆様のおかげと感謝する次第です。

ところで、国土地理院のホームページに、「国土変遷アーカイブ」があります。戦後、繰り返し撮影してきた空中写真をデジタル化して公開したものです。成田北高校の周辺の空中写真のうち、一九四六年に米軍が撮影したものから、一九六〇年代までは、空中写真からは、下総台地の先端部の谷地田が入り組む、懐かしいような風景が目に浮かびます。それが、一九七二年の写真では、道路の区画も何もない造成地が白く写り、北高グラウンドと玉造一丁目の辺りが黒っぽく写っているだけです。千把ヶ池の跡でしょうか。その後の空中写真からは、何もない造成地の一角に北高の校舎だけがぽつんと建っている様子、学校周辺が次第に住宅地に変わっていく様子を見ることができます。

十年後、二十年後の空中写真では、成田湯川駅や成田北高校の周辺はどのように変貌するのでしょうか。そして、成田北高校はどのような学舎に発展しているのでしょうか。空中写真の変遷を見ながら、私の夢は大きく膨らみます。





成田北高の思い出

第九代教頭　外山　日出男

創立三十周年おめでとうございます。平成十八年から十九年の二年間至らぬ教頭としてお世話になりました。

朝暗いうちから旭駅に向かいましたので、近所でも有名になり、今度はどこへ行っているのかと聞かれたことも数度でありました。環境保護もあり、自動車が嫌いでしたので、電車通勤はなかなか快適。しかも、大好きな読書三昧でした。佐倉乗り換えのため居眠りもできず、かえって自己を高める機会になりましたことを心から感謝申し上げたいと思っております。文庫本の古典系をいろいろと漁り、当時の先生方にご指導を拝受したことで、さらなる学習機会を持たせていただいたことも懐かしいことであります。

成田北高校では、生徒募集について自分なりに拙い勉強をさせていただきました。いろいろな先生方とお話をさせていただいている際に、危機意識を持ちましたことが現在の勤務校では非常に役立っております。多様なアイディアを先生方にいただき、今もって感謝いたしております。現任校ではさらに工夫を重ねております。

また、帰りは成田駅までバスでしたので、エアコンのない教務室からバスに乗った時は本当に一服の清涼剤。夏休みなど学校を出るときは、夕闇迫る都会的な光景の中を帰ったわけですが、一人ぼっちで黙想でもしているような気になりました。

先生方がたくさんいらっしゃって、校務分掌や職員会議の方法の工夫や、出張休暇の服務管理でもAccessを用いたりして、わが生涯で最も勉強をさせていただきました。

グランドの近くに新駅ができるとのこと。毎朝、バスで終点まで行ってそれからゴミ拾いをしながら学校まで通ったあの場所が変貌するということに、感慨深いものがあります。

成田北高校のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。





成田北高等学校の思い出

（創立三十周年に寄せて）

第九代事務長　小林　保弘

成田北高等学校創立三十周年本当におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

平成十五年三月下旬、人事異動の事務引継ぎのため成田北高を訪れたとき、初めての県立高等学校勤務ということで、一抹の不安と緊張感を持って訪れたことを思い出します。正門から入って、緑豊かな樹木や堂々たる四階建ての校舎や左下の大きなグランドを眺めながら、職員玄関に近づいた時、近くから元気な声が聞こえてきました。〝こんにちは！〟何人かの生徒からあいさつがありました。その瞬間私のそれまでの不安がすっかり無くなったような感じがしました。そこでは野球部員が元気に練習をしていました。四月赴任前に成田北高の生徒から元気をもらった思いがします。創立から二十四年目の学校ですが、先生方の指導の下で、少しずつ良い伝統が築かれているように感じました。

平成十五年度は、どこの高校も生徒減少期を迎えた頃ですが、成田北高校は、二十五クラスで千名以上の生徒が在籍していたことにはたいへん驚きました。

部活動もたいへん盛んで、特に女子生徒が多く、女子サッカー部を筆頭に、女子ハンドボール部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部等が千葉県大会・関東大会・全国大会に参加し活躍していました。少林寺拳法部も頭角を現してきた時期ですが、当時生徒会長も女子生徒で、活発で明るい女子生徒の活躍が目立ったせいか、時々女子高に勤務しているような感じがしました。

国際都市成田に相応しく、成田北高等学校がオーストラリアのワガワガ高等学校と国際交流（姉妹校交流）を行っていたこともたいへん印象深く思い出として残っています。

平成十五年度に県のさわやか高等学校推進事業が終了し、平成十六年度から国際交流事業費（旅費）が削られてしまいました。平成十七年度以降もワガワガ高校との姉妹校交流を継続して行きたい、という担当教諭の熱意に打たれ、県教育庁財務課に旅費増額のお願いをし、非常に厳しい財政状況の中でしたが、平成十七年度の当初予算の中で、姉妹校交流引率職員一名分の旅費を配当していただきました。当時の予算担当にはたいへん感謝しています。

学校図書館も充分に整備され、図書貸し出しシステムもよく機能し、生徒もよく本を借りていたように思います。私も生徒に混じってハリーポッター一・二巻等何冊か借りた覚えがあります。図書館司書の先生と図書担当の先生方がたいへん熱心で、いつも優しく生徒に接していた情景が目に浮かびます。

ＰＴＡ活動も、ＰＴＡ会長さんや役員の方が熱心に取り組んでいました。黎明祭でのバザー活動や終了後の懇親会も楽しく過ごすことができました。総務部長さんのご努力でＰＴＡ研修視察も充実した内容であったと思います。

施設・設備については、平成十五年度にグランド側の側溝の清掃を開校以降初めて行いました。また、三年の間に体育館耐震調査と体育館耐震改修図面設計委託、正門改修工事、給水配管改修工事等行い、卒業記念事業の寄付で三年生の教室に学習環境を良くするために、扇風機を各教室二基ずつ設置しました。当時教室に空調機を設置する動きが出てきた時期で、電気とガスの二社に来ていただきプレゼンをお願いしたことを思い出します。

常日頃から用務員さんや職員・生徒が環境美化に取り組み、校舎内外がいつもきれいな状態でした。時々来校者からお褒めの言葉をいただいたことも忘れることが出

来ません。
三年間一緒に勤務させていただきました校長先生・教頭先生、諸先生方、事務室のメンバー、用務員さんにはたいへんお世話になり感謝しています。
平成二十二年には、成田新高速鉄道が開業し、成田北高校のグランド側から五分のところに新しい駅が出来ると聞きました。成田北高等学校の魅力がまた一つ増えていきます。
最後になりますが、成田北高等学校の益々のご発展と、成田北高等学校の生徒が、良き伝統を受け継ぎ、一歩一歩着実に努力して、自らの夢を実現していくことが出来るようお祈り申し上げます。



「ナリキタ」の思い出

旧職員　赤尾　和輝

創立三十周年おめでとうございます。
私は、九年間成田北高でお世話になりました。ちょうど、三十代後半から四十代半ばまでの勤務でしたが、閑静な環境の中で、良い生徒そして先生方に恵まれて、目標に向かって一緒に頑張れた思いが強くあります。私は、野球部を指導していましたが、グラウンド沿いに大きく枝が張りだした沢山の桜の木が、練習の邪魔でもあり楽しみでもありました。春の大会前の緊張みなぎる時に、ちょうど散る時期になる。降りしきる桜吹雪の中での練習。グランドの中や隅に沢山の花びらがたまり、片付けるのは大変でしたが、それは見事でした。二度とそのような経験はできないでしょう。越川雄次郎校長が、真新しいデジタルカメラで、沢山の桜の写真を撮っていたのを思い出します。
私が赴任した時、ちょうど学年十クラスで、一クラスが四十七～八名でした。体育館で全校集会をするとき、ギュウギュウ詰めの状態でした。全校球技大会では、決して広いとは言えない北高のグランドを、その人数がしのぎを削る。圧巻でした。エネルギーに満ち溢れていました。クラス対抗部門で、教員人生最初で最後の総合優勝をして、ホームルームで胴上げをされたことを覚えています。個性を生き生きと発揮し、保護者や地域の方々の御協力のもと、知徳体を磨き、友情を育むすばらしい高校生活を過ごしていたなぁと思います。私が北高を去る時の学年もそうでした。そのことが、創立三十年を経た「ナリキタ」の伝統となり、地域にも評判として定着しつつあると感じています。
現在、他校に勤務していますが、成田北高校の動向はいつも気になります。活躍している様子を伺うと、嬉し

くなります。三十周年を契機に、これからまたすばらしい新たなページを書き加えてください。今後の成田北高の、ますますの御発展を祈念いたします。



北高ありがとう

旧職員　飯森　秀樹

創立三十周年、おめでとうございます。

私が成田北高校に赴任したのは、桜満開の平成十三年四月のことです。それからの六年間（平成十九年三月まで）は片道一時間ちょっとのドライブ通勤、ワゴン車も本当に頑張って動いてくれました。ありがとう。当時の北高は、学校の歩むべき道もしっかりとしており、さらなる飛躍をしようとする時代を迎えていました。

私自身、東総地区からの異動でしたので、国際都市「成田」、しかも都会の生徒と、どのようにして溶け込んで行けばよいのか悩んだりもしました。しかし、どの学校の生徒も同じで、普段着で正面から向き合えば自ずと解決して行きました。

歳が経ち、三年目には学年主任を経験させていただきました。当時の青柳教頭（現銚子商校長）に、飯森さん頼むよと。やる前は「本当に自分にできるのだろか？」と不安に駆られたこともありましたが、実際にやってみるとそんな不安は吹っ飛び、充実感で一杯になりました。それは、ともに成田北高校を思い、ともに成田北高校のために行動した教職員や生徒の存在があったからです。この大切な仲間達のためにも、今の自分が教師として「しっかりしなくては」と思っています。

成田北高校は創立三十周年になりますが、充実した六年間をこの学校で過ごすことができたことに私は誇りを持っています。これからも成田北高校が益々発展することを祈っております。

思い出

旧職員　高橋　義巳

創立三十周年おめでとうございます。私が成田北校に赴任したのは十三年前で、一学年十学級、全校では三十学級の時でした。既に施設も体制も十分整った、進学中堅校という感じを受けました。実は、私は教員に成り立ての頃、創立間もない成田北高校を脇目に、通勤していました。すぐ近くにある成田園芸高校（現成田西陵高校）です。当時我々は、「上位層の生徒を成北に持って行かれた。」と言って、余り成田北高に良い印象は持っていませんでした。従って、成田園芸高校を去ってから十一年ぶりに赴任する先が、成田北高校と知ったときは、正直複雑な心境でした。

しかし、着任してみると、素直で真面目な生徒が多く、また先生方も親切な人が多く、その為か居心地も良く、九年間もいる羽目になりました。その間には、色々大変なこともありました。遅くまで会議をしたり、事故で生徒を失った事等辛い思い出もありますが、多くの先生方から、援助して頂きました。

感心した思い出としては、修学旅行があります。スキー修学旅行では、生徒が熱心に、真面目に練習していた姿が、沖縄への修学旅行では、高台から海を見乍ら、語り部の話を熱心に聞いていた姿が印象に残っています。日頃の学習面では、授業が終わってからも、熱心に質問に来る生徒もいて、かつ同僚の先生も、色々な問題を準備室で話題にされることがあり、いずれも大変勉強になりました。この成田北高時代に初めて得た知識は多数あります。これは楽しい思い出です。思うに、成田北高校は余りせかせかしないで、余裕があったと思います。生徒も、明るく伸び伸びと過ごしていたと思います。この成田北高校の益々の御発展を祈っています。

思い出

旧職員　荒居　哲也

創立三十周年おめでとうございます。

私と成田北高校の出会いは、昭和五十四年の秋（開校の前年）に友人と新しい学校ができるというので富里村（当時）から一時間かけて見に来た時です。学校の裏手の坂の上から見下ろすと、まだ教室棟しかなく特別棟も体育館もグランドもありませんでした。私は野球をやるつもりだったので「この状態じゃ甲子園はねらえないな・・・・」と心の中で北高への進学はやめたのですが、友人は「新しい学校を自分たちで作っていくなんてやりがいがあるじゃないか！」と進学の気持ちを高めていました。その言葉通り友人は北高に進学し生徒会長を務め、仲間とともに北高の基礎を作っていったのです。

その成田北に自分が赴任するというのも因縁だなと思ったのが平成六年の春です。学校のあちらこちらに友人たちの足跡を見つけ、彼らの思いを無にしないように、担任として、部活動顧問としてできるだけのことをしてきました。気がついたら十年がたち移動することになりましたがいろいろなことを経験させていただき、充実した時間を過ごさせてもらいました。

心残りは、密かに進めていた「朝顔いっぱいプロジェクト」が進展しなかったことです。当時成北にいた方なら記憶に残っていると思いますが、理科職員室の窓辺に数年間朝顔を育てて日よけにしていました。そのとき取れた種や芽生えを学校のフェンス沿いにばらまいて学校中を朝顔だらけにしようと目論んでいたのですがちっとも育ってくれませんでした。現在の勤務校でリベンジしようと機会をうかがっているのですが、ここに書いてしまったらばれちゃうなあ・・・。

二年間の思い

旧職員　弘海　政信

私が成田北高校に勤務したのは、平成十六年からわずか二年間だけだった。一年目は笹崎先生のクラス二年G組の副担任として入った。多くの生徒が部活動に一生懸命取り組んでいる雰囲気が感じられるクラスだったが、授業もなく、時折ホームルームに行く程度だったので、生徒には印象が薄かったろう。修学旅行には十三年ぶりに行くことができた。飛行機で行く初めての修学旅行だった。最も印象的なのは、コース別の体験学習で、サトウキビと紅芋の収穫等を行ったことだ。恥ずかしいことに、ある生徒に「先生が一番楽しんでいる。」と言われてしまった。分掌は保健厚生部で密本先生と購買を担当したが、感動した面持ちで、「初めて開いているのを見た！」と三年生によく言われたものである。部活動は森先生とサッカー部の顧問を受け持った。森先生は、グランドに出ずに立派に顧問が勤められる特技の持ち主だった。私のような凡人にはなかなか真似が出来ない。授業は三年の地学と一年の化学を受け持った。三年の地学は文系にもかかわらず、地学Ⅱと地学ⅠAの二展開だった。文系なので、内職している生徒も多く、ある生徒に内職を注意したところ「注意するのは先生だけだよ！」と言われたのには、内心複雑な心境であった。主に地学を教えていたが、実は私自身高校時代に地学という科目を履修したことがない。でも、そんなこと当時は口が裂けても言えなかった。なお私の専門は物理であるが、物理の授業は十二年間教えていなかった。

二年目は一年G組の担任を受け持った。クラスの最初の印象は前年と違い、全体的に大人しい感じだった。自分なりにその都度問題点を考え、グループエンカウンターや学習の計画・評価、クラス通信やら創意工夫をした（つもりの）学級経営だったが、生徒にはきっとありがた迷惑な担任だったろう。授業は一年G組の情報とH組の化学、三年の地学と総合を受け持った。総合の時間は「防災」をテーマに、情報活用の実践を行ってもらった。

地学の授業は、パソコンとプロジェクタを使って地学室で展開した。この二つの経験は現在の仕事で、多くの示唆を与えてくれることとなった。また、地学では毎時間生徒に授業の質問・感想を書いてもらい、授業の最後に紹介し解説していた。ある時、全く書こうとしない女子生徒に「なぜ書かないの？」と聞いたところ、「一生懸命書いても先生が返事を書いてくれない…」と言われてしまったので、その後毎時間全員にコメントを書いた。授業のスライド作りとコメントでかなり忙しくなり、自分で自分の首を絞める結果となった。そして物理の授業はさらに夢のまた夢へと遠ざかっていくのだった。

分掌は進路指導部で、インターンシップの計画を立案し実施しました。二年生七名ほどでしたが、受け入れ先の方々も協力的で、とてもいい体験になったようだ。また、一年の後半からキャリア教育・進路指導を意識した学年指導を学年の先生方と協力して実施させてもらったが、成果を目の当たりにできなかったことは少し残念だ。

部活動は吹奏楽・軽音楽・フォーク同好会だった。現実問題、三つの顧問は厳しかった。しかし、吹奏楽を始め多くの生徒が皆前向きで、練習に向き合う姿勢など、様々な面で感心させられることが多かった。文化祭や、吹奏楽のコンクール、飯塚先生と野球応援に参加したことも印象的である。何より、異動した翌年に、吹奏楽の生徒たちがコンクールの結果をいち早くうれしそうな声で携帯から教えてくれたことが、私にとって嬉しい出来事だった。

あたりまえのことだが、生徒と喜びを分かち合えるのは教師冥利に尽きるということを再認識したのであった。

成田北高校での十年間

旧職員　佐藤　敏之

創立三十周年、おめでとうございます。

三校目の学校として赴任して以来、十年間お世話になりました。私が北高に赴任した当時は一学年十クラスの規模で、とても活気のある学校だというのが第一印象でした。元気のある生徒も多く、また新任式の時にざわざわしていてけじめがない生徒が多い、というのも同時に感じたことです。しかし、学力的にはそれなりに高い生徒も多く、その割には欲がなく、成り行きで進路を決めているようなところが多く見られました。

私が勤務していた十年間の思い出といえば、修学旅行先がスキー修学旅行から通常の旅行に変わり、初めての海外修学旅行となるはずだったシンガポールへの修学旅行がSARS騒ぎで中止になり、九州への旅行に変更になったこと。そして、最後の三年間の学年で、沖縄の座間味島への旅行を実現できたことです。また、制服が現在のものに変わりましたし、なにより学校周辺の景色もずいぶん変化しました。成田ニュータウンの中の学校とはいっても、学校周辺には空き地が多く、まるでニュータウンの北の果てのような感じでした。それが現在は、ほとんどの土地が住宅で埋まり、近々駅も完成します。

部活動では、少林寺拳法部を再建し、それなりの成果を上げるまでになりました。始めてから二年目の生徒には入部者がおらず、つくっただけで終わってしまうのかという懸念もありましたが、その年を乗り切ってからは毎年十名程度の入部者を迎えて、この間に全国大会出場五回、初出場の年には六位入賞するなど、着実に成田北高校少林寺拳法部はその存在感を示して来られたと思っています。

このような変化の中で北高の生徒や学校の在り方はどのように変わっていくのか。十年間を過ごした学校の行く末がとても気になります。変化の中で取り残されることなく、行くべき方向をしっかり示していけば、必ずや発展していくと思いますし、成田北高校の生徒たちはその可能性を十分に持っている生徒たちだと信じています。

今後のご発展をお祈りしつつ、十年間の感謝を申し上げ、お祝いの言葉といたします。





創立三十周年に寄せて

旧職員　山下　絹代

創立三十周年、おめでとうございます。

私が成田北高校に赴任したのは平成十三年四月です。駅から乗ったバスを学校前で降り、正門から続く満開の桜を見ながら、今日からこの学校で勤務するのだなと強く思ったことが思い起こされます。玄関まで緩やかなカーブが続くアプローチはそれまでの学校にはないものだったので、その敷地の広さに驚きました。グランドに見えた部活動をする生徒達の活発な様子や、すれ違う生徒達が元気よくあいさつしてくれたことにとても良い印象を持ったことを覚えています。

私の在職した七年間は丁度クラス数が減っていった時期で、十クラスから九クラスへ、さらに八クラスへと短期間で減っていきました。また、家庭科においても、四単位から二単位へ減り、それに伴って教員数も二人から一人へ減り、まさに成田北高校の変革期だったような気がします。教育課程にも大きな変更があり、成田北高校は地域の望む進学を目指した学校となっていきました。生徒も自主的に行動できるようになっていったと思います。

赴任して二年目に二年生の担任となり、成田北高校で初めて修学旅行で飛行機を利用して沖縄に行ったのも思い出に残っています。現在のように多くの学校が沖縄に行くという時代ではなかったので、まさに手探りの状態でしたが、学年が団結し、生徒も一体となって、良い修学旅行になったと思います。担任の頃のことを思うといろいろなことが次から次と思い出され、尽きることがありません。

今後の成田北高校は益々発展していくものと心より祈念しております。七年間ありがとうございました。

思い出

旧職員　宮本　扶佐子

成田北高校の創立三十周年、おめでとうございます。

十二年前・平成九年の春、北高校に着任いたしました。女子の制服が、いまは懐かしい「ジャンバースカート」の時代で、二年生三年生など、大人びて見えたものでした。「こんにちは。」「こんにちは。」在校生は、初めて廊下ですれ違う私にさわやかな挨拶をしてくれました。

「言葉」のもつ力を感じた瞬間でした。

また、パソコン音痴で不安の固まりだった私に、花井校長先生が「図書館の仕事とは、どういうものか、よく考えてみてください。」と言われました。おしかりを受けながら、気持ちを立て直していただいた言葉としていまも思い出すことです。幸いにも十二年間、学校司書としての仕事を続けることが出来ました。図書主任の手島先生・井上先生・松永先生には、読書アンケート・書架の増設・閲覧室の椅子交換・カーテンの交換・パソコンの交換・財政厳しい中の図書費の折衝・図書館だよりの発行・そして教育現場での図書館と学校司書の必要性について等々、多くのご指導とご理解をいただいて参りました。

十二年間の歴代の図書委員の皆さんとは、日常業務から、文化祭の催し物の取り組みなど、色々な思い出を作ってきました。「和綴じ講習」や「読書アンケート調査」「写真展」最後の五年間には「文芸集」作成もありました。季節の掲示物を、曜日ごとの日直グループで作成したのも思い出です。二階の中央廊下に沿った図書館。多くの生徒や職員の皆さんが入館してくれました。

読書離れという昨今ですが、人生を長い目で見ると「本」はいつでも私たちを待っていてくれます。北高校の生徒の皆さんが、心に残る一冊といつか出会えること

を見守っています。これからも成田北高校のさらなる発展を、心よりお祈り申し上げております。





創立三十周年に寄せて

平成十三年度ＰＴＡ会長　大川　正芳

成田北高等学校創立三十周年を迎えられ誠におめでとうございます。

振り返りますと「創立二十周年」時に、ＰＴＡ会長の重責を務めさせていただき、早十年の歳月が過ぎたのかと、改めて感慨深いものを感じます。

さて、現在の日本社会における青少年を取り巻く社会情勢を鑑みると、青少年が被害者となり、ときに、加害者となるような重大事件の続発など、青少年の問題行動が深刻化しております。一方、少子化や核家族化、高齢化、サブプライム・ローン問題に端を発する金融不安等社会の変化や人間関係の希薄化などを背景として、さまざまな問題が生じており、青少年一人ひとりに対する知識、思いやりや学力向上への期待感は高まるばかりです。

しかしながら、実際は携帯電話やパソコンなど一人で楽しむことが多くなり、社会生活のなかでマナーを身につける機会が極めて少なくなってきています。

このような社会環境の中で、成田北高等学校の生徒は「素直でのびのびしている」といわれますが、これは先生方や関係者、環境等のたまものであり、素晴らしい校風であると思います。

また、教育方針・校訓である一人ひとりの生徒を尊重し、個性の伸張と能力の開発を図り、自主・自律の精神を持つ青年の育成に努める。「自律」社会連帯の意識を養い、勤労と責任を重んじ、協調性に富む青年の育成に努める。「協調」心身ともに健全でたくましい実践力のある青年の育成に努める。「健全」は時代に即し、ますます重要な方針であると感じます。

創立三十周年にあたり、成田北高等学校の地域社会との共栄と更なる発展を祈念するとともに、記念行事に関

わられた実行委員の皆様方に感謝申し上げます。

成田北高等学校三十周年記念に寄せて

平成十四年度ＰＴＡ会長　伊藤　信一

一九八〇年四月に一学年一八八名で成田北高等学校が開校して、今年で三十周年の節目を迎えました。卒業生は一万人近くになったと思います。社会人となり、活躍されていることと思います。

三十周年の節目に、二一世紀に生きる卒業生にメッセージを贈ります。

二十一世紀の課題は、環境を大切にして、生活を豊かにすることです。一九九二年、リオデジャネイロの環境サミットで十二歳の少女の伝説のスピーチが紹介されています。

「オゾン層にあいた穴をどうやって防ぐのか。あなたは知らないでしょう。

死んだ川にどうやって、サケを呼びもどすか。あなたは知らないでしょう。

絶滅した動物をどうやって、生きかえらせるか。あなたは知らないでしょう。

そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるか。あなたは知らないでしょう。

どうやって直すのかわからないものを、こわしつづけるのはもうやめてください。」

少女は環境の大切さを訴えています。

『「生活大国」デンマークから何を学ぶか』という本があります。この中に、「人が生きる過程における最低条件として、きれいな水と空気を確保しておかなければならない。食べるものを含めて、これがデンマークの環境政策なのです。デンマークの教育は法律を読むことを教えます。会話の中でも、憲法や言論の自由がすぐに出てきます。法律そのものが、日常生活の中に生かされた生活をしています。参考にしたいものです。

最後に、フランスの詩人ルイ・アラゴンの詩に「教えるとは希望を語ること、学ぶとは誠実を胸にきざむこと」という一節があります。教育は、こうありたいと願うものです。



創立三十周年に寄せて

平成十五年度ＰＴＡ会長　渡辺　章喜

創立三十周年を迎えられますことを心よりお祝い申し上げます。

この三十年間、成田北高の発展にご尽力を頂き多くの生徒を立派に育て上げていただいた歴代の校長先生をはじめ諸先生の皆様に心より御礼を申し上げます。

平成十五年にＰＴＡ会長をさせていただき既に六年の歳月が過ぎ、今では学校にお寄りする機会も無くなってしまいましたが、当時の北高のことはつい最近のように思い出されます。

私の思い出として強く印象に残っていることは、黎明祭での元気みなぎる生徒達の活動や思いのほか売上が良かったＰＴＡバザー、そして元気ある（？でも泣かせてくれる）卒業式です。

また、私なりにこれが北高の伝統かと感じられたことは、一つには先生方が生徒一人一人と真剣に向き合い親身に指導されていたこと、もう一つに生徒達の団結力の素晴らしさと一生懸命に物事に取り組む姿、そして元気に挨拶できることでした。これらのことは創立当初から培われたもので、成田北高の立派な伝統と言えるものであり、今でも受け継がれているものと思います。良き伝統は沢山作り後生へと引き継いでいただきたい。

三十年の年輪の木はまだまだ細いかもしれませんが、根はしっかり大地を掴んでいます。これからも先生、生徒、ＰＴＡの皆様が三者一体となって年輪を刻むとともに、関係者一同で成田北高が丈夫で太い幹になるよう育てていきましょう。

最後に創立三十周年記念事業にかかる実行委員の皆様のご苦労に対し感謝申し上げますとともに、成田北高の益々のご発展と皆様のご多幸を心から祈念申し上げます。

創立三十周年によせて

平成十七年度ＰＴＡ会長　奥村　國雄

成田北高等学校創立三十周年誠におめでとうございます。成田ニュータウンに新しく県立高校が開校すると聞いて、すでに三十年が経過しようとしています。

今では、様々な団体、サークル活動、社会活動などで、成田北高の卒業生と出会う機会が、多くなっています。初めて会う、北高卒業生たちと共通の話題で会話がはずむこと、またそれをきっかけにして友人・知人としてお付き合いできることは、誠に嬉しいことです。

成田北高等学校ＰＴＡの最大の魅力は、生徒たちの為になる活動を、共通の目的として考え、討論し活動して行く事でした。

その中で多くの人と知り合いになり、新たな考え方を聞いたりして、様々な人との出会いがとても新鮮でした。年齢を重ねて来ても、新聞・本・インターネットで調べ物をしたりして知識を増やしても、人との出会いに優る生涯学習はないと思います。

成田北高でＰＴＡ活動をさせていただいた事は私の人生の中でもとても有意義な日々の一つです。成田市をはじめとする北総地区は、成田空港の発展にあわせるかのように、この三十年間めざましい発展をしてきました。さらに、平成二十二年四月には成田新高速鉄道線が開業予定で、北高のすぐ近くに、成田湯川駅として新駅が設置されました。

成田北高も三十年の月日を重ね、素晴らしい発展をされました。この新駅の開業にあわせ、成田北高のさらなる飛躍を心より祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

創立三十周年を祝して

平成十九年度ＰＴＡ会長　吉村　貞男

このたび千葉県立成田北高等学校が創立三十周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

ひと口に三十年と申しますが、昨今のように教育環境、政治、経済等の情勢が変転きわまりない世の中において、成田北高校は県下有数の生徒数を有する規模と優良校に育ち、今日に見られる通りの発展と成果を上げられました。これは歴代の校長先生を始めとし、本校に赴任された教職員の先生方のたゆまぬ努力の結晶であると思います。また、これまで学校への惜しみないご協力を頂いたＰＴＡ会員、保護者の皆様に感謝申し上げます。そしてこれからも前途有為の若者を育みながら発展していくことを確信しています。

私の場合は二人の息子がお世話になり、次男の入学と共に私もＰＴＡ活動に参加させて頂きました。三年間のＰＴＡ活動でたくさんの北高生を見てきましたが、誰もが屈託なく、明るく元気に高校生活を楽しんでいるように思えました。そして私達保護者と交わす挨拶はとても爽やかで気持ちの良いものでした。また卒業式では、卒業生が先生や保護者に向い「有難うございました」という感謝の気持ちを素直に表現し、おだやかに会場をあとにする姿に清々しさと感動を覚えました。成田北高校はそんな生徒を育む環境にあります。このような素晴しい環境と「素直で爽やか」という校風を、在校生、保護者の皆様、そして今後の北高生と共に、伝統として引継いで頂きたいと願います。

先生方のご指導と深い愛情の下、この学び舎で多くの生徒たちが勉学・スポーツに励み、輝ける十代の季節を過ごし、更なる広い世界への扉を開いて巣立っていきました。そして、これからも多くの生徒たちが学んでいくことでしょう。成田北高校は、卒業生達の高校時代を思う気持ちや、母校を誇りとする気持ち、ここに集った多くの方々の思いによって支えられ、今後も時を刻んでいくのです。

創立三十周年を契機に、学校・地域・家庭の連携をより深めていくと共に、成田北高等学校の理念と理想を求め、更なる飛躍をとげられますようご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせて頂きます。



三十周年の節目に

平成二十年度ＰＴＡ会長　青野　穣

「屈託の無い笑顔があふれる高校」それが本校を初めて訪れた時の第一印象です。ＰＴＡ活動を通じ三年間本校を見てまいりましたが、素直で明るい生徒が多く、そのような生徒と関われる事が無性の喜びでありました。

本校は地域の期待を一身に受け、ここ玉造の地に産声を上げました。そしてそれからはや、三十年の歳月が過ぎようとしています。校舎一棟のみでスタートした本校の歴史ですが、歴代の職員の方々や卒業生など多くの先人達の努力により現在があることを在校生の皆さんは認識し、感謝の念を持っていただきたいと思います。

社会は今、少子化の中にあり、県立高校でも統廃合が現実に行われておりますが、本校は現在も県内有数の規模を堅持しております。これも地域の皆様のご理解の下、歴代校長先生をはじめとした関係各位のご努力により魅力ある学校づくりが進められてきた賜物であると、改めてここに敬意を表します。

平成二十二年度には本校の直近に成田湯川駅がオープンします。これは本校が更なる躍進を遂げる絶好のチャンスです。交通の便が良くなることはもとより、通学圏の拡大でより多くの中学生が本校を目指してくれることに期待がかかります。そのためにも更に魅力ある学校づくりを進めて行っていただきたいと思います。学力面も年々向上し、進学先も着実に伸びてきています。部活動も全国大会や関東大会へも出場しております。これらを更に伸ばして行くことはもとより、心の教育にも重点を置き、本校の特徴でもある素直な生徒を育む環境の整備にも重点を置いてください。

三十周年を契機に本校がますます発展してくれることを期待しております。そして十年後、いや百年後、未来永劫、生徒の笑顔があふれる魅力ある高校で居続けてくれることを切に希望いたします。





エンジンの音高らかに

本校教諭　片野　利治

一台の芝刈り機がある。中庭の雑草芝で、三澤さんと薄井先生と三人で試行錯誤の末、やっとエンジンをかけた。目の前で、三澤さんが芝刈りを始めた、というよりは芝刈り機が三澤さんを引っ張り回している。

うかがうところによると、この芝刈り機は成田北高校の創立当初からあったものだという。エンジンのかかりが悪い、重い、人を勝手に振り回す、刃は丸刃で切れ味悪く、刈りっぱなしで刈った芝は散乱している。当然安全停止装置などない。唯一、エンジン音だけは逞しい。

しかし・・・。よくもまあ、三十年近く刈り続けてきたものだ。ひたすら芝生を刈り続けて、ただ一途に三十年。人生になぞらえてしまう。そして、昔の機械って丈夫なんだ、と、変なところを感心してしまう。

昼時、この芝生では生徒が弁当を食べている、じゃれ合っている、その青春の一場面を創る土俵にあたる草を刈り続けてきたのがこの機械だ。

事務長さんに頼んで買い換えてもらいなよ。先ほど自分が何気なく言ってしまったことばが蘇ってきて、恥ずかしくなった。

世の中に、換えられないものはいっぱいある。人間だって、生涯に働く年数はこの芝刈り機よりちょっと長いだけ。その人間が「年取った、もう換えようか。」と言われたら。私だったら、憤怒、激怒、怒髪天を衝き、この恨み晴らさでおくべきか、とばかりすべからく、怨霊と手を組むであろう。

若い人が若さを売り込むことは構わないが、若さがすべてに優るわけではない。新しいものがすべていいとは限らない。「円熟」ということばがある。引退、それで終わりにするのは一種の使い捨てであって、長い年数をかけて手に入れた熟達した技を見限ってよいことは一つもない。

古いものがすべていいと言っているわけではない。温故知新。故と新の融合こそ社会や組織のめざすべき道。

成田北高校も創立三十年。壮年からやがて老年に向かう。学校として円熟さが見え隠れしていい時季だろう。人も、組織も「徒に奇を衒う」必要はない。勉強する、体を鍛える、知性を身なりとその行動で示せる、そして決まりを守る、それを一言で言えば「人間として成長する」ことであり、教育目標としては不変のものだろう。

けたたましいエンジンの音も耳障りではなくなった。芝刈り機も修理して、部品を換えて、動く限り働いてもらおう。

刈り込まれた芝生の温みを弁当を食べる生徒のお尻は知っている。芝生の柔らかさ、心地よさは北高の教育的な心遣いであって、生徒への無言の教えの形だ。

芝刈り機さん。あなたのしていることが教育なのですね。三澤さん、いつまでもこの芝刈り機を押し続けてください。ありがとう。



卒業生へのメッセージ

本校教諭　高柳　良訓

十年間の成北勤務の財産は、出会った多くの生徒たち。広報「なりきた」卒業生版によせた四回のメッセージを成北三十周年へ贈ります。

【ぼんやりした不安】

（平成十五年度卒業生へ）

芥川龍之介を襲った「ぼんやりとした不安」。飢えや恐怖こそないものの、現代人の誰もが抱えるぼんやりした不安。学生という保護下から出て行くことへの不安。親からの自立への不安。人間関係への不安。恋愛への不安。働くことへの不安。長い人生への不安。パニックになる程ではないが、ぼんやりとした不安がただよう世界。誰もが不安。

【しあわせ平等論】

（平成十八年度卒業生へ）

恋愛運がなかった人も大丈夫。
進路でつまずいた人も大丈夫。
高校生活がイマイチだった人も大丈夫。
人生に与えられた「しあわせ」の量は皆平等。
帳尻はいつか合います・心配なし。

【しあわせ】

（平成二十年度卒業生へ）

仏教でいう「悟り」の境地。私には無縁の世界と思っていたが、最近プチ悟り気味。
例えば、物欲の低下。例えば、寛大な許し。そして、「しあわせ」新採点基準採用。

【しあわせ価値基準法第〇〇条】

自分のために生きるより、誰かのために生きる、しあわせ。「憎しみ」や「不満」を抱えて生きるより、平凡な日常に「感謝」し、「ありがとう」と言葉にする、しあわせ。

【最高の瞬間に！】

（平成二十一年度卒業生へ）

古くは山口百恵。最近では中田英寿。キャリアのピークで次のステップを目指す心境がわかる気がする。今の美しさを汚したくない。最高に美しい思い出を携え、新たな道を歩みたい。

今年のクラスは最高でした。去年もそう思ったけど、今年は更に満足。もうこれ以上は望めないくらい「平和で、誰もが主役のクラス」実現。成北九年今が最高。

十年経って考えること

本校教諭　加藤　健一

私は今年が本校勤務十年目となるので、本校の生徒たちについて考えていることを記してみたい。

ここへ転勤する際、当時の校長から本校の学検点はちょうど県平均であるとの説明を受けた覚えがある。ここ三、四年少しずつ下がってきてはいるが、この十年間それほど大きな落ち込みもなく、平穏な状況が続いてきた。県下の高校をあちこち出入りしているあるスポーツ用品の業者さんは、成田北高は千葉県で一番平和な学校だと評している。

一番かどうかは別として、たしかに生徒たちの気性は

穏やかで、校舎内を歩いても荒れた形跡はまず見当たらない。

だが、本校は立地条件からすればいつだって不人気校になり得るし、そうなれば底辺校化するのもあっという間だったろう。そうならずに現在に至っているのは僥倖と言うべきだろう。もちろん本校のいまある平穏は、危機感を持って本校を支えてきた多くの同僚たちに負うところが大きいが、やはり生徒たちの良識というかバランス感覚に助けられてきた面もあると思う。良くも悪くも、何事につけ本校の生徒はニュートラルだという気がする。関心がないわけでも、クールというわけでもなく、ニュートラルなのである。教員側に多少奇異な言動があっても、それを適当に流して過剰な反応はしない。

しかし、車がニュートラルでは動かないように、彼らも誰かがギヤを入れてくれるまでは動かない。つまり自主性がないということかもしれないが、そのかわり目的地を示し、こうやれば到達するのだと納得させれば、そこからは生真面目に努力し目標に到達する能力を持っている。

たとえば進路指導の際、『君は○○大学を目指しなさい』などと、具体的に言い切ることは通常避ける。どの大学にするかは自分で資料を手に入れ自分で判断しなさい、君の人生なのだから、と生徒の自主性を促すに留まるだろう。また、受験勉強はどうやったらいいのかと問われても、自分にあった勉強方法は自分でいろいろ試す中で見つけるしかないよ（その通りなのだが）、と突き放してしまう。だが本校の生徒たちはそれでは動けない。自分でギヤを入れる習慣があまりないのだろう。

そういう生徒たちなのだと承知するならば、一歩踏み込んだ助言を与えるべきだろう。『君だったらもう一つ上のレベルの学校をねらえるから、○○大学のことを調べてごらん』、『数学の受験勉強ならこの問題集をやりなさい』のようにアドバイスすれば彼らは行動する。（それが正しい助言かどうかは問われるだろうが）

今年の三年生には数学はこれをしっかりやれば完璧だから、と一冊の問題集を薦めて購入希望を募った。この夏休み、その問題集に取り組んでいる生徒が二十名ほどいるが、来春の朗報が聞けることを今から楽しみにしている。



縁

本校教諭　原田　久美子

「この日のために、三年間頑張っているんだなぁ。」新米教師の頃、先輩教諭が卒業式を前にぽつりとつぶやいた。いつか自分もそう言える日が来るのだろうか、とその時は思っていた。私は成田北高校での九年間に、担任を二周（六年間）経験させて頂いた。

一年生の担任として迎える四月は、いつも不安で押しつぶされそうになる。（卒業までの約千日、無事に子どもたちを先導して行けるのだろうか。）入学式の直前まで、そんな情けないクヨクヨした精神状態は続くのだが、始まってしまえば、そんなことを考えている暇はなくなり、あれよ、あれよという間に一年が終わっているのが常である。

私が成田北高校の一番の自慢を挙げるならば、それは卒業式である。特に卒業生のクラス担任として迎えた二度の卒業式は、最高に幸せな一時だった。式の内容にこれといって真新しいものは無い。いたってシンプルで伝統的な高校の卒業式である。

しかし生徒たちは涙する。そして我々職員も涙する。たった一時間のあいだに、三年間の思い出がそれぞれの脳裏に蘇り、その思いは答辞や式歌、校歌にのせられていく。そしてクライマックスの卒業生退場。各クラス一同一斉に起立し、感謝の言葉を述べ学舎から巣立っていく。その清々しさに胸が熱くなったのを、昨日のことのように覚えている。

卒業式の翌朝、呆然としている自分に気づく。途方も無く長く思われた三年間が過ぎ去った後、胸に残るのはいつも生徒たちとの掛け替えのない思い出と、一抹の寂しさである。

私は「縁」という言葉が好きだ。生徒たちと北高で出会えたのも、何かの「縁」だったと思う。忘れかけていた純粋さや直向きさを思い起こさせてくれた。生徒たちとの素晴らしい出会いに感謝したい。本当にありがとう。

創立三十周年を迎えて

本校養護教諭　髙木　綾子

本校に赴任した時、満開で迎えてくれた桜の光景は今でも忘れられません。

当初は前任校より規模が大きいこと、すぐに始まる保健関係の行事に戸惑いを感じていたのですが、先生方はもちろん、生徒たちに助けられ、すぐに不安な気持ちは消えていきました。あれから九年が過ぎましたが、生徒たちの変わらない笑顔や、校舎やグランドに響く元気な声は今も私にとって大きな支えになっています。

また、本校には度々卒業生が訪ねてきてくれます。つい先日も数名の卒業生が来てくれて保健室から校舎全体を眺め、「やっぱり、北高っていいよなぁ。」と話をしていました。彼らにとって良い思い出の母校であることを嬉しく思いつつ、しっかり自分の望んだ道を歩み、頑張っている姿に、充実した高校生活を送っていたことを窺い知ることができました。

終わりに、たくさんの経験を与えてくれるこの場所で、生徒、保護者、職員とともに、いつまでも学び続けていきたいと思います。

一期一会

平成十七年度卒業生　浅井　優希

「出会いって何だろう。」

思春期の頃の私は、中学校での転校を機に、人との関わり合いに否定的だった。自分の好きな絵が描ければ、後は何でもいいと思っていた。絵を描くことが好きだったので、成田北高校では、美術部に入ることを入学前から決めていた。ただ、「絵は一人でも描けるのに、部活に入る必要ってあるのかな。」という疑問を抱きながら。高校の入学式を前に、同じ成田北高校に通う二つ上の兄が、美術部の先輩を自宅に招いたことがあった。正直美術部の先輩って暗いイメージだった。しかし、実際兄が連れてきた先輩たちは、部活以外でバンドを組み、ライブをやったり、CDを作ったりと、それまで私の知らなかった世界を次々と教えてくれた。そんな先輩たちに私はあっという間にはまっていった。

高校に入学し、兄も居たことから、先輩たちからは「妹」と呼ばれ、入学当初からかなり可愛がってもらった。そして、気がついたら、学校に居るときはもちろん、放課後や土日まで一緒に過ごすようになっていた。自分が今まで知らなかった新しい世界を見せてくれる先輩たち。成田に転校してきてから、初めて自分の居場所を感じた。おかげで時が過ぎていくのはとても早いものだった。

二月になり、三年生は自由登校で居なくなる。在校生だけで、卒業生の為に記念品作りをすることになった。記念品の色紙を書いていると、「本当に成北から先輩たちが居なくなってしまう」と別れを実感した。すると今まで先輩たちと居たことが、これからは当たり前ではなくなってしまう事に、急に切ない気持ちで胸がいっぱいになった。それと同時に、それまで人の出会いに否定的だった自分をものすごく後悔した。どうしてもっと一緒に笑いあった時間を噛み締めていかなかったのかと。

今日あったことが明日もあるとは限らない。今日出会った人が自分に向かって笑顔で居てくれたら、幸せを感じて欲しい。今を大切に。



総務部

寺内　温穂

一　本年度の目標

1　式典の円滑な運営
2　職員会議、学校行事の記録
3　学校説明会の企画・運営
4　ＰＴＡ活動の推進
5　同窓会、後援会事務局の運営

二　各係

「総務」

総務部全般にわたる企画・立案

「記録」

①職員会議の記録
②写真撮影による学校行事の記録、整理

「式典」

①式典の企画・運営
②賞状披露（各学期の始業式、終業式に実施）

「渉外」

①ＰＴＡ関連行事の企画・運営
②広報委員会（ＰＴＡ委員会）
③校外指導委員会（ＰＴＡ委員会）
④国際交流委員会（ＰＴＡ委員会）
⑤空調設備運営委員会（ＰＴＡ委員会）
⑥同窓会
⑦後援会
⑧学校説明会
⑨学校を核とした県内１０００か所ミニ集会
⑩遺児育英資金案内

三　資料の作成

①年間行事計画
②生徒名簿
③職員緊急連絡網
④学校要覧
⑤学校案内

四　校内の委員会

①企画運営委員会一名
②学校評価委員会一名
③開かれた学校づくり委員会一名



教務部この十年

佐々木　輝彦

本年度、小・中学校では新学習指導要領の一部が先行実施されている。本校でも平成二十五年度完全実施にむけて新教育課程の編成作業を二学期より開始する予定である。

現教育課程は、平成十三年度から編成作業をはじめて、平成十五年度の新入生より実施された。大きな変更点は、「情報」や「総合的な学習の時間」などの新しい教科等が入ってきたので、それまで三年次で実施していた文理選択を二年次にしたことである。このことは、生徒に早くから進路意識を持たせることができ、その結果、進路実績を上げることになった。

そして、平成十八年度に英語の単位数を増加させる一部変更を行い、現行の教育課程となった。

創立三十周年目を迎えた今、成田北高校が今後どのような方向に向かって行くのか学校全体で議論・検討し、職員全員が共通理解を持った上で、新教育課程の編成作業を実施しなくてはならない。そして、その舵取りを担っていくのが教務部の大事な責務であると思われる。

教務部のもう一つの柱は、入試の総括を進め、改善に努めることである。現在、実施している特色ある入学者選抜は平成十五年度入学者選抜からはじまった。当初の試験内容は、推薦入試と同様に小論文と面接であったが、特色ある入学者選抜で入学した生徒の追跡調査を実施してみると、学力等の問題点が年々顕著になっていった。その為、平成十七年度特色ある入学者選抜より国語・数学・英語の三科目一時間の学校独自問題を実施し、現在に至っている。特色ある入学者選抜も来年度の入試で最後である。平成二十三年度入学者選抜より前期・後期試験に変更になる。成田北高の将来像に沿い、新入学者選抜の具体的な案を今後検討していかなければならない。

教務部としてこの十年を振り返ると、教育課程の編成や入試の改善以外にも、様々な変更や新しい制度の導入を実施してきた。平成十五年度の新教育課程の導入に伴い、卒業単位数を八十二単位に変更したり、シラバスを作成し、授業内容や評価方法等を生徒・保護者に提示するようになった。また、総合的な学習の時間の実施にあたり、総合委員会が発足し、企画・運営を行っている。また、平成十九年度より追認制度を導入し、単位未修得の生徒に対しての救済処置を講じている。

教務部の仕事は、「普通にやって当たり前、あまり感謝はされず、ミスしたときは大文句」という、あまりありがたくない外部からの評価がある。しかし、部員ひとりひとりは、「自分が学校を支えているんだ！」という自負心をもって日頃の仕事をしている。最後に紙面をお借りして部員の皆様へ感謝を申し上げたい。



生徒指導部　この十年の生活指導について

岡田　裕

創立三十年を迎え、学校も熟してきた現在、成田北高校だけでなく、世の中・周りの環境も大いに変化してきた。閉鎖的と言われてきた学校も、地域社会に対して開放的になることを望まれ、「開かれた学校づくり委員会」の設置や、「地域ミニ集会」の開催、「保護者へのアンケート調査」などを行って、学校経営、さらには生徒指導に活用することが必要となってきた。このような委員会等の内容を伺うと、成田北高校に対して地域の期待は大きく、色々なことに答えなければならない状況となってきた。理解していただけることも多くあるが、残念に思われていることや、批判・苦情もある。

成田北高校の生徒が、制服の着こなしが悪く、そのため、本来の姿に見合う評価が世間でなされていないことを改善するのが、今一番の課題である。身だしなみを整える指導として、「短いスカートを無くし、ネクタイの正しい着用、シャツを美しく着こなす。」などの指導である。生徒本人の自覚によってのみ、世間で認められる状態をつくることができる。高校生となり、自由を獲得した分、自己責任と集団への責任が重くなっており、このことを本当に理解し、行動することをしてもらいたい。そして、三十周年を機会に、制服ブレザーの胸にエンブレムを着け、より美しく制服を着こなせるようにすることを決定した。

次の課題は交通安全である。不幸にも、平成十九年度に交通事故死があり、二十年度に交通安全教育モデル校として、安全教育に重点をおいた。自転車通学の生徒は九十％（約八百人）で、対自動車だけでなく、対自転車・対歩行者の事故も多い。道路交通法の改正により、歩道上の自転車走行も一部許可となったが、他方自転車の賠償責任も重くなった。高校生といえども、何千万円もの賠償責任を負うこともある。社会の一員として自覚のある安全に配慮した乗り方をしてもらいたい。

また、ＰＴＡ校外指導委員会の活動では、年二回の印旛地区合同街頭指導があります。一学期には、ＪＲ成田駅周辺を見回りしていただき、二学期には、ＪＲ成田～大戸間を乗車指導していただいています。その他にも、各学期一回（三日間）計九日間の自転車登校指導もしていただいています。いつもながら、熱意のあるご協力に感謝です。

この十年間に部活動では、入部率は六十％を超えており、全国大会にも陸上競技部・ソフトテニス部・少林寺拳法部・女子サッカー部・美術部などが出場しており、少林寺拳法部・女子サッカー部・女子ハンドボール部・山岳同好会などは、関東大会出場は、もうめずらしくない。他の部も、多くは県大会出場を毎年しており、活発な活動状況がみられる。

以上この十年間の生徒指導に関わる事象をあげたが、平成二十二年春には、本校から数百メートルのところに、成田高速鉄道の成田湯川駅が開業する予定で、生徒の出身中学や、通学手段にも変化があると思われる。今後の成田北高校の発展に、さらなる期待をし、努力していくつもりである。



成田北高等学校の進路指導

川島　洋子

二十一世紀も九年目を迎え、平成二十一年。本校では、今年度の秋から、新教育課程編成の作業に入ることになった。教育改革の眼目は、「キャリア教育の充実」および「ゆとり教育の見直し」である。生徒一人一人の個性、能力・適性・諸条件に鑑み、個々に応じた進路指導をより充実させるべく、斬新で効果的な教育が可能な教育課程の編成がなされるように協議していかなければならない。

さて、この六年間、進路指導部では、入学から卒業までの三年間を、「自分を知り、人生をどう生きるか真剣に考えデザインして進路を選択し」「自らの手で扉を開いて」「希望に満ちた一歩を踏み出す」ための、大切な一日一日と考えて、「自己理解」と「どう生きたいか」を柱とし、学年を追いつつその実現に向けての指導をしてきた。学校行事、校内の他の分掌や学年の行事も含めて、あらゆる教育活動に有機的につなげ、授業はもとより学年や他の分掌の先生方との連携を図り、数々の教育活動をこなしている。以下に、本年度を中心にその概略を述べる。

◆在校生の進路希望状況　平成二十一年度

≪別紙資料「在校生の進路希望状況」≫

各学年とも、

(1) ４年生大学進学を希望が１７０名弱

(2) 短期大学希望者が２５から３０名程度

(3) 専門学校等希望者が、８０名程度

ここに、看護医療系（看護士・理学療法士・歯科衛生士・検査技師等）や福祉関係希望者約３０名強を含む

(4) 就職希望者は、公務員希望者数名を含み、１年９名、２年３２名、３年３２名

つまり、学年の半数が大学進学希望・１割が短期大学希望・３割弱が専門学校等・１割が就職希望である。

◆平成二十一年３月卒業生の進路

≪別紙資料「平成２１年３月卒業生の進路」≫

現役生のみの集計です。

(1) 大学１３６・短期大学３２・専門学校等１０１・企業就職２３・公務員３・浪人９

(2) 大学進学希望者から若干専門学校に進路変更者がいるが、例年通り、生徒の進路希望をおおむね達成している。

(3) 入学時の成績から予想される以上の進路結果を出している生徒が多い。

◆本校の進路指導の柱

≪別紙資料「進路指導年間計画」≫

【１学年】

・自己理解を深め、将来への目標を明確にする

・文系・理系選択に向け、「生き方を考える」を柱に、人生のキャリア設計をし、高校３年間を有意義に過ごす意識を持たせる。

●核となる指導
ＬＨＲ「文系・理系の進路と職業について」
講演会「フリーター・ニートになる前に受けたい授業」
講演会「救急救命２４時」など（仕事に打ち込む姿を知る講演）
小論文講座
模試延べ６を提供

【２学年】
・「進路目標達成のための力と知識と判断力を養う」を柱に、総合的な学習の時間を中心に活動させる。
●核となる指導
総合「学校説明会」・半日・３０校程度来校
総合「バスによる上級学校見学」・バス８台で１日
総合「上級学校の模擬授業」
小論文講座
インターンシップ・・・希望者・夏季休業中
模試延べ約１０を提供

【３学年】
・進路の決定
・「社会で力を発揮できる自己を作り上げる」を柱に、あらゆる時間を使って活動させる。
●核となる指導
「進路別一斉指導」
「マナー講座」
「進学講演会」
「推薦説明会」
「面接指導」
「センター試験指導」
「保護者向け説明会（進学）」
「保護者向け説明会（就職）」
「小論文指導」
「出願指導」
「合格・内定後指導」
各分野とも全体指導と個別指導を計画的に重ねている
模試は、進学模試・看護医療系模試・就職模試・公務員模試・小論文模試等、延べ約２０を提供
詳細は、別紙資料「進路指導年間計画」参照。
これにそって、実際に展開している。



◆本校の進路指導の特色

【きめ細かさ】

大学・短期大学・専門学校・看護医療系・企業就職・公務員と全ての分野に希望者が存在。（＝大学進学者のみの学校ではないし、就職と専門学校がほとんどという学校でもない。）

従ってどの分野も手を抜かない、しっかりした指導が必要。よって、それぞれの分野の指導のエキスパートとして、進路指導部の職員が研鑽を積んでいる。

【すぐ対応】

進路指導室に４人が常駐・他に５人が定期的に対応、昼休みと放課後に進路相談に応じている。

【資料の整備】

基本的に必要なものは、全てそろえてある。

卒業生が書き残した資料も整備してある。

生徒は、昼休みと放課後に閲覧コーナーで調べることができる。面接ビデオ視聴も可。

【校内の連絡体制】

「進路と３年生の先生方との会議」を毎週一時間持っている。これが、共通理解と円滑な３年生の指導に資している。また、一年二名、二年三名、三年三名の進路指導部員が、学年の進路指導の牽引役であると同時に、受け持ちの各分野の全校的な牽引役を担っている。

◆課題

キャリア教育は全人教育であり、その充実は学校全体の取り組みにかかっている。全職員の認識が深まることが最も大切で、一部の専門家や分掌に任せるという状況から抜け出さなければ発展性はない。新教育課程の編成、三年間の生徒指導計画（＝学習指導・生活指導・意識付け・社会性等）などが特に重要で、進路指導部を含んだ全校をカバーする別組織が必要と思われる。教務・生徒指導や学年を含んで、学校全体の構想を練ってまとめあげることが求められる。

◆資料

⑴ 進路状況　平成二十一年

⑵ 平成二十一年度進路指導年間計画

⑶ 二年生進路学習（総合的な学習の時間）行事例

学校見学（バス見学）　実施例

進路ガイダンス　実施例

◆編集者注　平成二十一年～十四年卒業生の進路は、資料編にあります。



進　路　状　況

在校生の進路希望状況

（平成２１年４月１０日現在）

学年＼進路		進学 大学	進学 短大	進学 専修・各種	進学 未定	就職 自家就職	未定 その他	合計
1	男	１０１	２	１３	１６	３	１０	１４５
	女	６５	３６	５３	１１	６	７	１７８
	計	１６６	３８	６６	２７	９	１７	３２３
2	男	９９	１	３８	０	１１	１	１５０
	女	６７	１８	６６	０	２１	０	１７２
	計	１６６	１９	１０４	０	３２	１	３２２
3	男	１０２	０	１９	３	１３	０	１３７
	女	６７	３０	６４	４	１９	２	１８６
	計	１６９	３０	８３	７	３２	２	３２３

卒業生の進路状況

（平成２１年３月末現在）

年度	性別＼進路	進学 大学	進学 短大	進学 専修・各種	就職 (公務員含)	未定 その他	合計
18年度	男	６３	５	２８	８	１２	１１６
	女	４５	３０	８６	２６	９	１９６
	小計	１０８	３５	１１４	３４	２１	３１２
	過年度計	９	０	０	０	０	９
	合計	２６６			３４	２１	３２１
19年度	男	８０	４	３０	１０	１６	１４０
	女	４８	２９	７４	１１	１３	１７５
	小計	１２８	３３	１０４	２１	２９	３１５
	過年度計	１１	０	０	０	０	１１
	合計	２７６			２１	２９	３２６
20年度	男	８５	０	３５	１０	１０	１４０
	女	５１	３２	６６	１６	１１	１７６
	小計	１３６	３２	１０１	２６	２１	３１６
	過年度計	１０	０	０	０	０	１０
	合計	２７９			２６	２１	３２６

主な進学先

平成21年3月卒・20年3月卒

■大　学

茨城大学　早稲田大学　上智大学　立命館大学　明治大学　中央大学　青山学院大学　法政大学
東京理科大学　芝浦工業大学　東邦大学　國學院大學　日本大学　東洋大学　駒澤大学
専修大学　神田外語大学　北里大学　文教大学　武蔵大学　立正大学　東京電機大学
東京農業大学　武蔵野音楽大学　多摩美術大学　武蔵野美術大学　女子美術大学
大東文化大学　亜細亜大学　帝京大学　国士舘大学　拓殖大学　大妻女子大学　共立女子大学
東京家政大学　二松学舎大学　桜美林大学　工学院大学　大正大学　植草学園大学　江戸川大学
神奈川大学　関東学園大学　九州産業大学　十文字学園女子大学　淑徳大学　城西国際大学
昭和女子大学　杉野服飾大学　成蹊大学　聖徳大学　高千穂大学　千葉科学大学　千葉経済大学
千葉工業大学　千葉商科大学　中央学院大学　帝京科学大学　帝京平成大学　東京情報大学
東京女子体育大学　東京成徳大学　東洋学園大学　新潟医療福祉大学　明海大学　明星大学
横浜商科大学　流通経済大学　了徳寺大学　麗澤大学　和洋女子大学　　他

■短　大

神奈川県立外語短期大学　千葉県立衛生短期大学　青山学院女子短期大学　植草学園短期大学
大妻女子大学短期大学部　共立女子短期大学　自由が丘産能短期大学　淑徳短期大学
昭和学院短期大学　杉野服飾大学短期大学部　聖徳大学短期大学部　千葉敬愛短期大学
千葉経済大学短期大学部　千葉明徳短期大学　帝京大学短期大学　戸板女子短期大学
東京家政学院短期大学部　日本体育大学女子短期大学部　日本大学短期大学部
文化女子大学短期大学部　文京学院短期大学　山脇学園短期大学　　他

■専修・各種他

国際理工専門学校　国際航空専門学校　日本航空専門学校　日本自動車大学校
日本工学院専門学校　日本電子専門学校　国際トラベル＆ホテル専門学校　千葉美容専門学校
国際理容美容専門学校　パリ総合美容専門学校　成田航空ビジネス専門学校　神田外語学院
千葉県職業能力開発短期大学校　千葉県農業大学校　船橋情報ビジネス専門学校
(国)千葉医療センター附属看護専門学校　慈恵柏看護専門学校　成田赤十字看護専門学校
東邦大学佐倉看護専門学校　日本医科大学看護専門学校　旭中央病院付属看護専門学校
藤リハビリテーション学院　千葉・柏リハビリテーション学院　八千代リハビリテーション学院
東京歯科大学歯科衛生士専門学校　日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
日本大学歯学部附属歯科技工専門学校　北原学院歯科衛生専門学校　中央医療技術専門学校
中央介護福祉専門学校　東京YMCA社会体育・保育専門学校　大原学園　東洋美術学校　　他

主な就職先

千葉県警　警視庁　香取市消防官　成田市消防官　日本郵政　農業協同組合　山九株式会社
国際空港上屋　ティエフケー　ジェイエスエス　帝産観光バス　ドラッグストアオオモリ
ＮＡＡリテイリング　エヌエービー　日立ツール成田工場　広域高速ネット二九六
ファイブフォックス　産経新聞印刷　パノラマ・ホテルズ・ワン　ホンダカーズ東総
成田エアカーゴサービス　洋菓子のヒロタ　北総通信建設　　他

平成２１年度進路指導年間計画

＊　日付については、他の学校行事との関係で変更されることがあります

【進路指導の努力点】

（1）　生徒の自己実現の大きな部分を担う「各自の進路志望の実現」を目指し、定期的計画的な進路指導の充実を図る。
（2）　各学年やホームルームとの連携を密にし、生徒一人ひとりに応じた、きめ細かい指導をする。
（3）　自己のあり方・生き方を考えることが出来るようにし、進路に対する意識の高揚を図り、望ましい進路を選択できる能力を育てる。

【学年別指導目標】

１学年：自己理解を深め、将来への目標を明確にする。
　　文系・理系選択にむけ、生き方を考えさせる。
２学年：進路目標を達成するための力を養い、的確な判断力をつける。
　　総合的な学習の時間を活用する。
３学年：進路の決定をおこない、社会生活で力が発揮できる自己を作り上げる。

学期・月	第１学年	第２学年	第３学年
１学期 ４月	8　進路希望調査 9　課題テスト	8　進路希望調査 ：　進路適性検査 ：　進路適性検査事後指導 9　課題テスト ：　総合　ガイダンス	8　進路希望調査 16　進路別一斉指導（総論・年間予定） 就職希望者希望職種調査 就職希望者職業適性検査
５月	：　文系理系選択参考資料配布 31　第１回高１進学模試	31　第１回高2進学模試	2　大学模試（全国センター模試） 看護医療模試 13　就職者対象指導①5/13～10/16全１０回 28　就職者対象指導② ：　小論文模試（6月実施の場合もあり） 29　就職模試 29　公務員模試 30　大学・短大推薦希望の保護者対象説明会 30　就職希望者の保護者対象説明会 31　大学模試（全国記述模試） ：　推薦希望生徒指導
６月	2　「進路のてびき」発刊	2　「進路のてびき」発刊 11　総合　事前指導 18　総合　系統・分野別説明会 25　総合　事後指導	：　専門学校希望生徒指導 2　「進路のてびき」発刊 11　就職者対象指導③ 18　就職者対象指導④ 25　就職者対象指導⑤ 26　就職模試 26　公務員模試 ：　小論文模試（7月実施の場合もあり） 29　就職試験対応の面接練習開始
７月		：　インターンシップ	9　就職者対象指導⑥　求人票公開開始 11　大学模試（センター模試） 11　看護医療模試 24　第１回推薦会議（就職） 27　会社見学開始 ：　就職者対象会社見学指導

8月		: インターンシップ	9 大学模試（全国記述模試） : 会社見学： 就職者対象会社見学指導 21 進路・３学年会議 24 就職者対象指導⑦ 就職書類(履歴書等)作成指導 A～D 組 25 就職者対象指導⑦ 就職書類(履歴書等)作成指導 E～H 組
２学期 9月	: 文系・理系選択に向けての指導の援助		1 就職者対象指導⑧ 3 就職書類（履歴書・調査書）発送 : 国家Ⅲ種公務員試験（１次） 3 センター試験説明会 15 就職者対象指導⑨入社試験開始直前指導 16 入社試験開始 : 入社試験前指導 16 第２回推薦会議(専門学校) : 小論文模試 19 看護医療模試 19 大学模試（全国記述模試） (私大模試) 24 第３回推薦会議（大学・短大等指定校） 29 センター試験出願指導 : センター試験出願
10月	7 実力テスト 31 第２回高１進学模試	7 実力テスト : 就職・公務員模試 31 第２回高２進学模試 看護医療模試	1 県内専修学校受付開始 4 大学模試（センター模試）11:（記述模試） 9 第４回推薦会議（大学・短大等公募推薦） : 大学・短大推薦入試出願開始 13～大学・短大推薦入試面接指導 30まで 14 就職者対象指導⑩内定者事後指導諸注意
11月		: 総合 進路別バス見学事前指導 : 総合 進路別バス見学 26 総合 小論文	: 推薦入試受験 3 看護医療模試 22 大学模試（センター試験プレテスト） : 入試面接個別指導 : 一般入試受験者指導（各クラス）
12月	: 進路講演会 「仕事」について (11月～２月実施の場合もあり)	3 総合 進路別バス見学事後指導	6 大学模試（全国記述模試） : センター試験受験者受験票配布と受験説明会 8 第１回進路動向調査（専門学校・推薦入試・就職者） 18 推薦入試合格者及び一般試受験者指導 21 進路動向中間報告
３学期 1月		: 就職模試 : 公務員模試	4 大学・短大一般入試出願開始 : 大学・短大一般入試開始 16 大学入試センター試験1日目 17 大学入試センター試験2日目 18 センター試験自己採点 21 センター試験リサーチ : 自宅学習前調査
2月	8 実力テスト 14 第３回高１進学模試	7 看護医療模試 8 実力テスト 14 全国高２センター模試 18 総合 マナー講座 : 総合 進路講話	: 大学・短大一般入試 大学・短大一般入試合格発表
3月			: 大学・短大一般入試 5～9 第２回進路動向調査（全員） 23 進路結果報告

平成２０年１１月３日

第２学年進路別見学会実施要綱

１．目的　総合的な学習の一環として、大学や専門学校の施設を見学し、進路への関心と意欲を高め、生徒各自の進路実現をはかる。

２．期日　平成２０年１１月２７日（木）

３．コース　日程

・業者担当者到着・バス配車　７：３０（正門付近に８台　配車予定）
・自動車以外の全コース　８：１０　バス内点呼　８：３０出発
・自動車コースのみ　８：３５　２Ｆ教室集合　９：３０分出発

（１）理系大学コース　（５２名）

10:15 ～ 12:15		12:50 ～ 14:30
芝浦工業大学（豊洲キャンパス）	→	日本大学　理工学部（駿河台キャンパス）

（２）文系大学Ⅰ（法・商・経済）コース　（５１名）

10:15 ～ 12:00		12:20 ～ 14:30
日本大学　経済学部	→	東洋大学（白山キャンパス）

（３）文系大学Ⅱ（文・教育）コース　（５１名）

10:15 ～ 12:30		12:50 ～ 14:30
立正大学（大崎キャンパス）	→	専修大学（神田キャンパス）

（４）四大・短大（家政系）コース　（２２名）

10:15 ～ 12:30		12:50 ～ 14:30
共立女子大学・短期大学（神田一橋ｷｬﾝﾊﾟｽ）	→	大妻女子大学・短期大学部（千代田ｷｬﾝﾊﾟｽ）

（５）幼児教育・保育・福祉コース　（３４名）

10:30 ～ 12:30		13:30 ～ 15:00
文教大学（越谷キャンパス）	→	道灌山学園保育福祉専門学校

（６）理容・美容コース　（３１名）

10:30 ～ 12:00		13:00 ～ 14:30
国際理容美容専門学校	→	早稲田美容専門学校

（７）調理コース　（名）

10:50 ～ 12:20		13:20 ～ 14:50
香川栄養専門学校	→	東京調理師専門学校

（８）ビジネス・情報・公務員コース　（名）

10:20 ～ 12:50	大原簿記学校　大原医療秘書福祉専門学校東京校　大原法律専門学校

（９）電気・電子コース　（名）

11:00 ～ 13:30	日本電子専門学校

（１０）語学・トラベル・航空ビジネスコース　（名）

11:10 ～ 13:40	東京外語専門学校

（１１）建築コース　（名）

11:40 ～ 14:10	中央工学校

（１２）看護・医療・リハビリコース　（２４名）

9:45　～　11:45		13:15　～　14:45
順天堂大学　医療看護学部(浦安ｷｬﾝﾊﾟｽ)	→	千葉・柏リハビリテーション学院

（１３）自動車コース　（８名）

10:00　～　14:30	専門学校　日本自動車大学校（NATS）

※バス配車および職員配置

号車	コース	引率	生徒数	バス定員
1	(1)理系大学		52	53
2	(2)文系大学Ⅰ（法経商）		51	53
3	(3)文系大学Ⅱ（文教育）		51	53
4	(4)女子大・短大		22(女子)	29
5	(5)幼児保育福祉		34	53
6	(6)理容美容（7)調理		31	53
7	(8)ビ情公（9)電（10)外国 (11)健		51	60
8	(12)看護医療リハ		24	29
9	(13)自動車		8	－

・昼食は持参。ゴミは各自持ち帰り

４．交通手段・費用

・貸切バス（９号車のみ，専門学校のバス）

・１人あたり１，８００円（交通費１７００円＋旅行保険１００円）

５．事前指導　１１月２０日（木）５限　総合的な学習の時間

６．当日の欠席・遅刻連絡について

- ８：２０までに学校に連絡（担当：　　）
- 交通機関の遅れがあった場合，業者（徳元）がスケジュールの調整を行い，対応する。
- 個人の都合による遅刻の場合は，学校で１日自習。

７．緊急時の連絡先

- 業者のバス添乗は自動車コースのみ。７号車については，現地で担当スタッフ（２名）が合流する。
- 引率者・バス運転手・　　本部担当者（　　）の間で時間調整等の確認を行なう。
- 本部電話番号（　　）
- 携帯（　　）

８．当日・その後の授業の扱い

- 当日は、平常の授業交換・自習システムで対応
- １２月４日、１月８日・１５日・２２日　の４日間の５限総合の時間には、進路見学会で実施できなかった木曜の１～４限を適宜割り当てる。

２学年総合的学習の時間「進路ガイダンス」の実施について

平成19年11月27日

○ 実施目的　講演・分野説明を聞くことによって、進路実現のための今後の方向付けを行い、よいスタートを切ることができるようにする。

○ 実施日　平成19年11月29日（木）　（５限、６限 ）

○ 実施形式

	大学・短大	専門学校	看護医療	就職	公務員
前半	全体会 (50分)	全体会 (30分)	講演	講演	
後半 (60分)	分野別説明	分野別体験型 ガイダンス	受験対策講座	入社試験対策講座	受験対策講座

模擬講義・分野別説明会後、質疑応答で終了時間が場所によって異なることが予想されます。
帰りのＳＨＲは，無し。清掃についても２学年は免除でお願いします。

○ 分野及び講師

【前半】　大学・短大，看護医療，就職，公務員：13時25分～14時15分（５０分間）
　　専門学校　：13時25分～13時55分（３０分間）

No	全体会		講　師	生徒数	場　所	学年担当
1	全体会	大学・短大	市進予備校	184	第１体育館	小野寺・森・柳生・三橋・山崎・高橋
2		専門学校	ライセンスアカデミー	82	第２体育館	村岡・東福・川村
3		看護・医療	新宿セミナー	22	ＣＧＲ	齋藤
4		就職	上野法律専門学校	21	社会科教室	齋藤
5		公務員		14		

担当者･･･第１，２体育館については、昼休みに放送準備　(撤収もお願いします)
　　生徒整列指導（１．２．については集合隊形を事前に指示）
　　講師を控え室（会議室）から誘導　　(13：20頃)
　　講師紹介　　必要があれば司会進行（第１・第２体育館のみ）
　　終了時、後半教室への移動の指示（１・３年は授業をしています）

【後半】　大学・短大，看護医療，就職，公務員：14時25分～15時15分（５０分間）
専門学校　　：14時05分～15時15分（７０分間）
（講師集合　専門:13時30分，それ以外の分野：14時00分）

No	分科会		講　師	生徒数	場　所	学年担当	備考（各自用意）
1	大学・短大	理工	日本大学　生産工学部	30	２Ａ	森	
2		生物・環境・農	東京農業大学・短期大学部	6	２Ｂ	森	
3		食物栄養	女子栄養大学・短期大学部	14	２Ｃ	柳生	
4		体育	体育進学センター	11	２Ｄ	柳生	
5		社会科学	専修大学	41	２Ｅ	三橋	
6		外国語	神田外語大学	20	２Ｆ	三橋	
7		幼児教育・保育	植草学園短期大学	18	２Ｇ	山崎	
8		人文科学	東洋大学	22	２Ｈ	山崎	
9		教育	文教大学・女子短期大学部	5	ＣＡＩ	柳生	
10		芸術美術	ふなばし美術学院	5	美術室	川村	
12		福祉	淑徳大学	7	地学室	三浦	
13		薬学	日本大学	5	第２コン	松枝	
14	専門学校	美容全般	日本美容専門学校	23	多目１	三浦	
15		語学・航空ビジネス	成田航空ビジネス専門学校	14	多目２	三浦	
16		調理・製菓・製パン	服部栄養専門学校	8	多目３	東福	
17		建築・インテリア	国際理工専門学校	7	総務資料	松枝	
18		ホテル・ブライダル	日本ホテルスクール ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨｰﾂｰﾘｽﾞﾑ専門学校	5	物理室	東福	
19		動物	スカイグルーミングスクール	8	工芸室・中庭	川村	
20		ファッションデザイン	文化服装学院	4	被服室	山下	20cm位の定規
21		自動車	専門学校千葉県自動車大学校	4	11教室 購買前渡り廊下	小野寺	ジャージに更衣
22		音楽・放送・音響・PA・照明	日本工学院専門学校	9	音楽室	高橋	
23	看	看護・医療・リハビリ	新宿セミナー	22	ＣＧＲ	齋藤	
24	就	民間企業就職	上野法律専門学校	21	社会科	齋藤	
25	公	公務員受験		14	会議室東	村岡	

担当者・・・講師を控え室（会議室西側）から誘導　（専門学校13：50，それ以外の分野14:15）
講師紹介
出欠確認　　複数箇所担当となりますが、よろしくおねがいします。
終了時、講師を控え室に誘導
（情報交換を求められることもあります。名刺を準備されるとよいでしょう。）
会場撤収

●専門学校分野別体験型ガイダンス　テーマ、内容

系統	学校名/講師	テーマおよび内容
美容全般	日本美容専門学校	「ワインディング実習」
語学 航空ﾋﾞｼﾞﾈｽ	成田航空ビジネス専門学校	「航空業界の仕事について」会話のロールプレイ（機内アナウンス等）
調理製菓 製パン	服部栄養専門学校	「調理・製菓・製パンについて」
建築 インテリア	国際理工専門学校	「ストローを使った橋梁設計」
ホテル ブライダル	ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨｰﾂｰﾘｽﾞﾑ専門学校 専門学校日本ホテルスクール	「究極のサービスとは？」世界的に有名なホテルのサービスを学び実践してみる
動物	スカイグルーミングスクール	「モデル犬を使用したデモンストレーション」 ・シザーの持ち方，動かし方　・ウィッグのカッティング　・リボン付け　等
ファッション デザイン	文化服装学院	「デザイン画を描きながら服のデザインポイントをみつけよう」
自動車	専門学校千葉県自動車大学校	「小型エンジンの分解・組立」
音楽・放送 音響・PA 照明	日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校	「音楽業界講座」

●「大学・短大」の分科会では，それぞれの学問分野の内容説明を行う予定です。

図書部

松永　博一

この十年を振り返ってみます。図書部の職員は当初、七名でしたが、その後、六名となり、現在では、五名で運営しています。司書は昨年まで九年は、宮本扶佐子先生、今年は、秋葉都馨先生が担当されています。部長は平成十七年度まで井上泰光先生が、その後は私が務めています。図書部の主な仕事は、図書館の運営、読書指導、読書感想文画コンクールの実施、視聴覚室の管理、芸術鑑賞会の実施、図書委員会の運営等です。図書館の開館時間は朝八時三十分より、午後四時四十分までです。生徒は、昼休み、放課後、自習時間等に利用します。先生方は授業でも利用されることがあります。入口入るとカウンターがあり貸し出し、返却の業務を、図書委員会の生徒と職員が行っています。入って正面にはコンピュータが四台あり、インターネット等に利用されています。そのとなりが、新聞、雑誌コーナー、中央部が閲覧コーナー、そして奥に学習コーナーがあります。蔵書は約二万八千冊で、他にCD、ビデオ、カセット等、すべてコンピュータシステムで管理されています。本校の図書館は、南校舎と北校舎の間の二階通路、学校の中心に位置するためか、比較的、多くの生徒が利用してくれます。

読書指導は、一年次にクラス毎に行い、その後は校内読書感想文画コンクール、そして図書館だより等で行ってきました。感想文画コンクールは創立以来、続けてきましたが、ここ数年は、色々と意見が出され、今後について検討されているところです。芸術鑑賞会は、概ね、生徒にも好評で今後も続けていければと思っています。

視聴覚室は、授業、部活動、学校行事等で広い利用されています。次に図書委員会についてですが、この十年、生徒達の様子が少しずつ変わってきたように思います。前半の五年間までは、生徒中心に部活動と同じように運営が行われてきました。後半にかけてはどちらかと言うと、職員の指導の下で運営が行われるようになってきました図書委員会のメンバーは、本が好きで、図書館の雰囲気がやはり好きな、どちらかと言うと、同じムードを持った生徒が集まるようになってきました。文集オカリナの作成、図書館の管理、運営、芸術鑑賞会の運営補助等、職員と共に通年活躍してくれました。夏休みの文集作成作業中や、文化祭には、図書委員会のOB、OGが毎年たずねてくれるのは嬉しいことです。以上、図書部について紹介させていただきましたが、今後、図書館が、すべての教科授業や、行事に利用され、生徒のすべての学習中心基地のようになってくれればと願うところです。



図書館利用状況統計一覧

分類別利用冊数（貸出）　　対象：全員（生徒・職員）

年　度	総　記	哲　学	歴　史	社会科学	自然科学	技　術	産　業	芸　術	言　語	文　学	合　計
平成11年度	38	53	114	214	192	99	10	587	86	1,473	2,866
平成12年度	82	68	226	268	218	215	10	271	50	1,132	2,540
平成13年度	24	125	238	269	210	124	7	359	80	1,181	2,617
平成14年度	7	99	136	196	200	93	11	323	89	1,039	2,193
平成15年度	13	108	197	299	225	102	6	391	74	1,235	2,650
平成16年度	14	64	182	246	105	111	6	144	68	1,457	2,397
平成17年度	16	55	142	169	74	43	5	42	37	1,201	1,784
平成18年度	5	62	156	176	93	178	15	106	42	1,028	1,861
平成19年度	8	35	148	99	81	80	32	109	15	860	1,467
平成20年度	24	125	109	166	179	118	23	210	42	2,646	3,642

分類別蔵書集計表

年　度	総　記	哲　学	歴　史	社会科学	自然科学	技　術	産　業	芸　術	言　語	文　学	合　計
平成11年度	1,277	535	1,819	2,254	1,974	798	281	2,163	938	8,169	20,208
平成12年度	1,337	547	1,915	2,454	2,083	837	286	2,315	992	8,509	21,275
平成13年度	1,342	579	2,480	2,453	2,180	859	299	2,366	1,007	8,385	21,950
平成14年度	1,379	610	2,585	2,608	2,309	907	308	2,490	1,032	8,661	22,889
平成15年度	1,420	704	2,738	2,826	2,381	965	320	2,556	1,063	8,890	23,863
平成16年度	1,453	751	2,826	2,974	2,450	1,016	327	2,587	1,095	9,282	24,761
平成17年度	1,508	788	2,952	3,116	2,502	1,048	332	2,610	1,112	9,751	25,719
平成18年度	1,522	812	3,087	3,253	2,535	1,138	348	2,719	1,134	10,015	26,563
平成19年度	1,541	848	3,172	3,386	2,581	1,185	354	2,767	1,159	10,568	27,561
平成20年度	1,555	900	3,243	3,493	2,624	1,234	364	2,909	1,178	10,907	28,407

分類別蔵書集計表　　（対象：4.1～3.31）

年　度	入館者数	開館日数	入館者平均
平成11年度	26,142	226	115
平成12年度	26,479	226	117
平成13年度	26,871	213	126
平成14年度	20,735	206	100
平成15年度	22,866	216	105
平成16年度	15,900	208	76
平成17年度	8,526	218	39
平成18年度	15,550	233	66
平成19年度	9,877	219	45
平成20年度	13,860	228	60

図書館施設の概要（平成21年度）

閲覧室　232㎡……閲覧室スペース・学習スペース・カウンタースペース・書庫スペース・
ブラウジングコーナー・コンピュータ検索コーナー

司書室　35㎡

書　庫　35㎡

パーソナルコンピュータ　４台　（図書カウンターと検索用端末としての３台のコンピュータはインターネットに接続され、生徒が活用している。）

その他の図書資料（平成２１年度現在）

ビデオ　70本　カセットブック　11本　ＣＤ　140枚　新聞　１社　雑誌　９種類

視聴覚室の概要（平成21年度）

南校舎４階に配置されている（視聴覚室　137.8㎡　視聴覚準備室　33.75㎡）

テレビ４台・ＶＨＳビデオ２台・スライド映写機２台・16㎜映写機１台・ビデオプロジェクター１台

保健厚生部

一　保健係

高木　綾子

健康相談及び保健指導、保健室運営、定期健康診断の実施、学校の管理下での傷病に対しての災害共済給付の手続き等、生徒の健康・安全についての管理を保健主事はじめ養護教諭並びに保健厚生部職員全体で取り組んでいる。

創立の昭和五十五年度は、四学級のため養護教諭の配置がなく、次年度の五十六年より養護教諭が配置された。平成六年度には養護教諭の複数配置となり現在に至っている。二人制により年々増加する保健室来室者に対し迅速な対応が可能になり生徒の実態も把握しやすいものとなった。

また、平成十五年度から十七年度まで成田市消防署にご協力をいただき生徒対象の救急法講習会を開催し、十八年度、十九年度は生徒から希望のあった運動部生徒対象のテーピング講習会を開催した。

二　教育相談係

三橋　康孝

現在、教育相談活動は教育相談室において原則週一回、木曜日に来校するカウンセラーとそれを補佐する厚生部担当職員で運営されている。本校カウンセラー菊地良恵先生は臨床心理士の資格を持ち、４年前から、勤務して下さっている。

その間、少しずつではあるが、生徒の中にも教育相談が浸透し始め、カウンセラー・教員の勉強会も行われるようになった。日常起こる様々な問題についても、担任などが相談室を訪れる機会も増えている。

最近の生徒の特徴として、素直な生徒が多いのだが、言葉で自分の気持ちを表現するのが得意ではなかったり、また「自分はどう思うのか」をはっきりと持たないタイプの子が増えていると感じられる。友達との関係も、自分が主体というところが弱くなっていると思われる。

今後の課題としては、

一・より多くの生徒たちに相談室を活用してもらうこと。

二・生徒たちが「生きやすくなるための知識」を身につけること。

三・職員にも臨床心理的知識が身近になること。

などが挙げられよう。そのための方策として、相談室だよりの充実、勉強会の回数・内容の充実などが考えられる。

三　育英係

三橋　康孝

近年の奨学生推薦事務は、昨年の金融危機の余波としての不況・社会構造の変化（貧富差の拡大）の影響を受けて年々希望者が増加する傾向にある。厚生部では主に「日本学生支援機構」や千葉県奨学資金等の推薦事務を請け負っているが、最近は二クラス分の生徒が応募している。これらの奨学金は、返還義務があり、特に「日本学生支援機構」の第二種奨学金については、利子を支払う教育ローン的性格が強い。新聞等によると、若年層の失業率の増加、非正規雇用の増加、賃金の抑制などで、卒業後返還が滞る事例も多いという。

子弟の中・高等教育に対する保護者負担は先進国の中では日本が突出している。このような状況に鑑み、返還義務のない奨学金の拡充が在学中・予約の両方において強く望まれる。





管理部　薄井　喜次

施設設備の充実

本校は昭和五十五年に開校して以来、施設設備が順次整えられ、昭和五十七年には三十学級規模の施設を整えるに至った。当時は四学級であったが、翌年には六学級、昭和六十一年には七学級、昭和六十三年には十学級へと学級数も増加してゆき、それに伴い各学年十学級規模の施設設備を整えた。

本校の施設設備の充実

昭和五十五年三月	第一期普通教室棟竣工
昭和五十六年七月	第二期体育館・格技場竣工
昭和五十六年八月	第二期管理・特別教室棟竣工
昭和五十六年九月	テニスコート完成
昭和五十七年一月	第三期管理・特別教室棟竣工
昭和五十七年十一月	校門・前庭・前庭通路竣工
昭和五十七年十二月	体育倉庫竣工
昭和六十年一月	グランド整備完成
昭和六十年十二月	体育倉庫兼部室竣工
昭和六十二年三月	体育館ピロティー改修
平成二年三月	（第二体育館）竣工
平成二年十一月	体育倉庫兼部室竣工
平成四年十二月	工芸窯場竣工
平成六年三月	ＣＡＩ教室工事完成
平成六年三月	体育館屋根改修
平成六年三月	校門改修工事完成
平成九年三月	体育倉庫兼部室竣工

平成十四年三月　中庭整備工事完成
平成十八年十二月　体育館改修工事（耐震）完成

しかし、平成十三年から九学級、翌年から八学級へと生徒数は減少し、施設設備も、時の流れとともに老朽化が進み、順次、設備・備品等の交換もされてきた。

設備・備品等の交換
平成八年　一学年机・椅子の交換、
平成九年　三学年机・椅子の交換
平成九年・十年　二学年机・椅子の交換
平成九年　掃除用ロッカーの交換
平成十一年　二学年・三学年下足箱の交換
平成十二年　一学年下足箱の交換
平成十七年　三学年生徒用ロッカーの交換
平成十八年　二学年生徒用ロッカーの交換
平成十九年　一学年生徒用ロッカーの交換
平成二十年　ストーブの交換
平成二十年・二十一年　清掃用ロッカーの交換

環境の美化

創設以来、環境の美化については、大変力を入れてきた。毎日の清掃活動の徹底を図り、省ゴミ化・ゴミの分別回収の向上を目指してきた。特に平成九年からは、ダイオキシンの問題により焼却炉でのゴミの焼却ができなくなったため、ゴミの分別回収を徹底し、現在では「燃えるゴミ（紙類・パック類）」「燃やせないゴミ（ビニール・プラスチック類）」「ビン・缶類」「ペットボトル」「資源ごみ（ダンボール・雑誌等）」などに分類して、回収が行われ、委託業者によって処理されている。



また、平成十五年からは、学校技能員退職不補充のため、清掃業務を業者に委託している。毎年、一学年八教室ずつの剥離ワックス清掃やトイレの便器清掃、換気扇清掃、校舎外の樹木選定・消毒、斜面と校庭の除草などを委託している。

安全・防災指導の徹底

本校では、施設設備の安全点検を毎年六月と三月に実施している。屋内消火栓設備・消火栓・自動火災放知施設・避難器具・誘導灯の点検を㈱防災技術センターの協力により実施して、安全を確認している。

また、本校の防災訓練は、当初は一学期末に全校の避難訓練と一年生の救助袋の降下訓練、九月一日に防災講話、二学期末に全校の避難訓練と消火器による消化訓練が行われていた。三十学級規模になってからは、九月一日の防災講話と二学期の総合訓練とした。総合訓練では、全員の避難訓練の後、学年別訓練として一年生は救助袋の降下訓練、二年生は消火器訓練、三年生は防災に関する映画により防災意識の高揚に努めた。平成十九年からは、諸事情により、九月一日の防災の日に、全員による避難訓練、消防



署への通報訓練、全生徒・職員への防災に関する講話を実施している。日頃より防災については十分に心掛けていきたい。

美化委員会の活性化

・ペットボトルのキャップ回収活動

平成二十年四月から、校内のジュースの自動販売機に、これまでの紙パックにペットボトルが加えられた。美化委員会では、これを機会にペットボトルのキャップの回収に取り組んでいる。キャップをリサイクルにまわし、売上金をＮＰＯ法人「世界の子供たちにワクチンを日本委員会」に贈っている。最近は保護者からの協力も得られている。この活動により、ほんの僅かではあるが、世界の子供たちの感染症からの予防に役立てばと考えている。また、二酸化炭素の削減や、石油の削減にも繋がり、生徒たちの環境問題を考える機会にもなればと思う。今後も送り続けていきたい。



・美化活動

平成二十年から、月一回放課後の美化活動にも取り組んでいる。校舎外の掃き掃除、学校外に出てのゴミ拾いを実施している。また、三階廊下（青空廊下）のプランターに花を植え、管理を行い、美化活動を推進している。





情報部

泉水　清和

情報部の設立は平成十四年度である。設立時のメンバーは、教務部から石原・松沢教諭、生徒指導部から加藤教諭の三氏である。形の上では、教務部から独立する形で新たに設置された。

その目的としては主に、校内のネットワークやコンピュータの機器管理や校務の情報化を主眼に「情報化推進委員会」の趣旨を引き継いでいる。直接は関係しないが、平成十五年度から始まった、教科「情報」も影響を与えたかもしれない。新しい仕事が多いので、分かりづらい面もあるが、情報に関する各種調査の対応や情報に関する教職員研修、コンピュータ教室の管理・運用等も含まれている。現在、約百四十台のパソコンがネットワーク上で稼働している。また、ＣＡＩ教室の機器は、五年おきにリースの形で更新されている。最近の更新は平成十八年十二月に行われた。このときの更新でモニタは、液晶に変わったのでだいぶ教室もすっきりした印象に変わった。第二コンピュータ教室の設置は、平成十六年度である。県配布の日立製のノートパソコン二十一台で構成されている。これらの教室は主に、平成一五年度に始まった、普通教科「情報」の授業等で使われている。また、総合学習やＬＨＲ・授業・奨学金の申請等にも利用されている。

現在、学校のネットワークは「学習系」、「校務系」、県設置の「成績処理系」の三系統に分かれている。分かれていると不便な面もあるがセキュリティ上やむを得ないかもしれない。学習系はインターネットにも接続しており、その環境は県のサーバを介して光ファイバーで繋がっている。四十数台で接続するには、若干遅いときもあるが、実用的に十分利用できる。今後の課題として、生徒の情報モラルの向上や校務のより一層の効率化やネットワークの活用があげられる。





事務部　学校施設・設備状況について

伊藤　京子

昭和五十五年に開校して三十年になろうとしています。事務職員も四十人、いろいろな人達がそれぞれに成田北高校三十年の歴史の一片を刻んできたように思います。

創立二十周年（平成十一年）以降の状況については、平成十四年三月に中庭の整備、九月に構内ＬＡＮ整備工事、十八年十二月には体育館の耐震改修工事が完成して、翌年の平成十九年五月、保護者負担による冷房装置が二十九教室に設置され、その六月より稼働し、三年目を迎えております。施設・設備も老朽化が進み、補修や小規模の改修が非常に多くなってきております。

今後の課題として大きなものは、校舎の外壁塗装です。きれいなより良い環境が保てるように、早急に改修を行ってもらえるように申請しております。

今年の創立三十周年記念事業で、裏門の整備と看板の設置をさせていただきました。生徒達が、この恵まれた環境を大いに活用して、個々の能力を伸ばし、安心して三年間の高校生活が送れるよう、心がけていきたいと思っています。

諸先輩の方々が築いてこられた伝統を引き継ぎ、よりよい学校になっていってほしいと思います。

教育相談・特別支援教育・同コーディネーター

土屋　幸夫

教育相談に関しては、従来担任等を中心に行われてきたが、よりきめの細かい対応が求められるところとなり、教育相談委員会が設置された。委員会は保健厚生部の教育相談係を中心に相談活動や職員研修を実施するなど、地道な活動を積み重ねている。

平成十八年度からはスクールカウンセラーが配置され、専門的な立場から不安を抱える生徒に対するカウンセリングにあたっている。カウンセリング件数は一学期が一番多く、学期が進むに従って少なくなっている。また年度ごとの相談件数は、微増の傾向にあるようだ。

その理由については、カウンセラーの定着をあげることができると思うが、精神的な不安を抱える生徒が増えていることは間違いない。事実十クラス時代と比較すると、その頃にはほとんどなかった不適応による進路変更が、目立って増えている。

一方平成十六年十二月には、「発達障害者支援法」が交付され、関連の法律が整備された。これを受けて本校にも平成二十年度に特別支援コーディネーターが指名され、併せて特別支援教育委員会が設置された。

「発達障害」については学校不適応との関連が指摘されており、本校においても不登校状態にある生徒の中に、「発達障害」を抱えた生徒が隠れている可能性が高い。この観点から「発達障害」や「特別支援教育」についての理解を進めることは、重要な意味を持っている。

特別支援教育委員会は発足したばかりで、何もかもが手探りの状況である。しかし支援体制の整備は、急務であると考える。現在委員会内部の勉強会や職員研修を実施しながら、本校における特別支援教育のあり方について検討を進めているところである。

学習委員会

佐々木　輝彦

学習委員会は、今までの学習指導委員会と入試委員会を統合して、平成二十年度に発足した。その主たる理由は、ほとんど二つの構成メンバーが同じで、統合すれば放課後の会議の回数を減らすことできたからである。

学習委員会は、教務主任、教務副主任（司会）、各教科主任の十一名で構成されている。各メンバーは教科の意見の取りまとめと教科と委員会との調整役という役割を担っている。

委員会での検討事項は、入試関係と教科学習関係の大きく二つに分けられる。

まず、入試関係では、特色ある入学者選抜と学力検査等による入学者選抜の入試内容の検討や入試結果の分析を行っている。入試内容が決定すれば、具体的に実施要項の案を作成する。平成二十二年度入試で特色ある入学者選抜が終了するので、それ以後の前期・後期入試の具体的な試験内容を今後考えていかなければならない。

次に、教科学習関係では、新教育課程の作成・検討、科目選択説明会の実施と次年度講座数の決定、三年総合の時間の実施講座数の決定を行っている。

創立三十周年を迎えた成田北高校は、平成二十三年度からの新入試制度の導入と平成二十五年度からの新教育課程の完全実施を控えている。この二つの新制度の導入は、これからの成田北高校の方向性を決める上で大変重要である。そのため、今後学習委員会が果たすべき役割は非常に大きくなっていくと思われる。

総合委員会

高柳　良訓

平成十六年度より教科「総合」が実施され、二年次一単位、三年次二単位、計三単位の教育課程となった。本校では、三年次の二単位は、各教員がテーマを設定し講座を設け、生徒が自由に選択するスタイルをとった。これについては教科が取りまとめの窓口になることから、学習委員会が運営・調整に当たり、実務は当該学年が当たることになった。

二年次は「進路と修学旅行」を主要テーマとし、二学年職員が中心となり実施することになったが、企画立案・ノウハウの継続・各分掌との調整にあたる組織として総合委員会が設けられた。メンバーは二学年より、修学旅行担当者・進路指導担当者・調整を行う教務担当者の三名を原則とした。また次年度のために、一学年より同様に三名を選出してもらい、計六名の構成であった。

主な仕事は、年間計画を年度始めに作成し、それにそって各担当者と二学年職員が実施した。進路に関しては職業選択から大学・専門学校の具体的な内容まで、年間を通して進路実現を手助けするプログラムをおこなった。修学旅行ではインターネットや視聴覚資料を使いながらの調べ学習が中心となった。

各学年の目的に応じ修正を加えながら、現在も同じシステムで実施されている。

国際理解教育推進委員会

原野　隆

当委員会は、オーストラリアのニューサウスウェールズ州ワガワガ市にあるワガワガ高校との交流を中心に据え、国際交流について理解を深め発展させることを目的に一九九五年（平成七年）に発足した。今年で発足後十五年目を迎える。

交流の準備期間として最初の一年が充てられ、一九九六年（平成八年）に実際の交流が始まってから十四年が経過した。最初の五年間は二十周年記念誌にあるが、その後の九年間は多端であった。

ワガワガ高校への派遣という点でこの九年間を振り返れば、二〇〇一年（平成十三年）、二〇〇二年（平成十四年）と順調に行ったが、二〇〇三年（平成十五年）は毒性の強いＳＡＲＳ（新型肺炎）騒ぎで、中止せざるを得なくなった。

二〇〇四年（平成十六年）にやっと交流を再開したが、翌年の二〇〇五年（平成十七年）は先方の学校の事情で交流が行えなかった。その代わりに、旅行社の斡旋でオーストラリア、クィーンズランド州カーブルック市にあるキンバリー・カレッジへ生徒を急遽派遣することとなった。

二〇〇六年（平成十八年）、二〇〇七年（平成十九年）、二〇〇八年（平成二十年）と順調に交流を再開したものの、二〇〇九年（平成二十一年）は事前研修を始めた矢先、新型インフルエンザが世界的に流行する兆しが見られたため、中止決定を余儀なくされた。

ワガワガ高校からの訪問は、原則として隔年実施だが、二〇〇〇年（平成十二年）の訪問のすぐ翌年の二〇〇一年（平成十三年）、また二〇〇四年（平成十六年）、そして二〇〇七年（平成十九年）と訪問があり、楽しく有意義な交流を行えた。二〇〇九年（平成二十一年）はワガワガからの訪問がある予定だったが、新型インフルエンザの影響が出る以前、既に悪化していた世界経済の影響により、残念ながら訪問できないと連絡が入った。

姉妹校交流開始後何年かは順調に推移したが、学校を取り巻く環境の変化とともに国際理解教育推進委員会の活動にも影響が出始めた。少子高齢化と悪化する日本経済の影響である。生徒数の減少は学校規模の縮小となり、経済の悪化と相まって、ワガワガへの短期派遣プログラムの応募者数の若干の減少となった。その間、県からの学校予算は縮小され、引率職員の派遣費用だけではなく、派遣と受け入れに伴う諸経費が賄えなくなりそうな年が何年か続いた。幸いＰＴＡ予算からの支援を仰ぐことができて、今日に至っている。

以前は長期（一年間）の研修生の派遣および受け入れも行ってきたが、ホストファミリーの確保など、先方の負担が大きかった。それに代わり中期研修生として二ヶ月程度の派遣制度を取り入れたこともあったが、ＳＡＲＳ（新型肺炎）騒ぎや、先方の受け入れ体制がとれない年があったことから、ワガワガ高校とは現在は短期研修生の派遣と受け入れのみとなっている。お互い数週間という短い期間の訪問ではあるが、今も大変意義深い交流を続けることができている。

国際理解教育推進委員会の位置づけについて当初は校務分掌の部に準ずる体制が取られていたが、クラス数減

による教職員数の減に伴い、学年の副担業務を兼務するようになった。

ワガワガ高校では創立一〇〇周年の記念行事の一つとして、日本訪問の思い出、本校との姉妹校関係を記念して、「かえで」の記念植樹を計画しているとのこと。本校も三十周年記念の今年、ちょうどワガワガからの訪問に合わせて、姉妹校関係の記念に何かオーストラリアの木を植樹しようと計画を始めていたのだが、インフルエンザ騒ぎで来年度以降の課題となった。

卒業生からはワガワガで過ごしたことが今でも良い思い出となっており、保護者からはこのプログラムがあるために本校を目指す生徒もいると聞くにつけ、地味ではあるが公立普通高校の特色の一つとしてそれを維持することの重要性を改めて認識する次第である。





２００１　オーストラリア研修記より

一年Ｃ組　野々宮　朋子（当時）

私は、家族から離れ、海外で生活をするということはこれで二回目でしたが、やはり、オーストラリアに出発する前は緊張と不安と期待で胸がいっぱいでした。

最初は、三週間のホームステイは「長いなぁ」と思っていました。しかし、実際にオーストラリアで過ごしてみると、一日一日が楽しくとても充実していて、月日の流れるのがとても早く感じられました。私にとってこの夏休み、言葉では言い表すことのできないとても貴重な体験ができました。帰国した今でもオーストラリアで過ごした楽しい日々が鮮明に蘇ってきます。

思い起こせば、七月二十四日、成田を出発し、二十五日、シドニー市内を見学。二十六日、ワガワガに向かう途中、車窓を過ぎる風景は広々としていて、所々に牛や羊の放牧が見られました。電車に六時間揺られ、ワガワガに到着。いよいよ学校でホストファミリーと対面しました。私のホストシスターのサリーは、背が高く金髪で青く澄んだ瞳、私と同じ年齢には思えないほどの大人っぽい女の子でした。ホストファミリーも私を温かく迎えてくれました。

最初は、英語がぎこちなく片言しか話せない私でしたがサリーもお母さんも私にわかるようにゆっくりと話してくれたので少しずつ理解することができました。でも言いたいことがうまく伝えられなく、とても悔しくて情けない気持ちでした。そんな私をいつもお父さんは笑顔でジョークを言ったりして心をなごませてくれました。また、お母さんもお姉さんも親切にいろいろと気を遣ってくれました。日常生活の中で言葉が通じないこともあ

りましたが、サリーにはいつも助けられました。
そして、ワガワガハイスクールでは、たくさんの人たちと出会い、友達になることができました。日本では味わえない心の広さを発見することができました。今までの緊張と不安もすっかりと解きほぐされ、ワガワガハイスクールでは楽しく過ごすことができました。
八月十日、最後の登校日。この日はまだまだ日本に帰りたくないという気持ちで一杯でした。ワガワガで過ごした数多くの思い出がはっきりと目に焼き付いています。
私のホストファミリーは私を家族の一員として優しく接してくれました。そして、笑顔の大切さ、言葉の重さ、人と人とのコミュニケーションのとり方など生きていく上で必要なとても簡単そうで難しいことを学びました。
とうとう、ホストファミリーとサリーとの別れの日が来てしまいました。皆と別れるのがとても悲しく、つらくなってしまい、私の目から、思わず涙がこみあげてきました。私にとってこの二十一日間は大切な宝物です。そして、いまでも忘れることのできない一生の思い出です。そして、これから、英語を勉強して上手に話せるようになり、ワガワガにぜひ行きたいです。
このような素晴らしい機会を与えてくださった先生方、そして、気持ちよく「行って来なさい！」と言ってくれた両親には感謝の気持ちで一杯です。日本では想像もできないくらいの広い国土、大自然の中でたくさんのことを学び、大きな収穫となりました。このホームステイで学んだことを生かして、何事にも頑張っていきたいと思います。

２００２　オーストラリア研修記より
二年Ｄ組　椿　ミツ（当時）

こんな素晴らしい体験をして一生分の幸せと運を使い果たしてしまったな・・・この Wagga での体験を体験記という形で文章にするのは難しく、非常にもったいない気がします。私にとってシドニーやキャンベラなどのどんな大きな都市よりも Wagga が一番最高でした。
私のホームステイ先は dad マーク、 mom のジェーン、 sister のカーラ、アラーナ、アンスティジャ、そして犬のパグズリーの Richards 家。自分の家と家族構成が同じという事で、出発前は不安より楽しみが大きかったです。
一番仲良くなったのは同い年のカーラ。オーストラリアでの思い出を語ってごらん？そう言われてもきっとカーラとの思い出ばかりが出てくると思います。それほどカーラとは仲良くなれました。彼女は前回の短期留学で日本に来たこともあり日本の大好きな女の子でした。お互い、お互いの国の言語に興味があるということでとても気が合いました。毎日学校から帰ってくると、「今日はどうなった？何してたの？」「今日はねぇ・・・。」と喋ってばかりいました。
私が日本から持っていったＭＤがあり、その中でも宇多田ヒカルが大のお気に入りになった様で「歌詞を書いて。」と言われ全部ローマ字で手が痛くなるほど大変だったのを覚えています。でもそのただのノートの切れ端を大事に持っていてくれました。ホームステイの２週間の間２人で毎日欠かさずＭＤを聴きながら歌っていたのを思い出します。日本語や数学の宿題を手伝ったり、英語を教えてもらったり、一緒に勉強もしました。
オーストラリアで自分の英語力を試してこよう！！と

いう決心で日本を飛び出した私にとってとても嬉しい出来事がありました。Wagga に来て約一週間が過ぎた頃、カーラが私のところに来て、「アラーナがね、ミツの英語は話をして言いたい事が伝わる英語だねって誉めてたよ！！私もミツの英語は Wagga に来たばかりの時より上達してきたと思うよ」そう言われ、うれしくてうれしくて素直に喜んでしまいました。その２人の言葉がたとえお世辞だったとしても、私にとっては大きな自信となりました。その反面日本へ帰国したら習得した英語力が抜けていってしまう気がして悲しくなりました。

Wagga High に行った中での主な行事としては、毎日の English Lesson をはじめ、The Rock への岩山登り、キャンベラへの遠足、ハネリカファームステイ、Welcome assembly、Farewell assembly などがありました。

Farewell assembly では、私と鈴木君が英語でスピーチをすることになり、前の晩にカーラと２人で夜中までＢ５ノート１ページ半の英文を必死で考えたことも今となっては良い思い出です。文章を書き始めた最初の頃はカーラが考えていてくれたけれど、途中で「続きは自分でやってみなさい。」と見放され、少ない文法力を絞り出し完成させました。日本語に訳してしまったら小学生の作文のようでした。

当日のスピーチは多分成功を収めました。カーラや原野先生、英語のクラーク先生の助けの入り混じったスピーチだったけれど、後で原野先生を通じて日本語のハリエル先生からお誉めの言葉をいただいた時は、肩の力がすっと抜け「本当ですかあ！？」と言いつつ内心とても嬉しかったです。

スピーチの中で私はこんなことを言いました。「私はホームステイ先で『スパイダー食べる？』と聞かれ驚きました。私はそれを虫のスパイダーだと勘違いしたからです。でもテーブルの上に出てきたのは、バニラアイスの上に炭酸ジュースをかけたアイスクリームでした。」この話をした時生徒たちは笑ってくれました。もしこのスピーチを日本語でしていたらどうでしょう？この時心から「通じる言葉」は素晴らしいと思いました。

Wagga からの日の朝スーツケースに荷物をつめながら、帰りたくない！！と大泣きしてしまいました。駅へ行ってからもずっと涙が止まらず、カーラからは「It's OK.」と何度も何度も抱きしめてなぐさめてくれました。家族も、「そのうち帰ってくるんだからいいじゃない。」と言ってくれました。本当にありがとう。

昨年十一月に国際推進セミナーに参加した時、「人の心は傘。開いて初めて役に立つ」と英語で教えていただいたのを思い出しました。お世話になったホストファミリー、現地でいろいろ助けてくださった先生方や Wagga の生徒さん達、(*)飯田君、そして心から見送ってくれた家族には大感謝です。

「I'll come back someday. Please wait!!」

＊注…本校の生徒で当時長期研修生としてワガワガ高校に滞在していた

2007年（平成19年）ワガワガからの訪問の際の研修日程

11/21	成田空港到着(JL772, 18:10)　第2ターミナル	ホストファミリー宅
11/22	オリエンテーション及び校内案内（①）　日本語授業（②③④）　授業（⑤） 歓迎会　感想文画表彰・認証式（⑥）	ホストファミリー宅
11/23	ホストファミリーと	ホストファミリー宅
11/24	佐倉歴博他訪問	ホストファミリー宅
11/25	ホストファミリーと	ホストファミリー宅
11/26	日本語授業（①②③）　授業（④⑤⑥）	ホストファミリー宅
11/27	日本語授業（①②③）　房総のむら(④⑤⑥)	ホストファミリー宅
11/28	芸術鑑賞会(午前）　成田山新勝寺(午後）	ホストファミリー宅
11/29	ディズニーランド訪問　（成田駅集合）	ホストファミリー宅
11/30	日本語授業（①②③）　授業（④⑤⑥）　Farewell Party(18:00−)	ホストファミリー宅
12/1	成田駅集合（時間は後日連絡）　東京見物(浅草・銀座・原宿etc)	東京の旅館
12/2	築地訪問後京都へ	京都の旅館
12/3	京都	京都の旅館
12/4	姫路・広島	京都の旅館
12/5	京都より東京へ　買い物の後成田空港へ　成田空港よりシドニーへ向けて出発（JL771, 21:25）第2ターミナル18:00集合予定	
12/6	シドニー到着（7：55）　ワガワガ到着(14:00)	

2008年（平成20年）ワガワガにおける研修日程

7/18	終業式　出発20：30(QF022)	機内泊
7/19	シドニー7：20　シドニー市内観光	ホテル泊
7/20	列車でワガワガへ　（7:45⇒13:54）ホストファミリーと対面	ホストファミリー宅
7/21	校舎内案内(含　学校・農場）　授業（午後）	ホストファミリー宅
7/22	英語授業（午前）　授業（午後）	ホストファミリー宅
7/23	英語授業（午前）　Morning Tea　with Wagga students　授業（午後）	ホストファミリー宅
7/24	英語授業（午前）　歓迎集会　授業（午後）	ホストファミリー宅
7/25	ロック登山　Clydesdale Farm訪問　ハネリカファームへ	ハネリカファーム泊
7/26	ハネリカファームより午後学校へ	ホストファミリー宅
7/27	ホストファミリーと(午前）植物園でバーベキュー(午後）	ホストファミリー宅
7/28	英語授業（午前）　美術(Aboriginal Art）（午後）	ホストファミリー宅
7/29	英語授業（午前）　授業（午後）	ホストファミリー宅
7/30	キャンベラ訪問（１日）（キャンベラの動物園・博物館等訪問）	ホストファミリー宅
7/31	英語授業・自由時間・買い物（午前）　スポーツ（午後） Farewell party（夕方）	ホストファミリー宅
8/1	授業（午前・午後）	ホストファミリー宅
8/2	列車でシドニーへ(13:09⇒19:55）シドニー泊	ホテル泊
8/3	シドニー市内見学	ホテル泊
8/4	シドニー発6：45(QF179)　帰国19：00	

短期交流派遣生徒

第6回派遣	第7回派遣	*国内における語学研修*	第8回派遣	*他の学校への派遣*
平成13年度(2001年)	平成14年度(2002年)	*平成15年度(2003年)*	平成16年度(2004年)	*平成17年度(2005年)*
7/24～8/13 12名	7/23～8/12 11名	*7/22～24 4名*	7/21～8/8 9名	*7/21～8/6 6名*
引率 原田 久美子(英語)	引率 原野 隆(英語)	*引率 三橋 康孝(社会)*	引率 原野 隆(英語)	*引率 三橋 康孝(社会)*
2F 鈴木 歩美	2B 秋山 絵莉子	*2D 知留間 真理*	3C 伊藤 この美	*2E 林田 怜美*
2F 鈴木 茉美	2B 高橋 梨沙	*2D 宮内 恵子*	2D 宇佐美 綾	*2E 原 亜里寿*
2G 堀口 知子	2D 椿 ミツ	*2D 渡邉 朋美*	2D 村島 有美	*1A 菅野 真愛*
1C 大竹 真希	1A 永島 奈々	*1A 江島 香織*	2E 川島 めぐみ	*1C 安達 紗由季*
1B 越川 小百合	1B 田口 真希		2E 小林 愛美	*1G 並木 彩*
1C 野々宮 朋子	1C 小西 篤業		2F 野平 由衣	*1G 平野 夏子*
1C 矢葺 菜美	1D 鈴木 正嗣		2G 小倉 奈津子	
1E 大山 惠理	1E 成尾 駿	新型肺炎(SARS)のため募集せず、代わりに夏季語学研修(アメリカンサマーキャンプ:東金青年の家)実施。	2H 平山 奈美	ﾜｶﾞﾜｶﾞ高校の事情で交流できず。代わって、別の高校で語学研修と交流を実施(オーストラリア、ｸｨｰﾝｽﾞﾗﾝﾄﾞ州カーブルック市キンバリー・カレッジ)。
1F 秋葉 みづき	1F 薄井 聡		1D 松本 典子	
1F 髙木 悠子	1G 鈴木 優香里			
1F 湯本 紗織	1H 山田 翔子			
1G 大野 有美				

第9回派遣	第10回派遣	第11回派遣	*募集するも中止*
平成18年度(2006年)	平成19年度(2007年)	平成20年度(2008年)	平成21年度(2009年)
7/21～8/7 12名	7/20～8/6 7名	7/18～8/4 10名	
引率 佐久間 元恵(英語)	引率 原田 久美子(英語)	引率 篠原 隆(理科)	
2D 伊藤 彩乃	2B 土佐 岬	2A 髙野 利保	
2D 伊東 純美	2C 武内 秀美	2A 成嶋 優美	
2D 小坂 早貴	2C 野々宮 悠喜	2B 佐久間 修平	
2D 永島 早織	2E 玉井 洸里	2B 日色 駿	
2E 本宮 しほり	2E 平山 佳那	2B 福田 友香	
2H 吉田谷 華子	2G 二宮 由妃	2G 藤 井 悠	
1A 山口 実佳	2G 峰岸 愛美	1A 堀越 美由紀	
1B 篠塚 奈津紀		1D 橋本 杏子	
1E 荒木 彩夏		1E 武田 留奈	新型インフルエンザのため、募集後実施を取りやめる。代替プログラムは実施できず。
1E 武田 直己		1G 佐熊 香奈	
1H 岩井 聡志			
1H 吉澤 菜々子			

短期交流受入生徒

第4回受入(5名)	第5回受入(12名)	第6回受入(13名)	第7回受入
(2001 9/24～10/12)	(2004 9/20～10/5)	(2007 11/21～12/5)	先方の事情により翌年に延期
引率 Trudi Karhu	引率 Christena Halliwell	引率 Lin Lockwood	
11 Tara Bromham	引率 Trudi Karhu	12 Kathleen Archer	
11 Jaylene Bright	11 Erin Whittiker	12 Tanita Manton	
11 Cara Richards	11 Chloe Gray	11 Rachel Fisher	
10 Willian Poynton	11 Amy Silvester	11 Caitlin McMillan	
10 Katie Humphreys	10 Alana Richards	11 Rebecca Jamieson	
数字は学年	10 Emma Barratt	11 Kirra Beeby	
	10 Rachel Kelly	11 Georgiana Mather	
	10 Desni White	11 Tegan Harrod	
	10 Jessica Watson	11 Kayla Lin	
	10 Louse Woulfe	11 Toby Moffat	
	10 Brooke Durrigo	10 Tegan Holt	
	10 Kirili Westerman	10 Caitlin Overton	
	10 Laura Hughes	10 Sarah Beazley	

長期・中期交流派遣生徒

2I 飯田 将太(長期)	2E 江島 香織(中期)
(02 3/23～03 2/9)	(04 7/21～9/12)

長期・中期交流受入生徒

Lachlan McKenzie	Anday Altas
(ﾛｸﾗﾝ･ﾏｯｹﾝｼﾞｰ)	(ｵﾝﾃﾞｨ･ｱﾙﾀｽ)
約4ケ月	約3ケ月
(01 7/22～11/3)	(02 4/12～6/27)

その他受入生徒

Jason Von Seth(米国)	John O'Connor(米国)	Benjamin Overton(米国)	Erin Brown(米国)
(02 6/28～7/5)	(04 6/23～7/2)	(06 9/17～07 6/20)	(06 9/17～07 2/1)
依頼団体・・YFU	依頼団体・・YFU	依頼団体・・文際交流協会	依頼団体・・文際交流協会

国際交流委員長(PTA)

平成13年度(2001年)	志鎌　留美子
平成14年度(2002年)	大山　孝夫
平成15年度(2003年)	小西　近子
平成16年度(2004年)	小西　近子
平成17年度(2005年)	河田　純子
平成18年度(2006年)	茂呂　実千代
平成19年度(2007年)	岡部　千恵子
平成20年度(2008年)	佐久間　幸恵
平成21年度(2009年)	佐久間　幸恵

国際理解教育推進委員会(職員)

平成13年度(2001年)	平成14年度(2002年)	平成15年度(2003年)	平成16年度(2004年)	平成17年度(2005年)
花香　武男	原野　隆	原野　隆	原野　隆	原野　隆
戸村　玲子	花香　武男	野口　久美子	野口　久美子	原田　久美子
野口　久美子	野口　久美子	三橋　康孝	三橋　康孝	三橋　康孝
根本　巖	三橋　康孝	鎌田　千絵子	鎌田　千絵子	鎌田　千絵子
赤尾　和輝	鎌田　千絵子	片野　利治	飯森　秀樹	飯森　秀樹
原野　隆	松永　博一	松永　博一	片野　利治	片野　利治
椎名　泉	酒井　滝雄	薄井　喜次	松永　博一	池畑　羊一
金子　佐知子				
酒井　滝雄				

平成18年度(2006年)	平成19年度(2007年)	平成20年度(2008年)	平成21年度(2009年)
原野　隆	原野　隆	原野　隆	原野　隆
原田　久美子	原田　久美子	原田　久美子	原田　久美子
三橋　康孝	三橋　康孝	三橋　康孝	三橋　康孝
鎌田　千絵子	鎌田　千絵子	鎌田　千絵子	仲澤 信明
飯森　秀樹	石倉　裕之	石倉　裕之	小出 徳江
佐藤　敏之	佐藤　敏之	福田 克行	綿貫　清
池畑　羊一	池畑　羊一	篠原　隆	福田 克行

(順不同)

人権教育推進委員会

白川　仁

人権教育推進委員会は同和教育推進委員会が改称したものである。メンバーは社会科主任、学年副主任、教務部副主任で構成されている。生徒に広く人権問題に関する教育を行うために組織されているものであり、日常の資料の収集と年に一、二度の全校集会での一斉指導および年に一、二度の職員向けの研修を活動の内容としている。本校の人権教育の基本方針および指導計画は次の四つである。

①日本国憲法における基本的人権の精神を尊重し、あらゆる偏見や差別をなくし、民主的な態度・意欲を養うとともに、他人への思いやりのある人間を育成することを目標とする。
②同和問題だけでなく、外国人や身体障害者などへの偏見をなくし、人権意識の向上を目指す。また、いじめやセクシャル・ハラスメントなどの問題への啓発を図る。
③二学期末に、生徒・職員対象の人権教育講演会を実施し、人権と差別に対する正しい理解を図るとともに、生徒・職員の人権意識の高揚をめざす。
④生徒・職員対象のセクシャル・ハラスメントに関するアンケート調査を実施する。

次にここ数年の取り組むべき重点課題について箇条書きしてみたい。

①最近の生徒は一般的に、以前から比べれば人権に対する意識は高いが、必ずしも他人の人権に対する配慮を持っているとはいいがたい。したがって、社会性を身につけていく中で人権問題を考えさせる必要がある。
②高度情報化社会の到来と共に、携帯電話やインターネットなど、掲示板への書き込みをめぐるトラブルや、匿名性を悪用した嫌がらせなどが日々、問題となっている。本校の生徒も度々トラブルに巻き込まれている。そのような状況の下で、高度情報化社会における人権教育の方法を探る必要がある。
③国際空港のある成田には、多くの外国人が観光客として滞在しているだけでなく、留学生や勤労者として生活している。本校においても保護者が外国籍を持つ生徒が多数在学しており、現時点で差別の被害者になるなどの問題をかかえているわけではないが、問題発生の芽がないわけではない。国際都市成田として地域ぐるみで外国人に対する偏見や差別をなくす教育に取り組む必要があり、本校人権教育もその一環として位置づけて実りある人権教育に邁進していきたい。

以上、雑駁ではあるが、ここ数年の本校の人権教育の概要について記してみた。



「黎明祭」この十年

半田　勉

平成十一年度　（九月十日、十一日）
テーマ「花鳥風月　～自然との共存～」
実行委員長　木村　悦子

平成十二年度　（九月十四日、十五日）
テーマ「２１世紀への飛躍　～１２００名の団結～」
実行委員長　五十嵐　慶彦

平成十三年度　（九月十四日、十五日）
テーマ「∞　～無限大～」
実行委員長　千葉　久美子

平成十四年度　（九月十三日、十四日）
テーマ
「ＮＡＲＩＫＩＴＡ２００２　～想像から創造へ～」
実行委員長　田中　肇

平成十五年度　（九月十二日、十三日）
テーマ「輪　友情、団結、協力」
実行委員長　福島　静香

平成十六年度　（九月十日、十一日）
テーマ「駆け抜けて青春　～ハッスルハッスル～」
実行委員長　上岡　夕夏

平成十七年度　（九月九日、十日）
テーマ「愛・北高博　～利益よりサービスを～」
実行委員長　斎藤　礼道

平成十八年度　（九月十五日、十六日）
テーマ
「団結祭りじゃ！ワッショイ・ワッショイ♪」
実行委員長　古林　恵

平成十九年度　（九月十四日、十五日）
テーマ
「成北アワー　～みんなとボクと時々、先生～」
実行委員長　北村　健太

平成二十年度　（九月十二日、十三日）
テーマ「北－Change the world－」
実行委員長　八代　愛可里

〔テーマについて〕

この十年間の黎明祭のテーマをこうして並べてみると、なかなか面白い。そもそも「テーマって何のために決めるの」という素朴な疑問も湧き起こる。生徒の中にも、また多分職員の中にも、「テーマを決めても、どうせそれにもとづいて発表団体の企画が行われるわけじゃないから、意味がない」という意見もある。確かにそのとおりかもしれない。しかしこうして並べてみていると、多少なりとも各回の黎明祭テーマは、その時の社会の雰囲気を繁栄しているように思える。このあと二十年、三十年を経た後に並べてみると、より一層そのような感慨を持つように思う。ちなみに、二十年度のテーマは、アメリカ大統領オバマ氏が選挙運動中に盛んに使用した「Change」という言葉の影響を受けているようである。

〔企画について〕

平成十三年度の企画の内訳は、二十九クラス中四クラスが調理、七クラスが食品販売、五クラスが商品販売、十一クラスが遊戯、一クラスがダンス発表、そしてアーチ製作が一クラスであった。これに対して平成二十年度は、二十四クラス中三クラスが調理、九クラスが食品販売、四クラスが商品販売、八クラスが遊戯であった。企画内容の傾向が、この十年間で、大きく変わったということはない。

〔課題〕

文化祭の内容が、その名前にふさわしいものではなくなったということが言われるようになって久しい。確かに”文化の香りが漂う”ような企画は稀少である。これは本校の文化祭においても同じことが言える。企画団体が一つのテーマについて研究・追及し、その成果を発表する場としての文化祭は、わずかに文化系の部活動や同好会・愛好会の企画に見られる程度である。それでは、本来、文化祭に求められていた姿に向かって、本校の文化祭を変えていくべきであろうか。価値観が多様化し、生徒の興味・関心が様々な方向に向いている現在、一つの方向にクラスのメンバーを向けることは、クラスのリーダーとなった生徒には大変な労力を要することだろう。一般的に、若者の社会に対する連帯感が希薄化していると言われる現在、文化祭も生徒が楽しめる”祭”に変身する時期が来ているのかもしれない。





球技大会・スポーツ大会

石井　慎之助



球技大会・スポーツ大会は、スポーツを通して、活気ある学校作りと生徒相互の仲間意識、また、クラスの団結を図ることを目的に行われている。

球技大会は、一学期に、新入生歓迎の意味を含め、三学年一斉にクラス対抗で実施される。競技種目は、男子の部（サッカー、バスケットボール、テニス）、女子の部（ドッヂボール、バレーボール、卓球、バスケットボール）の計七種目で行われている。

スポーツ大会は、二学期に二日間の日程で、文化祭と連動で実施される。また、体育祭の要素も兼ねて、クラス対抗リレーとクラス対抗大縄跳びを取り入れている。クラス対抗リレーは、一日目に学年対抗の予選ラウンドを実施し、タイム順に上位から八チームずつに分けて、翌日の決勝ラウンド（A組・B組・C組）に進む。決勝ラウンドは学年関係なく行われるため、三年生の維持とプライドを懸けた熱い戦いが展開される。予選ラウンド、決勝ラウンドとも、ボーナスポイントが与えられるため、自クラスを代表する選手を応援する姿は、熱が入り、気持ちがこもっていて、感動があり、クラスの団結力を垣間見ることが出来る。クラス対抗大縄跳びにおいては、跳んだ回数がそのままのポイントになるため、クラスによっては、朝早くに集まって練習をしたり、放課後に練習したりと取り組んでいる姿をグラウンドで見ることが出来る。

競技種目は、一日目は、男子の部（ソフトボール、バレーボール、卓球）、女子の部（バスケットボール、ドッヂボール、テニス）が行われる。二日目は、男子の部（サッカー、バスケットボール、テニス）、女子の部（キックベース、バレーボール、卓球）が行われている。球技大会・スポーツ大会とも、各競技、毎試合ごとに勝ち点を競い合い、一位～三位にボーナスポイントが与えられ総合得点でクラス優勝を目指すことで、熱の入ったゲームが展開されている。

平成十八年度から、球技大会・スポーツ大会とも、男子ソフトボール、バレーボール、女子バレーボールの優勝チームと「スペシャルマッチ」と称して、教職員の有志を募って教職員チームとの対戦も開催されるようになった。教職員チームも生徒には負けられないという意地と誇りをかけた熱い戦いを繰り広げ、おおいに盛り上がりを見せている。

このように、年々各競技種目や競技方法を改善しながら取り組んできているが、近年、各競技とも生徒たちの技術レベルや一生懸命最後まで戦うという姿勢が試合のレベルを引き上げ、熱戦や接戦が展開されている。また

クラスメイトの熱い声援やクラスの団結力が会場を盛り上げている。このことからも、生徒の心に残る学校行事の一つとなっていることは間違いないと確信している。

そして、大会を成功させる上で、生徒会や体育委員、各運動部活動の生徒たちの前日までの準備や当日の審判や進行など、大会を陰で支えている生徒たちの存在なくして成り立たないことを決して忘れてはならない。そういった裏方の仕事があることを知り、感謝の気持ちを持って、精一杯取り組むことで、生徒一人ひとりが主役になれるのだと思う。

最後に、スポーツを通してたくさんの事を学んでいくことが出来る場として、この体育行事が、更に改善・発展し、今後も継続されていくことを願っている。







マラソン大会

東福　正彦

毎年二月、一・二年生を対象に学校を発着点として市内ニュータウン地区の「緑道」をコースにして行われてきた。男子は中台運動公園（現・サウンドハウススポーツセンター）付近を周回して学校にもどる約九ｋｍのコースで、女子は男子のコースの途中から、中台小学校付近を周回して学校にもどる約五ｋｍのコースで行われている。年によっては同日に中台運動公園で他の団体が行事を行った影響でコースを変更して実施したこともあったが、それ以外の年は毎年同じコースで実施され、優勝者の記録は男子が三三分～三七分程度、女子は二三分～二七分程度となっている。

生徒たちは学校を出発後、玉造一丁目の住宅街から玉造郵便局を左手に見て走る。その後は玉造小学校、玉造中学校、吾妻小学校を経て、中台小学校と成田市保健福祉館の間を走る。ここから男子は中台運動公園方面に向かい、女子は学校方面にもどる。男子はその後、中央公民館を右に見て歩道橋をわたってから右に折れ、加良部小学校、加良部中央団地を経て成田警察署と成田国際高校の間から地下道をくぐって中台運動公園に入る。陸上競技場と野球場の間を通り、水泳場の横の歩道橋から運動公園を後にする。向台小学校と公務員住宅の間を抜け、中央公民館を左に見ながら中台小学校へ。ここで女子のコースと合流し、吾妻二丁目付近の地下道をくぐる。この後往路に合流、元のコースを逆走して学校にもどる。

一・二年生は例年、三学期の体育の授業はマラソン大会の練習を兼ねて学校周辺の三～五ｋｍのコースで持久走を行っており、生徒たちは大会だけでなく、この授業中より各自の能力に合わせ、皆、一生懸命走っている。





校外学習（遠足）のあゆみ

川島　洋子

二十周年記念誌に、平成十二年度までの校外学習についてまとめられているので、平成十三年度からの校外学習について述べる。

平成十三年度入学生から平成二十一年度入学生までの九年間の校外学習の歴史には、二つの大きな変化があった。

その一つは、各学年十クラスであった定員が、平成十三年度入学生は九クラス・平成十四年度入学生以降は八クラスとなっていったことに伴う変化である。平成十四年度の職員会議にて、春の学校行事についての次のような提案が、学年主任会から出された。

芸術鑑賞会の会場である国際文化会館に全校生徒の座席が確保できるようになり、芸術鑑賞会の日に、一年生だけ遠足を実施する必要がなくなった。そこで、秋に芸術鑑賞会を全校生徒対象に実施し、春には、「一学年は親睦を主な目的とした遠足」・「二学年は修学旅行の予行を目的とした遠足」・「三学年はこの時期に必要な独自の学年行事」を実施したいという内容で、承認された。以来五年間この方針で四月末に実施され、所期の目的を達成する効果があったと思われる。なお、三年生の独自の学年行事の内容は、校内全体を使用しての大規模な「進路ガイダンス」を行うことで五年間実施された。

二つ目の変化は、平成十九年度の学年主任会からの職員会議への提案である。内容は、平成二十年度から、一年生の遠足のみを存続させ、二年生三年生は、実施しない。変更理由は、授業時間の確保・金銭的負担の軽減・現地集合解散の責任の三点であった。職員会議の承認を経て、平成二十年度から一学年のみ遠足が実施され、二学年・三学年は平常授業を実施している。

班決め・準備などの苦労が吹き飛ぶほどの生徒の明るい笑顔が、どの校外行事でも印象的である。翌日からの学校生活の密度は、確かに前日までとは違っており、集団や社会の仕組みを学びとっている。





校外学習（遠足）のあゆみ

実施年・月	行き先		
	1年（学年主任）	2年（学年主任）	3年（学年主任）
平成13年・4月	潮干狩（赤尾）	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会
平成14年・4月	潮干狩金田海岸（松永）	芸術鑑賞会	芸術鑑賞会
平成15年・4月	東京ディズニーシー（片野）	横浜（松永）	進路ガイダンス（赤尾）
平成16年・4月	東京ディズニーシー（飯森）	横浜（片野）	進路ガイダンス（松永）
平成17年・4月	東京ディズニーシー（池畑）	横浜（飯森）	進路ガイダンス（片野）
平成18年・4月	東京ディズニーランド（佐藤）	横浜（池畑）	進路ガイダンス（飯森）
平成19年・4月	古宇田農園（石倉）	お台場・浅草（佐藤）	進路ガイダンス（池畑）
平成20年・4月	古宇田農園（福田）		
平成21年・4月	古宇田農園（綿貫）		

＊　記録文書不在のため、平成13年・14年の2年・3年は、不明。

生徒作文

成田北高校に入学して

一年　三浦　由智

私はこの成田北高校に入学して、自然が多く設備も充実しており、とても過ごしやすい学校だなと感じています。また、部活動を頑張っている先輩方も多く見られ、良い成績を残している部もあり、とてもすばらしい学校だと思っています。

私たち一年生は入学して約三カ月が過ぎ、高校生活にも慣れましたが、まだ体育祭や黎明祭などの行事も数多く残っています。そのような行事や部活動、学習などに全力で取り組み、一日一日の生活を大切に過ごすことが出来れば充実した価値ある三年間になると思います。

そのために、学校を休むことの無いように努力し、日々の授業を真剣に受け、進路決定に向けて頑張っていきたいです。そして、この成田北高校でたくさんの思い出を作り、最後に笑顔で卒業したいと思っています。

新入生から見た成田北

一年　山口　ひとみ

私は今年の春に成田北高等学校に入学しました。新しい学校生活がスタートしてから早四ヶ月目になりました。クラスの雰囲気にも慣れてきて、充実した毎日を過ごしています。これも、去年の二月に成田北高等学校に合格して手に入れた毎日だと思います。

私が成田北高等学校を受検した理由は、行事が盛んで、とても盛り上がると聞いたからです。私は去年、成田北高等学校の文化祭へ行きました。その時に生徒のみなさんがとても楽しそうで、いきいきとした姿が印象に残りました。

世間の人が思う成田北高等学校の生徒は、「服装がだらしない」や「自転車の乗り方が悪い」など、良くないイメージがあると思います。

私は入学して、部活動のマネージャーをしています。毎日練習に励み、日々努力している先輩方の姿を見ると、試合で勝利した時の感動は忘れられません。このように、どの部活動も盛んで、先輩後輩の仲が良く、楽しく活動しています。

こうした良い点を大切にしながら、充実した北高生活を送りたいと考えています。



やさしさ

二年　三橋　弘洋

皆様にとって、成田北高校はどのような学校なのだろう。皆様の目に、私たち北校生はどのように映っているのだろう。私にはわかりませんが、私は自分の高校である成田北高校を誇りに思います。

なぜでしょう。明確に何か賞をとったということでもないし、ずば抜けた学力があるということでもありません。実際、私がこの高校に進むと決めた主な理由は、立地条件です。

私が北高を誇りに思うのは、北高生が「やさしさ」を持っているからです。

前にこのような出来事がありました。ある中学校の生徒が自転車に乗っていて転んでしまったそうです。そこに偶然通りかかった北高の女生徒二人が、声をかけ、励ましながらその中学生を学校まで送り届けました。

これが北高生の「やさしさ」です。もちろん他の人でもそうしなければと思う人はいるでしょう。しかし、実際に行動おこすことができる人は数少ないと思います。

北高生全員が、このような「やさしさ」を持っています。辛いことがあった友達をいたわったり、励ましたりする思いやりを持っています。

私は成田北高校が大好きです。だから皆様にも北高を誇ってほしいと思っています。そして、皆様に誇らしく思って頂けるような学校になれるように、私も一在校生として尽力していきます。

成田北高校

二年　一鍬田　美幸

成田北高校に入学し、一年が経ちました。一年間はあっという間でした。成田北高校は行事がたくさんあり、どれも思いで深いものです。入学後すぐにあった校外学習では、みんなでカレー作りといちご狩りをして、みんなのことを少しずつ知ることができた行事でした。

春の球技大会では、私はバレーボールに参加して、同じクラスに元バレー部の人達がいたこともあり、一年生ながら準優勝したことを覚えています。秋のスポーツ大会は、たくさん練習をした結果、総合五位に入賞しました。この行事のおかげで、私たちのクラスは今まで以上に団結力が増し、何事もみんなで協力することができるようになりました。

二年生になり、修学旅行がだんだん近づいてきて、今からとても楽しみです。私たちは事前学習で沖縄について調べています。知れば知るほど、早く行きたい、色々な体験をしたいと思っています。充実した修学旅行になるようみんなで協力し合いたいです。



龍宮城

三年　田口　紫穂

この成田北高校は、とても自由な学校だと私は思います。それは進学校としてあまり良い事ではないのかもしれません。しかし、自由であるからこそ私たち生徒は自身で考え、行動するという能力を身につけることができました。

北高が自由である最大の要因は、先生と生徒の間に隔てが無いことです。確かに立場的な違いはありますが、それ以上に授業以外でも例えば廊下などで笑いあい話ができるのは素晴らしい事だと思います。そのコミュニケーションのおかげで生徒は先生に反抗することもなく、気兼ねなしに何でも相談できます。

そして私自身が感じる学校生活の過ごしやすさは、個性豊かな北高生からきているのだと思います。本当に色々なタイプの人がいて、自分では考えもつかなかった発想や思想に感動し、皆が違う意見を持っていることで自分一人の考えから多様な広がりが生まれます。そして無数の方向性から相手を見てその人を認めることができ協調性、生活の安定に繋がっているのではないでしょうか。

私は三年になって心から「この学校に入って良かった」と思えました。それは、もちろん三年時だけが良いのではなく、今までの日常を振り返ると毎日が充実していて、あっという間に自分が三年になっていたからです。一日・一年の流れが遅いようで早い。時間さえも自由なこの学校は、まるで龍宮城です。

部活動から学んだ事

三年　牧野　里美

私が高校に入学して一番やりたかった事は部活動です。私は、ハンドボール部に入部しました。高校の部活動は中学とは違った雰囲気で、初めての大会はとても緊張しました。一年の時は仕事や練習を覚える事に必死になりました。二年生では後輩ができて嬉しい反面、戸惑う事も多くありました。そして三年生では、先輩達がいなくなって初めて先輩達の大きさを身をもって感じました。

練習や大会ではすべてが喜びばかりではなく、悔しいと思う時もあり、苦しいと思う時もありました。仲間とは様々な苦楽を共にしてきました。すれ違った事もあれば、ぶつかり合った事もありました。でも、一緒に過ごしてきた仲間だからこそ、辛かったことも、「あの時はさー」。」なんて笑って言えるのだと思います。

高校生活は驚くほど早く、あっという間です。でも楽しかったり、夢中になった思い出は、ずっと心に残ると思います。皆さんは何か一つでも心に残っている事はありますか？私の場合はそれが部活動でした。部活動は私の青春です。そんな「青春」と思えるような事を見つけて、充実した高校生活を送ってほしいと思います。

生徒座談会「在校生が語る成田北校」

半田　勉

出席　１Ｆ竹澤真帆　１Ｈ飯島　誠
２Ｂ北崎真和　２Ｅ坂巻一樹
２Ｈ大柳杏奈　３Ａ天沼久八
３Ｂ随行　廉　３Ｅ佐谷朋実
３Ｅ森田将平
司会　半田　勉

司会　―それではこれから座談会を始めます。まず最初に、皆さんが入学前に成田北高校に対して持っていたイメージについてお聞きしたいのですが。

竹澤　―私はちょっとマイナスのイメージを持っていました。校則が緩くて、ちょっと落ち着かないような…。

飯島　―自分には姉が北高にいるんですけど、校則が緩いとは言ってました。で、スカートの長さとか中学とは違って緩いから、ちょっとは楽かなと思って入学しました。

天沼　―僕は一人一人が個性を生かせる学校かなと思っていました。

随行　―入学前の私の印象は、うーん、なんだろ…、「ど」が付くくらいの普通の典型的な学校くらいの印象しかなかったですね。どちらかというと、良いイメージですね。

北崎　―個人的には良いイメージなんですけど、全体的にはあまり良いイメージではないです。

坂巻　―「いたって普通」みたいな学校で、あんまり荒れてるとかいう感じは持ってなかったですね。



大柳
―うーん、何も感じてなかったです。
―（一同、しばし爆笑）
大柳
―特には何も感じてなくて、普通の学校…。
司会
―それでは、入学した後の感想はどうかな…。
森田
―えーっと、入学前はさっきみんなが言
―ってたとおり、ちょっとマイナスのイ
―メージもあったけど、それでも生徒達
―は県外も含めていろんな所から集まっ
―て、三年間通しても知らない人がいる
―くらいいろんな人がいる学校で、みん
―なのいろいろな思いとかも強いし、そ
―れぞれの考え方もあったりして、それ
―が自分の中に吸収されて、すごい充実
―した三年間だったと思います。
佐谷
―入学前は姉がこの学校に通っていたの
―で、すごい楽しそうに毎日充実してい
―るんだなって感じで生活しているのが
―私にも分かったので、私も入学してみ
―てすごく…、私は部活をしているの
―で、中学校とは違った部活の進め方と
―いうかやり方があって、すごく充実し
―た生活を送っています。
司会
―うーん、みんなそれぞれこの学校に入
―って、いろいろなことをやっていると
―思うんだけど、ちょっと話してもらえ
―ると…。
竹澤
―私は部活をやってないので、特にこれ
―をやったというものは…。
飯島
―自分は部活をやってて、部活を始めて
―から…
司会
―何部？
飯島
―バレー部です。で、それから先輩とよ
―く接するようになって、先輩は優しか
―ったり、練習の時は少し厳しいんです
―が、優しく接してくれて充実していま
―す。
北崎
―中学はサッカー部で、高校からバスケ
―部で、ほんと北高に来て、顧問の先生
―がバスケの経験者じゃないんだけど、
―その分先輩が自分に教えてくれたん
―で、いろいろ吸収できたということが
―ありました。
坂巻
―自分は、小学校から野球をやってて高
―校で野球部に入って、顧問の先生も甲
―子園に出ていたんで、今も、辛く楽し
―く頑張っています。
大柳
―中学校で吹奏楽部に入っていたんです

―けど、それが結構厳しくて辛かったんで、それでちょっと気分を変えて運動部に入ったんですけど、先輩も優しいし…、少林寺拳法ですが、今年は八月に全国大会にも行くし…。

佐谷

―私は中学校の時から、ずっと音楽…吹奏楽をやっていて、高校でも吹奏楽部に入って、…で、中学校の時はやっぱり厳しかったのですけど、高校は先輩達もすごく優しくて、中学校とは違った良い意味での上下関係が高校にはできてるなあと思いました。

森田

―えーっと、みんな結構部活のことを言ったので、それ以外のことで、…自分では高校でしかできないことがあると思い、音楽に触れ合ってるので、自分のオリジナルの曲を作って、ほとんど毎週日曜日に成田駅西口で募金活動をして、歌を歌って人を救うっていうことを今やっていまして、その集めたお金でボランティアの団体に寄付しています。

―（「すげぇーチャリティだな」の声あり）

随行

―私は中学から剣道を始めて、高校に入ってもなぜか剣道を始めちゃって、一年の時は全く何も活動してなくてダラダラでしたけれど、二年になって体育科のＳ先生が来て、それからもう毎日地獄のようにああだこうだ言われながらやってたら、最近県大会に行けて、ヤッタアとなってる…。まあＳ先生は佐藤先生なんですけどね、そこで何とか県大会に行けてまあ、二年から毎日地獄みたいでやだなあと思ったけど、結局こういうふうに迎えて良かったなあと今は思ってます。



天沼
―自分は中学校の時に生徒会長をやって
―いて、高校入ってから先生に生徒会に
―推薦されて、二年で会計になって、今
―生徒会長をやっています。
随行
―会長をやってて楽しいですか。
天沼
―最初は辛かったですけど、今はやりが
―いのある仕事だなと思っています。
森田
―今年の文化祭は、どんな感じになると
―思いますか。
天沼
―今年の文化祭は、まあ例年以上に盛り
―上げたいと思っているんで、期待して
―いてください。
森田
―竹沢さん、文化祭はどんな感じになる
―と思いますか？
竹澤
―えぇっ…。
―（「まだ経験してないもんね」の声あり）
竹澤
―文化祭はやったことがないので楽しみ
―だし、いろんな先輩達のクラスに行っ
―て楽しみたいなと思います。

司会
―学校で一番楽しいことって、どんなこと？
―（「昼メシ」の声あり）
森田
―友達と話しているときとか…。
天沼
―部活やっている人は部活とか…。
司会
―それじゃ最後に、成田北高校は今後こ
―んなふうになって欲しいとか、こんな
―学校になればいいんじゃないかな、と
―言うことを三十周年に当たって聞きた
―いんだけど…。
随行
―来年だか再来年だか、近くに駅ができ
―るけど、まあそれがどっちに転ぶかわ
―からないけど、駅の近くの高校になる
―わけで、今も活気があるけど、今以上
―に活気のある学校になって、「あの高
―校に行きたい」と思う子が増えると、
―今以上に楽しい、明るい学校になると
―いいと思う。
佐谷
―さっき入学前の印象を聞いた時、校則
―が緩くてだらしないということが出た
―けど、一般的に見てだらしないと思わ
―れている学校だったけど、最近、服装
―指導とかが始まって、女子のスカート
―の長さとかがよく言われてるんですけ

―ど、そういうのを直していって、だら
―しない雰囲気が消えて、明るくて仲良
―くて、そういうイメージだけが残って
―いく学校になればいい。

飯島
―自分が思うに、一般の人は、服装が乱
―れてる、信号無視が多いなど、北校は
―少し悪いイメージに思われている気が
―します。だから学校外でも服装をきち
―っとしたり、信号無視も少しずつなく
―していけば、保護者や近所の人からの
―思われ方がよくなって、周りから認め
―られるようになると思う。

北崎
―やるときにやって、やらないときはや
―らない、自分達で気づけるような…、
―今は先生達があだこうだと言ってる
―じゃないですか、それを自分達で気づ
―いて直していけたら、北高はもっと良
―くなっていけると思う。

坂巻
―最近、物がなくなったりすることがあ
―ったけど、そういうことをなくして、
―みんな明るくて平等という北高の良い
―ところを残していけばいいと思う。

竹澤
―説明会の中で、今春の卒業生は大学進
―学の状況が良かったということがあっ
―たけど、私も進学したいと思っている
―ので、全体的に進学する雰囲気の学校
―になればいいと思います。

大柳
―私は普通の学校であればいいと思う。
―細かいことだと、トイレが臭いのとパ
―ンだけじゃやだ。

随行
―アイスの自販機が欲しい。

森田
―購買がもっとでかくなって欲しい。

随行
―女生徒のスラックスを作ったのだか
―ら、学校指定のカーディガンを作って
―欲しい。今はベストだから。

森田
―昔からの流れがあるのに、三ヶ月くら
―いでパッと変えようとするのは絶対無
―理だと思うんですよ。今までこうだっ
―たのに、何で私たちの時に…ってなっ
―て、みんな反発して外ではじけちゃう
―から逆効果だと思う。厳しくするんじ
―ゃなくて、それに替わる何かを考えな
―いと、厳しくするだけだとあまりうま
―くいかないと思う

随行
―僕は先生方が服装指導をするのはいい
―と思います。義務教育じゃないけど公
―共ん機関の学校ということだから、ちゃ
―んとしたほうがいいと思うので、毎日
―ではいやだけど、月に一回くらいはい
―いと思います。

北崎
―一人一人が意見を持っているので、いい学校です、ここは。

随行
―おい、それ一番最後じゃない。

天沼
―服装などもそうなんだけど、最終的にみんなが自慢できるような学校になれば、いいんじゃないですか。まだ、そこには至っていない。例えば保護者や近隣の人からの苦情などもあるじゃないですか。自転車なども…、時間はかかると思うんですけど、少しずつちょっとずつでいいから直していって、最終的にはみんなが自慢できるような、「北高」というブランドを作っていけばいいんじゃないかと思う。

佐谷
―「進学、進学」というんじゃなくて、就職の人も北高は多いから、社会に出たときに北高の出身者は認められる…、就職が多いことも北高のいいところだと思うんです…進学だけじゃなくて。

森田
―自分のやりたいことをできる学校で十分です。卒業生の百％、九十％が進学とか、スポーツ頑張ってますとかだけじゃなくて、スポーツ頑張る人は頑張る、家のために頑張る人は頑張る、就職したい人は就職する、自分のやりたいことができる学校が北高だから、そのスタンスを崩さないでいったほうがいいと思う。

司会
―それじゃ、予定時間がきたけど他に何か特に言いたいことはありますか。

森田
―なんだかんだ言って、みんな卒業したら後輩とかに「北高に行こうと思ってるんですけど」って聞かれたとき、「いいと思うよ。すげえいいよ。」って絶対誰もが言うと思うんですよ。「やめとけ」とは誰も言わないような気がするんですけど。

随行
―三十周年を迎えたうちの三年しか過ごしていないけど、いい学校だと思いますよ。

約三十分間、出席者はそれぞれに成田北高校の将来を考えて真剣に話し合いました。
出席者の皆さん、ありがとうございました。

校内読書感想文画コンクール

松永　博一

校内読書感想文コンクールは、今年で二十九回に、そして校内読書感想画コンクールは二十三回を数えます。北高の創立以来の伝統的な行事の一つと言えると思います。ここ数年、いろいろな理由で、このコンクールの実施の是非について、職員会議で議論になりました。生徒全員に出品させる内容のため、色々と意見が出されました。結局、議論がつくされた後、今後も継続して実施し、生徒への読書指導を強化してゆくことになりました。コンクールの運営手順ですが、まず、全生徒に夏休みの課題として、一冊以上の本を読むように指導した後、その中の一冊の感想を文章か画に仕上げて、九月に提出させます。感想文は、担任と副担任がその作品を読み審査して、数冊、二次審査にまわします。二次、三次審査は図書部の職員で行い、優秀作品を表彰します。感想画の方は、提出された全作品を芸術科職員と図書部の職員で、審査をして優秀作品を表彰します。どちらも優秀作品を千葉県のコンクールに出品します。

「読書離れ」「本離れ」と言われて、久しいのですが、学校での読書指導は粘り強く続けていかねばならないと思います。このコンクールも、その一巻として今後も継続してゆければと思っています。次に、この十年の県コンクール出品者の成績を紹介します。

感想文

平成十二年度	佳作	國分美那子
		三橋陽子
		佐久間智子
平成十三年度	佳作	小野貴行
		菊池優子
		出山実希
平成十四年度	佳作	鵜沢美奈子
		兵動孝尚
平成十五年度	佳作	阿部　護
		飯野有紀
平成十六年度	佳作	秋田恵理
		岩内理恵
		川村波瑠奈
平成十七年度	佳作	大木宏美
		高野美都
		笹川祥太
平成十八年度	佳作	東原美里
		畑　絢子
		笹川祥太
平成十九年度	佳作	諸井実理
		野々宮悠喜
平成二十年度	佳作	馬場綾香

感想画

平成十二年度	優秀賞	大竹　郁
	佳作	渡邉美幸
平成十三年度	優秀賞	近藤　薫
	佳作	村木夏菜子
平成十四年度	佳作	村木夏菜子
平成十五年度	佳作	椎名あゆみ
平成十七年度	優良賞	浅井優希
	佳作	中村瑞穂
平成十八年度	佳作	太田蛍子
平成十九年度	佳作	江口紗也佳
		太田蛍子
平成二十年度	佳作	高橋ひかり

たが、職員の中からは厳しい御意見もいただきました。

近年、芸術分野の細分化、そして方法について深く検討する必要があると感じているところです。実施時期は、春から秋へ、そしてこの二年は年末になりました。他の行事や授業確保の観点からです。この十年間、年に一度、全生徒、職員、そして、少数ですが保護者の皆様と一緒に一日、芸術を鑑賞できたことは有意義だったと思います。この十年間の内容について次の表から紹介いたします。

芸術鑑賞会

松永　博一

本校では、学校創立より、全生徒に、本格的な芸術や文化に直接ふれる機会をもつ目的で、毎年、芸術鑑賞会を実施してきました。卒業までの三年間に、さまざまな芸術や文化にふれることができるように、演劇、音楽、古典芸能を順に鑑賞するようにしてきました。

約一年前より、図書部の職員、図書委員会の生徒達を中心に、全職員、又、保護者の皆様の意見も、お聞きしながら次年度の公演内容を決定してきました。実施後のアンケート調査によると、生徒達の反応は概ね良好でし



芸術鑑賞会過去10年間履歴

第19回	**ミュージカル鑑賞会**	平成12年11月2日	成田国際文化会館
劇団、ふるさときゃらばん「噂のファミリー・一億円の花婿」。創立二十周年記念として公演、午前、午後の二回上演。			
第20回	**音楽鑑賞会**	平成13年4月27日	成田国際文化会館
ラテンバンド「シャンゴ」。日本中にサンバを広めたフランシス・シルバが率いる本格派ラテンバンド。ラテン音楽演奏、サンバの踊り、カポエラ（ブラジルの格闘技）の紹介。			
第21回	**演劇鑑賞会**	平成14年4月26日	成田国際文化会館
劇団、離風霊船「ゴジラ」。天使を夢見る一人の少女と人類の暴挙で生まれた怪獣ゴジラの楽しくて、せつない純愛物語。			
第22回	**コント鑑賞会**	平成15年11月20日	成田国際文化会館
ザ・ニュースペーパー「ザ・ニュースペーパー、フルバージョン」。政治・経済・事件・芸能・スポーツと国内・国外を問わず、その時の旬なニュースを素材に、五分十分のコントを創り、舞台化したもの。			
第23回	**音楽鑑賞会**	平成16年11月17日	成田国際文化会館
トライトーンコンサート。女性二名、男性五名からなる混声ア・カペラグループ。卓越したハーモニーワーク、生き生きとしたリズム、人の声とは思えないボイスパーカッションを用い、ジャンルを問わない選曲、ユニークなアレンジで魅了。			
第24回	**演劇鑑賞会**	平成17年11月16日	成田国際文化会館
東京演劇アンサンブル「走れメロス」。太宰治の名作を戯曲化したもの。			
第25回	**古典芸能鑑賞会**	平成18年11月29日	成田国際文化会館
落語と講談。桂平治（落語）、林家二楽（紙切り）、三遊亭楽太郎（落語）、一龍斎貞水（講談－立体怪談）。			
第26回	**音楽鑑賞会**	平成19年11月28日	成田国際文化会館
クラックス（弦楽器とサクソフォンによる男女、四人組のユニット。クラシックをベースにロック、ジャズ、フュージョン、ポップ、クラブ、Ｊ－ポップと様々な音楽にリンクするフリーで独創的な音楽表現。			
第27回	**演劇鑑賞会**	平成20年12月17日	成田国際文化会館
東京芸術座「チャレンジ・ド……遠い水の記憶……」。チャレンジ・ドとは挑戦するチャンスを与えられた者たちという意味です。視覚障害の生徒たちに水泳を教える物語。			
第28回	**古典芸能鑑賞会**	平成21年12月17日	成田国際文化会館
劇団、影法師、大型人形劇「三国志・総集編」。三顧の礼、赤壁の戦い、甘露寺の宴、出師の表、空城の計、五丈原などの名場面を１ｍ２０ｃｍの大型人形が演じる。			

成田北高校開放講座

松永　博一

この十年間の開放講座について、紹介いたします。平成十二年度は、山内美和先生の「ペン字講座」、密本ゆかり先生の「篠芸講座」が行われ、平成十四年度は、池田薫先生の「陶芸講座」、松沢史郎先生の「コンピュータ講座」が行われました。平成十三年度、及び、平成十五年度から二十一年度までは「書道講座」を私、松永が担当させていただきました。

主に、この八年間の「書道講座」について紹介させていただきます。開放講座は、成田市民のために、市内の高校、専門学校の施設を開放して、その学校の職員が中心に指導する講座のことです。成田市民の生涯学習の一環として、長年、実施されてきました。八月に成田市の広報誌で募集し、十月より三月まで、半年間、計十二回、隔週木曜日、夜六時三十分より八時三十分まで、本校の書道室で実施いたしました。受講者は、二十代から八十代まで、毎年三十名程度です。二十代三十代の方は、仕事も落ち着き、趣味として、働きながら夜の講座ということで希望された人が多かったです。四十代、五十代の方は、子育てが終わり、やりたかった書道をもう一度と、六十代の方は、定年後の趣味として、七十代、八十代の方は、健康と、長寿のためと書道を選ばれたとのことでした。十二回の講座は、できるだけ、やさしく、わかりやすく基礎的な内容を指導させていただきました。隔週で行った理由は、自宅での学習を中心にして講座の時に指導を受けるというスタイルをとりたかったこともあります。前半の六回は臨書中心に、後半の六回は、自由作品の創作中心に行いました。努めて専門的にならぬよう、身近な言葉や文章を、できるだけ自由に書くことをお勧めしてきました。班をつくって、班の中での批評会、情報交換、世間話などの時間を入れながら、私の説明も、堅苦しくならぬように工夫させていただきました。食事をしながらの交流会は二回、又講座の時間の中でも、一、二度、お茶の会も取り入れてみました。最後の自由創作は皆さんが書いてみたい言葉を選んでもらい、独自の表現で作品に仕上げてもらいました。半紙ですが、掛軸に表装して記念に持ち帰ってもらいました。この八年間で、約二百四十人の皆さんのお宅に、ご自身が書かれた書作品が掛けられていると思うと嬉しい限りです。

高校の開放講座は、他のカルチャースクールと違って、高等学校の校舎で行うということで受講者の皆さんは皆、学生時代を思い出すとのことで、好評です。又、講座終了後も、皆様同士のお付き合いが続いているとのこと、喜ばしいことです。今後も、書道だけでなく、幅広い分野の講座が、成田北高校で行われることを期待します。



生徒会

生徒会顧問　半田　勉

〔主な行事〕

毎年同じような行事の繰り返しではあるが、後の記録となることを思い、この十年の生徒会行事の主なものの実施月日を記す。

平成十二年度

四月十八日：一斉委員会
四月二十一日：新入生歓迎会（部活動紹介）
五月十七日：生徒総会
九月十四、十五日：黎明祭
九月二十、二十一日：スポーツ大会
十一月一日：創立二十周年記念式典
十一月二十二日：生徒総会
十一月二十九日：立会演説会・生徒会役員選挙
十二月十九日：新役員認証式

平成十三年度

四月十三日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月十八日：一斉委員会
五月二日：球技大会
五月十六日：前期生徒総会
九月十四、十五日：黎明祭
九月二十、二十一日：スポーツ大会
十一月二十一日：生徒総会
十一月二十八日：立会演説会・生徒会役員選挙
十二月十八日：新役員認証式

平成十四年度

四月十八日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月二十五日：一斉委員会
五月十六日：生徒総会
六月十一日：球技大会
九月十三、十四日：黎明祭
九月十九、二十日：スポーツ大会
十一月二十八日：立会演説会・生徒会役員選挙
十二月二十日：生徒会役員認証式
※この年から秋の生徒総会を廃止

平成十五年度

四月十七日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月二十一日：一斉委員会
五月二日：球技大会
五月十五日：生徒総会
九月十二、十三日：黎明祭
九月十八、十九日：スポーツ大会
十月九日：立会演説会・生徒会役員選挙
月日不詳：新役員認証式



平成十六年度
四月十四日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月三十日：一斉委員会
五月十二日：球技大会
五月十三日：生徒総会
九月十、十一日：黎明祭
九月十五日：スポーツ大会
十月七日：立会演説会・生徒会役員選挙
十一月十七日：新役員認証式

平成十七年度
四月十三日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月二十五日：一斉委員会
五月十一日：球技大会
五月十二日：生徒総会
九月九、十日：黎明祭
九月十五日：スポーツ大会
十月六日：立会演説会・生徒会役員選挙
十一月十七日：新役員認証式

平成十八年度
四月十三日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月十八日：一斉委員会
五月一、二日：球技・スポーツ大会
五月十一日：生徒総会
九月十五、十六日：黎明祭
十月五日：立会演説会・生徒会役員選挙
十一月二十九日：新役員認証式
※夏から秋にかけて体育館工事のため、球技大会とスポーツ大会を五月に同時開催

平成十九年度
四月十二日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月十七日：一斉委員会
五月二日：球技大会
五月十日：生徒総会
九月十四、十五日：黎明祭
九月二十、二十一日：スポーツ大会
十月四日：立会演説会・生徒会役員選挙
十一月二十二日：新役員認証式

平成二十年度
四月十一日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月十八日：一斉委員会
五月二日：球技大会
五月八日：生徒総会
九月十二、十三日：黎明祭
九月十八、十九日：スポーツ大会
十月九日：立会演説会・生徒会役員選挙
十二月十八日：生徒会役員補欠選挙
十二月十九日：新役員認証式

平成二十一年度
四月十日：新入生歓迎会（部活動紹介）
四月十七日：一斉委員会
五月一日：球技大会
五月七日：生徒総会
九月十一、十二日：黎明祭
九月十七、十八日：スポーツ大会
十月予定：立会演説会・生徒会役員選挙
十一月二十日：創立三十周年記念式典
十二月予定：新役員認証式

〔十年概観〕

二十周年記念誌の生徒会の項を見ると、生徒会が年度の活動方針を立てて活動をしていたことが窺われる。もっとも第十九期生徒会方針は「桜梅桃李」となっているので、厳密な意味での活動方針ではなく、生徒会役員の意気込みなどを表す象徴的な言葉やモットーなどのようなものであったのかと推測される。現在の生徒会は、そのような方針を持たずに活動しており、この点、以前の生徒会のあり方を参考にすべきかもしれない。

平成十四年度までは、年に二回の生徒総会を開催していたようである。平成十五年度以降は、総会は五月の一回だけとなり、それ以後現在まで生徒会行事の変更はないようである。この間、平成十七年四月までは生徒会誌「北星」が刊行されていたが、諸般の事情により第二十号をもって廃刊となっている。

〔現状と課題〕

現在の生徒会本部役員は第二十九期（今年度後半は第三十期）にあたる。定数の七名で活動しているが、これは補欠選挙をした結果である。役員改選の時には毎回、立候補者を募るために選挙管理委員会顧問の方にご苦労をおかけしている。確かに生徒会本部役員の仕事は大変である。日常の業務と行事の運営、特に黎明祭の実施に当たっては大変な労力を要する。その一方で部活動やその他の活動をこなしている本部役員も多い。生徒会が自分たちのものであるという自覚を多くの生徒が共有し、一人一人がもっと密接な関係を生徒会と持って、真に「生徒の生徒会」となることが今の成田北高校生徒会の最も大きな課題である。





規律委員会

森　知幸

規律委員会は開校当時から設置され、登校時指導と通学用自転車の点検作業を中心に活動してきたようである。現在では自転車点検と黎明祭の警備を行う事が中心となっている。

現在も北高の立地条件から自転車利用者の割合はかなり高い。（八十～九十％）また、生徒数も八クラス×三学年で県内でも大規模校の一つである。そのため、近隣から自転車通学についての苦情も数多く寄せられているのも事実である。また、自転車の関係する交通事故（自爆・対自動車・対自転車・対歩行者）も多く発生している。最近では、交通事故の被害者のみならず、加害者になることも十分認識しなければならない。

平成二十二年度の成田高速鉄道の開通・新駅の誕生に伴い北高の通学状況も大きく変わるかもしれないが、交通事故の危険性・交通ルール、マナーの必要性とその徹底を生徒指導部と連携しながらアピールしていきたい。







体育委員会

井野　和浩

体育委員会は、開校当初より設置された常置委員会で、現在は各クラスから男女それぞれ二名ずつが選出され、総勢九十三名で活動している。

現在、体育委員会の主な活動はつぎの通りである。

①授業内容のクラスへの伝達と、授業の準備、片付け
②球技大会の企画、運営
③新体力テストの運営補助と記録整理
④スポーツ大会の企画、運営
⑤マラソン大会の運営補助

仕事の内容は十年前とは変わらずに行っている。スポーツテストの名称が二年前より新体力テストと変更になった。

開校当時は、体育館もなく、体育行事はグランドで行われたが、そのグランドも石や貝などが散乱し、全校生徒の協力の下怪我のないように準備をし、一丸となり行事に取り組み、物事を自分たちの手で成し遂げたという達成感があった。

数々の体育行事が行われるがなかでも二日間かけてのスポーツ大会は印象に残るものである。体育祭的競技、球技大会的競技を取り入れクラスの盛り上がりは最高である。また、種目の優勝チームと教員チームが試合を行うなど交流も深めている。

体育委員会は、今後も活動を充実させ、全員の一致協力を得て体育行事の運営に力を注いでいきたい。





図書委員会

秋葉　都馨

図書委員会は、開校と同時に発足したが、最初は図書館や蔵書がなかったため活動が困難な時代であった。昭和五十八年度に現在の図書館が完成し、昭和六十一年度にコンピュータが導入された。平成元年度には、千葉県教育委員会の「特色ある学校づくり」の研究指定を受けて書誌情報検索システムを完成し、全国的にも注目されるコンピュータ・システムによる運営が進められていった。このシステムを発展させていく上で、図書委員会が果たす活動と努力は極めて大きいものであった。

図書委員会の基本理念は、生徒への読書・学習のさまざまな要望に応え、読書への関心と意欲を高めていくことである。そのためには、なによりも自らが読書に親しみ、図書館が好きである気持ちが大切であろう。その意味で、本校の図書委員は、図書館の仕事を大事にしてくれていると感じている。日常の貸出・返却業務もほとんど図書委員が責任をもって取り組んでくれている。また、心に残る言葉や詩の紹介など、創意工夫をこらした展示物の掲示、年に一度実施される蔵書点検も率先して取り組んでいる。平成二十年度からは芸術鑑賞会の補助も図書委員が行われるようになった。

最近の図書委員会は黎明祭にも積極的に参加をしている。近年まで「和綴じ」制作を行ってきたが、平成十五年度から文集「オカリナ」の制作を行っている。これは、本校生徒からオリジナルの小説や詩などを募集し、それらを一冊の本にまとめたものであり、今年で第七巻を発刊することができた。

本校図書館の蔵書が二万九千冊近くある。また、インターネット接続ができるパソコンも3台あり、情報検索も可能である。まさに、図書館が本校における情報源や交流の場であり、静かに読書や思索に耽る場、心の癒しの場でもある。これからの図書委員会が、過去の豊かな経験を生かしつつ、本校の文化と伝統、情報センター、そして安らぎの場として発展していくために、一層力をあわせ、知恵を発揮していって欲しいと願っている。



美化委員会

香取　里佳

美化委員の活動について報告したいと思います。現在美化委員は各クラス四人体制で選出してもらっています。これは、平成十一年度から「ダイオキシン問題」により、焼却炉の禁止をうけ、ゴミ分別のため各クラス四人体制となった経緯があります。

しかし現在は、その仕事もなくなり、分別は、各クラスの清掃当番の者が焼却炉の担当職員と共に日々行っている現状です。

実際の活動状況は、

①毎月の通学路清掃活動
②文化祭時のゴミ箱の設置、回収処理、発表
③清掃用具の補充
④ストーブの管理・配布補助
⑤クラスのペットボトルキャップの回収

など、美化に関わる様々な仕事を行っています。

①の通学路清掃とは、学校近隣に二ヶ所のコンビニエンスストアがあり、学校を基点に放課後その店まで通学路のゴミの回収をしながら歩き、地域の美化活動を行うものです。

②の文化祭時の活動の一つに発表とありますが、数年前よりペットボトルのキャップをＮＰＯ法人に回収していただき、二酸化炭素の削減と石油資源の節約につなげ、しいては収益を恵まれない国の子供たちのワクチン購入に役立てる活動の発表をしたいと思っています。現在この原稿記入の平成二十一年六月までに、ペットボトルのキャップ回収数は、二万八百個にのぼり、今後も活動を続けていく方針です。

時代とともに美化委員の仕事も変わっていきますが、学校美化は教育活動の基本となる事と思いますので、教育環境整備のため、生徒たち、美化委員と活動していきたいと思います。

保健委員会

髙木　綾子

保健委員会は開校の昭和五十五年度に設置された。各クラス二名の保健委員は、開校時の八名から現在は四十八名で活動している。

委員会の主な活動内容は定期健康診断の準備・検診補助等健康管理における重要な仕事から、日常のクラス内での傷病者の保健室への付き添いや文化祭・スポーツ大会など学校行事での救護係として安全管理における仕事をしている。

また、今年三十年を数える保健委員会の行ってきた啓蒙活動の発表の場となったのは、黎明祭への参加である。黎明祭においては、平成十四年度に「食生活と歯の健康」、十五年度・十八年度については「おしゃれ障害」、十六年度については「清涼飲料水の害」について展示発表をし、北高生の健康問題を把握しその解決策を提示してきた。

今後も保健委員のひとりひとりが積極的に参加して、学校全体にわたる保健活動を自主的・自治的に推進することを望む。

放送委員会

原野　隆

このところの放送委員会には、放送機器や音響機器にとてつもなく詳しいという生徒はいない。これが特徴であるし、これでいい。

放送委員会は、機器について非常に詳しいが、他を寄せ付けない雰囲気の集団という場合がともするとある。その集団はその集団の中で、更に詳しい者しか機器に触れてはいけないという空気が漂っていることがある。これが全くないのが今の放送委員会である。普通の生徒が普通に放送機器を扱い、行事のおぜん立てをする。

学校行事があれば他の生徒より早めに会場の体育館へ行き、機器を設置し、事後に片付けを行う。行事によっては大変緊張することもあるが、淡々とこなす。また文化祭等では生徒会からの要請で各団体の発表やその準備の手伝いをする。普段の活動としては、昼休みの教室に少しでもくつろぎの雰囲気が出ればと、選曲して流す。

今の放送委員会は決して派手さはないが、行事においては欠くことができない仕事をしている。行事によっては放送の仕事だけにとどまらず他の仕事を頼まれることがあるが、快く引き受けてくれる。地味ではあるが縁の下の力持ちであり、頼もしい集団である。





新聞編集委員会

高橋　清行

「成田北高校新聞」は、平成十二年発行の第十四号から平成二十一年の第二十二号発行まで、年に一回、卒業式に発行されてきた。

この十年の編集方針はほとんど変わらなかった。まず、最も新しい平成二十一年三月六日の卒業式に発行された第二十二号の一面の記事を見ると新聞編集委員会の編集方針を理解することができる。

・「詩三首　餞にかえて」　校長　玉造　功
・「生徒会活動を振り返って」　前生徒会長　八代愛可里
・「生徒会長を引き受けて」　生徒会長　天沼久八
・「卒業にあたって」　第三学年主任　佐藤敏之
・「笑顔」　女子ハンドボール部　二Ｄ　前田彩美
・「めんそーれ吹部」　吹奏楽部　二Ｅ　佐谷朋実
・「・・・」　女子サッカー部　二Ｅ　大島絢乃
・「目標」　野球部　二Ａ　桂島　亮

十年前の平成十二年三月九日に発行された第十四号と第二十二号の一面を比較してみると、若干の変化が見られる。第十四号の一面の記事は、校長、第三学年主任、部活動報告だけであり、前生徒会長と生徒会長の記事は二面に掲載されていた。それが第十五号から、前生徒会長の記事が一面に登場し、第十六号からは生徒会長の記事も一面に掲載されるようになった。

この十年の二面の記事内容は、学校の行事中心の記事からクラスの状況報告へと変わってきた。二面は、第十四号から第十六号までは各学年代表者による修学旅行や校外学習の報告、校内スポーツ大会、マラソン大会の結果報告、進路概況などを記事として掲載していた。ところが、第十七号からは、一年から三年まで全クラスの報告を掲載するようになり、第二十二号に至っている。したがって、この六年間は各クラスの編集委員がクラスの様子などを記事として報告している。

平成十五年度は、新聞編集委員会の体制が整わず発行することができなかった。



社会福祉委員会

笹崎　壽宜子

社会福祉委員会の設置は成田北高開校の年昭和五十五年である。開設時は募金活動からスタートしており、昭和五十七年頃から施設訪問などの校外活動も加わるようになった。

これまでの活動を調べると、点字や手話の勉強や拡大写本の製作、老人ホーム訪問など、活動の範囲がかなり広まっていたことに感心させられる。

残念ながら、現在はそこまでの広がりは無いが、主な活動は次の二つである。

①募金活動…赤い羽根共同募金、書き損じハガキの回収、災害救援募金など。

②施設訪問…成田市三里塚にある「不二学園」の依頼による、行事の手伝い及び、運動公園で行われる障害者運動会の保育や補助など。

この二つの活動を委員が中心になり全校生徒に呼びかけ、輪を広げている。

募金活動や施設訪問を通して、ボランティア活動が私たちにとって少しでも身近なもの、当たり前の事としてとらえられるように、社会福祉委員会はこれからも地道な努力を続けていきたい。

応援委員会

石倉　裕之

応援委員会は、夏の高校野球大会の応援を目的とした委員会で、他の委員会とは性格を異にしている。各クラス何名という割り当てがあるわけでもなく、三年生を中心とした有志の期間限定委員会ということで、委員会という名称も適当なものとはいえないかもしれない。

いわゆる「お祭り好き」の生徒たちが集まって、六月下旬から七月上旬くらいに練習が始まる。本格的な応援の経験があるわけでもなく、顧問も毎年変わるような状態で、始めのうちは要領を得ないが、そこは吸収力抜群の生徒たちのこと、試合日程が近づいてくる危機感に追われつつ練習を重ねるにつれ、形になってくるものである。やがて直前になって、揃いのTシャツを着て、吹奏楽の演奏と合わせてみると、結構サマになっているものだ。試合が終了し、応援を終えた生徒たちの顔は、ある種の達成感に満ちている。

しかしながら、この野球応援も曲がり角に来ているように思う。三年生中心の応援団ではあるが、この時期の三年生は、生徒も学年職員も進路がらみで非常に重要かつ多忙な時期でもある。いろいろな面で見直しが必要なのかもしれない。



文化委員会

川澄　貴子

文化委員会は、平成十年五月の生徒総会で承認されて成立した。まだ十年ほどの歴史しかない、比較的新しい委員会である。発足以来、「文化祭実行委員会」の構成メンバーとして、生徒会本部役員を補佐し、文化祭（黎明祭）の準備、運営に関わってきた。学校によっては、文化委員会が文化祭の企画選定から当日の運営までを担当し、文字通り文化祭の中核となって活躍していることも少なくない。しかし、本校の文化委員会は、成立からの歴史も浅く、現在は生徒会本部の補助機構として、文化祭実行委員会を開催して黎明祭運営上の諸連絡を各参加団体に伝達するほか、立て看板の作成や校門の装飾を担当するにとどまっている。本校創立三十周年の節目を迎え、これまでの活動の総括が行われる中で、文化委員会についても、生徒会活動の効率化と、黎明祭をはじめとする各種行事の更なる活性化のために、委員会としてのあり方が再考されているところである。



選挙管理委員会

長嶋　健二

選挙管理委員会は、生徒会規則で定められている臨時委員会の一つで、主な仕事は、毎年十月に行われる生徒会選挙の準備・管理を行うことである。

各クラスから一名ずつ選出された委員により構成されており、三年生の委員から、委員長と副委員長を選出、または指名をする。

選挙自体は、過去十年間、決選投票は行われておらず、むしろ立候補者を募ることが困難になっている。二十年度の選挙では、十月の選挙までに候補者が集まらず、二次選挙を行うまでになった。しかし、定数よりも一人減で現在は生徒会活動を行っている。

生徒会顧問とは異なる顧問がみているが、生徒会顧問との連絡・情報交換を密に行う必要があると感じられた。

選挙管理委員会の仕事

七月　第一回委員会

九月　第二回委員会

①候補者の募集・受付

②選挙公示

第三回委員会

①立候補者公示

②立会演説会・選挙の準備

十月　生徒会役員選挙

①立会演説会・選挙の進行

②投票および開票作業

③結果の発表

十二月　認証式（生徒会による進行）

部・同好会活動













野球部

井野　和浩

野球部は昭和五十五年学校創立と同時に設立された。設立当初は、整地されたばかりのグランドだけで、キャッチボールが精一杯だったが、五十七年頃よりグランドが整備され本格的に練習ができるようになった。現在も、全日制高校では珍しい照明施設があり、夜でもノック、ティーバッティングなどができ比較的恵まれた環境で活動している。又、バッティングマシーンを新たに購入し、ネットの増設、ベンチの設置など、年々充実してきている。

部員は冬休みになると、成田山の参道でアルバイトをしながら、遠征費、個人の道具などに充て、多少ではあるが保護者の負担を減らそうとしている。

野球部は、父母会・ＯＢ会・後援会の方々のご理解と物心両面からのバックアップがあり、選手も何不自由なく野球部活動に専念することが出来る。

本校野球部員は、技術は未熟でも、野球が好きで集まった情熱に溢れた生徒達である。朝早くから、夜遅くまでグランドで汗と泥にまみれ一生懸命にボールを追う姿は、本校野球部の基礎である。練習試合でも、県外は水戸商業高校、横浜高校といった甲子園常連校、県内でも銚子商業高校、習志野高校といった強豪校との対戦もあり、精神的、技術的向上等を目指し日々励んでいる。



創立三十周年を迎え、今日の練習環境の下野球に思う存分打ち込めるのもＯＢの方々の活躍と、野球部後援会、父母会、地域の方々のご理解とご支援のおかげであり深く感謝するところである。

年度	顧問	主将
十三	赤尾和輝・飯森秀樹・菅井健一	鈴木智博
十四	赤尾和輝・飯森秀樹・菅井健一	南里浩介
十五	赤尾和輝・飯森秀樹・菅井健一	大谷勇太朗
十六	飯森秀樹・菅井健一・井野和浩	米森　豊
十七	飯森秀樹・井野和浩	松田寛之
十八	飯森秀樹・井野和浩	梅原祐樹
十九	白川仁・井野和浩	村田奈津樹
二十	白川仁・井野和浩	海保成臣
二十一	白川仁・弘中静雄・井野和浩	桂島　亮

卓球部

加藤　健一

私が前顧問の香取先生から卓球部を引き継いだのは、もう九年前のことになる。

当時は三台の卓球台に七人の男子部員だった。その後、毎年五人くらいの新入部員が入部してきたので、多い時には十五人ほどの所帯になっていた。部員が増えるのは嬉しいのだが、十分な練習スペースがとれないことが悩みの種となる。活動場所の第二体育館は、空手部と半面ずつ分け合って使用するので四台出すのがやっとである。そのため、四人で一台という不自由な状態が三年生の引退するまで続くことになる。

もう一つの悩みは、どんなに暑い時でも練習場を閉め切らなくてはならないことである。卓球のボールは２．７ｇとごく軽いので、わずかな空気の動きにも影響を受けてしまうからなのだが、夏場の練習場はさながら炎熱地獄のようである。たぶん室温は四十度を越えているので、熱中症になりそうな部員が出ると大急ぎで氷を取りに行ったりする。

卓球はしばしば暗いスポーツだと言われるが、たしかに外光を遮断するため窓もカーテンも閉め切るので、サッカーや野球などの屋外スポーツにくらべれば開放感はない。また卓球の選手は、日に焼けることもないので青白い顔をしており、いわゆるスポーツマン的な外見でないことも卓球が暗いスポーツという印象につながってしまうのだろう。

一般のイメージはどうあれ、卓球をしている我々は毎日明るく練習をしており、まずまずの戦績を上げていると思っている。成田・佐原ブロック内では上位にあり、県大会にはほぼ毎年出場している。

私は顧問になって三年間ほどはただ座って見ているだけだったが、いつ頃からか部員に交じってラケットを握るようになった。初めは弱い部員を相手に練習していたのが、今では誰とでも対等以上に打ち合えるようになった。五十歳を過ぎてからでも続けていれば上達するのだということが自分でも意外だったが、この年齢で毎日卓球ができるということをとても有り難いと感じている。

授業を終え放課後に卓球をしている時はたいがいの事は忘れて白球に集中できる。これが仏教でいう三昧の境地なのかな、と思ったりする。



テニス部

高柳　良訓

この十年間は、本校テニス部にとって輝かしい隆盛期であった。転機となったのは、女子担当顧問の木内賢次郎氏と男子担当顧問の市村雄二氏の着任である。両氏の熱心な指導により、男女とも地区大会の優勝常連校といえる伝統を築き上げた。

女子はこの十年間、春・秋の地区予選のほとんどで優勝し、県大会に駒を進めた。平成十三年度新人大会県大会では、東海大望洋、長生を連覇し、県ベスト十六に進出した。それ以降、県大会において度々ベスト十六まで進出したが、そこで私立強豪校の厚い壁に阻まれた。平成十七年度卒業世代は、女子テニス部史上最強のメンバーが揃い、青木優希・藤崎友美両選手を中心に各大会で活躍した。



男子も幾度となく県大会に進んだが、そのハイライトは平成十八年度総体県大会である。キャプテン三浦恭平君を中心に、半田、石橋、玉川の団体チームは、船橋東、市立銚子、我孫子を連覇し、県大会ベスト八に進出した。準々決勝はこの大会で優勝した東海大浦安に敗れたが、本校以外のベスト八校はすべて私立高校が占める中での快挙であった。平成二十年度卒業生の谷中大樹君が率いるチームも優れた選手が揃い、あと一ゲームで関東大会に手が届くというところで悔しい思いをした。

現在は、木内・市村両教諭とも北高を離れているが、部員たちはその精神と伝統を受け継ぎ熱心な活動を続けている。

男子サッカー部

福田　克行

サッカー部は昭和五十五年度に創部し、学校とともに三十年の歴史を歩んできた。

大会の成績の方は県大会出場がやっとという程度しか残せていないが、徐々に練習にも活気が出だし、自己の技術・体力の向上、戦術的理解を図ろうと真剣に取り組む生徒が増えてきている。今後の成果に期待したい。

活動は原則週六日のサイクルで実施している。

火曜日：フィジカルトレーニング
水曜日：技術トレーニング
木曜日：戦術トレーニング
金曜日：課題トレーニング
土曜日：試合またはセットプレー
日曜日：試合
月曜日：オフ（リカバリー）

また日々の練習においても、テーマを二、三に決め、やり過ぎない・目標を明確に・全力を尽くすことを基本理念に置いて取り組んでいる。

サッカーは高体連大会（関東予選・県総体・新人大

会）と協会主催大会（高校選手権・県Ｕ－１８リーグ）と公式戦が多い。その中で戦っていくには、豊富な経験が必要でありより実践的なトレーニングが重要となってくる。長期休業中には積極的に県外などに遠征し、どんなコンディションでも対応でき、よいパフォーマンスが発揮できるよう取り組んでいる。中でも全国強豪校との交流を通じてサッカーに取り組む姿勢やプライド、高校生として学ぶべきことも吸収できるよう心がけている。

保護者の方々には様々な面でご支援やご協力をいただいており、感謝の気持ちに堪えません。今後ともよろしくお願いいたします。



女子サッカー部

石井　慎之助

一九九二年より発足し、今年で十七年目を迎える。近年は、平成十八年度　第十五回　全国高等学校女子サッカー選手権大会出場（千葉県勢初出場）や関東高等学校女子サッカー選手権大会出場などの好成績を収めている。

高校に入学し、初めてボールを蹴ることからスタートする集団を一から基礎を教え、導いてきた歴代の顧問の先生方の尽力には頭が下がる思いである。また、生徒たちのひたむきな努力があって、伝統や歴史を作り上げてきたことも忘れてはならない。

現在は、なでしこジャパンの活躍や女子サッカー界を取り巻く環境も大きく変化し、女子サッカー部においても変革の時期を迎えている。

一つ目は、千葉県の高校女子サッカー部の登録チームが十数校になり、県予選においても力の拮抗したゲームが展開されるようになり、どの高校が千葉県代表になってもおかしくない状況になっている。また、高校での選手の受け皿が増えたことで小学校、中学校のクラブチームなどでサッカーをしてきた女の子たちが、高校でもサッカーをやりたいと強く希望して、各高校に進学していることも要因となっている。

二つ目に、成田北高校もサッカー経験者が増えてきたことで、サッカーに対する要求や意識レベルが上がり、また、選手同士で、高校から始める子たちに教えてあげるという光景も見られるようになってきている。日々、全員が向上心をもって、切磋琢磨することで全体的にレベルが上がってきている。

さらに、父母の会も立ち上がり、保護者の方々には、様々な面でサポートをしていただき、感謝の気持ちに堪えません。また、サポーターの方には、県内、外問わずに応援に駆けつけていただき、心強く感じております。



陸上競技部

東福　正彦

陸上競技部は昭和五十五年学校創立と同時の創部である。

この十年間で最も輝かしい成績を収めたのは、平成十三年度、男子八種競技の県高校総体優勝と、平成十六年度、男子ハンマー投の全国高校総体出場である。

〜各年度の活動状況〜

◎平成十三年度（部員三五名）

・県高校総体（一五名出場）

・男子八種競技

勝　政秀　五〇八八点（一位）

・南関東大会（栃木）

・男子八種競技

勝　政秀　四八一〇点（五位）

・県高校新人（一三名出場）

・女子一〇〇m

立野友美　一二秒九七（五位）

・女子走幅跳

根本沙保利　五m一七（五位）

・県高校駅伝（男子五〇位、女子三八位）

◎平成十四年度（部員三五名）

・県高校総体（一三名出場）

・女子四〇〇mリレー

天野由佳里

立野友美

小長谷梨沙

根本沙保利　五一秒六四（八位）

・県高校新人（一一名出場）

・県高校駅伝（男子五八位）

◎平成十五年度（部員二九名）

・県高校総体（一四名出場）

・県高校新人（一五名出場）

・男子三段跳

石井陽介　一三m七七（三位）

・男子ハンマー投

姫野翔平　四四m一八（四位）

・県高校駅伝（男子四〇位）

◎平成十六年度（部員三一名）

・県高校総体（一七名出場）

・男子三段跳

石井陽介　一三m四七（八位）

・男子ハンマー投

姫野翔平　五〇m三四（二位）

・南関東大会（埼玉）

・男子ハンマー投

姫野翔平　四八m九四（六位）

・全国高校総体（島根）

・男子ハンマー投

姫野翔平　四七m九六（予選）

・県高校新人（一〇名出場）

・県高校駅伝（男子四五位）

◎平成十七年度（部員三〇名）
・県高校総体（一〇名出場）
・県高校新人（一名出場）
・県高校駅伝（男子四八位）

◎平成十八年度（部員一七名）
・県高校総体（二名出場）
・県高校新人（七名出場）
・県高校駅伝（男子出場）

◎平成十九年度（部員二三名）
・県高校総体（一〇名出場）
・県高校新人（六名出場）

◎平成二十年度（部員二〇名）
・県高校総体（七名出場）

◎平成二十一年度（部員一一名）
・県高校総体（一名出場）
・県高校新人（一名出場）

（平成二十一年九月十五日現在）



ゴルフ部

松永　博一

本校ゴルフ部は、創立当時から三十年の歴史を持ち、又、県下の高等学校では、私立八校、公立三校と貴重な部でもあります。しかし、近年のゴルフブーム、又、特にジュニアの活躍も話題となり、注目を集める部活動となってきました。この十年間を振り返ってみると、前半は、全国大会に出場する選手が毎年でたり、また、団体戦でも関東大会に出場するなど、この三十年間では、特に活躍した時期と言えるかもしれません。しかし、後半は、関東大会出場する選手が二年ほど続きましたが、その後は部員も減少してしまい、一番、大変な時期だと思います。最近の練習は、学校での朝練習、放課後は学校での練習の後自転車で、近くのゴルフ練習場「ベストゴルフ」に移動して集中的に打ち込みを行います。週末は、実際にゴルフ場に行き、コース練習ラウンドを行います。長期休業中は、試合の行われるゴルフ場に宿泊して合宿を行います。数年前のように、練習の成果を試合で今後発揮してほしいと思っています。この十年間の試合の主な成績を紹介します。



平成十二年度
全国高等学校ゴルフ選手権大会
全国大会出場（松崎一等）

平成十三年度
全国高等学校ゴルフ選手権大会
全国大会出場（中村　護）

平成十四年度
全国高等学校ゴルフ選手権大会
全国大会出場（山田　稔）

平成十五年度
全国高等学校ゴルフ選手権大会
全国大会出場（山田　稔）
団体の部
関東大会出場（山田　稔
岩内　猛
片野賢人
根本　大
大内秀幸）

平成十七年度
全国高等学校ゴルフ選手権大会
関東大会出場（菅澤光彬）

平成十八年度
全国高等学校ゴルフ選手権大会
関東大会出場（菅澤光彬）

男子バレーボール部

長嶋　健二

男子バレーボール部は、十二年度から十八年度までは、部員の移動が多く、チームを組めない時期があったり、あるいは県大会に出場したりと、チームとしてあまりまとまっていない状態であった。

十九年度からの三年間では、中途で退部を申し出る部員はほとんどなくなり、チームとしてまとまった形ができあがった。さらに部員にも恵まれ、二十年度の県新人大会では、ベスト十六という成績を修めた。これは過去十年間で最高の成績であった。

しかし、二十一年度は、三年生の引退とともに部員数も減り、さらに経験者数も少なくなり、新たなチームでは、基礎から根気よく指導をしていきたい。

長いチーム・部活として存在しています。

また近年、保護者会が立ち上げられ、生徒の活動に対し、大きなバックアップ体制を作っていただいています。

今後は、千葉県代表として関東大会に出場することを選手・卒業生とともに、ぜひ実現したいと考えています。

女子バレーボール部

岡田　裕

この十年間のうち、最初の三年間は、田谷伸治先生、後七年間は岡田裕が監督です。

田谷先生時代からの努力が実を結び、現在地区では常に上位に位置し、県大会常連出場校となっています。しかし県大会での壁は厚く、県ベスト十六が最高で、ベスト四・八を倒すことは出来ず、悔しい思いをしています。

部員の出身は、印旛・香取地区で、皆もれなく明るく元気に活動しています。卒業生が校内合宿時には多く手伝いに集まってくれるなど、卒業しても続いていく息の





バスケットボール部

綿貫　清

この四年間は、本校バスケットボール部にとっては苦難の時代と言ってもさしつかえないだろう。バスケットの専門家である渡邉正己氏が転勤によって本校を去ってからは、入れ替わり立ち代わり専門外の顧問が就くようになってしまったのである。

順大からコーチを派遣してもらっているとはいえ、一貫した指導体制がなく、練習メニューからゲームの戦略まで、ほとんどを生徒だけで考え行っているというのが現状である。状況に応じた複雑な動きや、高度な瞬時の判断力が要求される団体競技において、専門の指導者がいないというのは致命的である。

ただ、このような指導者不在の中でもそこそこの成績を残せているのは、伝統的にセンスの良い選手が揃い、バスケットが本当に好きで、毎日熱心に練習をしているからに他ならない。

このような生徒たちに、専門の顧問の指導が入れば、県でベスト八に入った渡邉氏のチームのときのように、必ずや良い成績を残すことが出来るだろうと思われる。一刻も早く専門の指導者が来ることを願う次第である。



柔道部

石倉　裕之

本校の柔道部は、部員ゼロという、まさに存続の危機に立たされた時期がある。その状態から部員を集め、個人選への出場、そして団体戦への出場と立て直したのが、平成十五年度まで顧問を務めた小島昇教諭（現県立船橋高校）である。

その後も三学年合わせても部員が十名に満たない状態ではあるが、部活動は続いている。部員ゼロの学年があったり、団体戦の五名がそろわず、最低必要人数の三名で出場したこともたびたびある。そのような状態での結果はいうまでもない。

しかし、どの学年の部員にも共通して言えることは、少人数ながらも部員たちは誰一人として強制されて練習をしてはいない。柔道という競技が心から好きである点において、強豪校の部員にもまったく引けをとらない。それゆえか、地区予選（個人戦）においても県大会（団体戦）においても、あっさりと初戦敗退ということはそれほどない（無論組み合わせに拠るが）。また、少ないながらも、ＯＢがよく練習に訪れ後輩たちの面倒をよく見てくれている。本校に限らず、部員数の減少が課題となっている高校柔道界ではあるが、こうしたささやかな活動が、柔道普及の一助となることを願ってやまない。



剣道部

佐藤　三幸

平成二十一年六月現在、男子八名女子二名の部員で活動しています。私は、平成二十年度より剣道部の顧問を持つことになりました。

部活動は、厳しい練習と規則正しい学校生活の実践のなかで強い精神と強靭な身体を身につけることだと思います。歴代の顧問の先生方の指導のもとで、活発な活動がなされていたと感じますが、前任者の中津先生（現富里高）が転勤されて一年間専門的な指導のできる顧問がいませんでした。

赴任当初の剣道部の活動は、練習時間から内容、練習に対する姿勢に至るまで愛好会的なのんびりした雰囲気でした。まずは無理をさせないで明るい雰囲気を作りに心がけ、少しずつ部活の形を作っていこうと考えました。毎週二日の休養日と二回のウエイトトレーニング日を設定し疲労がたまらないことと体力作りを目指しました。

練習時間は平日で最大二時間におさえ、基本的な練習を中心にしながら部員の様子を見ました。また、自分たちの実力を認識させることと活動に刺激を与えるために他校との練習試合や大会・錬成会には積極的に参加するようにしました。夏を過ぎた頃には剣道部らしい動きや雰囲気が感じられるようになりました。練習試合や大会では相変わらず連敗続きではありますが、その内容は僅差でよい試合が多く見られるようになり、次の試合につながっていくと感じられました。平成二十一年度総体地区予選男子団体戦では、予選リーグ一位、決勝トーナメントで上位二校に残り県大会出場を決めるまでに成長しました。

まだまだ足りないところの多い剣道部ではありますが卒業生の皆様、保護者の皆様のご協力をいただき高校生活でしか体験のできない貴重な時間を過ごさせたいと思います。これからも皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。



バドミントン部

三橋　康孝

昭和六十一年度に活動が始まったバドミントン部であるが、昭和六十二年度からは男子の活動は行われていなかった。ところが、平成四年度男子部が復活。平成六年度には、関東大会ブロック予選で団体優勝、総体ブロック予選で個人単式で準優勝と県大会出場を決めた。その後男子部は、人数がそろわず、低迷期が続いたが、平成二十一年度、男子五人が入部、強い男子部復活を目指して日々精進している。

一方女子部は、継続して部員数を確保、熱心に活動してきた。団体では、平成三年に関東予選ブロック準優勝を果たし県大会出場、個人では平成五年度、平成九年度、平成十一年度と県大会出場を果たしている。

平成十三年度からはバドミントンを専門とする顧問がいなかったが、ほぼ通年二十名以上の部員を抱え、部員たちがお互いに協力、工夫し合って練習を続けてきた。平成十三年度は個人戦で県大会出場十五年度には北総大会で団体優勝を飾っている。平成二十一年度からは、バドミントンを専門的に指導する顧問が赴任し、新たな飛躍を期している。



年度	第一顧問	主将
十二	佐々木輝彦	尾児島美幸
十三	三橋康孝	笹川智美
十四	川村美佐子	三好英理
十五	川村美佐子	田畑雅子
十六	川村美佐子	石橋淳美
十七	高柳良訓	阿倍裕美
十八	高柳良訓	松崎玲亜
十九	高柳良訓	肥後由香里
二十	高柳良訓	山本由美子
二十一	板倉恵一	伊藤汐里

空手道部

高橋　清行

空手道部は、昭和六十三年に「空手道愛好会」として出発した。その後の成田北高校二十年までの空手道部の歴史については「成田北高校の二十年のあゆみ」を参考にしていただきたい。

成田北高校二十一年目の平成十一年から平成十八年までは、酒井滝雄が顧問として指導をした。酒井滝雄の所属する流派が、「賢友流」だったために、平成十八年までは、「賢友流」にしたがった練習が行われていた。「賢友流」は、空手に中国憲法の形意拳の技術を合わせた流派で、関東における試合の形では不利な流派であった。

酒井滝雄の転勤後、平成十九年からは空手の専門的な指導者が不在になったため、基本的には廃部の方向で話し合ったが、部員の意向で存続することになった。ただし、地域の「道場」に通うことを条件に入部を認めた。当初は、全くの素人が入部してきたために、入部者は二、三年生と同じ、すべて「賢友流」の道場に通って習うことになった。

ところが、平成二十年から、小学生から「勝正館」（剛柔流）で練習を積んできた生徒が入部してきたために、組み手以外は一緒に練習をすることがむずかしくなってしまった。平成二十一年になり、同じ「勝正館」で練習をしてきた生徒が入部し、さらに新たに五名の未経験者が入部してきた。この段階で、未経験者をどの流派で学ばせたらよいのかという問題を解決しなければならなかった。一、二年生に「勝正館」で長く練習を積んできた生徒が一人ずつそろったので、新入部員は自然と成田北高校前の神宮寺小学校で練習している「勝正館」に通うようになった。この時点で、「賢友流」に通う三年生が一名、「勝正館」で練習する二年生が六名という部員構成になった。このメンバーで、関東大会千葉県高等学校地区大会に参加し、個人形で一年生の山下和希が二位になった。また、個人組み手で二年の三雲壮太が二位に入った。

空手道は流派によって形が異なるため、統一した練習を組み立てていくことがむずかしい。



ハンドボール部

飯名　剛士

平成十四年　千葉県一年生大会　優勝
十六年　〃　一年生大会　優勝
〃　ジュニア大会　優勝
十七年　〃　一年生大会　優勝
〃　ジュニア大会　優勝
高体連　新人戦　二位　関東大会出場
十八年　高校総体県予選　二位
県関東予選　二位
十九年　新人大会　四位
二十年　県関東予選　四位　千葉関東大会出場
千葉県ジュニア大会　優勝
新人大会　二位　関東選抜予選出場
県関東予選　三位　群馬関東大会出場
二十一年　高校総体県予選　二位



少林寺拳法部

鎌田　千絵子

成田北高校少林寺拳法部は、平成二年当時の顧問大木卓教諭によって創設された。少林寺拳法は、「護身練鍛」「精神修養」「健康増進」を合わせ持った武道で、「半ばは自己のために半ばは他人のために」という他者尊重の精神をモットーとしている。本校でもその精神のもと大木教諭を中心に活動していたが、転勤で不在になり休部となった。

しかし平成十二年、前年に転勤してきた佐藤敏之教諭が一般道院より転籍し、本校支部長に就任、生徒数名と共に活動を再開した。ミット打ちや技術練習、運用法（乱捕り）等、高校生の興味や体力に応じた練習を多く取り入れ、少林寺拳法の技の面白さを十二分に伝授した。平成十五年からは鎌田も指導に加わり、佐藤教諭同様本校に籍を移し現在に至る。

男女の区別なく同等の練習を共にするのが少林寺拳法の特徴である。二人一組で行うのが基本で、護身術の要素もあるため、練習でも本気で攻撃してもらわないと、少林寺拳法の技は身につかない。体格や力は千差万別なので、多くの仲間



と交わり応用力をつけていく。この組手主体の練習方法で仲間を尊重し合うようになる。少林寺拳法の醍醐味はここにある。現在部員は二十二名、女子部員が増えている。男子部員を増やしたいところだ。

技術力が向上するにつれ、大会出場用の演武練習への意欲も高まっている。それに応じて基本練習の大切さも生徒は実感してきている。意欲的な卒業生たちの協力を得て日々練習に励み、今年で五年連続全国大会出場を果たしている。

少林寺拳法の本来のあり方からかけ離れないよう常に注意を払う必要がある。「正義なき力は暴力なり、力なき正義は無力なり」―自信と勇気と行動力を養い、いざというときに正義を守ることができる人間を育てていくのが、少林寺拳法の根本の目標である。

吹奏楽部

仲澤　信明

昭和五十五年に創部した吹奏楽部は今年で二十九年目を迎える。この間の活動として、吹奏楽コンクールへの出場、成田ニュータウン祭り（現成田ふるさと祭り）への参加、近隣地区祭礼などへの参加、定期演奏会、入学式・卒業式・文化祭など校内行事への参加などが挙げられる。この活動を続けて来られたのは、音楽を愛する部員たちと彼らを導いてきた先輩教員や講師たちの情熱・努力があったからである。成田北高校と歴史の長さをほぼ一にする本校吹奏楽部を支えてきた方々お一人おひとりに最大級の敬意を表したい。そしてこれからも、成田北高校吹奏楽部で音楽を通して自分を磨き、祈りと感謝を多くの人々と分かち合える、素敵な出会いがあることを心から願っている。

こころ惹かれる楽曲があり、奏でる楽器があり、共鳴しあう仲間がいて、そして自分たちに演奏させてくれる場所と時間がある。なんという幸せな環境、なんという幸せな時代に僕たちは生きているのだろう。楽器の代りに銃を持たされ、一緒にハーモニーを奏でるはずの他の国の人々を殺すために生きる子供たちが、この世界には本当にたくさんいる。この子供たちのために何が自分にできるのか。音楽を奏でる機会を与えられた私たちが、できることは何なのか。自分が生かされているミッション（使命）は何なのか。

今日も、祈りを込めて美しい旋律を奏でよう。自分の心を感謝でいっぱいにするために。そして、友と音を響きあわせよう。響きあうことがどんなに素晴らしいことであるかをお互いに共有するために。

音楽が世界平和の重要な鍵であることを私は疑わない。



科学部

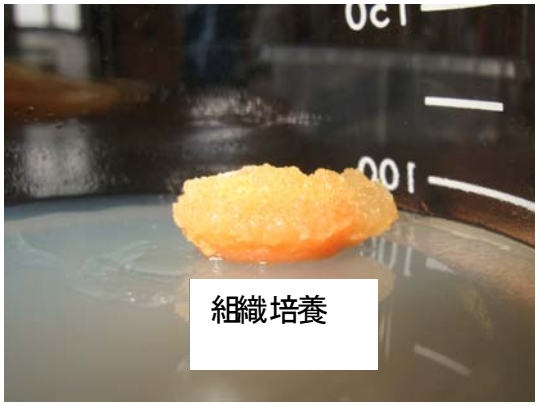
薄井　喜次

現在、科学部は部員四名と、非常に少人数で活動している。ここ数年間の活動を簡単にまとめてみると、週三回の日常活動（生物の飼育・観察、各自のテーマごとの研究活動）を中心に、学校周辺の環境調査（市内を流れる根木名川を中心とした）なども実施している。六月には、館山における合宿を実施し、海浜における生物調査、ウニの発生実験、海草採集、ウミホタルの採集などを実施している。また、夏から秋にかけての校内での天体観測も実施している。これらの活動を、九月の文化祭で研究成果として発表している。人数は少ないが大変熱心な生徒が多く、活発に活動している。

これまでも熱心に活動が行われていた。一九九一年頃は、十名を越える部員が化学全般の実験・天体観測・夏の合宿（天津小湊）を実施し、九四，九五年には、根木名川の定期的な水質検査を実施していた。九六，九七年には化学実験を中心にした活動、環境調査の一環としてリサイクルセンター（市原）の見学等も実施している。

九八年頃からは部員も少なくなり、天体観測を中心にした活動が中心になった。

その後、少ない人数ではあるが、熱心に活動を続け、現在に至っている。



組織培養



館山　生物調査



ウニの発生実験

写真部

古川　恵一

現在、部員一年生女子一名。細々と活動を始めた矢先である。

本校の写真部を受け持って二年目。私が知る限りではここ十年間くらいはあまり活発な活動はしていないようである。しかし、写真部あるいは写真（カメラ）にとってこの十年は大変動期であった。十年前の写真部といえば、男子生徒が大きな一眼レフカメラを担いで写真を撮り、暗室に籠もってモノクロ写真を現像する。こんな風景が一般的であった。しかし、十年くらい前からデジタルカメラが台頭してきた。当時百万円くらいしていたデジタル一眼カメラが今では七，八万円で手に入る。カメラが身近な存在になって幾久しい。特別な存在ではなくなったカメラから男子諸君の興味は遠のいた。

しかし、最近では反対に女子生徒が写真に対して興味を抱くようになってきた。写真部の門をたたくのは最近では女子が多い。「きれいだな」、「素敵だな」と思ったものをコンパクトデジタルカメラで気軽にとる。あるいは二十年前くらいのフイルムカメラをわざわざ中古で買って楽しむ。パソコンに取り込んでいろいろ加工してみる。今の写真はこんな具合である。また再び、写真部の活気をとりもどしたいと思っている。写真に興味のある人、大募集します！！

英会話部

原野　隆

この何年か部員は存在せず、廃部寸前というところであった。ところが、今年度になり、久しぶりに英語がうまくなりたいという生徒が一名入ってきた。

英会話ができればとは誰もが思う。世界の人々と意思疎通が楽にできたらとは皆が思う。しかし、日本語で事足りる生活環境の中では、何もしないでいてしかもある程度までうまくなるということは決してないのである。やはり、読み、書き、話す努力をする中で積み重ねていくしかない。すなわち英語がうまくなることである。

とかく批判にさらされる学校の英語も結構役に立つのである。開いた教科書のどのページにも会話で使えそうな大事な表現がいっぱいある。使うためにこれをどう覚えていくかである。学校の英語も、受験の英語も、実用の英語も区別する必要はない。英語がうまくなるために、工夫をしながらやっていけばよい。更に、ビデオ、ＤＶＤ、インターネット、ＴＶのどれをとっても英語学習者にとっては昔より格段にいい環境にある。これらを使わない手はない。

英語がうまくなるためのきっかけとして英会話部が役に立てばいい。授業を大事にし、なおかつ「英検」でも「受験」でも目指して英語を大いに勉強したい者は英会話部では大歓迎なのである。

美術部

土屋　幸夫

美術部は開校三年目にあたる昭和五十七年に創部され、その後短期間に主要な展覧会において大賞を受賞するなど、華々しい成果を上げ、全国的にもその名を知られるようになった。創立二十周年記念誌からその主なものを拾ってみると、左のようになる。

昭和六十二年　学展デザイン部門大賞・油絵部門大賞・教育奨励賞
六十三年　学展高校の部最優秀賞・読書感想画中央コンクール最優秀賞・教育奨励賞
平成五年　全日本学生美術展推奨
六年　学展デザイン部門大賞・油絵部門最優秀賞・最優秀学校賞・教育奨励賞
八年　全日本学生美術展推奨
九年　学展デザイン部門大賞・全日本学生美術展特選
十年　全日本学生美術展特選
十一年　全日本学生美術展特選・第二三回全国高等学校総合文化祭山形大会千葉県代表
平成十五年　全日本学生美術展特選・第二七回全国高等学校総合文化祭福井大会千葉県代表（二名）
十九年　第三一回全国高等学校総合文化祭島根大会千葉県代表（二名）
二十一年　学展大賞（新井彩香）
入賞（大野恵・堀部智美）
全日本学生美術展推奨（高橋ひかり）

これはあくまでも、大賞や推奨など主要な賞をあげたもので、これらに準ずるものまで数えたらきりがない。当時の美術部がいかに活発な活動をしていたかは、推して知るべしである。

平成十二年以降を振り返ってみると、それ以前ほどの活発さはないが、多くの部員が土日も登校して、創作活動に勤しんでいる。この間の成果は次のようである。

現在部員は二十四人。活動場所の美術室は少し狭くて、不便を強いられることも多いが、それぞれが自分の目標に向かって頑張っている。



書道部

松永　博一

この十年間の書道部の歩みについて紹介いたします。

平成十二年度は、山内美和先生が指導されていました。その後、九年間についての活動の様子を書きたいと思います。まず、部員についてですが、各学年四名前後ですが、年によっては、入部者のいない学年もあり、十名前後で活動してきました。練習日は、週三回程度、六月七月、一月二月は作品制作のため土日を除いて毎日活動をしてきました。主に古典臨書が中心ですが、年四回の展覧会作品制作については、一字書、多字数書、現代文書等の創作を行ってきました。合宿も実施した年もありましたが最近は夏休み中に通いで学校での集中練習にきりかえました。年間の行事等についてですが、五月、高野山競書大会出品、九月、黎明祭（文化祭）で書道展を開催、十一月、千葉県高等学校総会文化祭書道展出品、二月、成田地区高等学校書道展出品、そして、校内では春、秋、冬と年三回程度、校内書道展を図書館前の掲示板を利用して行ってきました。発表作品、及び、出品作品の内容ですが、古典臨書作品も前半の数年はありましたが、近年、自由創作作品が多くなってきました。一字書、二字書、四字書、現代文書等、読めてメッセージ性のある作品制作に取り組んできました。一般の皆さん、他校の生徒、北高の生徒達にアピールできる作品作りに挑戦してきたと思います。展覧会ごとに部員皆でテーマを決め、そのテーマにそって言葉や文書を考え、その内容にそった書表現を行うのです。今の自分自身を表現する、又、今、自分が主張したいことを書に表現するのです。発想をすばらしいと思うのですが、実際に書に表現することは高校生にはやや難しいと感じることもありましたが、生徒達は楽しそうに、又、生き生きと制作にあたっていました。出品、及び発表作品は、その後、校内に常設で展示してあります。この十年間、校内に書作品をより多く展示することにつとめてきました。

平成十四年には、第二十六回全国高等学校総会文化祭（神奈川大会）に千葉県代表として秋山さやかさんが選ばれ、「進化」という作品を出品しました。その作品は職員玄関入ったところに展示させていただきました。



演劇部

原田　久美子

教室では全く目立たないのに、スポットライトを浴びた途端、別人になってしまう。それが演劇部員だ。

彼らはほんの数年前まで四階の視聴覚室に集い、稽古に励んでいた。昇降口脇の倉庫は、装置や衣装を創り出す秘密基地だったが、今はひっそりと静まりかえり、主の帰りを待っているようにセットが並んでいる。

私が高校演劇と出会ったのは、本校に着任した九年前に遡る。それまでは「演技が臭くて、リアクションが大きい」といわれる『高校演劇』に偏見を抱いていたように思う。しかしその考えは少しずつ変わっていった。全身から漲る活力。大人が目を背けたくなるほどの真っ直ぐさと、時折見せる繊細さ。荒削りではあったが、それぞれの作品には人の心を打つ「何か」があった。特に印象に残っているのが、成田演劇フェスティバル参加作品『The Colors of Wind』である。

近未来、平和に暮らす羊飼いの姉弟を突然の嵐が襲う。謎の男が現れ、共に筏を作り、大洪水の中を出帆する。気づけば風は凪ぎ、筏は大海原を漂い、謎の男は姿を消していた。彼は伝説の「風追い人」。姉弟を救うためにその地に降り立ち、身を挺して二人を救い、筏の帆を押す風へと姿を変えたのだった。

終演後のホールには清々しい風が吹き渡っていた。部員たちも安堵の表情を浮かべ、一瞬しか味わうことのできない感動を分かち合っていた。この作品は、彼らの3年間の活動の集大成となった。

彼らの人生のかけがえのないひとときに、顧問として関わることが出来たことを、心から幸せに思う。あのとき吹いた風が、今もそれぞれの場所で彼らの背中を押し続けてくれていることを願っている。

茶道部

髙木　綾子

茶道部は平成十一年度に同好会から部へ昇格した。同好会が発足したのは平成二年のことで、学校創立以来十年間は必修クラブとして教育課程に組み込まれていたものが、部活振興策の一環として同好会になったのである。必修クラブとして活動を始めた当初より平成十五年度まで表千家茶道の岡嶋ふじ子先生に、平成十六年度からは表千家茶道の大堀よし子先生にご教授いただいている。

先生をお迎えしてのお稽古は、茶道の心構えや作法を学ぶとても有意義な時間である。毎年、文化祭では、日頃の練習の発表の場としてお茶席を設け、お手前を披露している。また、校内の練習の他に、千葉県高等学校文化連盟茶道専門部会による交流茶会や成田山梅祭りの野点に参加したり、市内の和菓子屋さんのご厚意で、季節の和菓子づくりを体験させていただいている。

今後も茶道というすばらしい文化に真摯に向き合い、心豊かな時間を楽しんでくれるよう願っている。



イラストレーション同好会

片野　利治

年一回発行の会誌『ＤＵＳＴ　ＢＯＸ』が今年度二十七号になります。

イラストを描く、という特性から、集団でというより、個人の活動が中心。そのため、同好会としての集まりは木曜日一回だけで、近年は主に視聴覚教室を活動場所としています。木曜日はお互いのやっていることを確認し、刺激し合う場として位置づけられます。

会員は毎年度三十人前後で増減も少なく、安定した活動を続けてきた同好会といえましょう。

会誌の号数から察して、創刊号の頃の会員、つまり同好会を設立した立役者たちは、もう四十代半ばになっているはずです。

会誌『ＤＵＳＴ　ＢＯＸ』は印刷・製本された冊子ですが、手書きの絵と文字・文章がたくさん載っています。ワープロの印字や活字氾濫の中にあって、「手書き」はひどく新鮮に感じられます。年度によって表紙のイラスト・色、ページ数、紙質が違って、いいえ、そんな見かけの違いはあっても、そこには十代の夢が、血が、息づかいが、営々と流れています。

昭和から平成へ、同じ年代を、この成田北高校イラストレーション同好会の場で生きたその証を『ＤＵＳＴ　ＢＯＸ』は物語っているように思います。

将棋同好会

森　知幸

数年前に県大会がＡ級（県代表決定）・Ｂ級（初級者クラス）の２クラスに分かれた。２クラスに分けた理由は、参加者が１００名を超えるようになったこと、有段者と初心者が対戦することなどから初心者レベルの生徒を別クラスにすることであった。しかし、Ａクラスはトーナメントの一発勝負、Ｂクラスは予選リーグ（２勝通過２敗失格）、決勝トーナメントで実施しているため１度負けても後があるＢクラスに参加者が集中する状況になっている。

北高の将棋同好会は、部員は各学年１名～数名、活動は部員同士の都合のつく日に（週１～数回）放課後対局を中心に実施している。私も対局後の感想戦では、将棋に対する大局観や勝負に対する心理面などを中心に指導している。部員の棋力は、駒の動かし方は知っているけど定跡の存在は聞いたこともないレベルである。１・２年ではＢクラスでの予選突破を目指して、３年ではＡクラスでの勝利を目指して勉強している。最近の戦績は、各クラスとも熱戦であるが、Ｂクラスでは予選通過者が約半分、最高がＢクラス決勝負けである。Ａクラスでは、最高が３回戦進出までである。

現在の１・２年生部員５名もＢクラスに出場している。早くＢクラスを卒業してＡクラスでの勝利を目指して、顧問・部員で力を合わせ活動していきたい。



軽音楽同好会

橋本　光洋

軽音楽同好会は、本校創立六年目の昭和六十年度から活動を開始した。平成十八年四月からは、活動の中味がほぼ同じだということで、それまであったフォークソング同好会と合併した。それにより、名称は「軽音楽同好会」のままに、部員も増えて、あらたな体制で再出発した。いまだに「同好会」ではあるが、長年の活動の中で、多くの部員を擁し、本校の課外活動のひとつとして根づいてきている。

活動形態は、まずバンドを組むことを基本とし、日常はそのバンドごとに日程表を作成して練習をしている。一階西側階段脇倉庫と女子更衣室の二か所が練習場所であり、同好会の側にとってもそれ以外の周辺にとっても条件はけっしてよくないが、そうした中でも技術の向上を目指して真剣に練習に励んでいる。節目のイベントとしては、まず各学期末の校内ライブがあげられる。日頃の練習の成果を発揮し、同好会の存在をアピールする場となっている。また、文化祭では、自分たちで演奏用機器を手配するなど自主的に運営に取り組んで、バンドごとにライブを実施している。校外では、地元玉造の地域行事「ＹＯＵ遊（ゆうゆう）音楽祭」に有志で参加している。それには第一回から連続して出場しており、今年で八度目の参加となる予定である。地域の方々にも期待されており、昨今では、「ぜひまた参加して欲しい」と依頼されているほどである。

運動部の活動で汗を流すのも高校生らしい姿であるが、バンド活動に懸命に取り組む姿も、「青春を賭ける」姿として現在は社会的に認知されてきているのではないだろうか。これからも日頃の練習で技術を向上させることはもちろん、周囲から信頼される活動を構築していくために力を尽くしていきたい。





合唱同好会

笹崎　壽宜子

これだけ音楽の盛んな時代になっても、合唱というのは高校の部活動の中ではあまり人気のある部ではない。成田北高の合唱同好会も例外ではない。少人数の地味な集団で、絶えず存続の危機に晒されている状態である。

創設は昭和五十九年。まだピアノもない音楽練習室で活動を始めた。数年間は文化祭や予餞会などの参加を中心に活動してきたようだ。平成九年度より、「印旛地区高等学校連合音楽会」へは毎年欠かさず出演している。他校の高校生達と互いの演奏を聴き合うこの音楽会は、貴重なステージであり、練習をしていく上での大きな刺激となる。

その他の活動として千葉県総合芸術祭合唱の部への参加があげられる。この二、三年学校行事と重なり、参加できないのが残念である。今年は是非とも復活させたいものである。

メンバーの多くは三年生であり、いつも全員揃って練習を・・・というのは無理である。が、少しの時間でも集まる事ができるなら、「楽しく歌い合い、学年の垣根を越えて素敵な時を過ごしましょう」という気持ちで、これからも細々と活動を続けていきたいと思っている。



工芸同好会

密本　ゆかり

工芸同好会は、平成二年度に必修クラブの改変に伴い「バードカービングクラブ」から「工芸同好会」となり、木工、木彫、陶芸、籐芸、革細工、樹脂加工、ステンドグラス、トンボ玉、彫金など幅広い分野に渡って制作活動を行い文化祭で発表してきた。

とは言っても、この十年間を振り返ってみると部員はいつもそう多くなく、掛け持ち入部の生徒もおり、少人数でこつこつとやっている状況である。着任した年は、部員は三年生一人で、畑瀬先生と自分の三人で電動ろくろでの作陶を中心に制作を楽しんだ。

卒業間近に一年生が二人入部した。工芸同好会の部員構成の特徴は、単学年で構成されることで、三年生が卒業して部員がいなくなると一年生が入ってくる。途中部員は増えるが皆同じ学年で三年後には空になってしまう。

そしてそんな二サイクル目は、池田先生が着任し、週に一度生徒達が「池ちゃんの日」と呼ぶ陶芸の日があり池田流の陶芸を教えてもらった。生徒達は「弟子」と呼ばれ、池田先生の初弟子となった。

三サイクル目は、一年生一人からのスタートだったが、最終的には七人にもなった。この回には、斉藤先生が着任し、紙バンドを使ったペーパークラフトを教えていただき、薬師寺東塔の模型という大作を二年がかりで完成させた。

多才な先生方との出会いによって工芸同好会は技術の幅を広げ、充実した時間を過ごしてきた。

生徒達が先生方に学びながら、幾つになっても「作ること」を楽しむ姿勢を持ってくれたらと思う。

ペン字同好会

川島　洋子

「ペン字同好会」は、平成二年四月に創設されたという。来年度で二十年、長い活動歴を持つ同好会である。平成二十一年度の会員は、二年生六名・三年生二名の計八名である。日常の活動は、毎月「ペン時代」という競書雑誌の課題を練習し、出品して昇級昇段を目指している。一ヶ月は長いようで短く、毎月の課題をこなすのは大変であるが、ほとんどの生徒が、頑張って毎月欠かさず出品している。運動部とかけもちをしている生徒もいて、試合前などは校内で字を書く時間が持てず、自宅で練習を重ねて出品する月もある。級や段が上がった時の喜びは一入で、連絡を受けるとパッと表情が明るくなる。

書くことは、精神の集中と安らぎをもたらし、全体の構成力が身に付き、他人の文字を見る目が、ペン字をやり始める前とは変わってきたという生徒が多い。ペンとインクと紙さえあれば、創作可能なものであるから、日常のわずかな時間で楽しむことができ、忙しい現代社会の日々のオアシスともなっているようだ。

また、夏休みには、黎明祭への参加作品を制作し、展示している。印象に残った詩の一節や手紙、短歌や歌詞や俳句や警句など、日ごろの基礎的な練習を生かして創作を楽しんでいる。

文字には、人柄が表れるという。手書きの文字に心を込めて、一字一字大切に記している様子や出来上がった作品を見て、なるほどと思う。この同好会が、今後も長く続いて、文字を書く楽しさをより多くの人に味わってほしいと願う。



調理同好会

香取　里佳

調理同好会の活動について、簡単に述べたいと思います。現在同好会の人数は三年生三名、一年生十名です。今年度、新入生の加入が増えた理由としては、生徒会によるビデオ撮影により各部活動・同好会活動が紹介されたからと考えられます。調理同好会と言うと食べる事が出来て楽しいイメージが先行しがちですが、調理とは準備や片付けも大切な部分であり、更に火や包丁を使うので安全管理が必要で、食中毒も無いように衛生管理も大切です。

では、具体的な活動日についてですが、活動日は週一回が基本となります。活動日は材料調達を土曜日・日曜日と考えると月曜日が理想となり平成二十年度は月曜日が活動日でした。但し今年度になり部員の中に他の部活動との両立のため水曜日を希望する声が多く水曜日が活動日となりました。

具体的な活動内容ですが、まず生徒達が話し合いでメニューを決めます。平常授業がある場合は簡単なお菓子（ブラウニーやパンプキンプディングなど）になる場合が多く、定期考査後の半日の場合は食事のメニュー等（グラタンなど）になりました。それらのメニューを本など参考に決めると少なくとも金曜日までに顧問に報告し、相談となります。相談内容は、限られた時間内に作る事が可能か、それに必要な調理用具は学校にあるか、材料調達の確認等です。その後前日までに当日に慌てないため道具を調理室にて準備し、後日やっと調理となります。

今年度入学の一年生は授業で家庭科がなく、調理室の施設説明に時間が必要となり、また授業で調理室を使う期間や顧問が出張や会議のときは活動が出来ず一学期が過ぎてしまいました。しかし二学期以降の活動を期待したいと思います。





体操・ダンス同好会

川村　美佐子

体操・ダンス同好会は、平成十四年体操系アクロバットやダンスに興味・関心のある情熱を強く持った生徒、一年生八名を中心に、愛好会として発足しました。練習は主に、教室で行われ、週一回ステージを使用できる環境の中で、細々と活動する毎日でした。

活動内容は、黎明祭オープニング発表・中庭発表・クリスマス・新入生歓迎会の発表に加え、順天堂大学ヒップホップ教室への参加など、熱心に活動してきました。平成十六年三月部員も増加し、活動が評価され、同好会として承認されました。また、この年、黎明祭では、優秀賞を受賞しました。

現在、三年生男子一名・二年生十四名・一年生十一名で活動しています。新しいアクロバット系の技にも挑戦し、踊りの中に取り入れながら、表現豊かな作品・・・そして、高いレベルの作品をめざし日々練習に励んでいます。平成十七年度より、黎明祭の発表は、総合ダンス（三年）と合同で、ステージ発表・中庭発表を行っています。平成十八年度・平成二十年度は校長賞を受賞しました。ブレイクダンス・ヒップホップ・ジャズなどジャンルの幅も増え、より高い作品にするため、より一層の努力が必要であると考え、日々熱心に練習に励んでいます。今後も、楽しく活動できることを期待するとともに、さらなる個々の技術の向上をめざし、周囲から応援される同好会として継続していくことを願っています。





山岳同好会

佐々木　輝彦

山岳同好会は、岩や雲上のすばらしい景観や可憐な高山植物などの自然を満喫し、個人の技能・体力に応じて登山計画を自分たちで立て、山での感動や達成感を得るために平成十三年に山岳愛好会として発足しました。

発足当初は、十分な装備もなく活動も停滞していましたが、平成十八年度より活動が活発になり、これ以降黄金期を迎え、今年度は二年連続の関東大会出場を果たしています。

日頃の活動内容は、ボッカやマラソンなどの体力作りとテント設営や食事作りなどの生活訓練が中心となります。また、読図や天気図作成などの登山知識の向上にも努めています。

他の部活動と異なり、日頃の活動は地味でつらいものですが、山頂での百八十度のパノラマと満天の星を見るために、生徒は我慢強く練習に取り組んでいます。



主な山行記録

【平成十三年度】
夏山合宿　尾瀬　七月三十一日～八月一日

【平成十六年度】
高校総体　御前山　五月七日～九日
夏山山行　白馬岳　七月二十四日～二十八日

【平成十八年度】
新人歓迎山行　鋸山　四月十五日
夏山準備山行　乾徳山　六月十七日～十八日
夏山山行　穂高岳　七月二十九日～八月二日
秋山山行　御嶽山　九月三十日
新人戦　櫛形山　十月二十七日～二十九日

【平成十九年度】
春山山行　鍋割山・塔ノ岳　四月二十九日
高校総体八位　御前山　五月十一日～一三日
夏山準備山行　赤岳　六月十五日～十六日
夏山山行　北岳　七月二十六日～三十日
新人戦　武尊山　十月五日～七日
秋山山行　尾瀬　十月二十七日～二十八日

【平成二十年度】
春山山行　御前山　四月二十六日～二十七日
高校総体六位　同　五月九日～十一日
夏山準備山行　天狗岳　六月十四日～十五日
夏山山行　野口五郎岳・槍ヶ岳　七月二十四日～二十八日

関東大会準備山行　大山　九月二十三日
関東大会（栃木県）　日光太郎山　十月三日～五日
秋山山行　蓼科山　十月十一日～十二日

【平成二十一年度】

総体準備山行　三ノ木戸山　四月二十五日～二十六日
高校総体六位　同　五月八日～九日
夏山準備山行　赤岳　六月二十日～二十一日
夏山山行　西岳・槍ヶ岳　七月二十五日～二十九日
新人戦　武尊山　十月九日～十一日
関東大会準備山行　陣馬・高尾山　十月三十一日
関東大会（茨城県）　篭岩山　十一月六日～八日







創立三十周年記念式典式辞

校長　鈴木　政男

本日ここに、千葉県立成田北高等学校創立三十周年記念式典を挙行するにあたり、御多用の中、成田北高校第五代校長　井上洋一様、成田市立中台中学校長　五十嵐和男様をはじめ、多数の御来賓の皆様ならびに本校に御縁の皆様方の御臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。生徒、教職員一同にとりまして、この上ない喜びであります。

本校は、昭和五十五年、県内全域の人口増加、特に成田空港開港や都市計画による印旛郡市の人口急増に対応すべく、造成途上の成田ニュータウンの一画に誕生いたしました。ニュータウンの造成以前には百十基を超える古墳があったといわれており、現在では四十基に近い古墳が都市公園として保存され、新しい街と共存しています。学校の所在地である「玉造」という地名も、古墳時代の玉作工房跡が発掘されたことから名付けられました。

当時は県立高校が相次いで開設される新設ラッシュの時代であり、開設されたばかりの本校も、必ずしも恵まれた環境ではなかったと伺っております。学校周辺の造成地に建つ家は、まだまばらであり、バスも一日に数便しかない、ススキの原に囲まれた学校であり、雨が降ればぬかるみとなり、風が吹けば砂塵が舞うグランドは、「千把が池」と呼ばれる沼地を埋め立てたものでした。

そのような中、初代校長、岩上利男先生を先頭に、職員、生徒一同、そして保護者の皆様の大変な御苦労と御努力による教育環境の整備からスタートしました。本校の校地は十万年前の海底に堆積した貝類の化石が多く見られ、国際空港から飛び立つジェット機と組み合わせた校章、そして「自律、協調、健全」の校訓を定め、その精神を織り込んだ校歌が定められました。

それ以来、十一代の歴代の校長先生方、職員の皆様が一丸となって、教育実践を展開し、これまでに送り出してこられた九千三百九十九名の卒業生は、各方面で社会の有為な担い手となって活躍しています。

また、今年の在校生は、少林寺拳法が全国大会へ、ハンドボール、女子サッカーおよび山岳が関東大会へ出場したほか、トキめき新潟国体のハンドボール女子選抜チームに本校の選手を派遣しました。また、美術部は伝統ある学展展覧会において、大賞を獲得し、別の作品でも入賞を勝ち取りました。さらに、学校での活動とは別に、全国高校生英語スピーチコンテストで、千葉地区予選を突破し、全国大会で優勝を勝ち取った生徒もでました。運動系、文化系とも実績を積んで、頑張っています。

このような充実感を感じられる元気な成田北高校ができましたのも、歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆様の御尽力や、本校に学んだ同窓生のたゆまぬ努力の賜物であり、さらにＰＴＡ、同窓会、後援会の皆様，地域の皆様のお陰と、感謝に堪えません。

さて、今年は、未曾有の世界的な経済危機の中、長年続いた自民党政権から民主党政権へという政権交代がありました。内政に外交に様々な政策転換が図られ、それらに伴う軋轢が生じています。まさにチェンジ、変化を目の当たりにしています。国民一人一人が今まで以上に物事の真実を見極め、自分の意見を持ち、判断をして、地方自治や国政に参加していかなければなりません。

法務大臣の諮問機関である法制審議会は、成人の年齢を二十歳から十八歳に引き下げるのが適当とする意見を、法務大臣に答申しました。今後、どのような手続きが進

められるのか注目されるところです。
いずれにしても、高校はそのための知識を身につけ、訓練していく場であります。学力、体力、気力、さらに運動や芸術の高度な技術も大切です。同時に、思考力や判断力も養わければなりません。生徒の皆さんには、創立三十周年という記念の年にあたり、これまでの先輩方の努力に思いをいたすとともに、今という時代をどう生きるか、真剣に考える機会としてもらいたいと思います。そして、将来の目標を高く掲げ、それを実現するための努力を、一日一日、重ねていくことを望みます。念願は人格を決定す、継続は力なり、です。
本日は多くの皆様の御臨席の下、このような盛大な記念式典を挙行できましたことに対して、重ねてお礼申し上げます。そして、最後にもう一度、本校を支えてくださっている同窓生の方々、地域の皆様方に感謝申し上げ、成田北高校の生徒、教職員一同、精一杯努力していくことをお誓いするとともに、今後とも変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げて，式辞といたします。

平成二十一年十一月二十日





創立三十周年記念事業実行委員長挨拶

石橋　久和

ただ今御紹介頂きました、千葉県立成田北高等学校創立三十周年記念事業実行委員長の石橋と申します。最初にこの三十周年の式典の為に、大変お忙しい中第五代校長井上祥一様をはじめ本校に縁のある多くの御来賓の皆様に御出席を頂きました。実行委員を代表し厚くお礼申し上げます。また、後援会、同窓会、ＰＴＡの方々の御協力を得まして記念事業として、裏門の改修工事、学校案内プレートの設置を行うことができました。こちらにつきましても実行委員を代表して感謝申し上げます。

さて、本校は昭和五十五年四月開校致しました。今日は、平成生まれの生徒諸君も多数出席しておりますが、本校が開校した昭和に話を戻してみたいと思います。

東京オリンピックが開催されました昭和三十九年当時、印旛郡富里村に羽田空港に次ぐ国際空港を作る計画が政府より出され、これに対し富里の住民の皆さんが猛反対をしました。そういった反対運動もあり、昭和四十一年時の佐藤栄作内閣が富里に変わる空港用地として、成田市三里塚に新東京国際空港を建設する決定を致しました。そして昭和四十三年この成田ニュータウンの開発事業がスタートし、その計画の中に高校は二校作ろうという事が明記されておりました。昭和五十年成田西高等学校（現在の成田国際高校）が開校し、昭和五十三年成田空港がオープンし、そして二年後の昭和五十五年四月いよいよ我らが成田北高等学校の開校へと至るわけであります。

開校当時をふり返って見ますと、この地は成田ニュータウンが開発される前、深い森と畑が点在している場所でありました。本校の敷地ですが、グランドが一段と低くなっております。あの場所には、千把ヶ池という沼があり、その沼を埋め立ててグランドとしたわけですが、非常に水はけが悪く何度か改修工事が行われました。そこからせり上がった土地を切り崩して、校舎や体育館を作り、その時多くの貝がでてきたそうです。その貝と北という文字から航空機をイメージして校章をデザインしたと聞いております。

校歌の冒頭に黎明という言葉があります。黎明とは、夜が明ける頃、新しいことが始まろうとする時という意味であります。本校が産声をあげた三十年前、正に黎明を迎えたのでありますが、三十周年を祝う今、本校は新たなる黎明の時を迎えようとしております。それは来年七月の成田新高速鉄道の成田空港乗り入れと、成田湯川駅のオープンであります。これだけ緑豊かな、これだけ最寄り駅に近い高校は他に類を見ないのではないでしょうか。

三十年の歴史を踏まえつつ、今本校は新しい時代を迎えようとしております。どうぞ御出席の皆様、今まで以上のご支援、ご愛顧を成田北高校に賜りますようお願い申し上げます。

最後に、この三十周年事業に対し、それぞれの立場で御協力を頂きました皆様に心より感謝を申し上げ私の挨拶とさせて頂きます。



三十周年記念式典祝辞

第八代校長　越川　雄次郎

本日は成田北高校創立三十周年記念式典が催されますこと、誠におめでとうございます。私は北高の創立時と創立二十年の頃と二度本校に勤務した者でございます。自分では北高に縁のある人間と思っておりますが、ただ今は先輩の先生方、私よりさらに本校に御縁の深い方々が御列席のところ、御祝辞を申し上げる機会を頂きました。失礼をしていちごんお祝いの言葉を述べさせていただきます。

先程、校門を入って桜やイチョウの並木の下を左手にグランドを眺めながら校舎に近付いて来ましたが、そのアプローチがなんとも快く、よい佇まいの学校にできたなあと改めて感じ入りました。外形のみでなく、このように素晴らしい学校に発展してきた北高は、はや三十年の歴史を刻んだわけですが、学校の歴史とは生徒にとってどんな意味を持つものなのか、いま記念式典に巡り合わせた在校生の皆さん、一緒に考えてみましょう。

皆さんは、北高の創立当時の姿を想像できますでしょうか。いきなり三十年前に遡ってしまいますが、学校の図書館に本校創立五周年記念誌がありますので、ぜひ一度掲載の写真を見ていただきたいと思います。成田層の化石台地や、南校舎が一棟ぽつんと建っている様子が写っています。周りには現在のような緑の木々が何もありませんでした。そこへある日、ツゲの木を百一本寄贈して下さる方がいらっしゃった。北高に初めて木が植えられることになったのです。これを一期生が総出で植えました。例の何十万年前の貝の化石台地ですからカチンカチンです。不毛の台地にツルハシで穴を掘ってツゲを植えました。今この式典に列席なさっている同窓会長の石井さんも一期生で、一緒に植えたのです。穴掘りは大変でしたし、百一本ですから時間はどんどん過ぎて、あたりが暗くなってきても必死で植えました。

時は移り、北高は南校舎だけでなく北校舎・体育館が完成し、グランドも整備されて植栽が豊かに生長してきたある日、準備室に居た私のところへ二年生のAさんがふっ飛んできました。Aさんはクラスのまとめ役で皆の世話をやいたり頼られたりしている、クラスのお姉さん的な存在でした。「B君が見えなくなったんです！」「窓からですっ。」Aさんは、恐ろしくて「B君が落ちた」と言えなかったのでした。私は南校舎へ走りました。二年生の教室は三階ですからただでは済まない。B君はどうなったでしょうか？

数人の友達に囲まれて、無事自分の足で地上に立っていました。

落ち着いてから聞いたのですが、放課後の教室掃除をしていたB君は窓下の友達に声を掛けられた。そこで話をよく聞くため窓枠にピョンと飛び乗ろうとしたところが、力余って行き過ぎた上に片足が窓枠に引っ掛かってバランスを崩し、その勢いで空中に飛び出してしまった。声を掛けた生徒達は、B君が空で大の字になって回転しながら落下してくる姿を目撃したそうです。

三階から墜落しながら、B君はなぜ怪我一つせず無事に地上に降り立つことができたのでしょうか。

ここで先程お話した一期生の植えたツゲの木が登場します。B君を救ったのは、このツゲの木でした。開校間もない頃のこと、生徒・職員が皆で百一本のツゲを頑張って植えましたが、終りごろには暗くなって真っ直ぐに植えられず、少し斜めに植え付けてしまったものがあっ

たのです。「学校に緑を」と一所懸命に植えた木、しかも植え方に失敗した木が何年も経って一人の生徒の命を救ったのです。B君は大の字で回転しながら、よりによってこの斜め植えのツゲに落ちかかったのでした。枝を何本もへし折り、幹を大きくしなわせつつB君は幹に沿って尻から着陸したそうです。幹の根元の地面にはお尻の跡が丸くへこんで残っていました。真っ直ぐに植えてもらえなかったツゲは、曲がったままずっと何年も何年もB君を待っていたのでしょうか。まさに僥倖です。二度とはないことでしょう。しかし、これこそが学校の歴史そのものじゃないでしょうか。

目に見える形、あるいは見えない形で学校には三十年の生徒の活動が積み重なっている。気付くことも気付かないこともあるけれど、生徒の皆さんが真剣に学校で過ごした日々が積み重ねたものは、学校の歴史となって校内のあらゆるところにとどまっている。そういう過去の活動の積み重ねは、知らず知らず今の生徒の心に沁み込んで、これからどういう活動をしていったらよいのか、先を示してくれています。あるいは、ただいまの話のように優しく受け止めてくれる歴史もあるし、時には足を引っ張る歴史があるかもしれない。先程校長先生のお言葉の中で学習面や部活動での素晴らしい成果を伺いました。確かに、チームごとの、または一人一人の成果ですけれども、それもまた学校全体の歴史の一こまになって蓄積されていくでしょう。

北高の現在の姿、学校の様々な決まりから始まって教室や廊下のキズ・シミ、グランドの土や植栽の一本一本に至るまで、形のあるものも形のないものも、すべて今あるようにした人がいます。現在の皆さんの学校生活は、三十年の北高生の学校生活の積み重ねに支えられています。それが歴史なのであって、皆さんの現在の充実した学校生活の一こま一こまはさらに新しい北高の歴史を作り出し、将来の北高を支えて行くのだと思います。

北高が今後も一層素晴らしい学校の歴史を積み重ねて行くことを祈念致しまして、北高三十周年記念式典に寄せる御挨拶と致します。ありがとうございました。





三十周年記念式典祝辞

成田市立中台中学校長　五十嵐　和男

ただ今、ご紹介をいただきました中台中学校の五十嵐と申します。

成田北高校の４割を超える生徒の皆さんが成田市内の中学校の卒業生であるということから、市内の中学校を代表して、一言お祝いのあいさつを申し述べさせていただきます。

本日は、千葉県立成田北高等学校が創立三十周年を迎えられましたことに、心よりお祝いを申し上げます。

この学校から約２キロほど成田駅方面に行ったところに中台中学校があります。私は現在その中台中学校に勤務しております。普段は車で通勤しておりますが、今月の９日から４日間ほどバスで通勤する機会がありました。ＪＲ成田駅西口から朝の７時過ぎのバスに乗ったのですが、そのときにこんなことがありました。バスの発車時刻になり、バスの運転手がバスの外にいた高校生に声をかけました。「もう、発車時刻は過ぎていますよ。」すると「すみません。」「ありがとうございます。」と口々に言いながら２人の女子高校生がバスに乗ってきました。そのように言うことは当たり前のことかもしれませんが、その言い方が大変自然でしかもさわやかで、私は朝から大変すがすがしい気持ちになりました。高校生のバスや電車のマナーのひどさについて時々耳にすることがありますが、この子たちはすばらしい高校生だなと感心しました。もちろんその高校生は成田北高校の生徒でした。

さて、現在、百年に一度といわれる経済危機に見舞われている日本でありますが、回復に向けた取組が各方面で行われています。このような状況の中で、皆さんに是非考えていただきたいことがあります。それは、ごく近い将来に、この成田を、千葉県をそして日本を背負って立つのは、他の誰でもない皆さん自身であるということであります。この創立三十周年を契機にその思いを新たにし、社会の第一線で活躍するときに備え、そのための力を今こそ蓄えてほしいと思います。創立以来、この三十年の間に培われ、脈々と伝えられてきた良き伝統を受け継ぎ、『自律』『協調』『健全』の校訓の下に、より良い人格形成に努めてほしいと思います。

結びに、成田北高等学校の更なるご発展と生徒の皆さんのますますのご活躍を祈念し、言葉整いませんがお祝いのあいさつといたします。本日は誠におめでとうございました。



創立三十周年記念事業並びに記念式典について

教頭　田中　正之

平成十九年度のＰＴＡ総会にて、創立三十周年記念事業を平成二十一年度中に行うことが承認され、その後の、後援会総会並びに同窓会総会においても承認を得て準備活動が本格的に開始することになりました。第一回打ち合わせを平成十九年十二月十一日に本校会議室において開き、正式に会の名称を千葉県立成田北高等学校創立三十周年記念事業準備委員会と名付け、構成員として後援会長・同窓会長・ＰＴＡ会長・ＰＴＡ副会長（学年委員長）・校長・教頭・事務長・総務部長とし当該年度のＰＴＡ会長を準備委員会の委員長としました。あわせて校内組織として総務部長を中心とした記念事業総務委員会・情報部長を中心とした記念誌編集委員会・学年主任を中心とした記念式典準備委員会を設置することが決まりました。また、記念式典を平成二十一年十一月に挙行し、祝賀会を式典終了後に市内ホテルで行い、記念誌については電子情報媒体を活用しできるだけ簡単なものにすることで了承されました。

第二回準備委員会は平成二十年十二月十一日に本校応接室において開かれました。ここで平成二十一年十一月二十日午後一時から本校体育館で記念式典及び記念講演会を挙行することが決定し、祝賀会については同日午後六時からメルキュールホテル成田にて行われることが決まりました。また、記念事業として裏門の改修・整備及び看板の設置が決まり、記念誌については出来るだけコンパクトにまとめ平成二十二年二月中に完成させ、その年の卒業式までには配布を目指すことを確認しました。そして、ＰＴＡ・同窓会・後援会、三団体の予算配分予算概要が了承されました。

第三回準備委員会は平成二十一年三月十一日に本校応接室において開かれ、記念誌の進捗状況・記念講演会の講師の検討・千葉県立成田北高等学校創立三十周年記念事業実行委員会会則案の検討をしこれを了承しました。また、準備委員会を解散し、次回平成二十一年五月実行委員会を立ち上げることを確認しました。

平成二十一年五月十八日に本校応接室において第一回目の実行委員会が新たな委員によって開催されました。

千葉県立成田北高等学校創立三十周年記念事業実行委員会

委員長　石橋　久和（平成二十一年度ＰＴＡ会長）

副委員長　高仲　照雄（後援会会長）

石井　幹夫（同窓会会長）

鈴木　政男（校長）

委員　瀧嵜　博

藤枝　和正

大場　弥生（平成二十一年度ＰＴＡ副会長）

吉村　貞男

青野　穣（平成二十一年ＰＴＡ顧問）

田中　正之（教頭）

寺内　温穂（総務部長）

泉水　清和（情報部長・記念誌編集委員長）

会計　蓑田　美紀（平成二十一年度ＰＴＡ副会長）

伊藤　京子（事務長）

会計監査　大柳　瑞子

佐久間　幸恵（平成二十一年度ＰＴＡ副会長）

また、記念講演会の講師を元千葉ロッテマリーンズ投手　黒木知宏氏にお願いすることが決定しました。その他記念事業・記念誌の進捗状況が報告されました。

第二回実行委員会は平成二十一年七月二十三日に本校応接室において開かれ、案内状送付予定者並びに記念式典の次第が決定されました。また、記念事業・祝賀会と記念誌の進捗状況が報告されました。案内状送付予定者は歴代校長を始めとして印旛地区県立高等学校長・印旛香取地区中学校長・後援会役員・同窓会役員・ＰＴＡ役

員・校医・薬剤師・開かれた学校づくり委員会・旧職員・スクールカウンセラー・実行委員会など二百四名に九月下旬に発送し十月下旬までに返事をもらうことになりました。また、式典の次第については開式の辞、国歌斉唱、校長式辞、実行委員長挨拶、生徒代表挨拶、来賓祝辞、来賓紹介並びに祝電披露、校歌斉唱、閉式の辞の順になりました。

第三回実行委員会は平成二十一年十月一日に本校応接室において開かれ案内状送付者の確認と式典の次第確認・会場配置についての検討及び記念誌の進捗状況、新たに記念品として、生徒並びに来賓の方々にシャープペンシルを配ることを決定しました。また、祝賀会の次第や役割分担・余興等も決定もしました。

第四回実行委員会は記念式典前最後となる平成二十一年十一月九日に本校応接室において行われました。記念式典・講演会・祝賀会の最終確認をそれぞれ時間をかけて細部にわたって確認しました。このように何度も委員会を開きそれぞれ細かいところまで検討・確認しいよいよ十一月二十日の当日を迎えることになりました。

当日は心配された前日の雨もすっかり晴れ渡り、本校の創立三十周年記念式典を祝うかのような絶好の日和に恵まれました。生徒達による会場準備も終わり会場は華やかな雰囲気に包まれました。ＰＴＡの協力で受付の準備も整い、来賓の方々も集まり始めました。

午後一時から学校長の先導で歴代校長先生方を迎え記念式典は始まりました。教頭の開式の言葉・国歌斉唱・校長式辞・実行委員長挨拶に続いて生徒代表挨拶を生徒会副会長の齋藤　勇志君が落ち着いて話してくれました。その後、本校第八代校長越川雄次郎先生・成田市立中台中学校長五十嵐和男先生から来賓祝辞を頂きました。来賓紹介・祝電披露の後、校歌斉唱があり閉会の言葉で式典は幕を引きました。

記念講演会は午後二時から元千葉ロッテマリーンズの黒木知宏氏を迎えて、大変盛り上がりました。講演会は生徒達の手で作り上げようという趣旨で司会進行（生徒会　村井沙季さん）・開会閉会の言葉（生徒会　川嶋左京君）・講師紹介（野球部　坂巻一樹君）・お礼の言葉（野球部　勝田歩夢君）・花束贈呈（野球部マネージャー　中村衿子さん）まで生徒達が務めてくれました。それぞれの生徒が見事に役割をこなし、会場全体を和やかな雰囲気に包んでくれました。講師の黒木氏の講演も聴いている人達に感動を与え、会場にいるすべての人達が時間の経つのを忘れてしまうほどのお話でした。勿論講演が終わった後、割れんばかりの拍手が起こったことは言うまでもありません。会場を去るときも生徒から握手を求められたり、控え室に戻った後も周りは生徒や保護者の方々でいっぱいでした。とても素晴らしい講演会ができたと思っています。

記念祝賀会は場所を移して、メルキュールホテル成田で午後六時から、多数の方にお集まり頂き盛大に行われました。

このように、素晴らしい記念式典・講演会・祝賀会ができたことに、来賓の方々を始めとするお集まり頂いたすべての皆様方に感謝すると共に生徒の自分達の三十周年記念だという思いのこもった協力にも感謝したいと思っております。また、二年前からの準備委員会の皆様のご苦労・実行委員会の皆様の細かいところまでの検討そして行き届いた配慮・当日のＰＴＡのご協力にも深く感謝申し上げます。



記念講演会について

講師紹介

黒木　知宏　くろき　ともひろ

元プロ野球選手　野球解説者

１９７３年　　１２月１３日生まれ　宮崎県日向市出身

延岡学園－王子製紙春日井－ロッテ

１９９５年　　千葉ロッテマリーンズ　ドラフト２位入団

１９９８年　　最多勝、最高勝率　オールスター出場

１９９９年　　オールスター出場

２０００年　　９月月間ＭＶＰ受賞、シドニー五輪日本代表

２００１年　　５月月間ＭＶＰ受賞

○初登板　９５年４月６日　対ダイエー（千葉マリン）

○初勝利　９５年６月３０日対日本ハム（東京ドーム）

（初完投・初完封）

○１０００投球回　００年９月１３日

講演テーマ

「今頑張れ、今頑張らず、いつ頑張る」



千葉ロッテマリーンズ入団以来、エースとして活躍し、プロ入り後の栄光、野球に対する揺るぎない情熱は、見るものを魅了してやまない。

一球入魂の情熱的なピッチングスタイルから“魂のエース”と呼ばれ球界を代表する投手となった。

度重なる怪我による苦闘のリハビリ生活でどん底を経験され、決して順風満帆ではなかった野球人生を通じて、様々な挑戦や葛藤と向き合ってきた黒木氏が現在も大切にしていることは、「一日一回、全力を出すこと」。

そこから得られた境地・考え方、そしてこれから先何を目指していくのかについて熱く語ります！

今もなお、挑戦を続ける黒木氏の心の叫びを聞いていただきたい。

千葉県立成田北高等学校創立30周年記念式典

期　日　平成２１年１１月２０日（金）
会　場　千葉県立成田北高等学校体育館

記念式典次第

1　開式の辞
2　国歌斉唱
3　校長式辞
4　実行委員長挨拶
5　生徒代表挨拶
6　祝辞
7　来賓紹介並びに祝電披露
8　校歌斉唱
9　閉式の辞

記念講演会次第

1　開会の言葉
2　講師紹介
3　講演　「今頑張れ、今頑張らず、いつ頑張る」
　　元プロ野球選手・野球解説者　黒木　知宏 氏
4　謝辞・花束贈呈
5　閉会の言葉

千葉県立成田北高等学校校歌

一　黎明近き　成田路に
光を待ちて　佇めば
新星北に　またゝきて
さやけく開く　英知の門
おゝ　その名　北高
奮ひ立ち　希望に燃えて
自律の旗　高くかゝげん

二　若草萌ゆる　土深く
太古の海が　眠りゐて
校庭に散りしく　白き貝
その成長の　線のごと
おゝ　その名　北高
向上の　記章を胸に
協調の輪を　固く結ばん

三　翼を挙げて　ペガサスは
針路を北に　天翔ける
たとへ嵐は　荒ぶとも
若き生命に　力あり
おゝ　その名　北高
たくましく　未来に向ひ
健全の道　ともに進まん

記念講演会について

（講師紹介）

黒木　知宏　くろき　ともひろ

元プロ野球選手　野球解説者

１９７３年　１２月１３日生まれ　宮崎県日向市出身
延岡学園－王子製紙春日井－ロッテ

１９９５年　千葉ロッテマリーンズ　ドラフト２位入団

１９９８年　最多勝、最高勝率　オールスター出場

１９９９年　オールスター出場

２０００年　９月月間ＭＶＰ受賞、シドニー五輪日本代表

２００１年　５月月間ＭＶＰ受賞

○初登板　９５年４月６日　対ダイエー（千葉マリン）

○初勝利（初完投・初完封）　９５年６月３０日　対日本ハム（東京ドーム）

○１０００投球回　００年９月１３日

（講演テーマ）

「今頑張れ、今頑張らず、いつ頑張る」

千葉ロッテマリーンズ入団以来、エースとして活躍し、プロ入り後の栄光、野球に対する揺るぎない情熱は、見るものを魅了してやまない。

一球入魂の情熱的なピッチングスタイルから、“魂のエース”と呼ばれ球界を代表する投手となった。

度重なる怪我による苦闘のリハビリ生活でどん底を経験され、決して順風満帆ではなかった野球人生を通じて、様々な挑戦や葛藤と向き合ってきた黒木氏が現在も大切にしていることは、「一日一回、全力を出すこと」。

そこから得られた境地・考え方、そしてこれから先何を目指していくのかについて熱く語ります！

今もなお、挑戦を続ける黒木氏の心の叫びを聞いていただきたい。

千葉県立成田北高等学校
創立30周年記念祝賀会次第

期　日　平成２１年１１月２０日（金）　１８：００～
会　場　メルキュールホテル成田　３階　空の間

1　開会の言葉
2　主催者挨拶
3　来賓挨拶
4　乾杯
5　祝宴
・祝辞
・マジックショー
6　校長謝辞
7　閉会の言葉

千葉県立成田北高等学校校歌

一　黎明近き　成田路に
光を待ちて　佇めば
新星北に　またゝきて
さやけく開く　英知の門
おゝ　その名　北高
奮ひ立ち　希望に燃えて
自律の旗　高くかゝげん

二　若草萌ゆる　土深く
太古の海が　眠りゐて
校庭に散りしく　白き貝
その成長の　線のごと
おゝ　その名　北高
向上の　記章を胸に
協調の輪を　固く結ばん

三　翼を挙げて　ペガサスは
針路を北に　天翔ける
たとへ嵐は　荒ぶとも
若き生命に　力あり
おゝ　その名　北高
たくましく　未来に向かい
健全の道　ともに進まん

学校要覧

平成21年度

千葉県立成田北高等学校

〒286-0011 成田市玉造５丁目１番
TEL 0476 (27) 3411(代)
FAX 0476 (27) 9190
http://www.chiba-c.ed.jp/naritakita-h/

校　章　の　由　来



成田ニュータウンの北部地区にある本校の校地からは、造成前は地質時代第四紀洪積世の地層である成田層が露出していて、10万年前の海底に堆積した貝類が化石として多産した。校章はその化石貝殻の3枚を組み合わせたデザインで、本校の教育理想「知育・徳育・体育の調和」を形象化し、また校訓「自律・協調・健全」を目指して努力する若人の進歩を貝殻の成長線で示した。中央には校名より「北」の字を配して、国際空港都市、成田から世界に雄飛するジェット機に模し、未来に向かって発展する若人の可能性を表現した。

デザイン考案者・山田健男

目　　次

校章の由来 …… 表紙裏

校　　歌 …… 2

校　　訓 …… 3

教育目標 …… 3

努力目標 …… 3

学校概要 …… 4

沿　　革 …… 4

歴代校長 …… 5

教育課程 …… 6

主要年間行事 …… 7

日 課 表 …… 8

職員人数表・ＨＲ担任表・教科主任表 …… 8

学校運営組織・分掌 …… 9

職員一覧 …… 10

図書室・視聴覚室・ＣＡＩ教室概要 …… 12

生徒会組織 …… 13

卒業生数 …… 14

在籍生徒数 …… 15

居住市町村別生徒数 …… 15

出身中学校別生徒数 …… 16

主な利用交通機関 …… 17

進路状況 …… 18

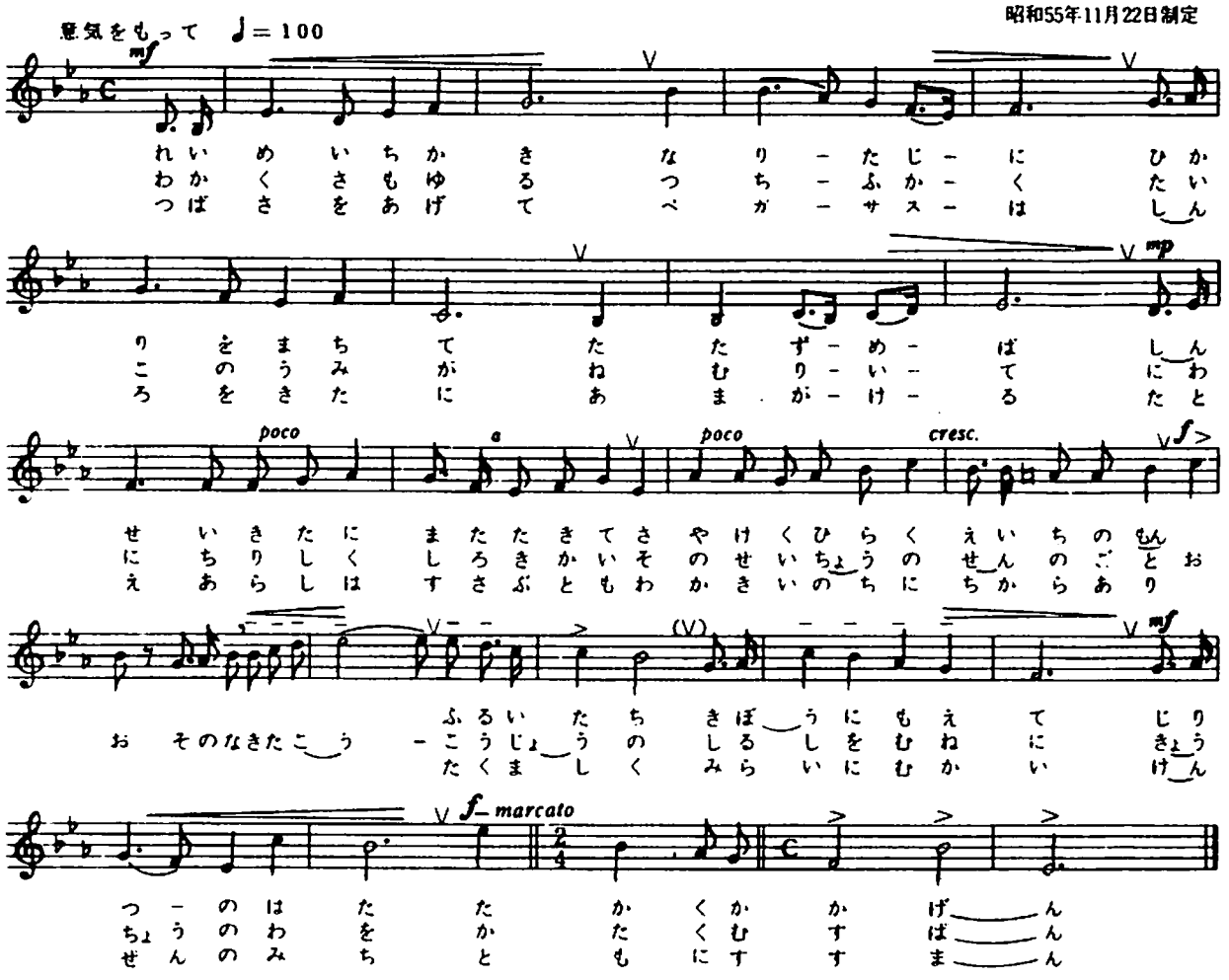
教室配置図 …… 20

校舎配置図 …… 22

経路略図 …… 裏表紙裏

千葉県立成田北高等学校校歌

作詞　沢田　繁二
作曲　寺内　昭
昭和55年11月22日制定



千葉県立成田北高等学校校歌

一、
黎明近き　成田路に
光を待ちて　佇めば
新星北に　またゝきて
さやけく開く　英知の門
おゝ　その名　北　高
奮ひ立ち　希望に燃えて
自律の旗　高くかゝげん

二、
若草萌ゆる　土深く
太古の海が　眠りゐて
校庭に散りしく　白き貝
その成長の　線のごと
おゝ　その名　北　高
向上の　記章を胸に
協調の輪を　固く結ばん

三、
翼を挙けて　ペガサスは
針路を北に　天翔ける
たとへ嵐は　荒ふとも
若き生命に　力あり
おゝ　その名　北　高
たくましく　未来に向ひ
健全の道　ともに進まん

校　　訓

自律　協調　健全

教　育　目　標

本校は、教育基本法及び学校教育法に基づき、高等学校普通科の教育を行う。

教育の理想は、知育・徳育・体育の調和によって、円満な人間形成を目指すことにある。

これらの目標を達成するため、つぎの教育方針を設定する。

1　一人一人の生徒を尊重し、個性の伸張と能力の開発を図り、自主・自律の精神をもつ青年の育成に努める。

2　社会連帯の意識を養い、勤労と責任を重んじ、協調性に富む青年の育成に努める。

3　心身ともに健全でたくましい実践力のある青年の育成に努める。

努　力　目　標

本校教育目標の具現化を図るため、適切な教育計画の作成とその実践により、生徒が充実した学校生活を体験できるよう努める。このため、特に次の重点努力目標を定める。

1　学習指導の充実

2　進路指導の推進

3　生徒指導の充実

4　体育・保健活動の充実

5　特別活動・部活動の育成

6　環境の整備・美化の推進

学　校　概　要

所　在　地　　千葉県成田市玉造５丁目１番　　ＴＥＬ　０４７６（27）３４１１（代）
課程・学科　　全日制の課程、普通科
生徒定員　　第１学年320名（８学級）、第２学年320名（８学級）、第３学年320名（８学級）
　　計960名
校　　地　　46,230.53㎡
校　　舎　　12,917.13㎡
　　普通教室棟　3,894.56㎡　管理・特別教室棟及び連絡棟5,582.53㎡
　　体育館・格技場3,014.32㎡
　　体育倉庫兼部室336.44㎡　体育倉庫20.70㎡　工芸窯場26.43㎡
　　受変電室28.04㎡　ポンプ室14.11㎡
校　　長　　鈴　木　政　男

沿　　革

昭和54年９月５日　　千葉県立成田北高等学校設置に関する千葉県教育委員会議案可決
昭和54年10月26日　　千葉県立高等学校設置条例の一部を改正する条例案を県議会において可決
　　設置場所　成田市
昭和54年11月１日　　改正条例公布
昭和54年11月15日　　開設準備委員会岩上利男外７名に開設準備事務嘱託
昭和54年11月24日　　千葉県教育委員会告示第14号により千葉県立成田北高等学校第１学年生徒定員180名（４学級）
昭和55年３月29日　　第１期普通教室棟竣工
昭和55年４月１日　　千葉県立成田北高等学校初代校長に岩上利男発令　外教職員18名発令
昭和55年４月15日　　開校式及び入学式挙行　新入生188名（会場　千葉県立成田西高等学校体育館）
昭和55年11月22日　　校旗・校歌制定式
昭和55年12月17日　　土留・階段完成
昭和56年７月23日　　第２期体育館・格技場竣工
昭和56年８月６日　　第２期管理・特別教室棟竣工
昭和56年９月27日　　テニスコート（３面）完成
昭和57年１月５日　　第３期管理・特別教室棟竣工
昭和57年10月30日　　校舎落成記念式典挙行
昭和57年11月18日　　校門・前庭・前庭通路竣工
昭和57年12月18日　　体育倉庫竣工
昭和58年４月７日　　定員　270名（６学級）
昭和59年４月１日　　第２代校長に石井功発令
昭和60年１月13日　　グラウンド整備完成
昭和60年12月17日　　体育倉庫兼部室竣工
昭和61年４月８日　　定員　315名（７学級）
昭和62年３月25日　　体育館ピロティ改修（第二体育館）竣工
昭和62年４月１日　　第３代校長に羽生正允発令
昭和63年３月25日　　防球ネット増設竣工
昭和63年４月７日　　定員　470名（10学級）

平成２年３月13日	体育倉庫兼部室竣工
平成２年４月７日	定員　450名（10学級）
平成２年11月１日	工芸窯場竣工
平成２年11月14日	創立10周年記念式典挙行
平成３年４月１日	第４代校長に杉山進発令
平成４年３月23日	南側土堤に植樹
平成４年３月27日	グラウンド全面改修工事完成
平成４年12月24日	ＣＡＩ教室工事完成
平成５年４月７日	定員　430名（10学級）
平成６年２月16日	図書室冷暖房装置設置
平成６年３月26日	体育館屋根改修
平成６年３月26日	校門改修工事完成
平成６年４月１日	第５代校長に井上洋一発令
平成６年４月７日	定員　420名（10学級）
平成７年３月22日	中庭整備工事完成
平成７年４月７日	定員　400名（10学級）
平成７年８月21日	ＣＡＩ教室冷暖房装置設置
平成８年４月１日	第６代校長に花井保発令
平成９年３月24日	体育倉庫兼部室竣工
平成10年４月１日	第７代校長に村田一男発令
平成11年９月20日	防球ネット増設竣工
平成12年４月１日	第８代校長に越川雄次郎発令
平成12年11月１日	創立20周年記念式典挙行
平成13年４月７日	定員360名（９学級）
平成14年３月８日	中庭整備工事完成
平成14年４月１日	第９代校長に大録郷吉発令
平成14年４月７日	定員320名（８学級）
平成14年９月20日	校内ＬＡＮ整備工事完成
平成17年４月１日	第10代校長に小松栄三郎発令
平成18年12月	体育館改修工事（耐震）完成
平成19年４月１日	第11代校長に玉造功発令
平成21年４月１日	第12代校長に鈴木政男発令

歴　代　校　長

初代校長	岩上利男	S55・4・1～S59・3・31
第２代校長	石井　功	S59・4・1～S62・3・31
第３代校長	羽生正允	S62・4・1～H３・3・31
第４代校長	杉山　進	H３・4・1～H６・3・31
第５代校長	井上洋一	H６・4・1～H８・3・31
第６代校長	花井　保	H８・4・1～H10・3・31
第７代校長	村田一男	H10・4・1～H12・3・31
第８代校長	越川雄次郎	H12・4・1～H14・3・31
第９代校長	大録郷吉	H14・4・1～H17・3・31
第10代校長	小松栄三郎	H17・4・1～H19・3・31
第11代校長	玉造　功	H19・4・1～H21・3・31
第12代校長	鈴木政男	H21・4・1～

教育課程

共通

教科	科目	標準単位数	1年	2年文系	2年理系	3年文系	3年理系	小計文系	小計理系
国語	国語表現Ⅰ	2				△2		0～2	
	国語表現Ⅱ	2							
	国語総合	4	4					4	4
	現代文	4		3	2	4	3	7	5
	古典	4		2		3		5	
	古典購読	2			△2			0～2	
地理歴史	世界史A	2			2				2
	世界史B	4				4△2		4～6	
	日本史A	2							
	日本史B	4		(4)		△2	(4)	0～6	0～4
	地理A	2							
	地理B	4		(4)		△2	(4)	0～6	0～4
公民	現代社会	2	3					3	3
	倫理	2				(2)		0～2	
	政治経済	2				(2)		0～2	
数学	数学基礎	2							
	数学Ⅰ	3	3					3	3
	数学Ⅱ	4		4	4			4	4
	数学Ⅲ	3					3		3
	数学A	2	2					2	2
	数学B	2			2	△2		0～2	2
	数学C	2					2		2
理科	理科基礎	2							
	理科総合A	2	2					2	2
	理科総合B	2							
	物理Ⅰ	3			3	(3)		0～3	3
	物理Ⅱ	3					(3)		0～3
	化学Ⅰ	3	2					2	2
	化学Ⅱ	3					3		3
	生物Ⅰ	3		3	3			3	3
	生物Ⅱ	3				(3)	(3)	0～3	0～3
	地学Ⅰ	3				(3)		0～3	
	地学Ⅱ	3							
保健体育	体育	7～8	3	2	2	3	3	8	8
	保健	2	1	1	1			2	2
	スポーツマネジメント					△2		0～2	
芸術	音楽Ⅰ	2	(2)					0～2	0～2
	音楽Ⅱ	2		(2)	△2			0～2	0～2
	音楽Ⅲ	2				△2		0～2	
	美術Ⅰ	2	(2)					0～2	0～2
	美術Ⅱ	2		(2)	△2			0～2	0～2
	美術Ⅲ	2				△2		0～2	
	工芸Ⅰ	2	(2)					0～2	0～2
	工芸Ⅱ	2		(2)	△2			0～2	0～2
	工芸Ⅲ	2				△2		0～2	
	書道Ⅰ	2	(2)					0～2	0～2
	書道Ⅱ	2		(2)	△2			0～2	0～2
	書道Ⅲ	2				△2		0～2	
外国語	オーラルコミュニケーションⅠ	2							
	オーラルコミュニケーションⅡ	4							
	英語Ⅰ	3	5					5	5
	英語Ⅱ	4		5	5			5	5
	リーディング	4				3	3	3	3
	ライティング	4				3	3	3	3
家庭	家庭基礎	2		2	2			2	2
	家庭総合	4							
	生活技術	4							
情報	情報A	2	2					2	2
	情報B	2							
	情報C	2							
総合的な学習の時間		3～6	0	1	1	2	2	3	3
ホームルーム活動			1	1	1	1	1	3	3
単位合計			30	30	30	30	30	90	90

( ) 内は教科内選択　△は教科間選択

主 要 年 間 行 事

学期	月	行　　事
1	4	新任式、始業式、入学式、ＰＴＡ入会式、新入生オリエンテーション、頭髪・服装指導、進路希望調査、１・２年生課題テスト、新入生歓迎会、離任式、第１回自転車通学指導、３年生進路別一斉指導、１年生校外学習、ワガワガ高校研修生募集（短期）、就職希望者職業適性検査、図書館指導、身体計測、新体力テスト
	5	球技大会、生徒総会、３年生全国センター模試、登校指導、、ＰＴＡ本部役員会、中間考査、頭髪・服装指導、１・２年生選択説明会、ワガワガ高校研修生保護者説明会、ＰＴＡ理事会、ＰＴＡ総会、３年生大学短大推薦希望者生徒の保護者向け説明会、３年生就職希望者の保護者向け説明会、３年生就職模試・公務員模試、小論文模試、１・２年生第１回進学模試、３年生全国記述模試、３年生看護医療系模試
	6	登校指導、進路の手引発刊、教育実習、第２回自転車通学指導、保護者面談、ワガワガ高校研修生保護者説明会、３年生就職模試・公務員模試、小論文模試
	7	第１回ＰＴＡ自転車通学指導、期末考査、頭髪・服装指導、３年生全国センター模試、３年生看護医療系模試、生徒指導部長講話、大掃除、終業式、ワガワガ高校研修交流事業、後援会総会、保護者面談、インターンシップ、３年生就職指導期間
2	8	中学生・保護者対象学校説明会、ワガワガ高校研修交流事業、３年生全国記述模試、３年生就職指導期間
	9	始業式、避難訓練、頭髪・服装指導、３年生就職指導期間、課題テスト、ＰＴＡ理事会、３年生センター試験説明会、黎明祭、同窓会総会、スポーツ大会、センター試験出願指導、３年生全国私大模試、３年生看護医療系模試、小論文模試、登校指導
	10	登校指導、生徒会役員選挙、３年生全国センター模試、３年生全国記述模試、修学旅行、１・２年生実力テスト、１年生選択説明会、中間考査、頭髪・服装指導、第２回ＰＴＡ自転車通学指導、１・２年生第２回進学模試
	11	２年生看護医療系模試、３年生看護医療系模試、第３回自転車通学指導、生徒会役員認証式、３年生センター試験プレテスト、中学生・保護者対象学校説明会、３年生一般入試受験者指導、学年ＰＴＡ、献血、２年生進路別見学会、１年生進路講演会、創立30周年記念式典
	12	３年生全国記述模試、頭髪・服装指導、期末考査、オーストラリア研修記完成、生徒指導部長講話、人権教育、芸術鑑賞会、センター試験説明会、推薦入試合格者指導及び一般受験者指導、大掃除、終業式
3	1	始業式、頭髪・服装指導、第４回自転車通学指導、センター試験リサーチ、３年生期末考査
	2	特色ある入学者選抜、１・２年生実力テスト、マラソン大会、第３回ＰＴＡ自転車通学指導、ＰＴＡ理事会、第３回１・２年生進学模試、２年生看護医療系模試、学力検査等による入学者選抜
	3	同窓会入会式、表彰式、卒業式、期末考査、頭髪・服装指導、生徒指導部長講話、大掃除、終業式

日　課　表

（月～金）	
職員打合せ	8：20～ 8：30
SHR	8：35～ 8：45
1	8：50～ 9：40
2	9：50～10：40
3	10：50～11：40
4	11：50～12：40
昼休み	12：40～13：25
5	13：25～14：15
6	14：25～15：15
SHR	15：15～15：25
清掃	15：25～15：40
下校	16：30
勤務終了	17：05

職　員　人　数　表

	校長	教頭	教諭	講師	養護教諭	実習助手	小計	事務長	主査	副主査	主任学校技能員	小計	非常勤講師	小計	合計	総計
男	1	1	37	1		1	41								41	63
女			14		2		16	1	2	2	1	6			22	

H　R　担　任　表

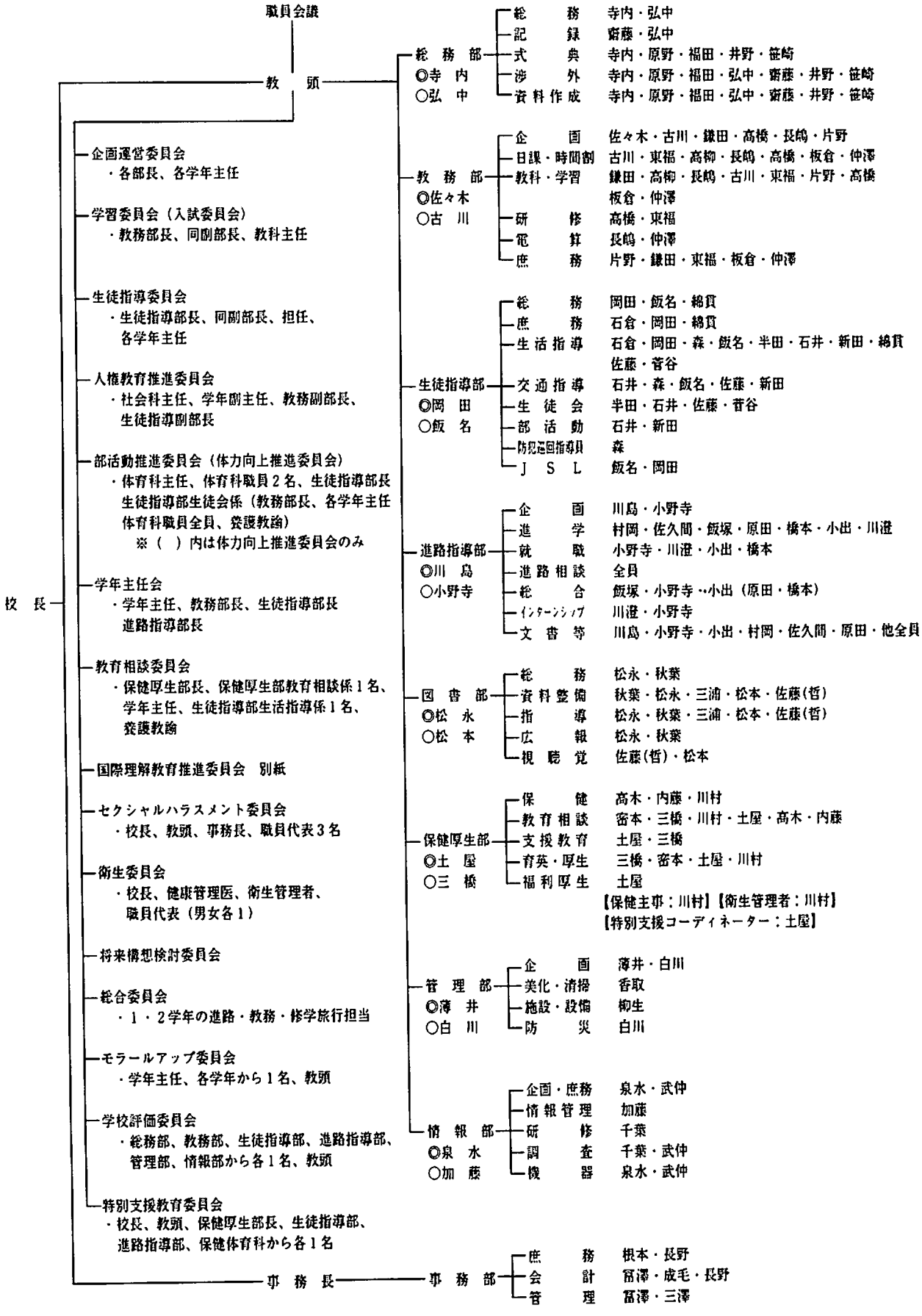
学年	主任等	A	B	C	D	E	F	G	H
1年	◎綿貫 ○佐藤(三)	佐藤(三) (仲澤)	香取 (片野)	橋本 (原田)	高橋 (仲澤)	菅谷 (千葉)	高柳 (柳生)	川村 (片野)	板倉 (原田)
2年	◎福田 ○半田	森 (齋藤)	飯塚 (小出)	鎌田 (半田)	飯名 (齋藤)	三橋 (小野寺)	松本 (小野寺)	弘中 (三浦)	井野 (笹崎)
3年	◎石倉 ○白川	加藤 (原野)	長嶋 (佐藤(作))	佐久間 (原野)	古川 (武仲)	新田 (東福)	村岡 (密本)	白川 (川澄)	石井 (川澄)

◎印は主任、○印は副主任、（　）内は副担任

教　科　主　任　表

国語	地歴公民	数学	理科	保健体育	芸術	英語	家庭	情報
川島	半田	飯塚	長嶋	石井	笹崎	佐久間	香取	泉水

平成２１年度　学校運営組織・分掌



平成21年度　職　員　一　覧

No	職名・教科	氏　名	校務分掌	学　年	顧問	
					委員会	部・同好会・愛好会
1	校　長	鈴木政男				
2	教　頭	田中正之				
3	国　語	片野利治	教　務	1B、G副担		卓球、イラストレーション
4	〃	川島洋子	◎進路指導主事			剣道、ペン字
5	〃	小野寺工	○進路指導	2E、F副担		演劇、バレーボール
6	〃	村岡信孝	進路指導	3　F　担	放　送	ソフトテニス、将棋
7	〃	福田克行	総　務	◎2学年主任		サッカー、イラストレーション
8	〃	川澄貴子	進路指導	3G、H副担	文　化	茶道、バスケットボール
9	〃	寺内温穂	◎総務部長			バレーボール、ペン字
10	〃	菅谷里美	生徒指導	1　E　担	社会福祉	茶道、テニス
11	公　民	髙橋清行	総　務	1　D　担	新聞編集	空手道、郷土史愛好、沖縄愛好
12	地歴・公民	弘中静雄	○総　務	2　G　担		野球、イラストレーション
13	〃	半田勉	生徒指導	2C副担、○2学年	選挙管理	吹奏楽、柔道
14	地　歴	白川仁	○管　理	3G担、○3学年		野球、将棋
15	地歴・情報	三橋康孝	○保健厚生	2　E　担	選挙管理	バドミントン、沖縄愛好
16	〃	石倉裕之	生徒指導	◎3学年主任	応　援	柔道、軽音楽
17	地歴・公民・情報	橋本光洋	進路指導	1　C　担		バスケットボール、軽音楽
18	地歴・公民	高柳良訓	教　務	1　F　担		テニス、パソコン
19	地歴・情報	武仲得郎	情　報	3　D　副担		剣道、パソコン
20	数　学	齋藤哲夫	総　務	2A、D副担		ゴルフ、工芸
21	〃	柳生茂男	管　理	1　F　副担	美　化	柔道、華道
22	〃	新田滋子	生徒指導	3　E　担	応　援	吹奏楽、柔道
23	〃	加藤健一	○情　報	3　A　担		卓球、調理
24	〃	板倉恵一	教　務	1　H　担		バドミントン、軽音楽
25	〃	飯塚恭子	進路指導	2　B　担		書道、体操・ダンス
26	理　科	薄井喜次	◎管理部長			科学、女子サッカー
27	〃	森知幸	生徒指導	2　A　担	規　律	サッカー、将棋
28	理科・情報	佐々木輝彦	◎教務部長			軽音楽、山岳
29	〃	泉水清和	◎情報部長			軽音楽、山岳
30	理　科	小出徳江	進路指導	2　B　副担	文　化	美術、少林寺拳法
31	〃	長嶋健二	教　務	3　B　担	選挙管理	科学、バレーボール
32	〃	佐藤哲朗	図　書	3　B　副担		科学、ソフトテニス
33	〃	千葉正人	情　報	1　E　副担		バスケットボール、軽音楽
34	保健体育	川村美佐子	保健厚生	1　G　担		バドミントン、体操・ダンス
35	保健体育・情報	佐藤三幸	生徒指導	1A担、○1学年		美術、剣道
36	〃	岡田裕	◎生徒指導主事			バレーボール、パソコン
37	保健体育	飯名剛士	○生徒指導	2　D　担	規律、応援	吹奏楽、ハンドボール
38	保健体育・情報	井野和浩	総　務	2　H　担	体　育	野球、吹奏楽
39	保健体育	東福正彦	教　務	3　E　副担	体育、応援	陸上、パソコン
40	保健体育・情報	石井慎之助	生徒指導	3　H　担		女子サッカー、パソコン

No	職名・教科	氏名	校務分掌	学年	顧問	
					委員会	部・同好会
41	芸術	土屋幸夫	◎保健厚生部長			美術、ハンドボール、沖縄愛好
42	〃	松永博一	◎図書部長		図書	書道、ゴルフ
43	〃	笹崎尋宜子	総務	2H副担	社会福祉	合唱、体操・ダンス
44	〃	密本ゆかり	保健厚生	3F副担		工芸、山岳
45	英語	原野隆	総務	3A、C副担	放送	写真、英会話、ハンドボール
46	〃	三浦一泰	図書	2G副担	新聞編集	空手道、華道
47	英語・情報	仲澤信明	教務	1A、D副担		吹奏楽、陸上
48	英語	綿貫清	生徒指導	◎1学年主任		バスケットボール、将棋
49	〃	松本理	○図書	2F担	図書	テニス、合唱
50	〃	古川恵一	○教務	3D担		写真、英会話、テニス
51	〃	鎌田千絵子	教務	2C担		少林寺拳法、調理
52	〃	佐久間元恵	進路指導	3C担		茶道、陸上
53	〃	原田久美子	進路指導	1C、H副担	放送	演劇、テニス
54	家庭	香取里佳	管理	1B担	美化	女子サッカー、調理
55	養護	内藤八重子	保健厚生		保健	
56	〃	高木綾子	保健厚生		保健	茶道
57	助手	秋葉都馨	図書		図書	
58	事務長	伊藤京子	事務全般			
59	事務	根本ゆき	庶務			
60	〃	冨澤敏子	会計・管理			
61	〃	成毛弥生	会計			
62	〃	長野純子	庶務・会計			
63	主任学校技能員	三澤貞子	管理			
カウンセラー		菊地良恵				
学校医(内科)		石原輝英				
〃 (外科)		藤崎康人				
〃 (眼科)		山崎直樹				
〃 (耳鼻科)		鳥居雅江				
〃 (歯科)		斉藤憲一				
〃 (歯科)		野澤隆之				
薬剤師		宍倉清				

◎印は、主任・主事・部長　○印は、副主任・副部長

図　書　室　の　概　要

《施　　設》（冷暖房装置設置）

図書館は、南校舎（生徒棟）と北校舎（管理棟）をつなぐ中央廊下に沿って配置されています。図書館全体は、閲覧室［232㎡］、司書室［35㎡］、書庫［35㎡］とわかれています。閲覧室には、閲覧スペース・学習スペース・カウンタースペース・書架スペース・ブラウジングコーナー・コンピュータ検索コーナーからなっています。

資料検索には、図書カウンターおよび検索用端末として４台のコンピュータが常時稼働しています。現在、２万冊余りの蔵書をこれらのコンピュータを使用して検索することができます。貸出や返却、予約はバーコードで迅速に処理されます。また、エルカルタ総合大百科のＣＤ－ＲＯＭも利用することができます。

館内のコンピューターはインターネットに接続されており、各種情報検索が可能となっています。

《資　　料》

図書館の資料は、図書［約２万８千冊］・ビデオ［70本］・カセットブック［11本］・ＣＤ［140枚］があり自由に借りることができます。また、新聞１紙と、９の雑誌があり、バックナンバーは貸し出しています。

分類別蔵書数一覧

平成２１年３月末現在

総記	哲学 宗教	歴史 地誌	社会 科学	自然 科学	技術 工芸	産業	芸術 スポーツ	言語 語学	文学	合計
1,472	892	3,213	3,462	2,616	1,220	361	2,834	1,149	10,865	28,084冊

視　聴　覚　室　の　概　要

《施　　設》

南校舎４階に配置され、視聴覚室［137.8㎡］、視聴覚準備室［33.75㎡］からなっています。

《設　　備》

テレビ４台・ＶＨＳビデオ２台・スライド映写機２台・16mm映写機１台・ビデオプロジェクター１台

ＣＡＩ　教　室　の　概　要

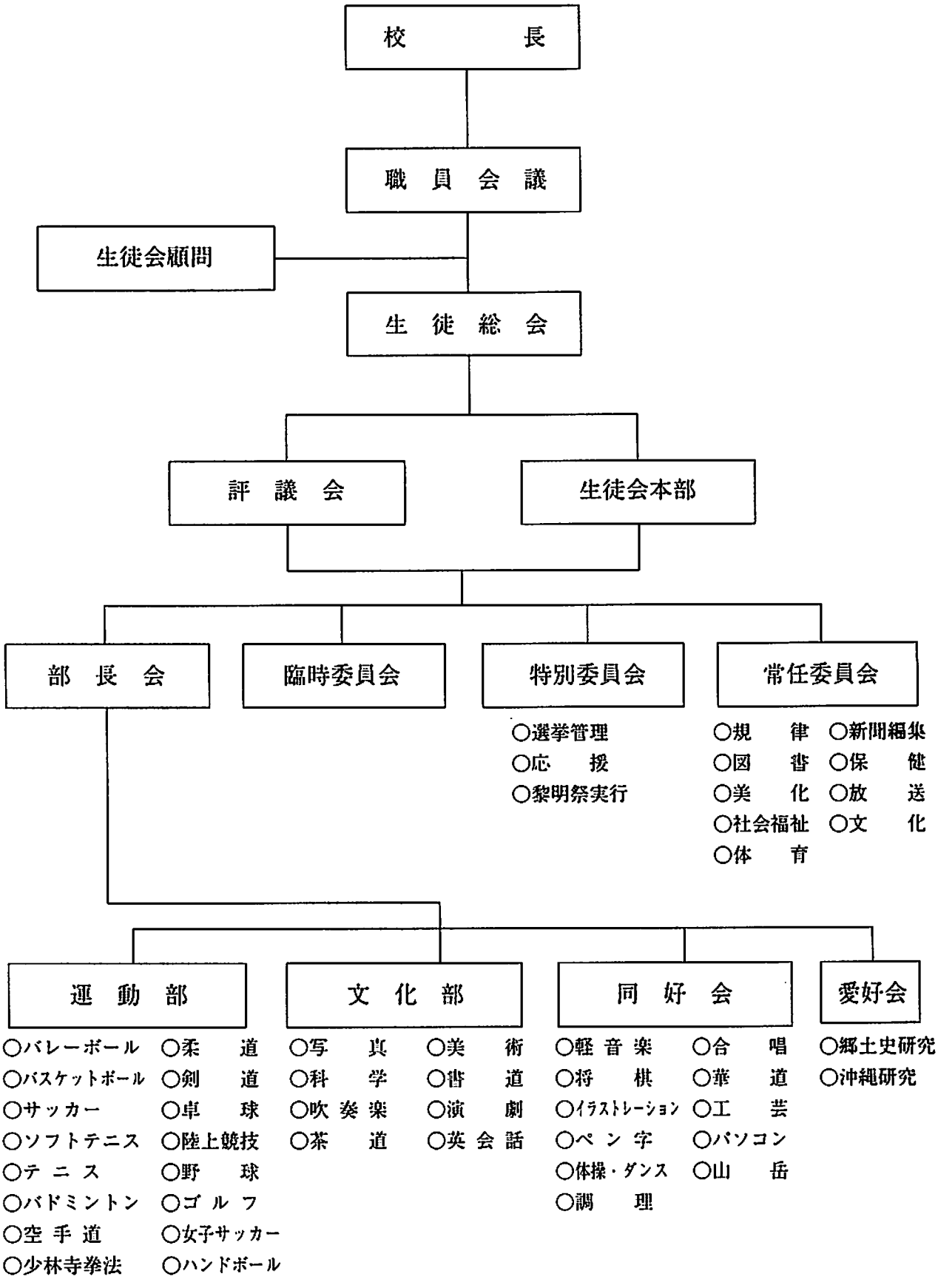
《施　　設》（冷暖房装置設置）

南校舎３階に位置し、137.8㎡の広さとなっています。

《設　　備》

サーバー用コンピュータ１台、教師用コンピュータ１台、生徒用コンピュータ42台からなる教育用ネットワークシステムで、プリンタ５台の出力装置とイメージスキャナー１台があります。また周辺機器として、書画カメラ１台、デジタルカメラ１台、デジタルビデオカメラ１台、ＶＴＲ装置１台、液晶プロジェクター１台が付属しています。

生　徒　会　組　織


校　　長
職　員　会　議
生徒会顧問
生　徒　総　会
評　議　会
生徒会本部
部　長　会
臨時委員会
特別委員会
○選挙管理
○応　援
○黎明祭実行
常任委員会
○規　律
○新聞編集
○図　書
○保　健
○美　化
○放　送
○社会福祉
○文　化
○体　育
運　動　部
○バレーボール
○バスケットボール
○サッカー
○ソフトテニス
○テ ニ ス
○バドミントン
○空 手 道
○少林寺拳法
○柔　道
○剣　道
○卓　球
○陸上競技
○野　球
○ゴ ル フ
○女子サッカー
○ハンドボール
文　化　部
○写　真
○美　術
○科　学
○書　道
○吹 奏 楽
○演　劇
○茶　道
○英 会 話
同　好　会
○軽 音 楽
○合　唱
○将　棋
○華　道
○イラストレーション
○工　芸
○ペ ン 字
○パソコン
○体操・ダンス
○山　岳
○調　理
愛好会
○郷土史研究
○沖縄研究

卒　業　生　数

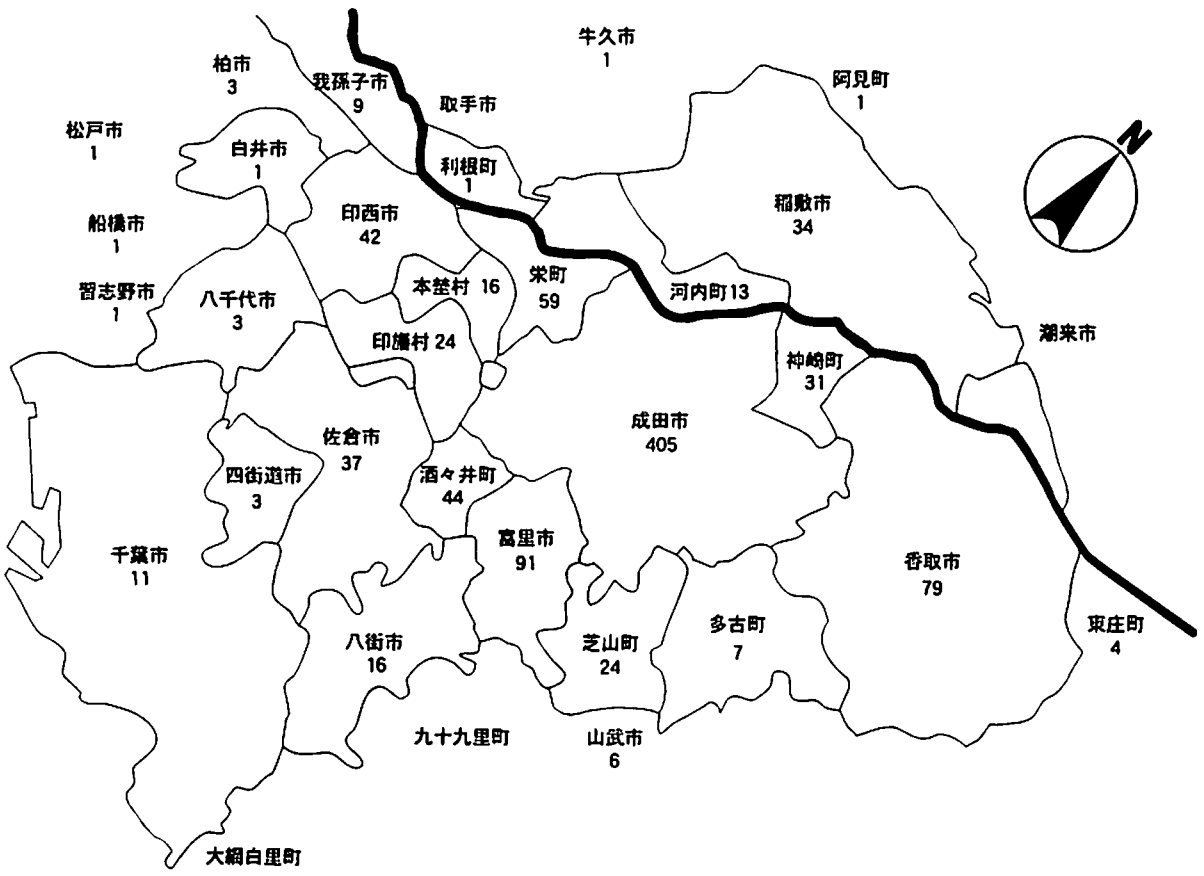
人数／期	入学時人数		卒業生数				
期	学級数	入学数	卒業年度	男	女	合計	累計
1	4	188	昭和57	112	69	181	181
2	4	182	〃 58	89	88	177	358
3	4	178	〃 59	106	69	175	533
4	6	271	〃 60	134	131	265	798
5	6	275	〃 61	156	110	266	1,064
6	6	273	〃 62	136	132	268	1,332
7	7	320	〃 63	176	144	325	1,652
8	7	320	平成 元	177	148	325	1,977
9	10	470	〃 2	245	218	463	2,440
10	10	471	〃 3	213	249	462	2,902
11	10	459	〃 4	255	194	449	3,351
12	10	458	〃 5	228	225	453	3,804
13	10	456	〃 6	231	217	448	4,252
14	10	436	〃 7	235	195	430	4,682
15	10	424	〃 8	211	209	420	5,102
16	10	404	〃 9	204	189	393	5,495
17	10	401	〃 10	219	181	400	5,895
18	10	403	〃 11	216	175	391	6,286
19	10	404	〃 12	202	188	390	6,676
20	10	402	〃 13	189	206	395	7,071
21	10	403	〃 14	198	192	390	7,461
22	9	364	〃 15	177	177	354	7,815
23	8	324	〃 16	138	181	319	8,134
24	8	327	〃 17	137	185	322	8,456
25	8	321	〃 18	116	196	312	8,768
26	8	326	〃 19	140	175	315	9,083
27	8	327	〃 20	140	176	316	9,399

在籍生徒数

（平成２１年４月２１日現在）

学年		1年	2年	3年	合計
学級数		8	8	8	24
定員		320	320	320	960
在籍	男	145	150	137	432
	女	178	172	186	536
	計	323	322	323	968

居住市町村別生徒数



出身中学校別生徒数

（平成２１年４月２１日現在）

都道府県	市町村	中学校名	1年	2年	3年	計	合計
千葉県	成田市	遠山	23	4	12	39	402
		下総	11	2	4	17	
		久住	4	1	3	8	
		玉造	10	4	8	22	
		吾妻	17	7	13	37	
		成田西	14	24	28	66	
			31	29	27	87	
		大栄	12	13	16	41	
		中台	18	38	24	80	
		豊住	1	2	2	5	
	富里市	富里	13	20	18	51	95
		富里南	7	3	3	13	
		富里北	8	14	9	31	
	佐倉市	井野	2	1		3	37
		臼井	1	2		3	
		臼井西		1		1	
		臼井南	3			3	
		根郷		3		3	
		佐倉	1	7	6	14	
		佐倉東	3	2	1	6	
		志津		1		1	
		西志津	2	1		3	
	印西市	印西	8	8	3	19	43
		小林	4	10	7	21	
		西の原	1	2		3	
	香取市	栗源	2	2	9	13	78
		香取	4	6	2	12	
		佐原	3	4	7	14	
		佐原五	9	6	7	22	
		佐原三	2	3	1	6	
		山田		1		1	
		小見川	1	2	3	6	
		新島		2	2	4	
	我孫子市	湖北	2	1		3	10
		湖北台	1			1	
		布佐	2	4		6	
	山武市	山武	3	4		7	7
	四街道市	四街道	1			1	3
		四街道西	1			1	
		四街道北		1		1	
	習志野市	習志野第六		1		1	1
	松戸市	松戸第一			1	1	1
	船橋市	御滝			1	1	1
	柏市	高柳		1		1	2
		風早		1		1	
	八千代市	高津			1	1	3
		村上東	1		1	2	

都道府県	市町村	中学校名	1年	2年	3年	計	合計
千葉県	千葉市	みつわ台			1	1	11
		稲毛	1			1	
		花見川第二			1	1	
		貝塚	1		1	2	
		若松	1			1	
		新宿	1			1	
		星久喜	1			1	
		蘇我	1			1	
		緑が丘		1		1	
		犢橋	1			1	
	八街市	八街	3	3		6	16
		八街中央	3		1	4	
		八街南		3		3	
		八街北	2	1		3	
	栄町	栄	8	9	18	35	56
		栄東	5	7	9	21	
	酒々井町	酒々井	18	14	9	41	41
	神崎町	神崎	5	13	13	31	31
	芝山町	芝山	4	6	14	24	24
	本埜村	滝野	1	2	1	4	14
		本埜	6	3	1	10	
	印旛村	印旛	8	3	12	23	23
	多古町	多古	2	3	3	8	8
	東庄町	東庄	3	1		4	4
	睦沢村	睦沢	1			1	1
茨城県	稲敷市	新利根		1		1	49
		東	13	10	9	32	
	取手市	藤代南			1	1	
	牛久市	牛久第二		1		1	
	鹿嶋市	鹿野	1			1	
	河内町	河内		1		1	
		金江津	3	1	6	10	
	利根町	利根	1			1	
	阿見町	朝日	1			1	
その他	埼玉県	初雁	1			1	7
	大阪府	泉南			1	1	
	熊本県	帯山			1	1	
	香川県	屋島		1		1	
	兵庫県	赤穂			1	1	
	宮城県	仙台郡山	1			1	
	栃木県	日光東			1	1	
合計			323	322	323	968	968

主な利用交通機関及び通学手段

（平成２１年４月２１日現在）

交通機関及び通学手段		利用駅	１年	２年	３年	小計	合計	総計
電車	ＪＲ千葉方面	酒々井	16	8	8	32	54	439
		佐倉	2	6	3	11		
		物井	0	0	0	0		
		四街道	2	1	0	3		
		都賀	1	0	2	3		
		稲毛	1	1	0	2		
		新検見川	0	0	0	0		
		千葉	3	0	0	3		
	ＪＲ成東方面	南酒々井	0	1	0	1	23	
		榎戸	2	1	0	3		
		八街	6	6	2	14		
		日向	3	2	0	5		
		成東	0	0	0	0		
		大網	0	0	0	0		
	ＪＲ佐原方面	久住	10	1	5	16	170	
		滑川	13	5	10	28		
		下総神崎	18	22	21	61		
		大戸	8	3	8	19		
		佐原	10	8	10	28		
		香取	1	6	1	8		
		水郷	1	1	1	3		
		小見川	0	2	1	3		
		笹川	3	1	0	4		
	ＪＲ鹿島方面	十二橋	0	3	1	4	5	
		潮来	1	0	0	1		
		延方	0	0	0	0		
	ＪＲ我孫子方面	下総松崎	0	1	0	1	99	
		安食	11	8	11	30		
		小林	11	16	11	38		
		木下	6	8	3	17		
		布佐	4	2	0	6		
		新木	0	1	0	1		
		湖北	1	0	0	1		
		我孫子	0	0	0	0		
		北柏	0	0	0	0		
		柏	0	1	0	1		
		松戸	0	0	1	1		
		東安孫子	1	0	0	1		
		ひたち野うしく	0	1	0	1		
		荒川沖	1	0	0	1		
	京成電鉄（含芝山鉄道）	公津の杜	1	0	0	1	88	
		宗吾参道	0	0	0	0		
		酒々井	4	7	5	16		
		大佐倉	1	0	0	1		
		京成佐倉	7	6	5	18		
		京成臼井	3	2	2	7		
		ユーカリが丘	2	2	0	4		
		志津	1	1	1	3		
		勝田台	2	0	1	3		
		八千代台	1	0	1	2		
		空港	0	0	0	0		
		空港第２	1	1	0	2		
		東成田	1	5	4	10		
		芝山千代田	3	6	9	18		
		大久保	0	1	0	1		
	その他	東武・高柳	0	2	0	2		
バス	千葉交通		19	36	29	84	84	84
	ＪＲ		2	1	16	19	19	19
自転車			130	132	144	406	406	406
徒歩			7	3	6	16	16	16
その他			2	1	1	4	4	4
計			323	322	323	968	968	968

進　路　状　況

在校生の進路希望状況

（平成２１年４月１０日現在）

学年＼進路		進学 大学	進学 短大	進学 専修・各種	進学 未定	就職 自家就職	未定 その他	合計
1	男	101	2	13	16	3	10	145
	女	65	36	53	11	6	7	178
	計	166	38	66	27	9	17	323
2	男	99	1	38	0	11	1	150
	女	67	18	66	0	21	0	172
	計	166	19	104	0	32	1	322
3	男	102	0	19	3	13	0	137
	女	67	30	64	4	19	2	186
	計	169	30	83	7	32	2	323

卒業生の進路状況

（平成２１年３月末現在）

年度	性別＼進路	進学 大学	進学 短大	進学 専修・各種	就職 (公務員含)	未定 その他	合計
18年度	男	63	5	28	8	12	116
	女	45	30	86	26	9	196
	小計	108	35	114	34	21	312
	過年度計	9	0	0	0	0	9
	合計	266			34	21	321
19年度	男	80	4	30	10	16	140
	女	48	29	74	11	13	175
	小計	128	33	104	21	29	315
	過年度計	11	0	0	0	0	11
	合計	276			21	29	326
20年度	男	85	0	35	10	10	140
	女	51	32	66	16	11	176
	小計	136	32	101	26	21	316
	過年度計	10	0	0	0	0	10
	合計	279			26	21	326

主な進学先

平成21年3月卒・20年3月卒

■大　学

茨城大学　早稲田大学　上智大学　立命館大学　明治大学　中央大学　青山学院大学　法政大学
東京理科大学　芝浦工業大学　東邦大学　國學院大學　日本大学　東洋大学　駒澤大学
専修大学　神田外語大学　北里大学　文教大学　武蔵大学　立正大学　東京電機大学
東京農業大学　武蔵野音楽大学　多摩美術大学　武蔵野美術大学　女子美術大学
大東文化大学　亜細亜大学　帝京大学　国士舘大学　拓殖大学　大妻女子大学　共立女子大学
東京家政大学　二松学舎大学　桜美林大学　工学院大学　大正大学　植草学園大学　江戸川大学
神奈川大学　関東学園大学　九州産業大学　十文字学園女子大学　淑徳大学　城西国際大学
昭和女子大学　杉野服飾大学　成蹊大学　聖徳大学　高千穂大学　千葉科学大学　千葉経済大学
千葉工業大学　千葉商科大学　中央学院大学　帝京科学大学　帝京平成大学　東京情報大学
東京女子体育大学　東京成徳大学　東洋学園大学　新潟医療福祉大学　明海大学　明星大学
横浜商科大学　流通経済大学　了徳寺大学　麗澤大学　和洋女子大学　　他

■短　大

神奈川県立外語短期大学　千葉県立衛生短期大学　青山学院女子短期大学　植草学園短期大学
大妻女子大学短期大学部　共立女子短期大学　自由が丘産能短期大学　淑徳短期大学
昭和学院短期大学　杉野服飾大学短期大学部　聖徳大学短期大学部　千葉敬愛短期大学
千葉経済大学短期大学部　千葉明徳短期大学　帝京大学短期大学　戸板女子短期大学
東京家政学院短期大学部　日本体育大学女子短期大学部　日本大学短期大学部
文化女子大学短期大学部　文京学院短期大学　山脇学園短期大学　　他

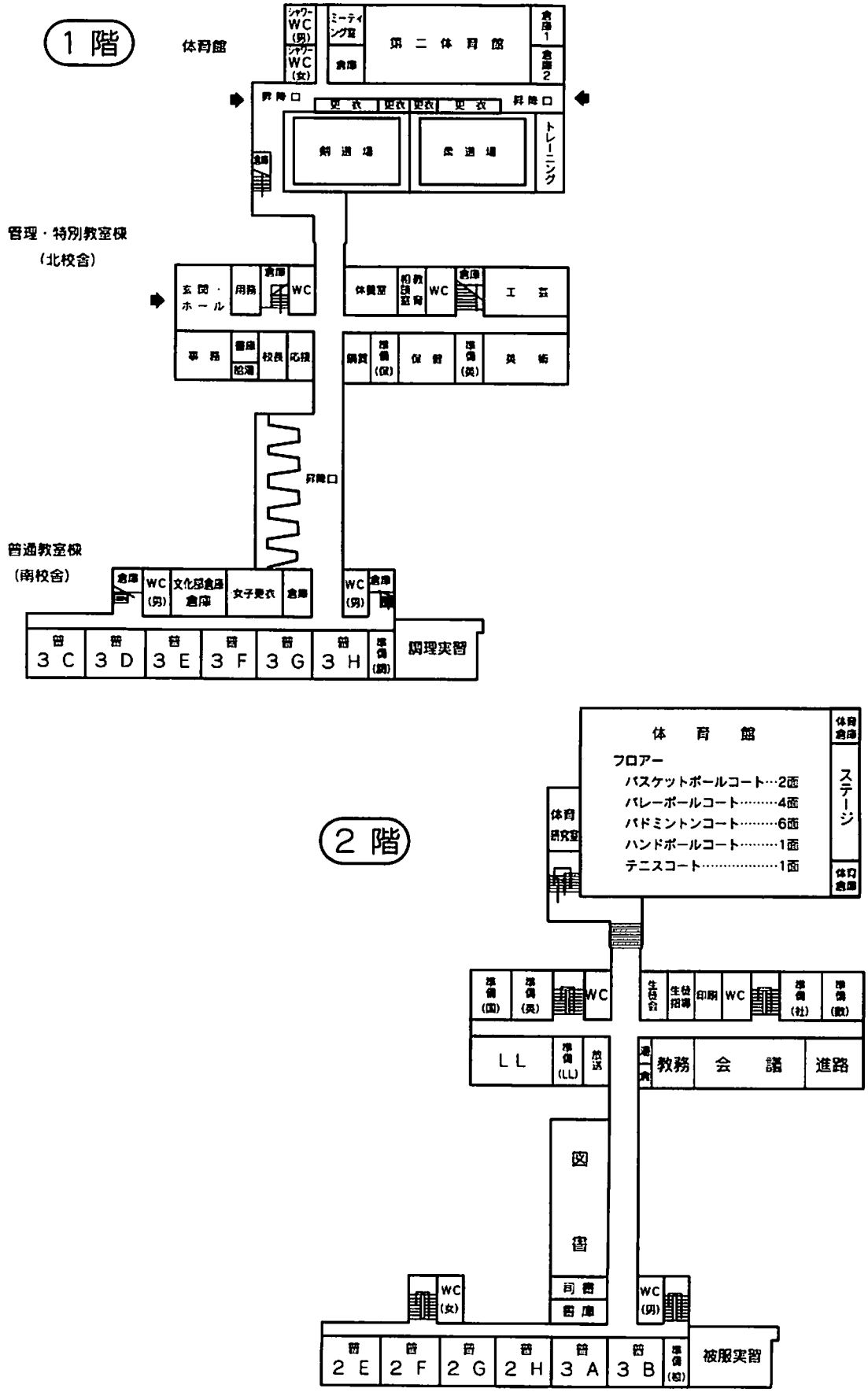
■専修・各種他

国際理工専門学校　国際航空専門学校　日本航空専門学校　日本自動車大学校
日本工学院専門学校　日本電子専門学校　国際トラベル＆ホテル専門学校　千葉美容専門学校
国際理容美容専門学校　パリ総合美容専門学校　成田航空ビジネス専門学校　神田外語学院
千葉県職業能力開発短期大学校　千葉県農業大学校　船橋情報ビジネス専門学校
(国)千葉医療センター附属看護専門学校　慈恵柏看護専門学校　成田赤十字看護専門学校
東邦大学佐倉看護専門学校　日本医科大学看護専門学校　旭中央病院付属看護専門学校
藤リハビリテーション学院　千葉･柏リハビリテーション学院　八千代リハビリテーション学院
東京歯科大学歯科衛生士専門学校　日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
日本大学歯学部附属歯科技工専門学校　北原学院歯科衛生専門学校　中央医療技術専門学校
中央介護福祉専門学校　東京YMCA社会体育・保育専門学校　大原学園　東洋美術学校　　他

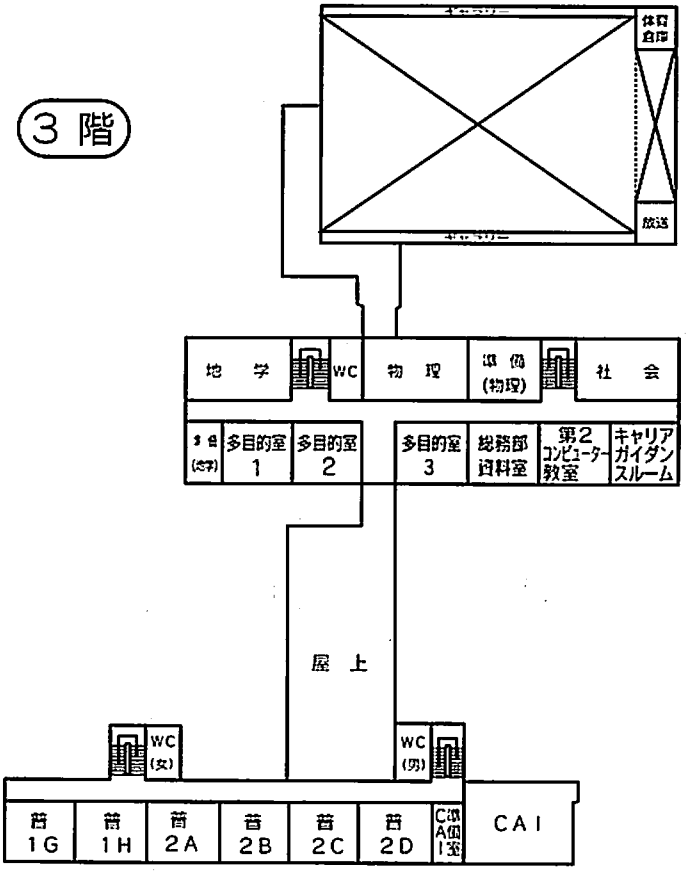
主な就職先

千葉県警　警視庁　香取市消防官　成田市消防官　日本郵政　農業協同組合　山九株式会社
国際空港上屋　ティエフケー　ジェイエスエス　帝産観光バス　ドラッグストアオオモリ
ＮＡＡリテイリング　エヌエービー　日立ツール成田工場　広域高速ネット二九六
ファイブフォックス　産経新聞印刷　パノラマ・ホテルズ・ワン　ホンダカーズ東総
成田エアカーゴサービス　洋菓子のヒロタ　北総通信建設　　他

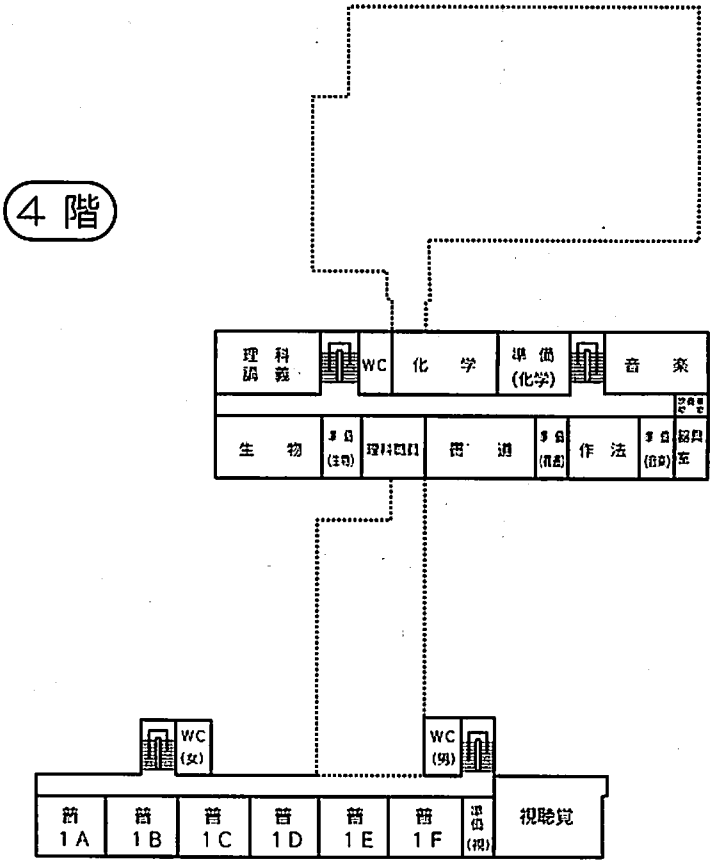
教室配置図


1階
体育館
シャワー WC (男)
シャワー WC (女)
ミーティング室
倉庫
第二体育館
倉庫1
倉庫2
昇降口
更衣
更衣
更衣
更衣
昇降口
剣道場
柔道場
トレーニング
倉庫
管理・特別教室棟
(北校舎)
玄関・ホール
用務
倉庫
WC
体養室
相談室
教育
WC
倉庫
工芸
事務
書庫
印刷
校長
応接
調理
準備(保)
保管
準備(美)
美術
昇降口
普通教室棟
(南校舎)
倉庫
WC (男)
文化部倉庫
倉庫
女子更衣
倉庫
WC (男)
倉庫
普通 3C
普通 3D
普通 3E
普通 3F
普通 3G
普通 3H
準備(調)
調理実習
2階
体育館
フロアー
バスケットボールコート…2面
バレーボールコート……4面
バドミントンコート……6面
ハンドボールコート……1面
テニスコート……1面
体育倉庫
ステージ
体育倉庫
体育研究室
準備(国)
準備(英)
WC
生徒会
生徒指導
印刷
WC
準備(社)
準備(数)
LL
準備(LL)
放送
通路
教務
会議
進路
図書
司書
書庫
WC (女)
WC (男)
普通 2E
普通 2F
普通 2G
普通 2H
普通 3A
普通 3B
準備(被)
被服実習

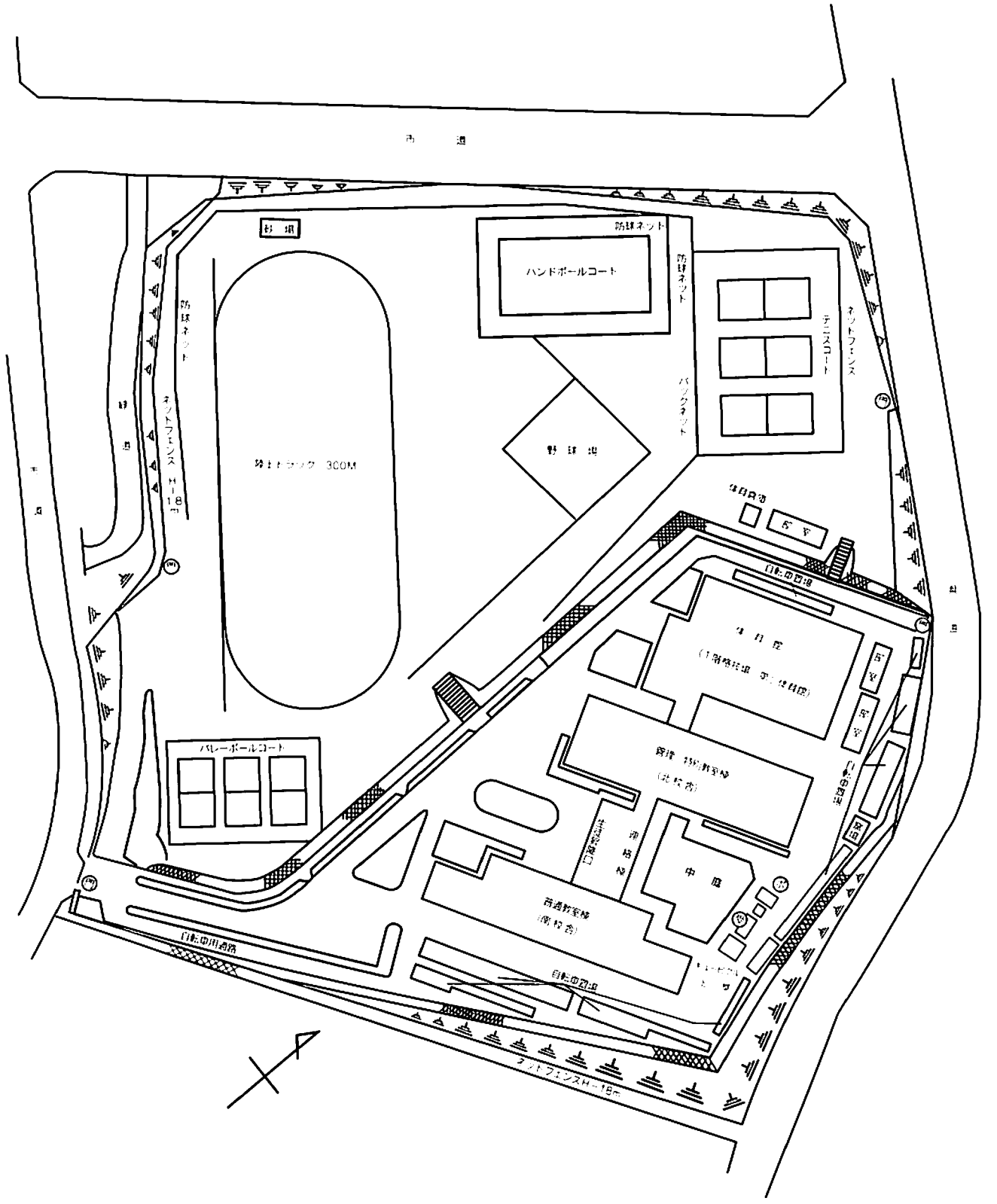
3階


体育倉庫
放送
地学
WC
物理
準備(物理)
社会
多目的室(理科)
多目的室1
多目的室2
多目的室3
総務部資料室
第2コンピューター教室
キャリアガイダンスルーム
屋上
WC(女)
WC(男)
普1G
普1H
普2A
普2B
普2C
普2D
CAI準備室
CAI

4階

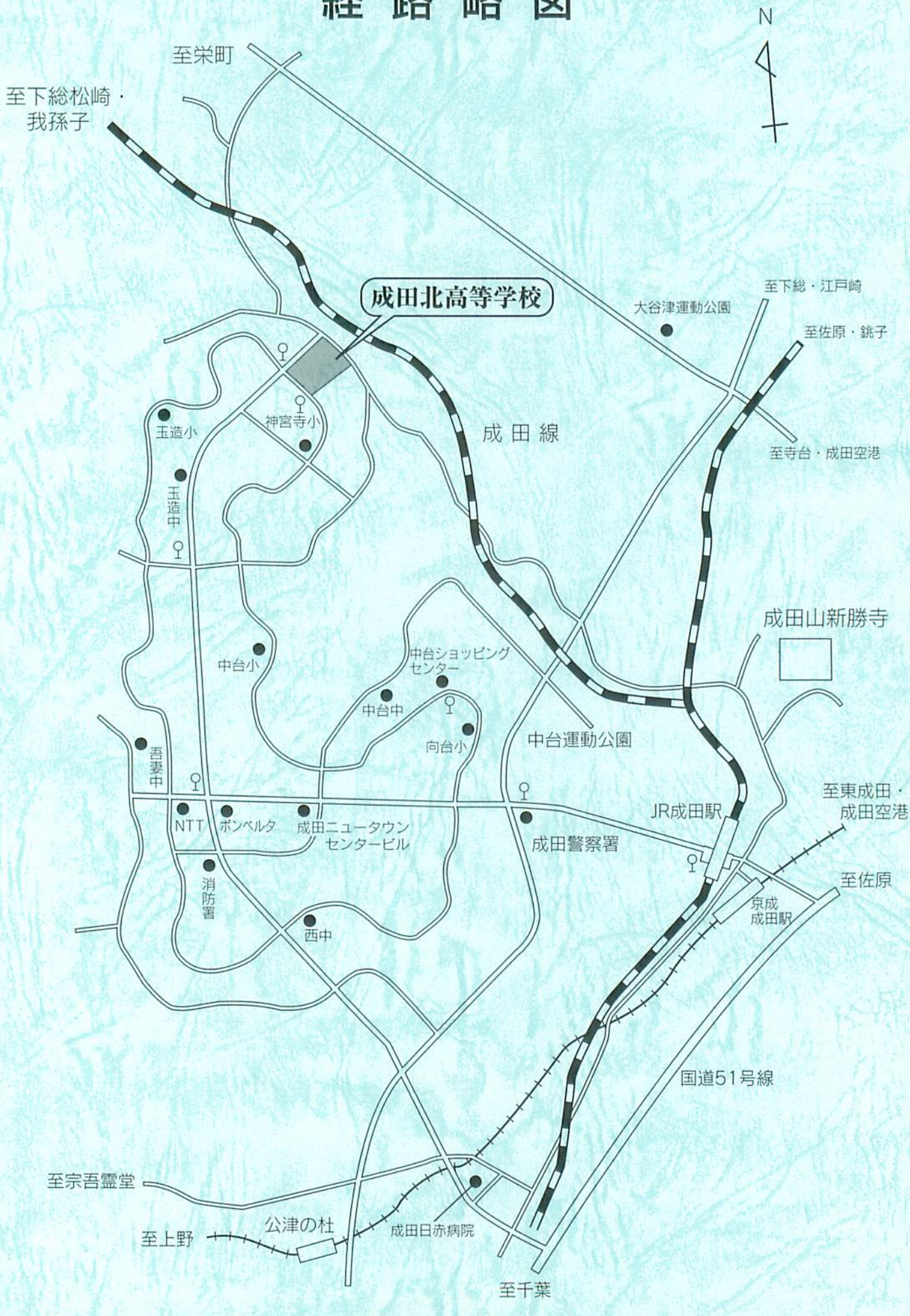

理科調整
WC
化学
準備(化学)
音楽
生物
多目的(生物)
理科準備室
書道
多目的(書道)
作法
多目的(作法)
視聴覚準備室
WC(女)
WC(男)
普1A
普1B
普1C
普1D
普1E
普1F
準備(視)
視聴覚

校舎配置図



防球ネット
ハンドボールコート
防球ネット
テニスコート
ネットフェンス
バックネット
防球ネット
ネットフェンス H-1.8m
陸上トラック 300M
野球場
体育倉庫
自転車置場
体育館
(1階格技場 第二体育館)
管理 特別教室棟
(北校舎)
生活教室口
連絡棟
中庭
普通教室棟
(南校舎)
バレーボールコート
自転車用通路
自転車置場
ネットフェンスH-1.8m

経路略図


N
至栄町
至下総松崎・
我孫子
成田北高等学校
至下総・江戸崎
大谷津運動公園
至佐原・銚子
成田線
至寺台・成田空港
玉造小
神宮寺小
玉造中
成田山新勝寺
中台小
中台ショッピング
センター
中台中
向台小
中台運動公園
吾妻中
至東成田・
成田空港
JR成田駅
NTT
ボンベルタ
成田ニュータウン
センタービル
成田警察署
至佐原
消防署
京成
成田駅
西中
国道51号線
至宗吾霊堂
公津の杜
至上野
成田日赤病院
至千葉

西暦	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
和暦	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
校長	越川雄次郎	越川雄次郎	大録郷吉	大録郷吉	大録郷吉	小松栄三郎	小松栄三郎	玉造功	玉造功	鈴木政男
教頭	松井立夫	青柳隆	青柳隆	青柳隆	原正義	原正義	外山日出男	外山日出男	田中正之	田中正之
国語	岡里茂									
	山崎昭	山崎昭								
	及川全代	及川全代	及川全代	及川全代	及川全代	及川全代	及川全代		川澄貴子	川澄貴子
	小島昇	小島昇	小島昇	小島昇	上田信行	上田信行		村岡信孝	村岡信孝	村岡信孝
	岡野正博	岡野正博	岡野正博	岡野正博	岡野正博	岡野正博	岡野正博	岡野正博	菅谷里美	菅谷里美
	榊原通子	榊原通子	片野利治	片野利治	片野利治	片野利治	片野利治	片野利治	片野利治	片野利治
	山口志津子	山口志津子	川島洋子	川島洋子	川島洋子	川島洋子	川島洋子	川島洋子	川島洋子	川島洋子
	酒井滝雄	酒井滝雄	酒井滝雄	酒井滝雄	酒井滝雄	酒井滝雄	酒井滝雄	福田克行	福田克行	福田克行
	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂	寺内温穂
	栗山克明	栗山克明	栗山克明	栗山克明	栗山克明	栗山克明	小野寺工	小野寺工	小野寺工	小野寺工
	西原千晴	西原千晴	西原千晴	西原千晴		纐纈康世		亀山実希		
		下地洋子		久保田美穂子						
社会	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓	高柳良訓
	諏訪和夫	諏訪和夫	諏訪和夫	石倉裕之	石倉裕之	石倉裕之	石倉裕之	石倉裕之	石倉裕之	石倉裕之
	平山久春	平山久春	平山久春	平山久春	平山久春	髙橋清行	髙橋清行	髙橋清行	髙橋清行	髙橋清行
	川澄成生	川澄成生	川澄成生							
	赤尾和輝	赤尾和輝	赤尾和輝	赤尾和輝						
	井上泰光	井上泰光	井上泰光	井上泰光	井上泰光	井上泰光	白川仁	白川仁	白川仁	白川仁
	池畑羊一	池畑羊一	池畑羊一	池畑羊一	池畑羊一	池畑羊一	池畑羊一	池畑羊一	武仲得郎	武仲得郎
	高城幸夫	飯森秀樹	飯森秀樹	飯森秀樹	飯森秀樹	飯森秀樹	飯森秀樹	半田勉	半田勉	半田勉
	山﨑弘康	山﨑弘康	山﨑弘康	山﨑弘康	山﨑弘康	山﨑弘康	山﨑弘康	山﨑弘康	弘中静雄	弘中静雄
	香取正巳	三橋康孝	三橋康孝	三橋康孝	三橋康孝	三橋康孝	三橋康孝	三橋康孝	三橋康孝	三橋康孝
	宮本修	池田薫	池田薫	池田薫	池田薫	河野剛夫	松枝成芳	松枝成芳	松枝成芳	橋本光洋
数学	加藤健一	加藤健一	加藤健一	加藤健一	加藤健一	加藤健一	加藤健一	加藤健一	加藤健一	加藤健一
	高橋義巳	高橋義巳	高橋義巳	高橋義巳	高橋義巳	柳生茂男	柳生茂男	柳生茂男	柳生茂男	柳生茂男
	石原守	石原守	石原守	石原守	飯塚恭子	飯塚恭子	飯塚恭子	飯塚恭子	飯塚恭子	飯塚恭子
	佐倉範子	佐倉範子	佐倉範子	佐倉範子	佐倉範子	佐倉範子	佐倉範子	新田滋子	新田滋子	新田滋子
	吉川勲生	吉川勲生		今村哲大						
	山口剛	山口剛	山口剛	山口剛	山口剛	山口剛	山口剛	山口剛	山口剛	板倉恵一
	松沢史郎	松沢史郎	松沢史郎	松沢史郎	松沢史郎	松沢史郎	松沢史郎	齋藤哲夫	齋藤哲夫	齋藤哲夫
理科	上野精一	上野精一	上野精一	上野精一	上野精一	上野精一	上野精一	上野精一	上野精一	佐藤哲朗
	金塚省吾	宮下明	森知幸	森知幸	森知幸	森知幸	森知幸	森知幸	森知幸	森知幸
	水野秋穂	水野秋穂	水野秋穂	水野秋穂	水野秋穂	三浦一朗	三浦一朗	三浦一朗	三浦一朗	千葉正人
	後藤重峰	後藤重峰	後藤重峰	後藤重峰	泉水清和	泉水清和	泉水清和	泉水清和	泉水清和	泉水清和
	根本巖	根本巖	篠原隆	篠原隆	篠原隆	篠原隆	篠原隆	篠原隆	篠原隆	小出徳江
	荒居哲也	荒居哲也	荒居哲也	荒居哲也	弘海政信	弘海政信	長嶋健二	長嶋健二	長嶋健二	長嶋健二
	後藤俊一	後藤俊一	薄井喜次	薄井喜次	薄井喜次	薄井喜次	薄井喜次	薄井喜次	薄井喜次	薄井喜次
	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦	佐々木輝彦
							石川早織			

西暦	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
和暦	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
保体	鈴木小枝子	菅井健一	菅井健一	菅井健一	菅井健一		富沢孝			
	田谷伸治	田谷伸治	田谷伸治	岡田裕	岡田裕	岡田裕	岡田裕	岡田裕	岡田裕	岡田裕
	渡邉正巳	渡邉正巳	渡邉正巳	渡邉正巳	渡邉正巳	渡邉正巳	石井慎之助	石井慎之助	石井慎之助	石井慎之助
	秋葉章二	秋葉章二	市村雄二	市村雄二	市村雄二	市村雄二	市村雄二	市村雄二	佐藤三幸	佐藤三幸
	稲生茂	稲生茂	稲生茂	稲生茂	稲生茂	稲生茂	稲生茂	稲生茂	飯名剛士	飯名剛士
	新村浩章	新村浩章	新村浩章	新村浩章	井野和浩	井野和浩	井野和浩	井野和浩	井野和浩	井野和浩
	猪股康博	猪股康博	川村美佐子	川村美佐子	川村美佐子	川村美佐子	川村美佐子	川村美佐子	川村美佐子	川村美佐子
	三橋啓重	三橋啓重	中津和夫	中津和夫	中津和夫	中津和夫	中津和夫	東福正彦	東福正彦	東福正彦
芸術音	大山小百合	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子	笹崎壽宜子
芸術美	湯浅仁	土屋幸夫	土屋幸夫	土屋幸夫	土屋幸夫	土屋幸夫	土屋幸夫	土屋幸夫	土屋幸夫	土屋幸夫
芸術工	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり	密本ゆかり
芸術書	山内美和	松永博一	松永博一	松永博一	松永博一	松永博一	松永博一	松永博一	松永博一	松永博一
芸術工									大沼邦泰	
英語	花香武男	花香武男	花香武男							
	金子佐知子	金子佐知子	金子佐知子	金子佐知子	金子佐知子	金子佐知子	金子佐知子	松本理恵	松本理恵	松本理恵
	野口久美子	野口久美子	野口久美子	野口久美子	野口久美子	原田久美子	原田久美子	原田久美子	原田久美子	原田久美子
	戸村玲子	戸村玲子	鎌田千絵子	鎌田千絵子	鎌田千絵子	鎌田千絵子	鎌田千絵子	鎌田千絵子	鎌田千絵子	鎌田千絵子
	畑瀬慶博	畑瀬慶博								
	木内賢次郎	木内賢次郎	木内賢次郎	木内賢次郎	木内賢次郎	木内賢次郎	木内賢次郎	木内賢次郎	綿貫清	綿貫清
	坂本とし子	坂本とし子	坂本とし子	坂本とし子	坂本とし子	坂本とし子	坂本とし子	古川恵一	古川恵一	古川恵一
	佐藤敏之	佐藤敏之	佐藤敏之	佐藤敏之	佐藤敏之	佐藤敏之	佐藤敏之	佐藤敏之	佐藤敏之	仲澤信明
	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰	三浦一泰
	沼尻俊次	原野隆	原野隆	原野隆	原野隆	原野隆	原野隆	原野隆	原野隆	原野隆
	椎名泉	椎名泉	椎名泉	椎名泉	佐久間元恵	佐久間元恵	佐久間元恵	佐久間元恵	佐久間元恵	佐久間元恵
	谷口道子 大場仁	大場仁	大場仁	大場仁						
	中里朋子	中里朋子 山川より子	山川より子	山川より子						
家庭	鈴木真紀	鈴木真紀	鈴木真紀							
	篠崎ひで子	山下絹代	山下絹代	山下絹代	山下絹代	山下絹代	山下絹代	山下絹代	香取里佳	香取里佳
	竹山百合子	奥寺昌子	奥寺昌子	中村文香	中村文香	中村文香	東山恵利子			
養護	坂本眞砂子	高木綾子	高木綾子	高木綾子	高木綾子	高木綾子	高木綾子	高木綾子	高木綾子	高木綾子
	島崎こずえ	高橋早苗	高橋早苗	倉﨑愛	倉﨑愛	倉﨑愛	金澤節子	内藤八重子	内藤八重子	内藤八重子
助手	宮本扶佐子	宮本扶佐子	宮本扶佐子	宮本扶佐子	宮本扶佐子	宮本扶佐子	宮本扶佐子	宮本扶佐子	宮本扶佐子	秋葉都馨
	川野邉敦子	川野邉敦子								
事務長	佐々木勲	佐々木勲	佐々木勲	小林保弘	小林保弘	小林保弘	金親正治	金親正治	金親正治	伊藤京子
事務	山崎祥子	鈴木百合子	鈴木百合子	鈴木百合子	鈴木百合子	本宮麻子	本宮麻子	本宮麻子	本宮麻子	根本ゆき
	横山武	横山武	横山武	山中裕喜	山中裕喜	山中裕喜	山中裕喜	冨澤敏子	冨澤敏子	冨澤敏子
	鈴木紀子	鈴木紀子	鈴木紀子	鈴木紀子	堀井章代	堀井章代	堀井章代	堀井章代	成毛弥生	成毛弥生
	岡田千栄	岡田千栄	小出和枝	小出和枝	小出和枝	小出和枝	小出和枝	長野純子	長野純子	長野純子
用務	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子	三澤貞子
	日暮勝	日暮勝	日暮勝							

平成12年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	6	木	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	7	金	入学式（2・3年家庭学習）
4	14	金	離任式（午後）
4	15	土	創立記念日
4	21	金	新入生歓迎会
4	28	金	創立20周年記念全校遠足
5	2	火	身体測定・スポーツテスト
5	17	水	生徒総会
5	22	月	中間考査　～24日（水）
5	30	火	球技大会
5	31	水	除草作業
6	5	月	教育実習開始
6	9	金	PTA総会
6	17	土	面談週間(特別時間割)　～23日（金）
7	4	火	期末考査　～7日（金）
7	10	月	生徒家庭学習日
7	15	土	生徒指導講話
7	18	火	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	19	水	終業式
7	21	金	夏季休業日（～8月31日迄）
7	24	月	夏季補習　～31日（月）
8	6	日	同窓会総会、後援会総会
9	1	金	始業式 大掃除
9	14	木	黎明祭　15日（金）
9	20	水	スポーツ大会　21日（木）
10	23	月	中間考査　～25日（水）
11	2	木	創立20周年記念式典並びに芸術鑑賞会
11	22	水	生徒会役員選挙　立会演説会　読書感想文画ｺﾝｸｰﾙ表彰式
12	11	月	期末考査　～14日（木）
12	21	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	22	金	生徒会新役員認証式　終業式
12	24	日	冬季休業日（～1月6日迄）
1	9	火	始業式　大掃除
1	25	木	3年期末考査　～30日（火）
1	30	火	大掃除、机・椅子移動
1	31	水	推薦入試
2	1	木	マラソン大会・判定会議
2	7	水	修学旅行2年　～10日（土）長野県志賀高原
2	19	月	卒業認定会議
2	27	火	学力検査　28日（水）
3	5	月	選抜会議
3	9	金	卒業式
3	12	月	期末考査　～14日（水）
3	22	木	成績会議　大掃除　ワックスがけ
3	23	金	終業式
3	25	日	学年末休業日（～31日迄）

備考　創立20周年記念式典

平成13年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	6	金	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	7	土	入学式（2・3年家庭学習）
4	12	木	離任式（3・4限）
4	13	金	新入生歓迎会
4	15	日	創立記念日
4	27	金	2・3年芸術鑑賞会、1年遠足(木更津)
5	1	火	身体測定・スポーツテスト
5	2	水	球技大会
5	16	水	生徒総会
5	22	火	中間考査　～24日（木）
5	30	水	除草作業
6	4	月	教育実習開始
6	8	金	PTA総会
6	16	土	面談週間(特別時間割)　～22日（金）
7	5	木	期末考査　～9日（月）
7	10	火	生徒家庭学習日
7	16	月	生徒指導講話
7	18	水	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	19	木	終業式
7	21	土	夏季休業日（～8月31日迄）
7	23	月	夏季補習　～31日（火）
7	24	火	中学生対象学校説明会　25日、26日、8月2日、3日
8	5	日	同窓会総会、後援会総会
9	1	土	始業式 大掃除
9	11	火	台風のため臨時休業
9	14	金	黎明祭　15日（土）
9	20	木	スポーツ大会　21日（金）一部延期26日（水）
10	20	土	中間考査　～23日（火）
10	30	火	修学旅行2年　～11月2日（金）
11	16	金	保護者面談週間　～21日（水）
11	21	水	生徒会役員選挙　立会演説会　読書感想文画ｺﾝｸｰﾙ表彰式
12	10	月	期末考査　～13日（木）
12	20	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	21	金	生徒会新役員認証式　終業式
12	24	月	冬季休業日（～1月6日迄）
1	7	月	始業式　大掃除
1	25	金	3年期末考査　～30日（水）
1	30	水	大掃除、机・椅子移動
1	31	木	推薦入試
2	4	月	判定会議
2	7	木	マラソン大会
2	18	月	卒業認定会議
2	26	火	学力検査　27日（水）
3	4	月	選抜会議
3	8	金	卒業式
3	11	月	期末考査　～14日（木）
3	20	水	成績会議　大掃除　ワックスがけ
3	22	金	終業式
3	25	月	学年末休業日（～31日迄）

平成14年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	4	木	転入考査(新1年生)
4	8	月	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	9	火	入学式（2・3年家庭学習）
4	15	月	創立記念日
4	18	木	新入生歓迎会
4	19	金	離任式（午後）
4	26	金	2・3年芸術鑑賞会、1年遠足(木更津)
5	16	木	生徒総会
5	22	水	中間考査　～24日（金）
5	30	木	除草作業
6	3	月	教育実習開始
6	7	金	PTA総会
6	11	火	球技大会
6	17	月	面談週間(特別時間割)　～21日（金）
7	8	月	期末考査　～11日（木）
7	16	火	生徒指導講話（中止：台風のため臨時休業）
7	18	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	19	金	終業式
7	21	日	夏季休業日（～8月31日迄）
7	22	月	夏季補習　～31日（水）
7	23	火	第7回ワガワガ高校研修生出発　～8月12（月）
7	25	木	中学生対象学校説明会　26日、31日、8月1日、2日
8	4	日	同窓会総会、後援会総会
9	2	月	始業式 大掃除
9	13	金	黎明祭　14日（土）
9	19	木	スポーツ大会　20日（金）
10	18	金	中間考査　～22日（火）
10	26	土	修学旅行2年　～29（火）
11	15	金	保護者面談週間　～22日（金）
11	28	木	生徒会役員選挙　立会演説会　読書感想文画ｺﾝｸｰﾙ表彰式
12	9	月	期末考査　～12日（木）
12	19	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	20	金	生徒会新役員認証式　終業式
12	24	火	冬季休業日（～1月6日迄）
1	7	火	始業式　大掃除
1	28	火	3年期末考査　～31日（金）
1	31	金	大掃除、机・椅子移動
2	3	月	特色化選抜
2	6	木	判定会議　マラソン大会
2	17	月	卒業認定会議
2	26	水	学力検査　27日（木）
3	4	火	選抜会議
3	7	金	卒業式
3	10	月	期末考査　～13日（木）
3	20	木	成績会議　大掃除　ワックスがけ
3	24	月	終業式
3	25	火	学年末休業日（～31日迄）

備考　完全週休2日制度始まる

平成15年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	7	月	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	8	火	入学式（2・3年家庭学習）
4	11	金	離任式（午後）
4	15	火	創立記念日
4	17	木	新入生歓迎会
4	25	金	1年校外学習
5	1	木	スポーツテスト　身体計測　視力検査
5	2	金	球技大会
5	15	木	生徒総会
5	23	金	中間考査　～27日（火）
5	29	木	除草作業
6	2	月	教育実習開始
6	6	金	PTA総会
7	7	月	期末考査　～10日（木）
7	15	火	交通安全講話
7	17	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	18	金	終業式
7	21	月	夏季休業日（～8月31日迄）
7	22	火	夏季語学研修アメリカンサマーキャンプ（2泊3日 東金青年の家）
7	22	火	夏季補習　～31日（水）
7	24	木	中学生対象学校説明会　25、28日、8月1、4日（5日間）
7	27	日	後援会総会
8	3	日	同窓会総会
9	1	月	始業式 大掃除
9	12	金	黎明祭　13日（土）
9	18	木	スポーツ大会　19日（金）
9	25	木	防災訓練
10	9	木	生徒会役員選挙　立会演説会
10	17	金	中間考査　～21日（火）
10	28	火	修学旅行2年　～31日（金）
11	20	木	芸術鑑賞会
11	27	木	読書感想文画コンクール表彰式
12	9	火	期末考査　～12日（金）
12	19	金	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	22	月	終業式
12	24	水	冬季休業日（～1月6日迄）
1	7	水	始業式
1	27	火	3年期末考査　～30日（金）
2	3	火	特色化選抜
2	6	金	判定会議　マラソン大会
2	17	火	卒業認定会議
2	26	木	学力検査　27日（金）
3	4	木	入学許可候補者発表
3	9	火	卒業式
3	10	水	期末考査　～15日（月）
3	23	火	成績会議　大掃除　ワックスがけ
3	24	水	終業式
3	25	木	学年末休業日（～31日迄）

平成16年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	2	金	転入考査（新1年生）
4	6	火	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	7	水	入学式（2・3年家庭学習）
4	14	水	新入生歓迎会
4	15	木	創立記念日
4	16	金	離任式（午後）
4	28	水	1年遠足
5	11	火	スポーツテスト　身体計測
5	12	水	球技大会
5	13	木	生徒総会
5	20	木	除草作業
5	25	火	中間考査　～27日（木）
6	7	月	教育実習開始
6	11	金	PTA総会
7	6	火	期末考査　～9日（金）
7	14	水	交通安全講話
7	16	金	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	20	火	終業式
7	21	水	夏季休業日（～8月31日迄）
7	21	水	第8回ワガワガ高校研修生出発　～8月8日（日）
7	21	水	夏季補習　～30日（金）
7	26	月	中学生対象学校説明会　27日、8月4日、5日、6日（5日間）
7	25	日	同窓会・後援会総会
9	1	水	始業式 大掃除
9	10	金	黎明祭　11日（土）
9	15	水	スポーツ大会
9	29	水	防災訓練
10	7	木	生徒会役員選挙　立会演説会
10	15	金	中間考査　～19日（火）
10	23	土	修学旅行2年　～26日（火）
11	17	水	芸術鑑賞会
11	18	木	生徒会新役員認証式　読書感想文・画コンクール表彰式
12	9	木	期末考査　～14日（火）
12	21	火	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	22	水	終業式
12	24	金	冬季休業日（～1月6日迄）
1	7	金	始業式
1	26	水	3年期末考査　～31日（月）
2	2	水	特色化選抜
2	7	月	判定会議　マラソン大会
2	17	木	卒業認定会議
2	24	木	学力検査　25日（金）
3	3	木	入学許可候補者発表
3	9	水	卒業式
3	10	木	期末考査　～15日（火）
3	23	水	成績会議　大掃除　ワックスがけ
3	24	木	終業式
3	25	金	学年末休業日（～31日迄）

平成17年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	4	月	転入考査
4	6	水	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	7	木	入学式（2・3年家庭学習）
4	13	水	新入生歓迎会
4	14	木	離任式（午後）
4	15	金	創立記念日
4	28	木	1年遠足
5	10	火	スポーツテスト　身体計測
5	11	水	球技大会
5	12	木	生徒総会
5	19	木	除草作業
5	25	水	中間考査　～27日（金）
6	6	月	教育実習開始
6	10	金	PTA総会
7	6	水	期末考査　～11日（月）
7	14	木	交通安全講話
7	19	火	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	20	水	終業式
7	21	木	夏季休業日（～8月31日迄）
7	21	木	ワガワガ高校研修生出発　～8月6日（土）
7	21	木	夏季補習　～29日（金）
7	24	日	同窓会・後援会総会
8	29	月	中学生対象学校説明会　30・31日
9	1	木	始業式 大掃除
9	9	金	黎明祭　10日（土）
9	13	火	スポーツ大会　14日（水）
9	22	木	防災訓練
10	6	木	生徒会役員選挙　立会演説会
10	14	金	中間考査　～18日（火）
10	22	土	修学旅行2年　～25日（火）
11	16	水	芸術鑑賞会
11	17	木	生徒会新役員認証式　読書感想文・画コンクール表彰式
12	9	金	期末考査　～14日（水）
12	21	水	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	22	木	終業式
12	24	土	冬季休業日（～1月6日迄）
1	10	火	始業式
1	26	木	3年期末考査　～31日（火）
2	6	月	特色化選抜
2	9	木	判定会議　マラソン大会
2	21	火	卒業認定会議
2	28	火	学力検査　3月1日（水）
3	7	火	入学許可候補者発表
3	9	木	卒業式
3	10	金	期末考査　～15日（水）
3	23	木	成績会議　大掃除　ワックスがけ
3	24	金	終業式
3	25	土	学年末休業日（～31日迄）
備考　インターハイ千葉県大会開催			

平成18年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	4	火	転入考査
4	6	木	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	7	金	入学式（2・3年家庭学習）
4	13	木	新入生歓迎会
4	14	金	離任式（午後）
4	15	土	創立記念日
4	28	金	1年遠足
5	1	月	球技・スポーツ大会 ～2日(火)
5	11	木	生徒総会
5	18	木	防災訓練
5	23	火	中間考査　～25日（木）
5	26	金	スポーツテスト　身体計測
6	5	月	教育実習開始
6	10	土	PTA総会
6	13	火	保護者面談週間 ～21日(水)
7	6	木	期末考査　～11（火）
7	14	金	交通安全講話
7	19	水	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	20	木	終業式
7	21	金	夏季休業日（～8月31日迄）
7	21	金	第9回ワガワガ高校研修生出発　～8月6日（日）
7	23	日	同窓会・後援会総会
7	24	月	夏季補習　～31日（月）
7	25	火	中学生対象学校説明会　26日（水）
9	1	金	始業式 大掃除
9	15	金	黎明祭　16日（土）
10	5	木	生徒会役員選挙　立会演説会
10	13	金	中間考査　～17日（火）
10	28	土	修学旅行2年　～31日（火）
11	29	水	芸術鑑賞会 生徒会新役員認証式　読書感想文・画コンクール表彰式
12	11	月	期末考査　～14（木）
12	21	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	22	金	終業式
12	25	月	冬季休業日（～1月6日迄）
1	9	火	始業式
1	26	金	3年期末考査　～31日（水）
2	6	火	特色化選抜
2	9	金	判定会議　マラソン大会
2	15	木	卒業認定会議
2	28	水	学力検査　3月1日（木）
3	7	水	入学許可候補者発表
3	9	金	卒業式
3	12	月	期末考査　～15日（木）
3	22	木	成績会議　大掃除
3	23	金	終業式
3	26	月	学年末休業日（～31日迄）

平成19年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	4	水	転入考査
4	6	金	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	9	月	入学式（2・3年家庭学習）
4	12	木	新入生歓迎会
4	13	金	離任式（午後）
4	15	日	創立記念日
4	27	金	1年遠足
5	1	火	スポーツテスト　身体計測
5	7	月	球技大会
5	10	木	生徒総会
5	17	木	除草作業
5	23	水	中間考査　～25日（金）
5	26	土	PTA総会
6	4	月	教育実習開始
6	13	水	保護者面談（午後）　～15日(金）
7	6	金	期末考査　～11日（水）
7	19	木	成績会議 交通安全講話 大掃除 ワックスがけ
7	20	金	終業式　ワガワガ高校研修生出発　～8月6日（月）
7	21	土	夏季休業日（～8月31日迄）
7	22	日	後援会総会
7	23	月	夏季補習開始
7	23	月	保護者面談　～27日(金）
8	2	木	中学生対象学校説明会　～3（金）
9	3	月	始業式 大掃除
9	14	金	黎明祭　15日（土）
9	20	木	スポーツ大会　21日(金）
9	27	木	防災訓練
10	4	木	生徒会役員選挙　立会演説会
10	23	火	中間考査　～25日（木）
11	10	土	修学旅行2年　～13日（火）
11	22	木	生徒会新役員認証式　読書感想文・画コンクール表彰式
11	28	水	芸術鑑賞会
12	10	月	期末考査　～13日（木）
12	20	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
12	21	金	終業式
12	24	月	冬季休業日（～1月6日迄）
1	7	月	始業式
1	28	月	3年期末考査　～31日（木）
2	6	水	特色化選抜
2	12	火	判定会議　マラソン大会
2	14	木	卒業認定会議
2	28	木	学力検査　29日（金）
3	6	木	入学許可候補者発表
3	7	金	卒業式
3	10	月	期末考査　～13日（木）
3	21	金	成績会議　大掃除
3	24	月	終業式
3	25	火	学年末休業日（～31日迄）

平成20年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	3	木	転入考査
4	7	月	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	8	火	入学式（2・3年家庭学習）
4	11	金	新入生歓迎会　離任式（午後
4	15	火	創立記念日
4	25	金	1年遠足
5	1	木	スポーツテスト　身体計測
5	7	水	球技大会
5	8	金	生徒総会
5	22	木	中間考査　～26日（月）
5	31	土	PTA総会
6	3	火	教育実習開始
6	13	金	保護者面談(午後）　～16日(月）
7	7	月	期末考査　～10日（木）
7	16	水	大掃除 ワックスがけ
7	17	木	成績会議 交通安全教室
7	18	金	終業式　第10回ワガワガ高校研修生出発　～8月4日（月）
7	21	月	夏季休業日（～8月31日迄）
7	22	火	保護者面談　～25日(金）
7	22	火	夏季補習開始
7	27	日	後援会総会
8	6	水	中学生対象学校説明会　～7日（木）
9	1	月	始業式 避難訓練　大掃除
9	12	金	黎明祭　13日（日）
9	19	金	スポーツ大会　24日(水）
10	9	木	生徒会役員選挙　立会演説会
10	17	金	中間考査　～21日（火）
10	24	金	修学旅行2年　～27日（月）
12	9	火	期末考査　～12日（金）
12	17	水	芸術鑑賞会　読書感想文・画コンクール表彰式
12	19	金	成績会議 生徒会新役員認証式　大掃除 ワックスがけ
12	22	月	終業式
12	24	水	冬季休業日（～1月6日迄）
1	7	水	始業式
1	26	月	3年期末考査　～29日（木）
2	6	金	特色化選抜
2	10	火	判定会議　マラソン大会
2	16	月	卒業認定会議
2	26	木	学力検査　27日（金）
3	5	木	入学許可候補者発表
3	6	金	卒業式
3	10	火	期末考査　～13日（金）
3	23	月	成績会議　大掃除
3	24	火	終業式
3	25	水	学年末休業日（～31日迄）
3	27	金	転入考査

平成21年度　年表

月	日	曜	行　事　等
4	6	月	新任式、始業式、大掃除（机・椅子の移動）　入学式準備
4	7	火	入学式（2・3年家庭学習）
4	10	金	新入生歓迎会　離任式（午後）
4	15	水	創立記念日
4	24	金	1年遠足
4	30	木	新体力テスト　身体計測
5	1	金	球技大会
5	7	木	生徒総会
5	22	金	中間考査　～26日（火）
5	30	土	PTA総会
6	2	火	教育実習開始
6	12	金	保護者面談(午後)　～16日(火)
7	6	月	期末考査　～9日（木）
7	14	火	交通安全講話
7	16	木	成績会議 大掃除 ワックスがけ
7	17	金	終業式
7	21	火	夏季休業日（～8月31日迄）　夏季補習開始
7	22	水	保護者面談　～27日(月)
7	26	日	後援会総会
8	5	水	中学生対象学校説明会　～6日（木）
9	1	火	始業式 大掃除
9	11	金	黎明祭　12日（土）
9	17	木	スポーツ大会　18日(金)
10	16	金	中間考査　～20日（火）
10	23	金	修学旅行2年　～26日（月）
11	5	木	生徒会役員選挙　立会演説会　読書感想文・画コンクール表彰式
11	20	金	創立30周年記念式典
12	9	水	期末考査　～14日（月）
12	17	木	芸術鑑賞会
12	21	月	成績会議 大掃除 ワックスがけ　生徒会新役員認証式
12	22	火	終業式
12	24	木	冬季休業日（～1月6日迄）
1	7	木	始業式
1	25	月	3年期末考査　～29日（金）
2	5	金	特色化選抜
2	9	火	判定会議　マラソン大会
2	15	月	卒業認定会議
2	25	木	学力検査　26日（金）
3	1	月	30周年記念誌発行
3	4	木	入学許可候補者発表
3	9	火	卒業式
3	10	水	期末考査　～15日（月）
3	23	火	成績会議　大掃除
3	24	水	終業式
3	25	木	学年末休業日（～31日迄）

備考：創立30周年式典・講演会

修学旅行この10年

年度	学年主任	行先	月　日	行　　程	宿泊場所
12	高橋	志賀高原	H13.　2／ 7(水)	東京駅→長野駅→志賀高原(ホテル)・・・・・スキー講習	ホリデープラザ志賀高原
			8(木)・9(金)	終日スキー講習	
			10(土)	ホテル・午前中スキー講習→長野駅→東京駅解散	
13	栗山	九州	H13. 10／30(火)	羽田空港→長崎空港→ハウステンボス→ホテル	長崎国際ホテル日昇館
			31(水)	ホテル→NCCホール(講話)→平和公園→長崎市内見学→ホテル	佐賀龍登園
			11／1(木)	ホテル→クラス別見学→ホテル	
			2(金)	ホテル→吉野ヶ里、太宰府、福岡市内観光→福岡空港→羽田空港	
14	赤尾	沖縄	H14. 10／26(土)	羽田空港→那覇空港→玉泉洞王国村→首里城→ホテル	パシフィックホテル沖縄
			27(日)	ホテル→クラス別コース→エイサー体験→ホテル	万座ビーチホテル
			28(月)	ホテル→体験別コース→ホテル	
			29(火)	ホテル→国際通り散策→那覇空港→羽田空港	
15	松永	九州	H15. 10／28(火)	羽田空港→福岡空港→クラス別コース→ホテル	シーホークホテル
			29(水)	ホテル→体験別コース→ホテル	長崎梅松鶴
			30(木)	ホテル→平和公園→長崎市内班別コース→ホテル	
			31(金)	ホテル→ハウステンボス→福岡空港→羽田空港	
16	片野	沖縄	H16. 10／23(土)	羽田空港→那覇空港→首里城→ホテル	沖縄残波ロイヤルホテル
			24(日)	ホテル→クラス別コース→ホテル	
			25(月)	ホテル→体験別コース→ホテル	
			26(火)	ホテル→玉泉洞おきなわワールド→那覇空港→羽田空港	
17	飯森	沖縄	H17. 10／22(土)	羽田空港→那覇空港→佐喜間美術館・首里城→ホテル	南西観光ホテル
			23(日)	ホテル→クラス別コース→エイサー体験→ホテル	万座ビーチホテル
			24(月)	ホテル→体験別コース→ホテル	
			25(火)	ホテル→国際通り散策→那覇空港→羽田空港	
18	池畑	沖縄	H18. 10／28(土)	羽田空港→那覇空港→佐喜間美術館・首里城→ホテル	南西観光ホテル
			29(日)	ホテル→クラス別コース→エイサー体験→ホテル	サンマリーナホテル
			30(月)	ホテル→体験別コース→ホテル	
			31(火)	ホテル→国際通り散策→那覇空港→羽田空港	
19	佐藤	沖縄	H19. 11／10(土)	羽田空港→那覇空港→佐喜間美術館・首里城→ホテル	都ホテル
			11(日)	ホテル→クラス別コース→座間味島民宿	座間味島民宿
			12(月)	民宿→座間味島体験学習→民宿	
			13(火)	民宿→国際通り散策→那覇空港→羽田空港	
20	石倉	沖縄	H20. 10／24(金)	羽田空港→那覇空港→平和記念公園→ホテル	パシフィックホテル沖縄
			25(土)	ホテル→クラス別コース→ホテル	リザンシーパークホテル谷茶ベイ
			26(日)	ホテル→体験別コース→ホテル	
			27(月)	ホテル→首里城→国際通り散策→那覇空港→羽田空港	
21	福田	沖縄	H21. 10／23(金)	羽田空港→那覇空港→ひめゆり資料館・摩文仁の丘・ガマ→ホテル	エッカホテル
			24(土)	ホテル→クラス別コース→ホテル	チサンリゾート美ら海
			25(日)	ホテル→体験学習→美ら海水族館→ホテル	
			26(月)	ホテル→首里城→国際通り散策→那覇空港→羽田空港	

平成１４年３月卒業生の進路

H１４／３／２２
進路指導部

進路先	進学　（　）は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	（　）は浪人	
男子	８３（１７）	１（０）	５３	５	３	７	１	３６（２１）	１８９
女子	５２（２９）	２１（１７）	９０	１１	４	０	２	２６（１９）	２０６
計	１３５（４６）	２２（１７）	１４３	１６	７	７	３	６２（４０）	
	３００			３０			６５		３９５

＊フリーター１８名

進学内訳	推薦入試				一般入試				合計
	指定校推薦	公募推薦	自己推薦	計	一般入試	ｾﾝﾀｰ入試	ＡＯ入試	計	
大学	１５	２９	２	４６	７７	７	５	８９	１３５
短大	７	９	１	１７	４	－	１	５	２２
専修各種	３	７６	０	７９	６４	－	－	６４	１４３
計	２５	１１４	３	１４２	１４４	７	６	１５８	３００

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
亜細亜大学	２	２	中央大学	１	０
駒澤大学	４	４	帝京大学	１０	９
敬愛大学	３	２	帝京平成大学	２	２
江戸川大学	１	１	東海大学	１	１
国士舘大学	３	２	東京情報大学	１１	４
埼玉大学	１	１	東京成徳大学	１	０
芝浦工業大学	１	０	東京電機大学	３	１
淑徳大学	５	５	東邦大学	１	１
昭和女子大学	１	１	東洋大学	５	５
城西国際大学	６	１	二松学舎大学	３	３
神田外語大学	３	３	日本女子大学	１	１
神奈川工科大学	２	１	日本大学	１３	１０
聖徳大学	１	１	武蔵野美術大学	１	１
千葉経済大学	２	２	文化女子大学	１	１
千葉工業大学	２３	１５	文教大学	１	０
千葉商科大学	３５	２０	法政大学	１	１
専修大学	１	１	明海大学	８	７
川村学園女子大学	２	２	明治大学	１	１
洗足学園大学	１	１	目白大学	１	０
創価大学	１	１	立正大学	１	１
大妻女子	２	２	麗澤大学	５	４
大正大学	３	１	和光大学	１	１
拓殖大学	１	１	和洋女子大学	４	３
中央学院大学	５	５	國學院大学	３	３
			合計	１８９	１３５

《短期大学》

短大名	合格	入学
淑徳短期大	２	１
昭和学院短期大	２	２
植草学園短期大	１	１
青山学院女子短期大	１	１
千葉敬愛短期大	２	２
千葉経済大短期大	５	５
千葉県立衛生短期大	１	１
千葉明徳短期大	４	４
大妻女子大短期大	２	１
拓殖短期大	１	１
東横学園女子短期大	１	０
東京家政学院短期大	１	１
文化女子大短期大	１	１
和洋女子大短期大	１	１
合計	２５	２２

《主な進学先の専門学校》

ちば愛犬動物学園　エコール・キュリネール国立　トラベルジャーナル旅行専門学校　ニホン・オートモービル・カレッジ　パリー美容専門学校　杏林大学医学部付属看護専門学校　華調理師専門学校　蒲田保育専門学校　関東鍼灸専門学校　亀田医療技術専門学校　宮本看護専門学校　鯉淵学園　高山美容専門学校　国際トラベル＆ホテル専門学校　国際動物専門学校　国際理工専門学校　山王看護専門学校　山脇美術専門学院　淑徳文化専門学校　上野法律専門学校　植草幼児教育専門学校　神田外語学院　成田航空ビジネス専門学校　成田赤十字看護専門学校　千葉県医療技術大学　千葉県自動車産業技術専門学校　千葉県保育専門学院　千葉県立船橋高等技術専門校　千葉情報経理専門学校　千葉調師理専門学校　千葉日建工科専門学校　千葉美容専門学校　船橋情報ビジネス専門学校　早稲田速記医療福祉専門学校　大原簿記法律専門学校　中央工学校　帝京高等看護学院　東京ﾐｭｰｼﾞｯｸ＆ﾒﾃﾞｨｱｱｰﾂ尚美　東京ＹＭＣＡ社会体育専門学校　東京アナウンス学院　東京デザイナー学院　東京医薬専門学校　東京歯科大学歯科衛生士専門学校　東京都歯科医師会附属歯科衛生士専門学校　東京動物専門学校　東京福祉専門学校　東京法律専門学校　東放学園放送専門学校　東洋理容美容専門学校　二葉看護学院　日本スクールオブビジネス２１　日本デザイナー学院　日本医科大学千葉看護専門学校　日本外国語専門学校　日本工学院専門学校　日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校　日本電子専門学校　日本美容専門学校　文化服装学院ほか

《主な就職先》

銀座アスター食品　ジャベル　マツモトキヨシ　成田農業協同組合　日本ビューホテル　国際ビルサービス株式会社　ｴｱｶｰｺﾞ・ｻｰﾋﾞｽ株式会社　松久グループ松久株式会社　千葉トヨタ自動車株式会社　かとり農協組合　佐賀カントリークラブ　ティエフケー　国際倉庫株式会社　日本食研株式会社　コスモ企業株式会社　スズカケミー株式会社　千葉県警　国家郵政外務葉ほか

平成１５年３月卒業生の進路

Ｈ１５／４／４
進路指導部

進路先	進学　（　）は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	（　）は浪人	
男子	６３（１６）	５（２）	５６	４	４	３	０	６３（５０）	１９８
女子	３１（１６）	２８（１８）	９２	７	６	０	０	２８（１０）	１９２
計	９４（３２）	３３（２０）	１４８	１１	１０	３	０	９２（６０）	
	２７５			２４			９２		３９０

＊フリーター２２名

進学内訳	推薦入試				一般入試				合計
	指定校推薦	一般推薦	自己推薦	計	一般入試	ｾﾝﾀｰ入試	ＡＯ入試	計	
大学	１５	１４	３	３２	５７	１	４	６２	９４
短大	８	９	３	２０	１０	－	３	１３	３３
専修各種	５	８８	３	９６	５２	－	－	５２	１４８
計	２５	１１１	９	１４８	１１９	１	７	１２７	２７５

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
亜細亜大学	３	１	文教大学	１	１
駒澤大学	２	１	帝京大学	１１	１０
桜美林大学	１	１	帝京平成大学	３	３
大阪府立看護大学	１	１	東海大学	１	０
国士舘大学	１	０	東京情報大学	４	３
國學院大学	２	２	東京成徳大学	１	１
学習院女子大学	１	１	東京電機大学	３	２
淑徳大学	５	４	東京工芸大学	１	１
大東文化大学	４	１	東洋大学	３	３
城西国際大学	２	１	徳島文理大学	１	１
神田外語大学	３	３	東京経済大学	１	１
山形大学	１	１	日本大学	９	９
聖徳大学	２	１	武蔵野音楽大学	１	１
千葉経済大学	３	２	北海道工業大学	２	１
千葉工業大学	８	８	北海道医療大学	１	０
千葉商科大学	１３	８	流通経済大学	１	０
専修大学	１	１	明海大学	８	６
川村学園女子大学	３	２	明星大学	１	１
実践女子大学	１	１	目白大学	１	１
麻布大学	１	１	立正大学	１	０
大妻女子大学	１	１	麗澤大学	１	１
大正大学	３	２	和光大学	１	１
拓殖大学	１	１	和洋女子大学	３	２
中央学院大学	１	１	その他通信大学	１	１
			合計	１２５	９４

《短期大学》

短大名	合格	入学
亜細亜大学短期大学部	２	２
昭和女子短期大	１	１
植草学園短期大	２	２
大妻女子大学短期大学部	６	６
千葉敬愛短期大	３	３
千葉経済大短期大	１	１
千葉県立衛生短期大	２	２
千葉明徳短期大	４	４
共立女子短期大	４	４
戸板女子短期大	１	１
聖徳栄養短期大	１	１
跡見学園女子大学短期大学部	１	１
山脇学園短期大	２	２
川村短期大	１	１
駒澤短期大	１	１
合計	３３	３３

《主な進学先の専門学校》

トラベルジャーナル旅行専門学校　ニホン・オートモービル・カレッジ　パリー美容専門学校　華調理師専門学校　関東鍼灸専門学校　宮本看護専門学校　国際トラベル＆ホテル専門学校　国際理工専門学校　山王看護専門学校　上野法律専門学校　植草幼児教育専門学校　神田外語学院　成田航空ビジネス専門学校　成田赤十字看護専門学校　千葉県立船橋高等技術専門校　千葉情報経理専門学校　千葉美容専門学校　船橋情報ビジネス専門学校　早稲田速記医療福祉専門学校　大原簿記法律専門学校　中央工学校　東京医薬専門学校　東京法律専門学校　東放学園放送専門学校　二葉看護学院　日本医科大学千葉看護専門学校　慈恵柏看護専門学校　千葉医療福祉専門学校　沼南リハビリテーション学院　藤リハビリテーション学院　日本航空専門学校　国際航空専門学校　国際理容美容専門学校　武蔵野調理師専門学校　東京栄養食料専門学校　日本自動車整備専門学校　東京デザイン専門学校　日本工学院専門学校　日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校　日本電子専門学校　千葉県職業能力開発短期大学校ほか

《主な就職先》

日航貨物ターミナル　ティエフケー　エービン　日本ビューホテル　ヒルトンホテル成田　全日空ホテル成田　勝浦ホテル三日月　ｴｰｼﾞｪｰｴｽｴｱｶｰｺﾞｻｰﾋﾞｽ　ｴｰｼﾞｪｰｴｽｽｶｲｻﾎﾟｰﾄ　デニーズジャパン　千葉県警　陸上自衛隊ほか

平成１６年３月卒業生の進路

H１６／4／5

進路指導部

進路先	進学　(　)は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	(　)は浪人	
男子	６８(２３)	１(０)	５２	６	１	３	０	４５(３６)	１７７
女子	３０(９)	２６(２２)	８９	１３	２	０	０	１７(３)	１７７
計	９８(３２)	２７(２２)	１４１	１９	３	３	０	６２(３９)	
	２６６			２５			６２		３５４

＊フリーター６名

進学内訳	推薦入試				一般入試				合計
	指定校推薦	一般推薦	自己推薦	計	一般入試	ｾﾝﾀｰ入試	ＡＯ入試	計	
大学	１５	１１	６	３２	５０	８	８	６６	９８
短大	９	１１	２	２２	４	－	１	５	３２
専修各種	６	６４	１	７１	７０	－	－	６９	１４１
計	３０	８６	９	１２５	１２４	８	９	１４１	２６６

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
亜細亜大学	2	1	松本大学	2	0
岩手大学	1	1	帝京平成大学	4	2
敬愛大学	4	1	多摩美術大学	1	1
江戸川大学	2	2	東京造形大学	1	0
国士舘大学	3	2	東京成徳大学	2	1
國學院大学	2	2	東京電機大学	2	2
国際武道大学	2	0	東京工科大学	1	1
淑徳大学	10	9	東洋大学	12	6
大東文化大学	2	2	独協大学	1	1
城西国際大学	7	1	東京女子体育大学	1	1
神田外語大学	3	3	日本大学	12	8
福島大学	1	0	武蔵野美術大学	1	1
聖徳大学	1	1	帝京科学大学	1	0
千葉経済大学	3	1	法政大学	3	2
千葉工業大学	9	9	流通経済大学	1	0
千葉商科大学	12	8	明海大学	8	6
専修大学	4	1	北里大学	1	1
川村学園女子大学	4	2	明治大学	1	1
作新学園大学	1	1	立教大学	1	1
中央大学	1	1	麗澤大学	7	1
大妻女子大学	1	1	十文字学園大学	1	1
大正大学	1	1	和洋女子大学	4	4
拓殖大学	3	3	昭和女子大学	1	1
中央学院大学	2	1	女子栄養大学	1	1
杏林大学	1	0			
芝浦工業大学	1	1	合計	158	98

《短期大学》

短大名	合格	入学
青山学院女子短期大学	1	1
植草学園短期大学	1	1
大妻女子大学短期大学部	3	3
千葉敬愛短期大学	3	3
千葉経済大短期大学部	1	1
千葉県立衛生短期大部	2	2
千葉明徳短期大学	5	5
文化女子短期大学	1	1
武蔵丘短期大学	1	1
聖徳大学短期大学部	4	4
女子美術大学短期大学部	1	1
帝京短期大学	1	1
東京女子体育短期大学	1	1
合計	２７	２７

《主な進学先の専門学校》

ニホン・オートモービル・カレッジ　パリー美容専門学校　華調理師専門学校　関東鍼灸専門学校　宮本看護専門学校　国際トラベル＆ホテル専門学校　国際理工専門学校　山王看護専門学校 植草幼児教育専門学校神田外語学院　成田航空ビジネス専門学校 成田赤十字看護専門学校　千葉情報経理専門学校 中央工学校 千葉美容専門学校　船橋情報ビジネス専門学校　大原簿記法律専門学校　東京医薬専門学校 二葉看護学院　東京法律専門学校　東京歯科衛生士専門学校　日本医科大学千葉看護専門学校　慈恵柏看護専門学校　千葉医療福祉専門学校　八千代リハビリテーション学院　藤リハビリテーション学院　千葉調理専門学校　国際航空専門学校　国際理容美容専門学校　武蔵野調理師専門学校　江戸川大学総合福祉専門学校　日本デザイナー学院　ちば愛犬動物学園　日本工学院専門学校　日本大学附属歯科技工専門学校 日本電子専門学校ほか

《主な就職先》

フジクラ佐倉事業所　マツモトキヨシ　エービン　原山幼稚園　ｶﾜｲｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ　ｴｰﾈｽｴｰﾛｼﾞｽﾃｨｯｸｻｰﾋﾞｽ 株式会社シグナル　空港保安事業センター　ｴｰｼﾞｪｽｶｲｻﾎﾟｰﾄ　衆議院事務局　千葉県警　陸上自衛隊ほか

平成１７年３月卒業生の進路（確定版）

平成１７年４月１８日
進路指導部

進路先	進学　(　)は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種等	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	(　)は浪人	
男子	５１(１３)	２(　１)	４７(２９)	６	２	０	０	３０(２３)	１３８
女子	２９(１７)	２６(２２)	８３(５９)	１６	５	２	２	１８(　７)	１８１
計	８０(３０)	２８(２３)	１３０(８８)	２２	７	２	２	４８(３０)	
	２３８			３１			５０		３１９

＊フリーター５名

進学内訳	推薦入試				一般入試				合計
	指定校推薦	一般推薦	自己推薦	計	一般入試	ｾﾝﾀｰ入試	AO入試	計	
大学	１６	１１	３	３０	３５	５	１０	５０	８０
短大	１０	１２	１	２３	３	－	２	５	２８
専修各種等	１３	７０	５	８８	４２	－	－	４２	１３０
計	３９	９３	９	１４１	８０	５	１２	９７	２３８

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
茨城大学	１	１	千葉工業大学	９	８
上智大学	１	１	千葉商科大学	７	６
立教大学	２	０	中央学院大学	８	５
青山学院大学	２	１	帝京大学	２	２
東京理科大学	２	１	帝京平成大学	１	１
学習院大学	１	０	東海大学	１	１
國學院大学	２	２	東京家政学院大学	１	１
神田外語大学	３	２	東京情報大学	４	１
東邦大学	１	１	東京女子医科大学	１	１
江戸川大学	１	１	東京電機大学	１	１
神奈川工科大学	１	１	東洋大学	３	３
神奈川大学	１	０	日本大学	１５	１２
川村学園女子大学	１	１	文化女子大学	１	１
国士舘大学	３	２	明海大学	４	３
淑徳大学	１３	１０	明星大学	２	０
聖徳大学	１	０	酪農学園大学	１	１
聖母大学	１	１	立正大学	２	２
大正大学	１	１	麗澤大学	５	２
大東文化大学	１	１	湘南工科大学	１	１
千葉科学大学	１	１			
千葉経済大学	１	０			
			合計	１１０	８０

《短期大学》

短大名	合格	入学
千葉県立衛生短期大学	１	１
青山学院女子短期大学	１	１
植草学園短期大学	３	２
江戸川短期大学	１	１
大妻女子大学短期大学部	３	３
共立女子短大	２	２
昭和学院短期大学	１	１
聖徳大学短期大学部	１	１
千葉敬愛短大	２	２
千葉経済大学短期大学部	２	２
千葉明徳短期大学	６	６
東京家政大学短期大学部	２	１
東京立正女子短期大学	１	０
日本体育大学女子短期大学部	２	２
日本大学短期大学部	１	１
文京学院短期大学	１	１
山脇学園短大	１	１
酪農学園大学短期大学部	１	０
合計	３２	２８

《主な進学先の専門学校等　大学校　専門校等含む》

(国) 帯広畜産大学　別科　(国) 千葉医療センター附属看護学校　千葉医療技術大学校　成田赤十字看護専門学校
日本医科大学千葉看護専門学校　二葉看護学院　山王看護専門学校　中央医療技術専門学校　東京医学技術専門学校
八千代リハビリテーション学院　藤リハビリテーション学院　東京歯科大学歯科衛生士専門学校　植草幼児教育専門学校
大原簿記法律専門学校津田沼校　御茶の水美術専門学校　神田外語学院　国際トラベル&ホテル専門学校
国際理工専門学校　専門学校ちば愛犬動物学園　千葉県立我孫子高等技術専門校　千葉調理専門学校　千葉美容専門学校
中央工学校　東京Ｃ．Ｐ．Ａ専門学校　東京ＩＴ会計専門学校　東洋美術学校　ニホン・オートモービル・カレッジ　日本
工学院専門学校　日本工学院八王子専門学校　日本写真芸術専門学校　日本電子専門学校　日本デザイナー学院
華学園栄養専門学校　華調理師専門学校　パリー美容専門学校　船橋情報ビジネス専門学校　文化服装学院
武蔵野栄養専門学校　武蔵野調理師専門学校　成田航空ビジネス専門学校
早稲田速記医療福祉専門学校　　他

《主な就職先》

山九株式会社　プランゼー・ボンディングショップ　ケーイーエフ　日本ビューホテル　ジェイフィルム
佐藤ゴム化学工業　コスモス歯科　マツモトキヨシ　東都観光バス　日本通運　大阪富士工業　川豊　住友金属工業
国際空港上屋　丸菱工業　中越パッケージ　日航貨物ターミナル　ティエフケー　ジャルロイヤルケータリング
つのぶえ保育園　空港保安事業センター　総成カントリークラブ
かとり農業協同組合　佐原市農業協同組合
習志野市役所　自衛隊一般曹候補学生・曹候補士　　他

平成１８年３月卒業生の進路（確定版）

平成１８年４月１７日
進路指導部

進路先	進学　(　)は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種等	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	(　)は浪人	
男子	６４(１６)	１(　１)	４４(２４)	９	１	４	０	１４(　８)	１３７
女子	４０(２２)	４０(２７)	６６(５２)	１９	４	１	３	１２(　１)	１８５
計	１０４(３８)	４１(２８)	１１０(７６)	２８	５	５	３	２６(　９)	
	２５５			３８			２９		３２２

(＊フリーター２名)

進学内訳	推薦入試				一般入試				合計
	指定校推薦	一般推薦	自己推薦	計	一般入試	ｾﾝﾀｰ入試	AO入試	計	
大学	２３	１５	４	４２	３０	９	２３	６２	１０４
短大	１２	１６	１	２９	３	０	９	１２	４１
専修各種等	１０	６６	４	８０	３０	－	－	３０	１１０
計	４５	９７	９	１５１	６３	９	３２	１０４	２５５

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
千葉大学	２	２	帝京平成大学	５	５
茨城大学	２	２	東京聖栄大学	１	０
明治大学	１	１	日本工業大学	１	１
中央大学	１	０	日本文理大学	１	０
東京理科大学	２	０	文化女子大学	１	１
法政大学	１	１	立正大学	１	０
國學院大学	３	２	江戸川大学	１	１
獨協大学	１	１	敬愛大学	１	１
神田外語大学	２	０	淑徳大学	５	３
東洋大学	７	５	城西国際大学	３	３
駒澤大学	４	３	千葉科学大学	１	１
東邦大学	３	１	千葉工業大学	１０	７
専修大学	４	１	千葉商科大学	８	５
日本大学	１３	１１	中央学院大学	６	５
玉川大学	１	０	東京情報大学	２	０
亜細亜大学	１	１	東京成徳大学	１	１
帝京大学	１０	６	東京電機大学	２	２
東海大学	２	１	二松学舎大学	５	５
大妻女子大学	１	１	明海大学	１３	８
国士舘大学	２	２	流通経済大学	４	４
拓殖大学	３	２	麗澤大学	２	１
東京家政大学	１	１	和洋女子大学	７	３
武蔵工業大学	１	０	明星大学	１	０
大正大学	１	１	東京工科大学	２	０
高千穂大学	１	０			
多摩大学	１	１			
帝京科学大学	３	１			
			合計	１５８	１０４

《短期大学》

短大名	合格	入学
青山学院女子短期大学	１	１
植草学園短期大学	４	４
大妻女子大学短期大学部	６	５
共立女子短期大学	５	５
淑徳短期大学	１	１
昭和学院短期大学	２	２
白梅学園短期大学	１	１
創価女子短期大学	１	１
千葉敬愛短期大学	２	２
千葉経済大学短期大学部	４	４
千葉明徳短期大学	９	９
東京家政学院短期大学	２	２
東京成徳短期大学	１	１
日本体育大学女子短期大学部	１	１
日本大学短期大学部	１	１
文化女子大学短期大学部	１	１
合計	４２	４１

《主な進学先の専門学校等　大学校　専門校等含む》

千葉医療センター附属看護専門学校　成田赤十字看護専門学校　日本医科大学千葉看護専門学校　旭中央病院付属看護専門学校
東邦大学佐倉看護専門学校　東京歯科大学歯科衛生士専門学校　日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
日本大学歯学部附属歯科技工専門学校　帝京平成大学専門学校　植草幼児教育専門学校　上野法律専門学校
大原簿記法律専門学校　神田外語学院　国際航空専門学校　国際理工専門学校　国際理容美容専門学校
専門学校ちば愛犬動物学園　千葉調理師専門学校　千葉美容専門学校　東京YMCA社会体育・保育専門学校
東京電子専門学校　東京読売理工専門学校　東洋美術学校　成田航空ビジネス専門学校　成田国際福祉専門学校
ニホン・オートモービル・カレッジ　華栄養専門学校　華調理師専門学校船橋情報ビジネス専門学校　ユニバーサルビューティーカレッジ
早稲田速記医療福祉専門学校　東京調理師専門学校　他

《主な就職先》

山九株式会社　東京電力千葉支店　東日本全日空商事　国際空港上屋　エーエヌエーホテル成田　ジェイ・エス・エス
ドラッグストアオオモリ　成田空港美整社　マツモトキヨシ　空港保安事業センター　佐藤ゴム化学工業株式会社
シー・エス・ランバー　オグラ　市川ダイス株式会社　住友金属工業　日本食研　日立ツール成田工場　ヤマト化学工業成田工場
東京消防庁消防官　日本郵政公社（内務）　自衛隊曹候補士　千葉県警察官　他

平成１９年３月卒業生の進路

平成１９年４月５日
進路指導部

進路先	進学　(　)は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種等	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	(　)は浪人	
男子	６３(１７)	５(　２)	２８(１４)	５	１	２	０	１２(　８)	１１６
女子	４５(２０)	３０(１８)	８６(５２)	１７	８	１	２	７(　２)	１９６
計	１０８(３７)	３５(２０)	１１４(６６)	２２	９	３	２	１９(１０)	
	２５７			３４			２１		３１２

(＊フリーター3名)

進学内訳	推薦入試			一般入試					合計
	指定校推薦	一般推薦	計	一般入試	ｾﾝﾀｰ入試	自己推薦	AO入試	計	
大学	２４	１３	３７	４４	８	１	１８	７１	１０８
短大	１１	９	２０	５	０	４	６	１５	３５
専修各種等	１４	５２	６６	４４	—	３	１	４８	１１４
計	４９	７４	１２３	９３	８	８	２５	１３４	２５７

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
中央大学	１	１	川村学園女子大学	１	１
法政大学	２	０	敬愛大学	１	０
東京理科大学	１	０	淑徳大学	４	３
國學院大学	３	３	城西国際大学	２	０
芝浦工業大学	２	２	聖徳大学	１	１
神田外語大学	４	２	千葉科学大学	３	３
東洋大学	１１	５	千葉経済大学	２	１
駒澤大学	５	４	千葉工業大学	１０	８
専修大学	１	１	千葉商科大学	１６	７
日本大学	２２	１５	中央学院大学	４	２
東邦大学	１	１	帝京平成大学	２	２
亜細亜大学	１	０	東京情報大学	１	１
獨協大学	１	１	東京成徳大学	１	１
立命館アジア太平洋大学	１	１	東京電機大学	６	４
立正大学	４	４	東洋学園大学	４	２
共立女子大学	１	１	明海大学	５	２
帝京大学	８	４	流通経済大学	２	２
国士舘大学	３	２	麗澤大学	８	５
大正大学	４	３	和洋女子大学	６	５
拓殖大学	１	０	関東学園大学	１	１
東京音楽大学	１	１	デジタルハリウッド大学	１	１
東京国際大学	２	１			
東京女子体育大学	１	１			
東北福祉大学	１	１			
文京学院大学	２	２			
			合　　計	１６５	１０８

《短期大学》

短大名	合格	入学
青山学院女子短期大学	２	２
植草学園短期大学	１	１
大妻女子大学短期大学部	５	４
共立女子短期大学	２	２
国際短期大学	１	１
昭和女子大学短期大学部	１	１
女子栄養大学短期大学部	１	１
女子美術大学短期大学部	２	２
杉野服飾大学短期大学部	１	１
聖徳大学短期大学部	２	２
千葉敬愛短期大学	２	２
千葉経済大学短期大学部	２	２
千葉明徳短期大学	５	５
帝京短期大学	１	１
戸板女子短期大学	１	１
東京家政学院短期大学	１	１
東京経営短期大学	１	１
東京農業大学短期大学部	１	１
日本体育大学女子短期大学部	１	１
日本大学短期大学部	１	１
文化女子大学短期大学部	１	１
山脇学園短期大学	１	１
合　　計	３６	３５

《主な進学先の専門学校等　大学校　専門校等含む》

国際航空専門学校　中日本航空専門学校　国際理工専門学校　日本工学院専門学校　日本電子専門学校　千葉職業能力開発短期大学校
専門学校ちば愛犬動物学園　千葉県農業大学校　千葉・柏リハビリテーション学院　藤リハビリテーション学院
八千代リハビリテーション学院　帝京平成大学専門学校　千葉医療センター附属看護専門学校　成田赤十字看護専門学校
旭中央病院付属看護専門学校　東邦大学佐倉看護専門学校　北原学院歯科衛生士専門学校　新東京歯科衛生士専門学校
日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校　国際理容美容専門学校　千葉美容専門学校　東洋理容美容専門学校　日本美容専門学校
中央介護福祉専門学校　読売理工医薬福祉専門学校　大原簿記法律専門学校　船橋情報ビジネス専門学校　成田航空ビジネス専門学校
日本ホテルスクール　東京栄養食糧専門学校　華学園栄養専門学校　華調理師専門学校　武蔵野調理師専門学校
文化服装学院　神田外語学院　東京ＹＭＣＡ社会体育・保育専門学校　他

《主な就職先》

かとり農業協同組合　(株)広域高速ネット２９６　国際空港上屋（株）　医療法人社団秋桜会コスモス歯科　（株）ＪＡＬカーゴサービス
（株）クラシック成田工場　空港アビエーションサービス（株）　山九（株）　（株）ジェイ・エス・エス　大平洋機工（株）　（株）ティエフケー
東建リーバ（株）　東洋佐々木ガラス（株）　(株)ドラッグストアオオモリ　日本食研（株）　（株）ファイブフォックス
(医）山崎眼科クリニック　名糖（株）　アトンパレスホテル　エイジーエススカイサポート（株）　他
千葉市消防署　日本郵政公社

平成２０年３月卒業生の進路

平成２０年4月4日
進路指導部

進路先	進学　(　)は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種等	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	(　)は浪人	
男子	８０(１７)	4(　4)	３０(１３)	4	4	2	0	１６(１５)	１４０
女子	４８(１６)	２９(１９)	７４(５５)	8	3	0	2	１１(　5)	１７５
計	１２８(３３)	３３(２３)	１０４(６８)	１２	7	2	2	２７(２０)	
	２６５			２１			２９		３１５

(＊フリーター4名)

進学内訳	推薦入試			一般入試					合計
	指定校推薦	一般推薦	計	一般入試	センター入試	自己推薦	AO入試	計	
大学	２８	5	３３	３６	１０	3	４６	９５	１２８
短大	１０	１３	２３	1	0	2	7	１０	３３
専修各種等	１０	５８	６８	１８	—	4	１４	３６	１０４
計	４８	７６	１２４	５５	１０	9	６７	１４１	２６５

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
茨城大学	1	1	武蔵野美術大学	1	1
明治大学	1	1	江戸川大学	1	1
法政大学	1	0	敬愛大学	2	2
國學院大学	5	3	淑徳大学	4	4
東洋大学	8	4	聖徳大学	2	2
駒澤大学	2	2	千葉科学大学	2	2
専修大学	1	1	千葉経済大学	2	2
日本大学	１４	１４	千葉工業大学	２４	１８
東邦大学	5	3	千葉商科大学	8	7
亜細亜大学	3	2	中央学院大学	6	5
立正大学	5	3	帝京平成大学	4	4
共立女子大学	1	0	東京情報大学	5	2
帝京大学	4	2	東京成徳大学	1	1
国士舘大学	4	2	東京電機大学	4	2
大正大学	1	1	明海大学	１１	１０
大東文化大学	2	1	流通経済大学	4	3
拓殖大学	2	2	麗澤大学	5	5
桜美林大学	1	1	和洋女子大学	2	1
工学院大学	3	1	関東学園大学	1	1
昭和女子大学	2	2	十文字学園女子大学	3	2
女子美術大学	2	1	新潟医療福祉大学	1	1
杉野服飾大学	1	1	帝京科学大学	1	0
多摩美術大学	1	1	九州産業大学	1	0
東京家政大学	1	1	東京理科大学	1	1
二松学舎大学	1	1			
			合　計	１６８	１２８

《短期大学》

短大名	合格	入学
千葉県立衛生短期大学	1	1
青山学院女子短期大学	3	3
植草学園短期大学	2	2
大妻女子大学短期大学部	3	3
共立女子短期大学	1	1
昭和学院短期大学	1	1
杉野服飾大学短期大学部	1	1
聖徳大学短期大学部	1	1
千葉経済大学短期大学部	3	3
千葉明徳短期大学	9	9
帝京短期大学	2	1
戸板女子短期大学	2	2
日本体育大学女子短期大学部	1	1
日本大学短期大学部	3	2
文化女子大学短期大学部	1	1
山脇学園短期大学	1	1
合　　計	３５	３３

《主な合格先の専門学校等　大学校　専門校等含む》

日本航空専門学校　国際理工専門学校　日本自動車大学校　日本工学院専門学校　日本電子専門学校　船橋情報ビジネス専門学校
専門学校ちば愛犬動物学園　千葉医療福祉専門学校　千葉・柏リハビリテーション学院　藤リハビリテーション学院
八千代リハビリテーション学院　千葉医療センター附属看護専門学校　東邦大学佐倉看護専門学校　成田赤十字看護専門学校
日本医科大学看護専門学校　新東京歯科技工士専門学校　東京歯科大学歯科衛生士専門学校
国際理容美容専門学校　千葉美容専門学校　パリ総合美容専門学校　ハリウッド美容専門学校
江戸川大学総合福祉専門学校　千葉女子専門学校　上野法律専門学校　大原簿記法律専門学校　早稲田速記医療福祉専門学校
成田航空ビジネス専門学校　国際トラベル&ホテル専門学校　華学園栄養専門学校　華調理師専門学校　神田外語学院
東京ＹＭＣＡ社会体育・保育専門学校　東洋美術学校　他

《主な就職先》

千葉県警察官　警視庁警察官
かとり農業協同組合　(株) ＮＡＡリテイリング　(株) エヌエービー　国際空港上屋 (株)　(株) ティエフケー
帝産観光バス (株)　(株)ドラッグストアオオモリ　ハイテックケミ (株)　(株) ピーユーサービス　(株) 日立ツール
(株) ファイブフォックス　他

平成２１年３月卒業生の進路（確定版）

平成２１年４月８日
進路指導部

進路先	進学　（　）は推薦			就職			家事家業	未定	合計
	大学	短大	専修各種等	学校斡旋	縁故就職	公務員	その他	（　）は浪人	
男子	８５(２０)	０(　０)	３５(１３)	７	１	２	０	１０(　８)	１４０
女子	５１(２２)	３２(２１)	６６(４２)	１１	４	１	２	９(　１)	１７６
計	１３６(４２)	３２(２１)	１０１(５５)	１８	５	３	２	１９(　９)	
	２６９			２６			２１		３１６

（＊フリーター１名）

進学内訳	推薦入試			一般入試					合計
	指定校推薦	一般推薦	計	一般入試	センター入試	自己推薦	ＡＯ入試	計	
大学	２８	１４	４２	４２	７	４	４１	９４	１３６
短大	１６	５	２１	３	０	２	６	１１	３２
専修各種等	１８	３７	５５	３３	—	１０	３	４６	１０１
計	６２	５６	１１８	７８	７	１６	５０	１５１	２６９

《四年制大学》

大学名	合格	入学	大学名	合格	入学
早稲田大学	２	２	帝京大学	５	４
上智大学	１	０	東京女子体育大学	１	１
明治大学	２	０	東京電機大学	１	１
青山学院大学	１	０	二松学舎大学	３	１
中央大学	１	０	明星大学	１	１
法政大学	３	３	横浜商科大学	１	１
東京理科大学	２	０	関東学園大学	１	１
國學院大学	３	３	植草学園大学	２	２
芝浦工業大学	２	０	淑徳大学	１	１
東洋大学	１１	７	聖徳大学	２	２
駒澤大学	３	３	城西国際大学	５	１
専修大学	１	１	千葉科学大学	３	２
日本大学	９	８	千葉経済大学	４	２
北里大学	１	１	千葉工業大学	１４	１１
文教大学	１	１	千葉商科大学	１９	１６
武蔵大学	２	０	中央学院大学	６	４
武蔵野音楽大学	１	１	帝京平成大学	６	５
立正大学	１３	６	東京情報大学	４	２
亜細亜大学	４	１	東京成徳大学	４	４
大妻女子大学	２	２	東洋学園大学	１	０
共立女子大学	１	１	明海大学	４	２
国士舘大学	３	２	流通経済大学	７	６
大正大学	１	０	了徳寺大学	１	０
大東文化大学	５	４	麗澤大学	１６	７
高千穂大学	１	０	和洋女子大学	８	８
拓殖大学	５	３	デジタルハリウッド大学	１	１
・・・・・・・・・			文京学院大学	１	１
			合　　計	２０３	１３６

《短期大学》

短大名	合格	入学
神奈川県立外語短期大学	１	１
青山学院女子短期大学	７	３
植草学園短期大学	１	１
大妻女子大学短期大学部	７	４
共立女子短期大学	４	３
自由が丘産能短期大学	１	１
淑徳短期大学	１	１
聖徳大学短期大学部	２	２
千葉敬愛短期大学	３	３
千葉経済大学短期大学部	７	６
千葉明徳短期大学	２	２
戸板女子短期大学	１	１
東京家政大学短期大学部	１	１
日本体育大学女子短期大学部	１	１
文京学院短期大学	２	２
合　　計	４１	３２

《主な合格先の専門学校等　大学校　専門校等含む》

国際理工専門学校　日本工学院専門学校　日本自動車大学校　千葉県農業大学校　専門学校ちば愛犬動物学園　藤リハビリテーション学院　八千代リハビリテーション学院　千葉医療センター附属千葉看護学校　成田赤十字看護専門学校　日本医科大学看護専門学校　慈恵柏看護専門学校　東邦大学佐倉看護専門学校　旭中央病院付属看護専門学校　二葉看護学院　東京歯科大学歯科衛生士専門学校　日本大学松戸歯学部附属歯科衛生専門学校　北原学院歯科衛生専門学校　国際文化理容美容専門学校　国際理容美容専門学校　千葉美容専門学校　パリ総合美容専門学校　アイエステティック専門学校　大原医療秘書福祉専門学校　大原簿記法律専門学校　成田航空ビジネス専門学校船橋情報ビジネス専門学校　上野法律専門学校　国際トラベル＆ホテル専門学校　早稲田速記医療福祉専門学校　織田栄養専門学校　香川栄養専門学校　華学園栄養専門学校　華調理師専門学校　日本菓子専門学校　武蔵野調理師専門学校神田外語学院　東京ＹＭＣＡ社会体育・保育専門学校　他

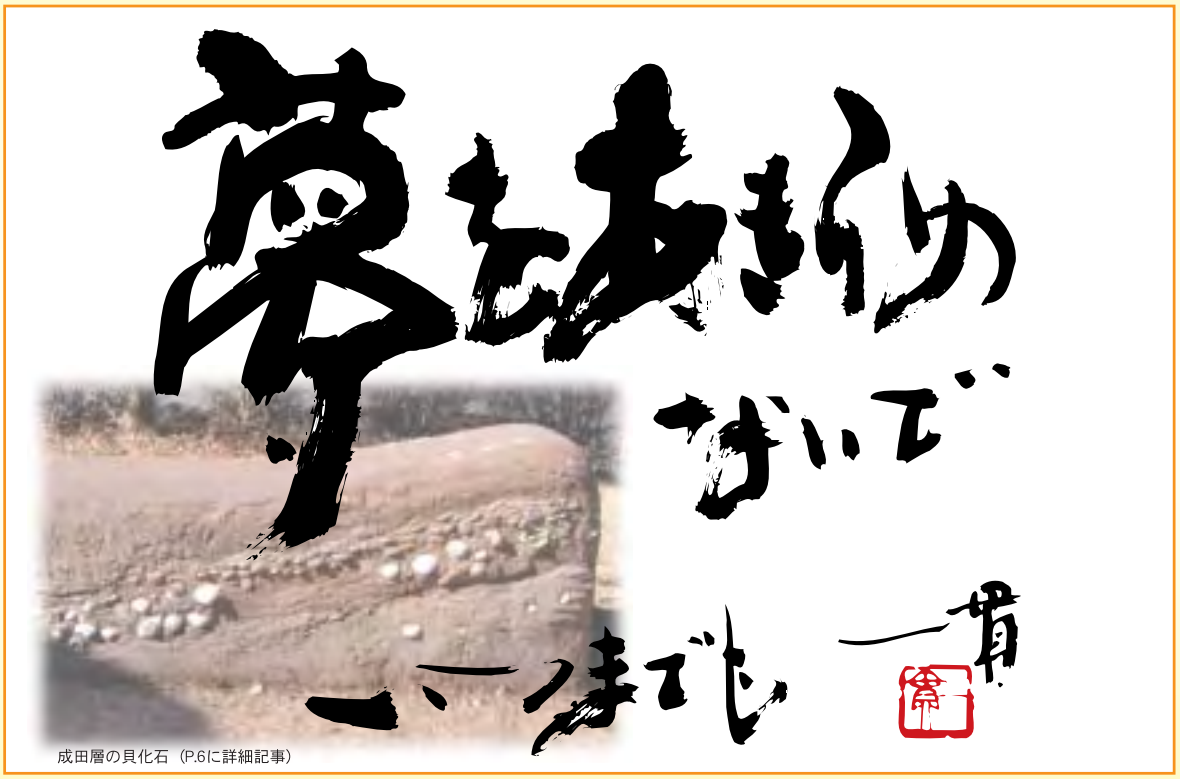
《主な就職先》

成田市消防士　　警視庁警察官　　香取市消防士
（株）オオモリ　　（株）広域高速ネット二九六　　国際空港上屋（株）　　（株）さわた　　（株）山九　　（株）産経新聞印刷
（株）ジェイ・エス・エス　　（株）セントラルビル・総成カントリー　（株）成田エアカーゴサービス　　（株）パノラマ・ホテルズ・ワン
日立ツール（株）　　北総通信建設（株）　　（株）ホンダカーズ東総　　（株）村山　　（株）洋菓子のヒロタ　　他

なりきた

PTA広報誌第71号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411

卒業おめでとう！



成田層の貝化石（P.6に詳細記事）

「夢をあきらめないで、いつまでも」第３学年主任　松永博一（一貫）書

なりきた散歩道

通い慣れた成田北高校を今日巣立っていくみなさん、ご卒業おめでとう。楽しかったこともあったと思う。親しかった友や先生との出会いと別れ。人生の中で一番多感で最も成長著しい高校生活は、長かったような短かったような三年間だったと思う◆三十数年前ベトナム反戦、学費値上げ反対闘争や学内民主化闘争の嵐が大学に吹き荒れ、都立高校に飛び火して全国に広がっていった。血気盛んな高校生も友人とともに校内に「解放区」や「造反有理」などと書いて先生から目をつけられた。何かに飢えていた高校生にも政治の季節は巡っていた◆カネやモノに溢れた社会に囲まれている反面、優しさや思いやりに飢えている現代人に何が必要なのか。一九六四年三月、大河内一男東大学長が卒業式で「ソクラテスの生き方…」にふれ、卒業後の生き方について、訓辞したことを思い出す。私利私欲に走り目先のことしか考えない存在であるよりも「幸福とは何か」「人間はいかに生くべきか」を問い続けた二五〇〇年前の哲学者の精神を見習う必要があるというものである◆経済優先で何でもありの厳しい時代でも、その中を生きて行くみなさんを心優しき善良な大人たちがたくさんいて見守っていることを忘れないで欲しい。

（広報委員　瀧嵜　博）



卒業に寄せて

PTA会長
阿部栄喜



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この三年間文武ともに精一杯頑張り悔いの無い高校生活を過ごされた事と思います。これからは成田北高校で学んだ事を基礎として社会に羽ばたく訳ですが、社会の現状はけして楽観できる環境ではなく、長引く不況、度重なる天災、テロからの猛威と経済の不透明感が蔓延しております。

その中でも昨今アジアの経済・文化が世界的に取り上げられ、注目を浴びる機会が多くなりました。とりわけ中国の経済発展は目を見張る物があります。その反面北朝鮮の外交、経済の問題など、不安材料もあります。今更ながらアジアの中でのコミュニケーション、リーダーシップの重要さを痛感させられます。IT化が進む中、それはネットの様な不特定多数に向けられたコミュニケーションのみで作られる物ではなく、人と人が直接交流する事によって成されると感じております。

その点、留学生を受け入れ日常で世界に接している成田北高校の生徒達は、国際理解の架け橋となり、この成田という地域から発進し国際交流の先駆者として活躍される事と思います。

ところで、卒業生の皆さんはこの学校で夢や目標を見つけられましたか？

関東PTA大会にてブリキおもちゃ博物館館長の北原照久氏は「夢はかなう　きっとかなう」という強い気持ちと努力が大切だと講演され、その著書でも紹介されておりました。皆さんが見つけた夢も、目標を失わず一歩一歩進めば、きっとかなうと信じています。

保護者の方には三年間にわたりPTA活動にご協力頂きありがとうございました。子供達も、初々しい制服姿から確実に、自分の意見を持ち、自分の目標を作り上げられる人になりつつあります。

最後に、入学時より御指導いただきました校長先生を始め教職員の皆様に、心より感謝申し上げます。

さがしものは何ですか

校長　大録郷吉



我が家には犬が二匹いる。芝の雑種とシーズーの二匹である。シーズーは今はやりの座敷犬で、これが犬のクセに寒がりで、温風ヒーターに顔を向けてあたっていたり、夜は布団の中にもぐり込んでくる。どうしてこんな犬ができてしまったのか。やはり、人間が造ってしまったのだろう。いっぽう芝のほうは、霜をかぶって穴にうずくまっている。寒いだろうと思いはするが、これが犬の本来の生き方なのだと思う。

私が高校生の頃、東大の学長が卒業式で「太った豚になるよりもやせたソクラテスになれ」と訓辞したということで話題になった。しかし、インターネットで調べてみると、事前に原稿を受取った新聞社がこの言葉を決め言葉として記事にしたもので、実際のスピーチではこの部分は読まれなかったそうである。ちなみに、この部分はJ・S・ミルの引用で、原典には尊厳の感覚が幸福の本質であることのたとえとして「満足した豚であるより、不満足な人間であるほうがよく、満足した馬鹿であるより、不満足なソクラテスであるほうがよい」と述べられているそうである。やせ我慢してでも、プライドを捨てるなということのようだが、ほんとのところ私は三十年以上も新聞にだまされていたのだ。

「さがしものは何ですか？見つけにくいものですか？」という井上陽水の歌があった。さがしものが見つからない時ほど、イライラしたり、不安になったりすることはないものである。あげくの果てに、何をさがしていたのか分からなくなってしまったり、自分自身さえ見失ってしまうことさえある。これは、いつの時代でも変わりのないことだと思われる。

「この目に見える世界の背後には、もっと大きな目に見えない世界がある」「自分は生きているのではない。生かされているのだ」「一見、無意味に思われるモノやコトやヒトにも、必ず何か大きな意味があるに違いない」と、そんな自覚をもって日々を敬虔に生きること、これが宗教である。と、ある本に書いてあった。とりあえず、日々、目の前に設定した目標をひとつひとつクリアーしていくこと。そのトータルが私の人生だ。



担任より

A組担任　三橋　康孝

皆さんが、家庭学習期間に入ってから、二週間が過ぎました。肩の荷は降り、ゆったりとした生活を送っていますが、多少の寂しさも感じています。

振り返ると、A組には優しい生徒が多かったと思います。忘れっぽく頼りない担任でしたが、フレンドリーに接してくれました。中には、心配事やつらい事を抱えながら頑張っている人もいました。そんな姿を見ながら、感心し、心の中で応援していました。でも、今のつらさ・悩みは、将来必ず「糧」になるからね。

「夜明け前の闇は一番深い」

私の好きな言葉です。つらい時も希望を捨てず、進んで行きましょう。

B組担任　寺内　温穂

こうしてぼくたちは、絶えず過去へ過去へと運び去られながらも、流れにさからう舟のように、力のかぎり漕ぎ進んでゆく。

（フィッツジェラルド　野崎孝訳『グレート・ギャッツビー』新潮文庫平成十五年P253）

四月になって、新しい生活が始まって、すこし時間に余裕ができたら本でも読んでみませんか。そこにもさまざまな出会いがみなさんを待っているかもしれません。

C組担任　佐藤　敏之

北高の三年間はどうでしたか？やりたい事がやれて満足している人もそうでない人もいるでしょうが、私達は常に人に生かされているという事を忘れないで下さい。保護者、友人、教師、いろいろな人がいたからこそ、今日の君達がいるのです。

卒業したら少し心に余裕を持って、自分以外の存在にも気付けるといいね。是非、健康に気をつけて、有意義な人生を送って下さい。さようなら。

D組担任　菅井　健一

『笑う門には福来る』

良い出会いが、たくさんありますように…。

E組担任　鎌田千絵子

「卒業おめでとう」と言われても実感できない人、不安を覚える人はいませんか。「まだ卒業したくない」と思う人はどうでしょう。卒業というと、責任の重さを何気に感じてきませんか。

無責任な大人はたくさんいます。高校は、一般社会に出る一つ前の段階の「学びのための社会」であったはず。校則・授業・試験・部活動・友人関係。苦労するのは当たり前。責任転嫁したりせず、自らそれを乗り越えていく強さを身につけることが勉強であり、その場所が学校なのです。あなたにとって、三年間で内面的に大いに成長できたと自負できるものは何ですか。

「漸々修学（ぜんぜんしゅうがく）」

私が少林寺拳法の帯に入れている言葉です。少しずつでも生涯にわたり学び続け、己を磨き育てていくこと。私はその実践により、他者との関わり合いの中で生かされている自分の存在に責任をもち、この仕事を通して社会に貢献していこうと思っています。

高校卒業はひとり立ちの時。向上心をもち、有為な社会人として活躍されることを期待します。

F組担任　山崎　弘康

卒業おめでとうございます。

時間というものは年齢を重ねる毎に早く感じるようになります。「今、この時」は還って来ません。後悔しないように、「この一瞬」にベストを尽くしましょう。

G組担任　森　知幸

三年前の四月、私も卒業生と一緒に成田北高に転任してきました。

三年間、担任や授業・部活動などを通して北高生と接して、私自身少しは成長できたと思います。私は北高にまだ残りますが、卒業生の飛躍を心より祈っております。

H組担任　池畑　羊一

今年の年賀状の中に、新潟の友人からのものがありました。中越地震での被害はないから心配しないでよいと書かれていました。しかし、その内容からは、地震の影響が深刻であることが窺えましたし、被災地の復興が容易でないことも感じられました。最近の新聞やテレビのニュースでは、スマトラ沖の地震のことが大々的に報じられ、すっかり中越地震のことは隅に追いやられています。もちろん被害の大きさから言っても、当然のことなのかもしれないのですが……。

十年前の阪神淡路大震災でも、家族や友人を失い、辛く悲しい経験をした人達がたくさんいました。自分の夢を諦めて、別の生き方を選択せざるを得なくなってしまった子ども達も多かったのです。震災直後に、生きる希望さえ失いかけていた人達を支えたのは、全国から集まったボランティアでした。

そして、中越地震では、その阪神地区からボランティアがたくさん集まったそうです。阪神地区の被災者は、今も心に大きな傷をもって生きています。だからこそ、新潟の被災者の苦しみを理解し、励まそうとしたのです。

高校卒業後には、皆さんもそんな人達に出会う機会があると思います。色々な辛い経験を糧に、社会で頑張っている人達にです。皆さんが、周りの人の不幸を放っておけないように、周りの人も、皆さんが辛いとき苦しいときに見捨てたりしません。手をさしのべてくれる人が、必ずいるはずです。どんなときにも希望を捨てず頑張ってください。

本年度の進路状況分析

進路指導部長　川島洋子

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。この一年間本当によく頑張りました。前途に幸多かれと心から祈ります。皆さんの一年間を振り返って、今後の一・二年生へのアドバイスを、という依頼でこの文章を記します。

実は、本日（二月十日）現在はまだ一般受験の結果が出ていません。三年生は二月一日から家庭学習期間に入り、今、一般受験の真っ最中なのです。が、推薦・AO・専門・就職はほぼ終了しましたので、現時点の本年度の進路状況をまとめておこうと思います。

大学は受験方法が益々多様化し、AO（アドミッションオフィス）入試と自己推薦入試を行う大学が大幅に増え、受験方式として一般化してきました。今年はこの二つの入試で好い結果がでました（表参照）。来年以降も狙い目だと思います。加えて、従来の指定校推薦・一般公募制推薦・国公立のセンター試験と前期後期試験・私大のセンター利用試験、私大一般入試の前期・後期・A日程・B日程・C日程・I期・II期等と入試形態が様々に細分化され、よく研究すれば同じ学校の同学部同学科に複数回のチャンスがあります。志願先を決めるだけでなく、様々な方式をどう活用するかを早めによく調べ、多様な入試方法をうまく利用する対策を練るべきです。ただし、「数打てば当たる」というわけではありません。科目数が異なったり配点のウエイトが微妙に違うので、どのパターンにも対応できる「実力」をつけている人にだけ有効なチャンスであると言えます。今後AOや自己推薦が狙い目と言っても、今年合格した人は、実際は、一般入試でも合格する実力を持った人たちばかりでした。少子化で定員割れの大学も出る状況の中で早めに入学者を確保したいという大学側の考えもあって、指定校の増加や公募推薦基準が緩和される傾向にありますが、実際には、指定や公募で推薦を取ってまで行きたい学校は限られており、いずれも基準よりも相当上の評定をクリアーしておかないと「行きたい大学」への合格は難しいのです。

どういう形態で受験するにしろ、一・二年から日々の学習に努力して良い成績を残すことはもちろん、一般受験に対応できる実力を最低でも三教科以上の科目でつけておくべきです。国公立を志望する人は七・八科目であることは言うまでもありません。国立の茨城大学に今年合格したA君は、それを実践したから栄冠を獲得したのです。

短大については、小幼課程や保育および管理栄養や公立の短大は激戦でした。辛くも合格を勝ち取ったというところです。一方、一般教養系は、四大の易化・四大への移行・就職実績の厳しさ等から全国的に希望者が減少しつつあり、一昔前は手が届かなかった所にも合格できる傾向にあります。が、いずれの短大も二学期になると残った定員枠を四大の併願者と争うことになりますから、二学期に合格できるように受験することが有利です。推薦を受けられるように自分の条件を整えておくことをお勧めします。

専門学校は、就職資格を取り就職するために行く学校、という感覚で生徒は選んでいます。本校進路部で相談を受けた内容も、卒業後の就職先や就職実績についての質問が最多でした。就職が最も確実な看護・医療（リハビリ・検査）は、大学進学と同等以上の学力を要求されます。目的を絞った丁寧な早期からの学習が要求されます。最近の傾向として、一定の条件を満たせば大学への編入の道がある専門学校も、各分野で増えています。どの専門学校に進学するにしろ、三～五校は見学し、自分の目で比較検討することが大切です。見学の大切さは、大学短大も同じことで、二年終了までにひととおりこなしておくべきです。

また、四大・短大・専門学校は「進学」とひとくくりに言いますが、入学後の学校生活の中身は全く違います。当然、その先の生活の仕方も違います。卒業時の就職はもちろん大事ですが、「どういう人生を送りたいのか」という観点から進路を考えることがより大切なことです。また、同じ企業に就職できても三者で待遇の違いがあることも多いので、詳しく見学先で聞いてくるべきです。

就職は、どん底といわれた昨年・一昨年よりもやや上向きの求人数で、有効求人倍率（近郊で、就業時間が定時である等のもの）も上がりましたが、本校生徒に希望が多い女子事務職は、あまり求人が増えていません。その中で、今年の女子は健闘して事務職を始め希望の職種に多数の内定をいただき、農協も二名が出ました。加えて公務員に二名合格し、快挙でした。今後事務職を志す人は、公務員試験に合格するほどの学力をつけ、できればそれを目指すべきです。銀行・デパートの求人は、数年前からゼロですし、販売は、大手スーパーから来れば良い方です。そういう厳しい状況を自覚して、どの職種を目指す人も一・二年生からの日々一般教養を身につけ、どのような就職試験ににも対応できるようにしておいてください。（筆記試験を行わない就職選考はない、と思ってください。）空港関係の求人は、成田が国内一の輸出入空港であることを反映して新規参入の会社も出て、男女とも求人増でした。男子は、ケータリング関係や貨物や製造業では多数の求人が来て売り手市場の感がありますが、事務系の求人がほとんどありません。男子で事務系を希望する人は、優秀な成績を保持しておき、猛勉強をして公務員を志すことを勧めます。

平成16年度１月末現在進路状況

１．進　学　　数字は合格数、（　　）内はのべ受験数

	指定校推薦	公募推薦	自己推薦	ＡＯ入試	一般受験	２学期計	３学期
大　学	16（16）	11（21）	3（7）	10（16）	－	40（60）	１月末現在一般受験調査書発行者101
短　大	10（10）	12（19）	1（1）	1（1）	－	24（31）	
専門等	13（13）	68（74）	4（4）	－	29（30）	114（121）	
計	39（39）	91（114）	8（12）	11（17）	29（30）	178（212）	

＊３学期の一般受験者は、複数の校種を受験しますので、人数のみ記します。

合格先例　**国公立**　　**茨城大学　千葉県立衛生短期大学**

ＡＯと自己推薦による合格者がある大学

神田外語大学　千葉工業大学　千葉商科大学　帝京大学
帝京平成大学　東邦大学　東洋大学　日本大学　文化女子大学
青山学院女子短期大学　昭和学院短期大学

指定校・公募推薦・一般受験も健闘し、専門学校を含めて多数あります。
ここに挙げたいのですが、スペースがありません。
掲示板でお知らせする予定。

２．就　職

学校斡旋	縁故就職	公務員	計
23	3	2	28

就職は全体に選ぶ時代でなく選ばれる時代で、職種も選べない傾向にあるのが現状です。こういう社会情勢の中で、本当に自分の希望する仕事につきたいと考えるならば、早めに準備することと日々の努力を怠らないことが唯一の道です。具体的には部活や勉学に励み、自分の「売りの長所や資格や項目」を多く持ち、欠席（十以上有ると難しい）・遅刻・早退を少なく、校則を守り、生活や掃除等がきちんとできる生徒であると良い結果を出すことができます。企業が求める人材は、ルールを守り自分で考え行動でき、責任感がある人です。付け焼刃は面接ですぐにばれてしまいます。企業は雇った時点から社員の日々の生活を保障し、定年までに何億円かのお金をかけなければならないのですから、選考は社命をかけているのです。アルバイトとはその点が違うので、甘くはありません。人格的にも高いものを要求されるのですから、しっかり自分の人間性を鍛えて高めておいてください。

以上、どの分野に進むにしろ、日々の着実な過ごし方がものを言うと肝に銘じて過ごしてください。進路への取り組みは、三年生になってからではもう遅すぎるのです。なぜなら、進路は、自分の生きて来た道の延長線上にしかありえないからです。そして、今までやってきた全ての行為の集大成に他ならないのですから。

生徒に望むこと
―存在感のある生活を―

生活指導主事　中津和夫



今高校生の生活を考える時、いつも思い出すのは「自分自身の高校時代はどうだったかな」ということです。その時の自分といまの高校生の姿を重ね合わせてみると、大きな違いが二つあるように感じます。一つは目標目的意識をもっていないこと。それは勉強、部活動等、皆かつてはそれなりに持っていたのではないでしょうか。今の生徒に聞いてみると「まだわからない、考えたことがない」ただ一日を何となく生活し、何の考えも持たずに過ごしていく。二つ目は、心身の耐性や徳性（道徳）の欠如。少し注意すると「ムッ」とした顔をし、それ以上話しすると「うるせえな、関係ねえよ」捨てぜりふを残す。校内や登下校時の電車内等のモラルの無さなど今と昔の違いが感じられます。今学校では、一人一人の個性を伸ばそうと色々考えながら取り組んでいますが、なかなかうまくいかないのが現状のようです。生徒一人一人が存在感のあるような学校生活。生徒同志、生徒と先生、生徒と家族等、の関係の中で自分自身の考えを表現し、存在感のある生活をしてもらいたいものです。こうした観点から日々の学習活動や特別活動あるいは日常生活の中で生徒の健全育成や人格の向上を目指して生徒指導が行われているのです。私が、生徒にただ期待することはこの青春の一番大切な時期にしっかりとした物を見る目を持って、将来の日本の立役者になってほしいのです。ＰＴＡ校外指導委員会の皆様には、自転車通学指導をいただき、誠に感謝しております。来年度もご協力の程、お願い致します。

PTA印旛地区研修会報告について

御厨　誠

本年度は十月二十三日（木）にウィシュトンホテル・ユーカリにおいて佐倉西高等学校主催で実施されました。本校より大録校長、原教頭、生活指導主事中津先生、総務部長渡辺先生、阿部会長、小倉副会長、私の七名で参加いたしました。

研修会は、実施校の佐倉西高から四三名、次回実施校の佐倉南高から十九名、全体としては印旛地区十三校から（一校あたり六名から九名）百四一名と多数の参加でした。

佐倉西高ＰＴＡ会長、同校長の挨拶の後で八街高校の生徒指導主事である成川先生より十六年度上半期「印旛地区における生徒指導の現状」の報告がありました。喫煙、交通関係（バイク等）、窃盗（万引き等）等の特別指導を受けた生徒は、九月までの段階で十四年度は四六三人、十五年度は二八六人、十六年度は二六九人と減少傾向にあります。けれども、暴力やカンニングが増加し、喫煙は全体の四五％を占めています。最近の傾向として、事情聴取の際には知らない振りをする生徒、なかなか納得してくれない保護者、学校で指導して欲しいという保護者が増えています。是からは警察との情報交換をしながら非行の未然防止、時代に合った指導に心掛けなければならないという報告がありました。

我々保護者も学校にばかり頼ることなく、多くの情報を共有して対処していかなければならないと感じました。

生活指導報告の後、「高校生と性の問題点」の演題で、千葉大名誉教授である武田敏先生の講演がありました。親と子の対話が肯定的な家庭では、将来の希望を考える子が多くて、目先の快楽を求める子が少ない。良くなってもらいたいばかりに否定的な対話につながる不適切な発言をしていませんか。（例えば、テストでたまたま良い点を取った時、どう言っていますか、「易しかったのだろう」と言っていませんか）親と子が肯定的な対話をするためには、適切な発言ができるスキルを持つことが重要だと教えていただきました。

最後に、情報交換会が行われ、学校紹介等を行い他校ＰＴＡとの懇親をはかり楽しく交流をすることが出来たことを報告いたします。

成田山参道にて



国際交流委員会

委員長　小西近子

十六年度、国際交流委員会活動は、成田北高校生、豪州ワガワガ高校生との相互の短期留学、米国の高校生の北高訪問など活況を呈し一年間を終えます。ワガワガ高生とのお別れ会は互いの生徒さんが和やかに親睦を深めて居られました。これからも長く親交を深められる事でしょう。少し残念だったのは男子生徒さんが数える程だった事ですが、その分女子生徒さんが元気でした。息子のワガワガ高への短期留学を期にＰＴＡの役員を務めさせて戴きましたが私自身はお役に立てたのか未だに自信はありません。原野先生始め諸先生方、ホームステイを引き受けて下さった御家族の皆様、行事の折にお手伝い戴いた皆様、留学生を暖かく迎えて下さった北高生の皆様に心から感謝申し上げます。

三年生の皆様は卒業となりますが、北高で培った三年間を何よりの糧としそれぞれの道を歩まれると思います。成田北高校と国際交流活動がこれからも長く根づきますよう心からお祈り申し上げます。

広報委員会

委員長　伊藤隆子

昨年の第七〇号広報より、題字が新しくなり、〝なりきた散歩道〟のコラムも、今回引き続き掲載されます。年二回の発行とはいえ、皆様のご協力で、内容豊かなＰＴＡ広報を作ることができ、ありがたく感謝しています。

改めて、記事を隅々まで見渡すと、校長先生の一言、先生方の一言、ＰＴＡ会長の一言が、心に染み入り、又、生徒達の生き生きと活動する姿に、自分の青春時代を重ね合わせて感動もしました。

是非、広報誌を通して、子育てのヒントをつかんで下さい。

一年間ありがとうございました。

成田層の貝化石

成田北高校は「成田層」と呼ばれる地層が露出した台地の上に建てられている。この地層は、今から数十万年前の太古の海に育った貝が堆積し、貝化石層となったものである。

本校の校章のデザインは、その貝殻の三枚を組み合わせ、教育理念である「知育・徳育・体育の調和」を形象化しており、校訓「自律・協調・健全」を心に抱き各々の目標に向かって努力する若人達の進歩の様を貝殻の成長線で表している。

創立二十周年を記念して制作したこのベンチ型オブジェは、現在、表土に見るみとのできなくなった古代の地層「成田層」から貝化石を取り出し層状に埋め込んで造形したものである。

黎明祭

九月十・十一日の両日、第二十四回黎明祭が開催されました。

各クラスや部活の発表など大変盛り上がり、良き思い出となりました。

PTAもバザーによる参加となり、三学年委員長の宮内さんを中心に、役員の皆様のご協力によって昨年以上の売り上げとなり、生徒会への寄付とさせていただきました。



PTAバザー

宮内　澄子

生徒達にまざり早朝から開店の準備や買い出しに、本年度も各学年理事多数参加のもとバザーを開催することができました。例年のこととはいえ、OBの方々の御協力により、目玉商品であるお米をはじめ、新鮮な野菜、お花をならべることができましたこと、心より感謝申し上げます。当日はお天気にも恵まれ、売上げも少額ではありましたが、生徒会へ協力することができました。

私はこのバザーの参加により、生徒達の素顔にふれることができたのは、何よりも大きな収穫だったように思います。多彩なアイデア、クラスごとのデザインTシャツ、イキイキと自信にみちた笑顔等々……。年に一度の学校のお祭りです。ワッショイワッショイいっしょに参加するのもいいのではないでしょうか。一人でも多くの方々に足を運んでいただき、もっともっと盛り上げていただけたらいいな、と思います。

最後になりましたが、御協力いただいた先生方をはじめ、多くの方々、本当にありがとうございました。

◆三一集会

原野　隆

本校の文化祭（黎明祭）に合わせ九月十一日（日）の十三時三十分より会議室で開催されました。本校からは校長、教頭をはじめ九名の職員、PTA会長、生徒保護者八名、地域住民六名の計二十四名の参加がありました。

初めに本校の進路状況について進路指導主事からの説明の後、生徒指導主事より「本校生徒の状況と地域社会との連携」というテーマが提案され、高校生の電車の乗車マナーについてのビデオ視聴後話し合いが行われました。前半の部分に時間を多く割いたこともあり、話し合いは十四時三十分終了の予定が十四時四十五分まで活発に行われました。

文化祭当日ということで、中庭での発表も重なり、多少落ち着かない部分もありましたが、全体としては保護者、地域住民に本校をいろいろな角度から見ていただくいい機会になったのではないかと思います。

PTA研修旅行

藤宮美智子

十月十八日（月）二十七名で、災害発生時における様々な処置対応の習得を目的に、池袋防災館に赴き、救急処置方法、初期消火の技術および地震時の行動等を体得する研修旅行に行って来ました。

朝八時に学校を出発、ビルの谷間を縫うようにバスは走り、行程二時間程で目的地に着きました。

入館して早速、震度六の激震の揺れの怖さを、救急では人工呼吸と心臓マッサージによる蘇生方法を、消火では消火器の取扱いと火点への放水方法を実際に体験しました。

体験前に方法について説明を聞き頭では判ったつもりでしたが、実際に遣るとでは勝手が違って思うようには行きませんでした。そのような状態ですから災害発生時に直ぐ実行に移せるとは思えませんが、体験を通して実感したことは、災害発生時にどれだけ冷静な行動を取ることが出来るかだと思いました。

防災館を後に進路を新宿に変え高層より都心を展望しながらの昼食を楽しみました。

銀座での自由行動では、ショッピングを楽しむ人、お茶を楽しむ人、それぞれが様々な時間を過ごしました。

帰りの車中では今日一日のことなどで話がはずみ、親睦が深められた一日でした。

救急処置体験



第50回 関東地区高P連大会

渡辺　正巳

七月十日（土）・十一日（日）の二日間、神奈川県横浜市において平成十六年度関東地区高等学校PTA連合会大会が開催されました。本校からは、阿部会長、宮内・小西副会長、藤宮理事の四名の保護者と、原教頭、川村・渡邉教諭の三名の職員が参加しました。

今回の大会は、第五十回という節目にあたる大会となり、開催県の意気込みが強く感じられるものでした。初日に九会場、延べ百六十もの分科会に分かれ、本校はフェリス女学院大学会場に配当されました。会場では七名全員が別々の教室に配置され、PTA活動の原点である生徒の健全育成を目指すため、各学校単位PTAの活動を報告しあいながら、活発な情報交換が行われました。

二日目の全体会では、TV東京「開運！なんでも鑑定団」でお馴染みの、ブリキのおもちゃ博物館館長・北原照久氏の記念講演を拝聴しました。『夢はかなう　きっとかなう！』という演題で、氏の半生を幼少時代からのエピソードなども交え熱く語ってくださいました。軽妙な語り口にいつのまにか引き込まれ、あっという間の九十分でした。

今回の関東大会は、ややもすればマンネリ化した前例踏襲型の行事になりがちなところを、開催県PTA連合会の努力により、節目の大会にふさわしい大変有意義なものになったと思います。

修学旅行 in 沖縄

第二学年主任　片野　利治

十月二十三日から三泊四日の修学旅行、沖縄であった。

気候風土も生活習慣も千葉県とは相当に違う、その沖縄を生徒たちは新鮮に受け止めていたようだ。

事前には、平和学習と風土生活に触れることを柱としたが、旅行後の生徒の感想を読むと、ガマの闇から歴史の不幸を追体験したと記す生徒もあり、また、文化の違いや澄んだ海に入って自然の美しさに感動した生徒もあったようだ。

台風の前後をかい潜る日程ではあったが、生徒の自覚ある行動によって、その目的は達したと思う。



◀琉球村

▼郷土芸能



マラソン大会

平成17年2月7日（月）冬晴れの中、今年度も体力の向上と最後まで頑張る強い精神力、そして完走した成就感を味わうことを目的として、マラソン大会が実施されました。結果は下記の通りです。





〈男子の部〉

1	2A	柳橋　正哉	33′54″	陸上競技
2	2A	大塚　秀樹	34′19″	サッカー
3	2B	小林　　新	34′26″	陸上競技
4	2G	加藤　準也	34′39″	陸上競技
5	2H	大月　義陽	35′09″	バスケット
6	2F	関川　恭平	35′28″	バスケット
7	2G	永井　和樹	35′36″	バスケット
8	2A	藤ヶ崎和紀	36′10″	サッカー
9	1D	野中　瑞樹	36′29″	陸上競技
10	1H	小関　孝男	37′15″	陸上競技

〈女子の部〉

1	1G	斉藤　由衣	24′00″	陸上競技
2	2F	橋爪　侑香	24′32″	バスケット
3	2G	齊木　幸恵	25′04″	ハンドボール
4	2E	根本いづみ	25′17″	バレーボール
5	2H	篠田みなみ	25′26″	バスケット
6	1B	三角田祐香	25′32″	空手道
7	2C	藤江　朋未	25′51″	陸上競技
8	2G	関　　玲奈	26′07″	バスケット
9	1C	杉田　雅世	26′12″	サッカー
10	2H	山本さつき	26′24″	バスケット

サッカー部大活躍

春・秋連続関東大会出場！



5月　関東女子サッカー選手権大会千葉予選　準優勝
6月　関東女子サッカー選手権大会出場　1回戦敗退
11月　千葉県高等学校女子サッカー大会　準優勝
11月　関東高等学校女子サッカー大会　1回戦敗退
大田女子2－0成田北

黎明祭が盛大に行われる



平成十六年九月十一日（金）・十二日（土）に第二十四回黎明祭が「駆け抜けて青春～ハッスルハッスル♪」のテーマで開催されました。十二日（土）は一般公開で沢山の来場者が見えました。

各団体の成績は次の通りでした。



生徒会長賞：茶道部
校　長　賞：有志ダンス
　　体操ダンス同好会
優　良　賞：３年Ｃ組
優　秀　賞：２年Ｇ組
黎明大賞：２年Ｄ組



編集後記

先生方、役員他皆様方の御協力をいただき、「なりきた」第七十一号を発刊できました。広報委員会一同心よりお礼申し上げます。

なりきた

PTA広報誌第72号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



なりきた散歩道

一年生の諸君は入学してから早くも三か月半がたち、成北高にも慣れた頃にもう夏休みだ。三か月半もアッという間だが、高校三年間もそう長くはない。決して長くはない三年間に高校生は「三つの喜び」を経験することができるのである。再びソクラテスだが、「学問を知る喜び」「社会や人を知る喜び」「自分を知る喜び」である◆しかし、この「喜び」は実は「厳しい経験をする」ということなのだ。さまざまな経験を積むことで諸君が獲得しなければならない最も大切な生きる姿勢についてソクラテスは言っているのである。この三年間で諸君は生涯の友となる親友に巡り会い、恩師にも出会えるかもしれない。私も高校時代の二人の親友と三十八年間、離れてはいるがいまだにつきあっている◆ある人は「若者の成功の要件は、まず自分に合った目的を見つけて、そしてそれを大切にし、一歩一歩着実に登ることである」と言っている。自分が何をやりたいのかまだわからなくても、焦る必要はない◆若きが故に悩み多き諸兄姉。夢だけは持ち続けて欲しい。無限の可能性を信じて失敗を恐れず、夢が叶う日が来ることを信じて、自分を大切に、そして他を尊重し認め合うことが大切なのだと思う。

（広報委員　瀧嵜博）

小松校長先生・小倉会長　抱負を語る

世界市民を育てたい

―本校に校長として赴任されての感想・方針等についてお聞かせください。



驚きと感動です。十三年ぶりに懐かしい北高に戻ることができて最高です。昔の北高の雰囲気が残っているので、違和感も感じません。十二年間の「旅」で学んだことを最大限生かして十三年前の「続き」をやるような気持ちです。

先ず、北高生の可能性をとことん伸ばしたい。本校の生徒は可能性がいっぱいです。それを伸ばすのが私たち教職員の使命です。

次に、文武両道の活力溢れる学校にしたい。部活という、世界に例を見ない日本の学校文化を大切にし、豊かな人間性を備えた心優しい生徒を育成したい。

また、世界を視野に入れた勉強をとおして、世界市民を育てたい。同時にサッカーのワールドカップで世界中を驚かせた「礼節の国」にふさわしい生徒を育成したい。国際都市成田にある学校として、日々の教育が即世界に通じる教育となるようがんばっていきたい。

中学生が北高入学にこだわるような学校にしたい。そのために、北高をよく知ってもらうよう情報発信に力を入れたい。ホームページも充実させます。

進路についても、一人ひとりの個性、適正、希望を最大限生かせるようにしたい。ただ、楽をしてどこかに入りたいといった安易な態度は是認せず、「やればできる」という姿勢で、適正な負荷を負わせるような授業を目指したい。ぜひ応援して下さい。

―本校の生徒及びＰＴＡに期待することは？

北高生であることに誇りを持って欲しい。先輩方は、北高に強い誇りを持っていました。学校への帰属意識がとても強く、北高生というアイデンティティが強かった。その誇りを持って多くの先輩方は、社会で活躍しています。

高校時代は、大人になる大事な時期です。青春期特有の葛藤があります。そのような悩みときちんと向かい合うことが大切です。そうして一人前になっていくのです。

保護者の皆様には、お子さんが精神的離乳を果たすよう、適度な距離を置いて、その成長を見守って下さい。言うべき時には、妥協せず言って下さい。それが信頼関係を維持できる方法でしょう。

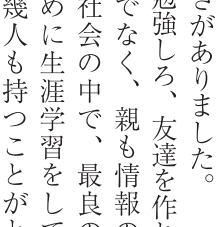
また、ＰＴＡ活動にはぜひご協力下さい。皆様のご支援で学校教育の効果は変わって参ります。

―英文による北高ニュースを発刊する趣旨は？

中学三年生を対象に、英語による学校ニュースを中学校に年八回ほど送りたい。中学生は以外に高校のことを知らないものです。高校説明会や体験入学の際、「学校案内」やその他の資料等である程度のことを知ることはできますが、日常的な風景は知りません。学校の普段の様子を継続的に知らせ、北高に対する認識を深めてもらいたいというのが目的です。

では、なぜ英文なのか。それは、英語は中学校でも高校でも学んでいる共通の外国語だからです。今後日本はますます国際化が求められます。英語を使ってきちんと自己をアピールできる日本人の育成は、まさに焦眉の急です。そのような時代の要請に正面から応えようとするのが、英文にする理由です。国際都市成田にある公立高校として、英語で発信する意義は大きいと思っています。また、中学生の英語学習を支援するという意味もあります。中学三年生を対象としたのが第二の理由です。

みなさんとともに楽しいＰＴＡ活動を



本年度ＰＴＡ会長にご指名いただきました小倉です。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、子どもが生まれる前に、親としてどのように考えたでしょう。母子ともに元気であればそれだけでよいと思ったはずです。

しかし、成長するに従いああしろ、こうしろ、あれはだめ、と言い続けて十数年経ってしまいました。自分が歩んできた社会の経験だけでしか子どもを育むことができないもどかしさがありました。

子どもに勉強しろ、友達を作れ、というだけでなく、親も情報の氾濫する現代社会の中で、最良の方向を探すために生涯学習をして、良い友人を幾人も持つことがとても大事なことと思います。

ＰＴＡ活動がその一助となり会員同士の交流を通じて互いに信頼関係を築き、楽しいＰＴＡ活動を推進できれば幸いです。

会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

十七年度ＰＴＡ総会

六月十日（金）、本校会議室において今年度第一回の理事会が開催され、一年生の新しい理事になられた方々、学校理事の先生も含め四十三名が出席しました。会議では、十六年度の事業と決算が報告され承認されました。十七年度の事業計画・予算案は慎重に審議され、いずれも承認されました。

午後からは授業参観に続き、二時から体育館で総会が開かれました。阿部会長と十三年ぶりに北高に戻って来られた小松校長先生のご挨拶の後、御厨議長の進行で議案の審議が行われました。



総会で挨拶する小倉新会長（左）と新役員

事業計画は前年とほぼ同様ですが、予算では記念事業として特別に企画はないので、在校生への活動を充実させるための予算を増額し、全体では前年比約三十七万円の減でした。新役員は小倉会長はじめ総勢七十三名の理事が選出され、十七年度の成田北高校ＰＴＡを運営していくことになりました。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

また、総会の最後にＰＴＡ活動に功績のあった阿部前会長はじめ五名の方々が表彰されました。おめでとうございました。

平成17年度新役員

会　長　小倉　國雄
副会長　清水　玲子（三学年委員長）
副会長　御厨　　誠（二学年委員長）
副会長　石井　時子（一学年委員長）
副会長　安藤　　瞬（校外指導委員長）
副会長　瀧嵜　　博（広報委員長）
副会長　河田　純子（国際交流委員長）
副会長　小松栄三郎（校長）



新会長から表彰される16年度役員のみなさん

17年度事業計画

月　日	曜	事　業	内　容	場　所
5．20	金	役員会	ＰＴＡ総会準備	市内
6．8	水	県高Ｐ連総会	総会、表彰式、講演	県教育会館
6．10	金	ＰＴＡ総会	平成16年度事業・決算報告 平成17年度事業・予算案 役員選出等	本校体育館
6．17	金	広報委員会	「なりきた」72号の編集	本校
6．24	金	校外指導委員会	自転車通学指導について	本校
7．1 ～5	金 火	校外指導委員会	第１回自転車通学指導	市内
7．1	金	広報委員会	「なりきた」72号の編集	本校
7．7 ～8	木 金	関東高Ｐ連大会	関東高Ｐ連大会全体会・分科会	栃木県　宇都宮市
7．21	水	国際交流委員会	オーストラリア研修生見送り	成田空港
8．6	日	国際交流委員会	オーストラリア研修生帰国出迎え	成田空港
8．27 ～28	土 日	全国高Ｐ連大会	全国高Ｐ連大会全体会・分科会	長野県　長野市
9．6	金	理事会	報告事項、文化祭参加について	本校
9．10	土	黎明祭参加	バザー	本校
9．28 ～30	水 金	校外指導委員会	第２回自転車通学指導	市内
10．27	木	地区研修会	印旛地区公立高等学校合同研修会	県立佐倉南高校
11．11	金	学年ＰＴＡ	学年計画、学級懇談会	本校
11．16	水	県高Ｐ連集会	県高等学校ＰＴＡ研究集会・分科会	県総合教育センター
11．28 ～30	月 水	校外指導委員会	第３回自転車通学指導	市内
1．27	金	広報委員会	「なりきた」73号の編集	本校
2．15 ～17	水 金	校外指導委員会	第４回自転車通学指導	市内
2．17	金	合同理事会	校外・広報・国際交流委員会	本校及び市内
備　考		研修視察（10月予定）		

高校生の健全育成に関する提言について

六月八日の県高Ｐ連総会で、県高Ｐ連と千葉県高等学校長協会の連名で、「高校生の健全育成の大きな輪を広げよう」との提言が採択されました。

皆様には既にお子さんを通じてお届けしています。少年犯罪が増えている中、家庭と学校が一層連携をとる必要性が指摘されています。今後、地区や学校のＰＴＡ活動で、息長く取り組んでいただきたいと思います。皆様のご協力をお願い申し上げます。

委員長からひとこと

校外指導委員会

委員長　安藤　瞬



今年度校外指導委員長をお受けすることになりました安藤です。皆様のご協力を得ながら、頑張っていきたいと思っております。

今年度も昨年同様、年四回の自転車登校指導とともに、下校時に二回、成田駅西口周辺の巡回指導を行う予定です。

朝の登校指導の時に「おはよう！」と声をかけると「おはようございます！」と、気持ちの良い挨拶を返してくれる生徒達。本当に北高の生徒達は良い子ばかりですね。そういう子供達を学校、家庭と協力して、守っていきたいと思います。よろしくお願い致します。

国際交流委員会

委員長　河田純子



昨年はワガワガ校への短期・長期留学と本校への留学生十二名を迎えて、国際交流満開の一年でした。我が家にも留学生が滞在しました。来日前から緊張していた娘は、三日目には留学生と部活動もともにしてすっかり打ち解けた様子。他の留学生も同様だったようです。若いということは速いということでしょか。ホストの家庭も学年を超えて交流しました。地球村の平和と友好が求められて久しい中、本校を中心とした北総地域にも日豪友好の花はいくつも咲いたようです。

今年はブリスベンで新たな親交の輪を作ることでしょう。ささやかかも知れない友情の積み重ねが大きな一歩に繋がればと願っております。本年度もよろしくお願いいたします。

☆PTA学年行事☆

PTA総会終了後は、各学年に分かれてそれぞれの企画が催されました。

一年生は主に高校生活についての説明と質疑応答、二年生は講演、三年生は体育館にて進学に関する説明会が行われました。

なお、十一月には学年PTAが予定されています。

広報委員会

委員長　瀧嵜　博

PTA活動を会員のみなさんにいかにわかり易くお知らせするか、広報の役割は大切です。八ページの年二回発行という限られた条件の中で、ただ一方的にお知らせするだけでなく、学校や生徒を取りまくさまざまなことがらを取り上げたり、会員のみなさんが知りたいこと、みなさんの「声」を紙面にできたらと思います。

第二学年行事

奨学金と教育ローンを上手に活用

―保護者のための進学資金講座―

PTA学年行事として第二学年では、「保護者のための進学資金講座」と題し講演会を行いました。講師として、ファイナンシャルプランナーの堀口雅子さんをお招きし、約一時間お話し頂きました。

まず、教育費の現状について説明があり、四年制大学進学後にかかる費用は、最も高い私立大学下宿学生で、約八八〇万円かかるというデータが紹介されました。

しかし、奨学金と教育ローンを上手く活用すれば、経済的な理由で進学をあきらめずに済むケースもあるということで、具体例が挙げられました。全国で平均して四人に一人の学生が利用している日本学生支援機構の奨学金や、国民生活金融公庫の「国の教育ローン」は、他の奨学金や教育ローンに比べて審査基準がゆるやかで、返済期間も長めに設定されているので、一度は検討して頂きたいとのことでした。

参加された皆様からは、「早めの準備が大事だとわかった」「低金利ローンの話が聞けて良かった」「進学する本人の強い意志を確認したいと思う」など様々なご感想が寄せられました。

学年主任より

一学年主任　池畑羊一

入学式といえば桜をイメージしますが、その時期には大抵桜の花は散ってしまっています。ところが、今年は入学式を待っていたかのように一斉に開花しました。そして、満開の桜の祝福を受け、三二六名が、新入生として入学しました。その顔は、誰もがみんな輝き、希望に満ちあふれ、新しい生活への意欲が漲っていました。

一学期を終えようとする今、一年生について振り返ってみると、出席率や部活動への加入率は高く中間考査の結果も全体としては問題はありませんでした。行事への参加や友達作りにも積極的で、多くの生徒が順調に高校生活をスタートさせることができたと思っています。しかし一方で、自転車事故が多発し「生命を大切に」と呼びかけなければなりませんでした。

また、面談でご指摘のとおり家庭学習の習慣が身についていない生徒や服装・頭髪について、指導の必要な生徒も出てきています。

今後、課題として取り組むべきことは沢山あります。保護者の皆さんのご協力をお願いします。

二学年主任　飯森秀樹

クラス替えをしてスタートした二年生の生活も、早三か月が過ぎました。だいぶクラスにも慣れてきたと思います。そこで以下の点を柱として指導していきたいと思います。

①学んでいく姿勢を持ち、勉強し、学力をつけること。

②社会生活の中で人に受け入れられるものの考え方と行動ができるようにすること。

③基本的な生活習慣として欠席・遅刻・早退をしないこと。

生徒には、進路決定まで対応できる生活態度と学力をぜひとも身につけてほしいと思います。なお、学年としまして補修・英単語テスト・常用漢字テストはすでに実施しております。

十月二十二日（土）～二十五（火）までの三泊四日で、沖縄方面への修学旅行が行われます。

三学年主任　片野利治

現在三年生は落ち着いた状態で学校生活を送っていると確信しています。

身なりや言動・授業に臨む姿勢にも大人に近づいたな、という印象を受けます。卒業まで、この真摯さを持ち続けてほしい、これが学年職員の願いです。

自己主張するだけではいけない、それはわがままにつながるものだから。人の話を聞く姿勢を持ちなさい。

法律や決まりは守るもの。「守る」義務を教えるのは大人の役目だと思います。

学校は、学校という集団の雰囲気の中で教育します。「守る」、「人を思いやる」、「勉強する」、生徒がそれを雰囲気の中で学べる学校にしたいと思っています。

自由と規律

生活指導部長　中津和夫

すべてのスポーツにはルールがあります。それがなければ試合が成り立ちません。ルールがあるからこそ練習を積み重ねた成果を自由自在に発揮できるのです。ルールを守らない場合はペナルティが与えられます。同じように、社会生活を営む上でのルールやマナーがあることやそれが必要であることは知っていますよね。しかし、自由の意味を「人に迷惑をかけなければ何をしてもいい」というように解釈したり、権利を強く主張するばかりでルールを軽視したりする人もいるようです。たとえば、「欠席しようが遅刻しようが自由ではないのか」「どんな服装や身なりをしようが自由ではないのか、なぜ、うるさく言われるのか」と主張したりする人もいるようです。しかし、学校は集団生活の場です。誰もが安心して生活ができ、不利益を被らないために「きまり」が定められているのです。それが規律です。規律とは花壇の役割のようなものといえるのではないでしょうか。花壇は一定の枠はありますが、個々の美を十分発揮させます。花壇で大きく成長しやがて咲き誇る花のように、高校生活の枠の中で自分の内面の個性を磨き上げ、もてる力を発揮して下さい。君が規律を守れば規律が君を守るのです。どうか生徒諸君には体調を崩すことなく、有意義に夏休みを過ごしてもらいたいものです。

毎年、夏休みは事件や事故が多く発生しています。ご家庭でも十分注意して下さい。



進路設計は人生設計

進路指導主事　川島洋子

高校での進路選択は、「人間としての生き方」の選択ですから、単なるあこがれや興味ではなく「磨かれた能力・適正・価値観」をもって自己実現（進路選択）を図るべきです。高校生活は、実にその「自分探しの三年間の旅」なのです。では、どういう日々を過ごしたらよいのでしょうか。

まず、小さなことでも今すぐ「目標」を掲げて、実現に向け努力することです。こうしないとやがて低い現実に妥協するしかなくなります。目標に向かって行動すれば、貧欲に自己を成長させることができます。希望どおりの進路を実現した卒業生は皆、目標に向かって一・二年から妥協せずに頑張ってきました。

次に本業の学習で毎時間の授業に集中し「なぜ」から「わかった」までの道を歩み続けることです。詰め込んだ知識の量が即学力や生きる力にはなりません。真剣に学問し自分の学力にして下さい。

この二つの過程でこそ、「自分を本当に生かす道」を探ることが可能になります。進路設計は人生設計です。自分の真価（能力・適正）を発揮できる道を発見しましょう。一番の相談相手は日々接している家族や担任の先生です。

なお、適正進路は一つとは限りません。適正は努力である程度まで自分のものになります。自分を常に変化し進化するものとして前向きに捉えることが肝要です。

学校生活の中で日々「人間として自分はどう生きるのか」を意識的に真剣に追求してほしいと思います。「自分探しの三年間」が自信に満ちた歩みであることを期待し、健闘を祈ります。

「平成十七年度学校外部評価」の実施について

昨年秋に実施いたしました「平成十六年度学校外部評価」の結果につきましては、既に「なりきた」七十一号（別刷）でご報告申し上げました。内部ではとかく見落としがちな事柄にも、客観性と実効性のある貴重なご意見を頂戴し、本年度の学校教育目標の設定に反映させていただきました。

さて、今年度は評価者の対象（昨年度はＰＴＡ理事）を広げ、六月十日のＰＴＡ総会並びにその関連行事に出席された方々にもご協力をお願いしたいと考えております。正式な評価の依頼は二学期になりますが、是非、学校改善に結びつく積極的なご意見をお寄せいただきたいと思います。

十七年度オーストラリア短期留学プログラム　キンバリー・カレッジ　七月二十一日～八月六日

本校の姉妹校であるオーストラリアのワガワガ高校との交換プログラムが開始されて今年で丁度十年目に当たります。一昨年新型肺炎騒ぎで中断した以外は毎年訪問し、ワガワガ高校からもほぼ隔年で本校を訪問しています。

この有意義なプログラムも、今年はワガワガ高校で陣頭指揮を取っていた校長のビル・ロジャーズ先生の病気入院や、二人の日本語の先生がともに出産、産休の予定があり、受け入れ体制が整わないとの連絡がありました。

このような状況で、今年のプログラムの実施は難しいと思っていたところ、ワガワガ高校でのプログラムとほぼ同じ内容で、ブリスベン近郊のキンバリー・カレッジで実施できることになりました。

そこで、今年は次のような期間・内容でオーストラリア訪問プログラムを実施することになります。訪問の様子や研修の成果は文化祭に合わせて図書館前に掲示発表しますので、楽しみにしていて下さい。



期　間　七月二十一日（木）～八月六日（土）

派遣先　キンバリー・カレッジ

内　容　午前　英語研修
午後　授業参加
※その他に、美術、乗馬体験、動物園・小学校訪問、スポーツ交流、フィールドワーク等

費　用　二十六万五千円

参加者　二年二名、一年四名

※キンバリー・カレッジは、ブリスベン市内より車で三十分のところにあり、学校の周囲は自然豊かな牧草地。男女共学で、八年生から十二年生までの約四五〇名が通っています。

生徒会より



生徒会の主な活動内容は、四月の新入生歓迎会から始まって、五月に生徒総会、球技大会、そして九月に文化祭があり、これらの企画と運営を行っています。他に各委員会や部活動、行事等の予算案を立てたり、年度末に予算折衝などの仕事もしています。さらに今年は、千葉県で行われる「きらめき総体」の印旛地区の代表校としても活動しており、記念品作りやエリアマップの作成なども行っています。

最近は、文化祭ときらめき総体の準備を並行して進めています。文化祭は行事の中でも一番大変であり、生徒会役員一同、毎日忙しく仕事をしています。北高の文化祭は、九月九日・十日に行われます。是非足を運んで下さい。

保健室だより

一学期の保健室の主な行事は定期健康診断です。六月には全ての健康診断が終了しました。保健委員の補助のおかげでスムーズに検診を進めることができました。保健委員の皆さん、ご苦労様でした。

健康診断の結果、身長・体重・座高・ＢＭＩについては表のとおりです。疾病・異常については、「虫歯」が全校の82％で最も高く、次いで「裸眼視力1.0以下の者」が66％の被患率でした。

他の活動として、各運動部の代表を対象に実施した救急法講習会では、真剣に消防署員の方の話を聞き、心肺蘇生法の実習に取り組んでいました。

保健室の来室状況は、体調不良の原因として、寝不足や朝食を食べていないなど自己管理に問題がある生徒が目立ちました。これからどんどん暑さが厳しくなってきます。しっかり自己管理を行い、暑い夏を乗り切りましょう。

［成田北高校の体格平均値］

学年・性別	身長(cm)	体重(kg)	座高(cm)	ＢＭＩ
1　男	168.7	58.5	90.2	20.5
1　女	157.7	53.3	85.4	21.4
2　男	170.2	60.2	90.5	20.7
2　女	157.6	52.6	85.4	21.1
3　男	171.4	63.0	91.6	21.4
3　女	158.6	54.9	85.1	21.8
全校平均	164.0	57.1	88.9	21.2

$$ＢＭＩ＝\frac{体重\ (kg)}{身長\ (m)\times身長\ (m)}$$

※ＢＭＩとは、身長と体重のバランスが健康かを知る手がかりの一つです。日本肥満学会では、22を標準とし、18.5以下はやせすぎ、25以上は肥満としています。



ミッキーが学校に笑いを（校外学習）

一年Ｂ組　三之宮　光太郎

校外学習というのは、社会を見学し、歴史や文化を勉強するための行事だとばかり思っていた。ところが、その日私がいたのは、勉強という言葉が世界一似合わないディズニーシーだった。

それならば思い切り楽しもうとミッキーの耳を買って頭につけた。似合っていたはずなのに、なぜか友達からは笑われた。そして、みんなと楽しく一日を過ごした。

思えば、この日があったから、心を開くことのできる友達ができた。次の日から、学校生活に笑いが絶えなくなった。ミッキーの姿は、そのきっかけになったと思う。

職員の異動

転入者・採用者

職名・教科	氏　名	前所属
校　長	小松栄三郎	流山中央
教　諭（社会）	高橋　清行	小見川
教　諭（社会）	河野　剛夫	再任用（佐倉）
教　諭（数学）	柳生　茂男	成田国際
教　諭（理科）	三浦　一朗	白井
副　主　査	本宮　麻子	成田西陵
非常勤（家庭）	中村　文香	
非常勤（国語）	纐纈　康世	

退職者・転出者

職名・教科	氏　名	前所属
校　長	大録　郷吉	小見川
教　諭（社会）	池田　薫	退職
教　諭（社会）	平山　久春	四街道
教　諭（数学）	高橋　義巳	佐倉
教　諭（理科）	水野　秋穂	退職(佐倉西再)
教　諭（体育）	菅井　健一	佐原
副　主　査	鈴木百合子	佐倉東

祝 全国大会出場

☆少林寺拳法部

顧問



今回初めて全国大会へ駒を進めることができました。出場する選手は、三年の篠塚勇次君、二年の津田諒大君ペアと、三年の城戸拓也君、二年の渡邉昌樹君ペアです。特に、篠塚・津田組は県大会優勝、関東大会六位の好成績でした。関東では、二位とは二点差という接戦の六位でしたので、今後の頑張り次第では全国大会入賞も可能だと思っています。城戸・渡邉組も他校の出場辞退を受けての出場権獲得でしたが、このチャンスを活かして一回りも二回りも成長してくれるものと思います。

関東大会・強豪相手に善戦

☆女子サッカー部

主将　柏崎まほ

進化

面白かった。悔し涙を流す部員を横目にそう思ってしまった。

二対七、結果は大敗。長年の目標である関東大会での一勝は達成できなかった。何よりも結果にこだわっていたので、負けたことに悔いは残る。

でも面白かった。それまで積み上げてきたもの、進化した自分達を見せることができた。関東の強豪チームに対して点を取れたことが、一番の成果だ。

こうして少しずつ進化して、きっと次の世代は勝ってくれると信じている。私達はまだ終われない。



『きらめき総体』への取り組み

二年B組　松本典子

成田北高は『きらめき総体』へ向けて、エリアマップ作成、看板作成、記念品作成に積極的に取り組んでいます。エリアマップはイラスト同好会、看板は美術部へ依頼しました。記念品の『ラッピー』は全校で取り組んでいます。

千葉県の高校としても五十年に一度っきりのイベントです。選手にとって、私達自身にとって高校生活での最高の思い出となるように、精一杯一人一役活動の一員として取り組んでいます。



2学期の行事予定

9月9日
　黎明祭（校内）
9月10日
　黎明祭（一般公開・バザー）
9月13、14日
　スポーツ大会
10月22～25日
　沖縄修学旅行（2年）
11月16日
　芸術鑑賞会

編集後記

今年初めて委員になられた方も、一回の発行につき二回の委員会で、とまどいながらも原稿依頼、編集・割付け、写真選定という「離れ業」をやってのけました。

役員、先生、生徒のみなさん、お忙しい中原稿を書いて下さった多くの方々、ありがとうございました。おかげさまで「なりきた」第七十二号をお届けすることができました。広報委員一同心より感謝申し上げます。



題字は書道の松永博一先生にご協力をいただきました。ありがとうございました。

なりきた

PTA広報誌第73号

発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411

翔　はばたき



なりきた散歩道

トリノオリンピックが終わった。感動的なシーンがいくつもあったが、圧巻はなんといってもフィギュアスケートペア、中国の張丹、張昊組の演技。今まで誰も成功したことがないスロー４回転サルコワに挑戦したときだった。放り投げられた女性の張丹は、３回転半で着氷して前に激しく倒れ、左ヒザを強く打ってしまった。張丹の顔は苦痛にゆがみ、会場は一瞬静まりかえった。誰の目にも終わったと映り、慰めの拍手が起こった◆しばらくすると、張丹はその拍手に反発するかのようにリンクに戻ろうとし、拍手は慰めから賞賛と励ましのそれへと変わった。二人は演技を途中から再開した。それだけでも驚きだが、結果は銀メダル。それからの演技はほぼ完璧だったのだ◆演技後張丹は「大舞台だから何としてもやり通したかった」という。なんという精神力・集中力。国の代表としての責任感、自分自身の名誉をかけるという思いもあったろう。スピードスケートショートトラックでは千分の１秒の世界で争っている。最後の最後まであきらめないその闘争心は驚嘆する◆長い人生の中で絶望の淵に立たされることがあるかもしれない。そのとき万にひとつでも可能性があったら、決してあきらめず自分を信じることだ。二十歳の張丹がそれを見事に証明してみせた。

（広報委員　瀧嵜　博）

卒業によせて

PTA会長　小倉國雄



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが3年間の高校生活を無事終了されましたこと心よりお祝い申し上げます。

皆さんが、卒業後に幸せな人生を送られることを願わずにはいられません。

さて、日本はめざましい発展を遂げ、先進国として世界でのいろいろな役割を期待されるようになりました。しかし、その反面様々な問題が浮かび上がってきました。多くの物が氾濫し、それを選択する難しさがあります。その中のひとつに情報がありますが、新聞・TV・インターネット・書籍等々あり、その情報量は厖大で全ての情報を一人で目を通すことは不可能です。

また、その情報の信頼性を自分自身で判断する能力も必要になっています。間違った情報や偏向した情報などを鵜呑みにせずに様々な角度から見据えることが出来る知識やスキルを養っておくことがとても大事な時代になっていると思います。

日本国や他国の政策や民間・企業の活動などもこだわって考えてみてください。疑問点があれば調査し、会社の先輩や同僚・友人・家族たちと話し合ってください。各機関や団体・個人を含めてなぜそうしなければならない理由が必ずあるはずです。

TVの報道は映像を使うため大変わかりやすく最初の情報としては良いのですが、その事柄に対しての深い意味を知る手段として充分ではありません。

ひとつのメディアからの情報だけで物事の判断をする危険性を感じてほしいのです。いたずらに付和雷同することなく、また、意に反して扇動されることのないよう情報・知識を積み重ねていっていただきたいと思います。

話は変わりますが、これから多くの方が自動車免許を取得されると思いますが、大切なことをひとつ記憶してください。交通事故で大事故をした時、その人生が本人のみならず家族を巻き込んでとても辛く、重いものになってしまいます。

若い方は大胆で颯爽としたところを彼女や友人に見せたい気持ちからスピードを出しすぎるきらいがあります。危険な運転を自ら慎み、友人には勇気を持って諫めてほしいと思います。

「青春」とてもすばらしく魅力的で私たちの世代から見ればとても羨ましく、懐かしい言葉です。今しか出来ないことがたくさんあります。欲張って様々な挑戦をしていただきたいと思います。経験されたことの一つひとつが将来の宝になることは間違いありません。皆さんの雄飛に期待しています。

最後に保護者の皆様、校長先生はじめ教職員の皆様、PTA活動に対し格別のご協力をいただき心より感謝申し上げます。

兄弟

知識社会に生きる

校長　小松栄三郎



昨年亡くなった世界的な経営学者であるP・F・ドラッカーは「二十一世紀は知識の時代である」と言った。著書『ネクスト・ソサエティ』（2002・ダイヤモンド社）の中で、そのような知識社会がすでに到来しているとも指摘している。「先進国社会でもっとも急速に増加している労働力は、サービス労働者ではなく、知識労働者である。すなわち、仕事に正規の高等教育を必要とする人たちである。」

この知識労働者は「専門家」と言ってもよい。これからの社会は、専門家の社会になる。専門的知識が物を言う時代になるというのである。

知識労働者は、会社に勤めても、上司、部下の関係すら持たなくなるだろうと予言している。なぜなら、その専門家なしには、会社が成り立たないからだ。会社と対等な関係を持つようになるというのである。

しかし、知識はすぐに陳腐化するから、絶えず研修によって新しい知識を持ち続けなければならない。そうしなければ、知識という資本を失ってしまう。

◎君たちは専門家である

ドラッカーの言っていることをおおざっぱに紹介したが、簡単に言えば、君たちは個性と知識の支配する社会に旅立とうとしているということである。それは、夢と可能性に満ちた社会である。

本校での三年間は、社会で生きるための基礎的な知識を得る期間であった。決して専門家の養成をしたわけではない。

しかし、卒業後の君たちは、より高度な専門的知識を身につけるため、進学したり、就職したりする。そして、やがて専門家になる。

専門家になった後も、努力を怠ってはいけない。君たちの知識は、常に新しくしなければならないからだ。

◎巨視的に時代を見よ

このように、今どのような時代に生きているかを巨視的に見ることが大切だ。時代を的確に見られる人は、それにきちんと対応できる。たとえ、失敗してもやり直すことができる。新たな専門家を目指せばよい。「知識社会では、学校に終わりはない。」（同書）いつでも、学校に戻ることができる。

卒業生諸君、卒業おめでとう！これからの人生に、本校での経験をぜひ活かしてください。

保護者の皆様、お子様の卒業、まことにおめでとうございます。また、これまでの本校教育への御支援・御協力に心から感謝申し上げます。

卒業してはいけないもの

第三学年主任　片野　利治

「きまり」という枠組みの中で自分を処していく、それが社会の基本だ。十代後半という年齢は、自由でありたい心と、社会の枠に参加したいと思う心とが入り乱れる頃であろう。家族には家族のきまりが、学校には学校のきまりが、社会には社会のきまりがあって、その枠組みの存在がわかってくると、自由の、本当の楽しみ方ができてくる。きまりとは愛なのかもしれない。その中で一年二年は夢のうち。そして三年が過ぎ、心も変わり素直で前向きで、みんないい顔になった。

三年A組担任　松　沢　史　郎

最近物忘れをするようになった。今朝調べた漢字が夕方に書けない。二十年前の光景を思い出すが、今日のことは忘れてしまう。もう何回の卒業式を迎えたかも忘れた。

ただ、忘れないこと。卒業式を終わって何事かを成し遂げたような、少し心配そうな、ほっとした顔。皆、良い顔をしているので、特に印象深い。この顔が見たいがために、三年間世話をして、努力してきたのかも知れない。

この原稿が世の中に出るころ、そんな顔の卒業生が僕の周りにいることだろう。そしてその顔は長いこと忘れないのだろう。

そうだ、物忘れも悪くない。苦しかったこと辛かったことは、すっかり忘れ、良かったことを覚えておけばいいんだ。

三年B組担任　篠　原　　隆

私は今までの人生でたくさんの後悔をしてきた。その中身を思い出すと、何かをして失敗したことより、何もしなかったことのほうが圧倒的に多い。「あの時、こうしていれば・・・」。確かに何もしなければ失敗することはない。しかし、得るものもない。何かにチャレンジすれば成功することもあるし、失敗してもその原因を知ることができる。同じ境遇の人の気持ちもわかるようになるし、打たれ強くもなる。「みなさん、失敗を恐れず様々なことにどんどんチャレンジしていこう！」そして大きく成長して下さい。

しあわせ平等論

三年C組担任　高　柳　良　訓

恋愛運がなかった人も大丈夫。進路でつまづいた人も大丈夫。高校生活がイマイチだった人も大丈夫。人生に与えられた「しあわせ」の量は皆平等。帳尻はいつか合います。心配なし。

三年D組担任　川　村　美佐子

毎日の小さな努力の積み重ねやいろいろな人達との出逢い、そして数多くの経験が人生を豊かにしてくれます。

苦しい辛い経験こそがより強く成長させてくれることでしょう。

自分の可能性を信じ、常に挑戦する気持ちを忘れずに、夢を追い続けて下さい。

卒業おめでとう。

そしてありがとう。

三年E組担任　佐久間　元　恵

慣れ親しんだ学び舎から巣立つこの季節に、何を思い、考えているのでしょうか。今までの人生よりもこれからの人生の方がずっと長く歩いていかなければなりません。思いやりの心、謙虚な気持ち、そして感謝を忘れず、一歩一歩着実に進んで行ってほしいと思います。

『百里の道も一歩から』

卒業おめでとう。

三年F組担任　酒　井　滝　雄

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

と素直に言えればいいのですが、今の私は、どうしてもそんな気になれません。それはみなさんの中のかなり多くの人が、自分を甘やかしているように見えるからです。

私のクラスで十二月末までに進路が決まった人は四十人中三十六人です。これは一見するといいことのようですが、本当にそうでしょうか。受験から逃げて推薦に走っているのではないでしょうか。

この先沢山の試練がありますが、決して逃げずに戦って下さい。

三年G組担任　笹　崎　寿宣子

「寒いね」と話しかければ、
「寒いね」と答える人のいる
あたたかさ

この歌のようにふんわりと柔らかな雰囲気で満ちた、北高での三年間はどんな日々でしたか？

喜怒哀楽を共有した友は一生の財産であり、自分探しの様々な経験は、将来必ず「糧」となるでしょう。時間も記憶も容赦なく過ぎ去り、風化するけれども、共に過ごした素朴なぬくもりを忘れずに、自らの若芽をしっかり育て、明日の大地に花を開いて下さい。

おめでとう。よい人生を。

三年H組担任　薄　井　喜　次

卒業おめでとうございます。

これからの人生を創造するのはあなたです。素晴らしい人生を！

本年度の進路状況分析

進路指導部長　川島　洋子

コミュニケーション能力

三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。

二月十日現在一般受験の結果が出ていませんが、推薦・AO・専門・就職はほぼ終了しましたので、現時点の進路状況を表にまとめました。

今年の実感は、進路の全ての分野共通の最重要ポイントは「コミュニケーション能力」であるという事です。TPOを考えた言葉遣いと態度と行動・会話や小論文の内容、基本的生活習慣、これらは皆、「自分と社会」「自分と他人とのかかわり」をより良いものにしようとする「コミュニケーション能力」に発しており、その裏づけがある生徒は競争に強い。あきらめないで努力する力と周りとの協調性が自然に身についているからです。一・二年生も自分を磨いてそういう力をつけて下さい。

多様化した受験方法

受験生の多くが推薦を希望し、早く決めたいという傾向がありました。昨年度にも増して受験方法が多様化し、AO（アドミッションオフィス）入試と自己推薦入試を行う大学が大幅に増加し、夏休み中や九月当初の出願で27の合格者（昨年14）が出ました（表参照）。自分の「売り」があれば推薦入試よりも合格しやすい大学もあるので是非狙ってください。

従来の指定校推薦・一般公募制推薦・国公立のセンター試験と前期中期後期試験・私大のセンター利用試験、私大一般入試の前期・後期・A日程・B日程・C日程・I期・II期等と入試形態が様々に細分化され、同じ学校の同学部同学科に複数回のチャンスがあります。志願先を決めるだけでなく、多様な入試方式をうまく利用する対策を練るべきです。ただし、「数打てば当たる」のではありません。科目数や配点のウエイトが微妙に違うので、どのパターンにも対応できる「実力」をつけている人にだけ有効なチャンスであると言えます。今後AOや自己推薦が狙い目と言っても、今年合格した人は、一般入試でも合格する実力がありました。入学者の早期確保を目指す大学側の意向もあって、指定校の増加や公募推薦基準が緩和される傾向にありますが、実際には、指定や公募で推薦を取ってまで行きたい学校は限られ、基準より相当上の評定でないと「行きたい大学」への合格は難しいのです。

どういう形態で受験するにしろ、一般受験に対応できる実力を最低でも三教科以上の科目でつけておくべきです。国公立を志望する人は七・八科目で、千葉大学や茨城大学に今年合格した人達は、それを実践したからです。

短大は小幼課程は例年通り激戦でした。保育については、定員増でやや入りやすくなりました。公立の短大が推薦で出なかったのが残念です。一方、一般教養系は、全国的に希望者が減少しつつあり、短大にも合格できる傾向にあります。が、いずれの短大も三学期になると残った定員枠を四大の併願者と争うことになりますから、二学期に合格できるように受験することが有利です。推薦を受けられるように自分の条件を整えておくことをお勧めします。

目的を絞った学習が必要

専門学校については、本校進路指導部で相談を受けた内容も、卒業後の就職先や就職実績についての質問が最多でした。就職が最も確実な看護・医療（リハビリ・検査）は、大学進学と同等以上の学力を要求されます。目的を絞った丁寧な早期からの学習が必要です。どの専門学校に進学するにしろ、三～五校は見学し、設備・雰囲気・学生の実態・就職状況など自分の目で比較検討することが大切です。

平成17年度進路状況

（1月末現在数、3学年在籍者数322名）

1．進学

	指定校推薦	公募推薦	自己推薦	AO入試	一般受験	2学期計
大　学	23(23)	15（23）	4（7）	23(38)	ー	65(91)
短　大	12(12)	16（16）	1（2）	10(11)	ー	39(41)
専門等	10(10)	63（66）	4（4）	ー	15(16)	92(96)
合　計	45(45)	94(105)	9(13)	33(49)	15(16)	196(228)

※数字は合格数、（　）内は延べ受験数。
※2月9日現在一般受験調査書発行者75名

◎主な合格先
・大学
千葉大　茨城大
國學院大　法政大　駒澤大　東洋大　国士舘大　淑徳大　多摩大
千葉商大　中央学院大　帝京大　帝京平成大　東京家政大　二松学舎大
文化女子大　明海大　流通経済大　和洋女子大　千葉科学大　千葉工業大
東京電機大　日本大　他
・短大
青山女子短大　大妻女子短大　共立女子短大　淑徳短大　白梅学園短大
東京家政学院短大　東京成徳短大　日体大女子短大　文化女子大短大
植草学園短大　昭和学院短大　千葉敬愛短大　千葉経済短大
千葉明徳短大　日大短大　他
・専門学校等
看護医療系をはじめ約40校

2．就職

学校斡旋	縁故・自己開拓	自衛・家業	公務員等	合　計
28	5	ー	5	38

一定の条件を満たせば大学へ編入できる専門学校も、各分野で増えています。

大学・短大・専門学校は「進学」とひとくくりに言いますが、入学後の学校生活の中身は全く違います。当然その先の生活の仕方も違います。「どういう人生を送りたいのか」という観点から進路を考えることがより大切なことです。

早めの準備と日々の努力

就職は公務員等は5名合格し、近来最多の快挙でした。本校生徒の希望が多い女子事務職は、求人が減っていますが、今年の女子は健闘して事務職7を始め希望の職種に多数の内定をいただきました。今後事務職を志す人は公務員試験に合格するほどの学力をつけるべきです。

高卒求人が回復しつつあるとはいえ、銀行・デパートの求人は数年前からゼロ、販売は大手スーパーから来れば良い方です。そういう現実を自覚し、どの職種を目指す人も一・二年生から日々一般教養を身につけ、どのような就職試験にも対応できるようにしておいてください。空港関係の求人は新規参入の会社も出て、男女とも求人増でした。男子は、ケータリングや物流や製造業では多数の求人が来て売り手市場の感がありますが、事務系の求人がありません。男子で事務系を希望する人は、公務員を志すことを勧めます。

選ばれる時代

就職は全体に選ぶ時代でなく選ばれる時代で、職種も選べない傾向にあるのが現状です。こういう社会情勢の中で、本当に自分の希望する仕事につきたいならば、早めに準備することと日々の努力を怠らないことが唯一の道です。具体的には部活や勉学に励み、自分の「売りの長所や資格や項目」を多く持ち、欠席（十以上有ると難しい）・遅刻・早退を少なく、校則を守り、生活や掃除等がきちんとできる生徒は良い結果が出ます。企業が求める人材は、ルールを守り自分で考え行動でき、責任感がある人です。付け焼刃は面接ですぐにばれます。企業は雇った時点から社員の日々の生活を保障し、定年までに数億円のお金をかけるのですから、選考は社命をかけているのです。アルバイトとは違って甘くはありません。人格的にも高いものを要求されます。しっかり自分の人間性を鍛えて高めてください。

以上、どの分野に進むにしろ、日々の着実な過ごし方がものを言うと肝に銘じてください。進路への取り組みは、三年生になってからではもう遅すぎるのです。なぜなら、進路は、自分の生きて来た道の延長線上にしかありえないからです。そして、今までやってきた全ての行為の集大成に他ならないのですから。

読書で磨かれる人生観

生活指導部長　中津　和夫

私はどうも飽きっぽい人間だと思う。一つのことに熱中はするが、長続きはしない。本もどちらかというと読む方だと思うけれど、一貫性がないので何一つものにならない。私は子供の頃から収集癖があり、何かに興味を持つとそれに関係する本を全部集めないと落ち着かない。だから自分の小さな本棚を眺めると若い頃の興味の移り変わりと本代に苦しんだ思い出がよみがえって面白い。最近はもっぱら剣道関係の人物史、宗教の本を読む機会が多い。

自分が言葉、読み書きができるようになったのはまだ、そんな昔ではない。現在自分の考えがあるのは、幼少の頃、母が数冊の本を与えてくれたことに始まる。その本は絵本であったが、人として世の中をどうして生きていくかを考えさせる本だった。絵本のストーリーで、自分が善玉、悪玉になったり、空想しながら自己の反省をする。そして、小・中・高・大を通して数種類の書物を雑読してきた。そこで思うに、本を読むことでその瞬間、その人の考え、生き方を変えさせることがある。伝記・歴史・小説等を読みその人物、主人公になりきる。そしていろいろ読むとともに実践する中からその人の人生観が生まれてくる。

現在の自分があるのも母に与えられた数冊の絵本とその後の読書のおかげだと今は思っている。生徒諸君の今後の人生にこの文が何らかプラスになっていただければ幸いです。

校外指導委員会より

ひとたび外に出れば、道路には車や自転車が走り、人が歩いています。車は一台二台ではなく、スピードもかなり速いでしょう。しかし、目の前で交通事故が起こることは滅多にありません。それは当たり前のことですが、皆が交通ルールに従っているからです。交通の発達した現代社会は、交通ルールなくしては成り立ちません。交通ルールを守ることは、集団の規律を乱さないことと同時に、自分の身を守る最大の手段なのです。残念ながら、本年度も数件の事故が発生しました。交通安全は交通ルールを守ることによって実現されます。自分だけが守ればよいというものではなく、周囲の人たちにも呼びかけて、交通安全の輪を広げていくべきでしょう。君が法を守れば、法が君を守る。

印旛地区研修会

十月二十七日、ウィシュトンホテルユーカリにおいて平成十七年度ＰＴＡ印旛地区研修会が行われ、印旛地区十三校から一一一名と多数の参加がありました。本校からは小松校長、生徒指導の中津先生、総務部長渡邉先生、小倉ＰＴＡ会長、御厨副会長、私の六名が参加いたしました。

研修会は主催校の佐倉南高保護者会長、同校長の挨拶で始まり、成田西陵高校の生徒指導主事服部先生より、十七年度上半期「印旛地区における生徒指導の現状」の報告・発表がありました。

喫煙、バイク、頭髪・服装の乱れ、その他で特別指導を受けた生徒は、九月までの段階で十六年度は二六九名、ここ数年減少傾向にありましたが十七年度は一転、三五〇名と増加しました。女子生徒が喫煙等で特別指導を受けるケースが増えたことによるものです。

またＪＲ成田線の乗車マナーの悪化も話題となりました。一般の乗客から安心して乗車ができないとの苦情が多数寄せられ、この対策として教職員が乗車して指導することで改善されつつあります。

成田ニュータウン地域はジュニア・セーフティ・リーダー活動を通して生徒、保護者、地域が一体となり街頭監視活動を続けています。我々保護者も日々子どもたちの行動に関心を持ち、学校にばかり頼ることなく多くの情報を共有し、対応していかなければならないと感じました。

つづいて、「大災害時の学校避難所生活における精神状況について」の演題で、千葉県精神医療センター長浅田誠先生の講演がありました。

災害の特徴は、必ず起こることがわかっていても、いつどこで発生するか予測がつかないことです。平時のルールでは対応できないことが多くなります。正しい情報を共有することができるか否かで被災者のケアが変わってきます。また、情報に左右され神経質にならないように気をつけたいものです。人間は体験を重ねて学習していくもので、過去に起きた災害から多くのことを学ぶことも大切だと教えていただきました。

最後に情報交換会が行われました。学校紹介では、小松校長がハーモニカを演奏し、他校ＰＴＡとの懇親をいっそう深めることができました。充実した一日を過ごしたことを報告いたします。

黎明祭に参加

生徒達の熱気溢れる黎明祭に、ＰＴＡも例年通りバザーを開催しました。晴天の九月十日、早朝からの作業にもかかわらず、多数の理事の皆様に参加いただきました。

テントの下には多くの寄贈品、大切に育てたお米や野菜、花が所狭しと並び、販売も順調で一時には完売しました。売り上げも予想以上で、生徒会へ協力することができました。

午後行われた「ミニ集会」は、学校・地域・保護者の意見交換や他方面からの情報を得ることができる場であると思いました。

このような形で黎明祭に参加し、我が子の家庭では見ることのない表情に出会うことができました。力を合わせて一つのことを成し遂げた達成感溢れる生徒達の笑顔！一人でも多



国際交流委員会

委員長　河田　純子

平成十六年度まで本校と留学生を交換してきたワガワガ高校は、今年度は先方の都合で交流を持つことができませんでした。しかし、ブリスベン近郊にあるキンバリーカレッジ校と交流できることになり、一・二年生六名が七月二十一日に出発しました。

くの保護者の方に足を運んでいただき、生徒達の日頃の努力と成果に拍手を送っていただけたらと思っています。

最後にバザー開催に当たり寄贈品等ご協力下さいましたＯＢの方、理事の皆様、サポートして下さいましたＰＴＡ会長、先生方、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

ワガワガ高校と同じく、学校でも家庭でも大自然を満喫することができたようです。また、楽しい時間を沢山持って充実した留学期間を過ごし、涙を交えてお別れしたということです。

残念だったのは、留学生の本校受け入れがなかったことです。しかし、来年度は再びワガワガ高校との交流が再開されるとのこと、いっそう深い友情に満ちた交流ができることでしょう。私は昨年度の留学生の受け入れを機に役員を務めさせていただきましたが、微力ながらも活動の一つの担い手となることができたのであれば幸いです。原野先生はじめ、校長先生、諸先生方のご尽力とご理解に心から感謝申し上げます。また、成田北高校の更なるご繁栄と国際交流活動のご発展を心からお祈り申し上げます。

平成17年度　学校外部評価集計結果

総務部

No.	項　　目	評価17	評価16	Eの割合
1	学校の教育方針・教育目標はわかりやすく示されている	72.1	70.0	4.3%
2	学校での生活は、子どもの将来にとって有益である	81.4	83.0	2.6%
3	子供は明るい学校生活を送っている	82.3	87.0	3.4%
4	学校は保護者の意見を積極的に聞こうとしている	69.9	71.0	15.5%
5	教科指導では、基礎や基本の徹底がはかられている	59.0	57.0	24.1%
6	教科指導では、より高いレベルを目指す子供への対策も取られている	55.1	57.0	37.1%
7	教科指導では、学習の遅れがちな子供への対策も取られている	42.4	48.0	38.8%
8	子供は学習の方法や内容を確実に身につけている	42.7	49.0	6.9%
9	学校の生徒指導の方針は明確に示されている	63.9	70.0	7.8%
10	学校の生徒指導の方針に共感できる	68.4	68.0	15.5%
11	学校は人間として基本的な倫理観や、規範意識を身につけさせようと努めている	63.9	65.0	17.2%
12	学校は保護者との連携を日頃から密にして生活指導にあたっている	54.3	57.0	20.7%
13	学校では子供の様々な悩みに答えられるよう指導体制が取られている	60.5	56.0	45.7%
14	部活動では子供の心身の発達をふまえ、意欲を引き出す指導が取られている	62.6	69.0	19.0%
15	子供は学校行事や生徒会の活動に対し意欲的に参加している	71.7	77.0	2.6%
16	学校は子供の進路についての相談機能を適切に果たしている	63.4	67.0	15.5%
17	学校は子供が必要としている進路情報を適切に提供している	64.1	65.0	19.8%
18	学校は子供の適性や希望を生かした進路指導を行っている	61.6	63.0	25.0%
19	学校は保護者との連携を密にしながら進路指導を進めている	51.1	54.0	22.4%
20	進路講演会や研修会などで、子供に将来を広く考えさせる指導をしている	66.3	65.0	36.2%
21	学校は進路実現に向けて、実力養成の機会（講習・模試など）を提供している	67.5	71.0	17.2%
22	学校は子供の安全や健康管理について、積極的に取り組んでいる	69.7	71.0	19.0%
23	学校は学習環境の整備に努め、安全で清潔な環境の保持に努めている	67.1	69.0	11.2%
24	保護者向けの行事は、趣旨の説明や実施の時期・時間などについて配慮がされている	67.6	73.0	10.3%
25	保護者に対する文書は、わかりやすいように工夫されている	74.8	82.0	4.3%
		64.1	66.6	17.7%

※評価の尺度：A…十分に（100点）、B…おおむね（75点）、C…やや不十分（25点）
D…まったく（0点）、E…よくわからない

保護者の声は天の声

校長　小松　栄三郎

第2回の学校外部評価に御協力いただき感謝申し上げます。昨年度はＰＴＡの理事の皆様にお願いいたしましたが、今年度は、総会や授業参観等においでいただいた方々にも御協力をいただきました。

◎多い肯定的評価

その結果を見ますと、「学校での生活は、子供の将来にとって有益である」「子供は明るい学校生活を送っている」が8割を超え、「子供は学校行事や生徒会の活動に対し意欲的に参加している」も7割を超えており、保護者の皆様が成田北高の教育を肯定的に評価してくださっていることを嬉しく思います。特にこの3つの項目について「よくわからない」と答えた方が、ごく僅かであることから、多くの皆様が確信を持って肯定的な評価を下してくださったと思います。今後とも、生徒にとって魅力溢れる学校であり続けるよう頑張っていきます。

◎教科指導の説明努力が必要

一方、「教科指導では、基礎や基本の徹底がはかられている」は6割にとどまっています。「教科指導では、学習の遅れがちな子供への対策も取られている」は更に低く、42.4です。

実際には、先生方は多様な方法で教科指導に取り組んでいますし、学期末等で成績不振生徒の保護者に学校においでいただき、学習状況の説明をしております。

「学校の教育方針・教育目標はわかりやすく示されている」と評価してくださった方が、7割を超えていることを考え併せると、現在進行中の学習状況の伝え方に工夫をしなければならないということでしょう。「よくわからない」と答えた方が2割強、あるいは4割弱いらっしゃることが、そのことを暗示しているように思います。今後教科指導に関する情報を保護者の皆様に積極的に提供したいと思っております。

◎高い教科レベルを目指す

「教科指導では、より高いレベルを目指す子供への対策も取られている」はほぼ半分の評価しかいただいていないことを真摯に受け止めたいと思います。「よくわからない」人が4割近いとはいえ、本校の現状を的確に指摘していると思いますし、同時に大きな期待を寄せていてくださっていると思います。その御期待に添えるよう、教職員一同頑張りたいと思います。

今後も皆様の声を天の声と思い、御意見をお待ちしております。

空・海・生徒たち

2学年　石倉　裕之

Tシャツ一枚で過ごせるはずの十月の沖縄は、意外なほど低温であった。二日目が素晴らしい晴天に恵まれたとはいえ青い空とエメラルド色の海を堪能できたのはその一日だけであった。

天候にはいまひとつ恵まれなかった四日間を中身の濃い、実りあるものにしたのは、何よりも生徒たちの行動力であった。遅刻をして集団行動を乱す者はいないだろうか、ホテルで他のお客さんに迷惑をかけないだろうか。平和学習や壕体験に真剣に臨めるだろうかといった我々の心配は全て杞憂に終わった。我々が思った以上に生徒は真剣に学び、自立的に行動し、その上で沖縄を心から満喫していたように思う。



こうして原稿を書いていると、飛行機が羽田を離陸した瞬間の生徒たちの歓声が、昨日のことのようによみがえる。「異国」沖縄で仲間たちと過ごした四日間を、生徒たちはいつ、どのように思い出すのだろうか。今回、堪能できなかった青空や海は、いつの日か、各自で沖縄に行って経験してもらいたいものである。

関東地区高P連大会

地頭　浩美

七月六日・七日の二日間、栃木県宇都宮市において第五十一回関東地区高等学校ＰＴＡ連合会栃木大会が開催されました。本校からは渡邉先生、寺内先生、御厨副会長、茂呂理事と私の五名が参加いたしました。一日目の全体会は、相田みつを美術館長の相田一人氏の記念講演がありました。「いのちいっぱい　じぶんの花を」という演題で、ビデオなどで時折ユーモアも交え、みつを氏の生前のお話や作品に込められた思いについて語って下さいました。二日目は五つの分科会が行われました。

帰路の途中、富弘美術館を見学しました。足の自由を失いながらも口に筆をくわえて書かれた文章や絵は、どれも素敵な作品でした。

PTA研修旅行

清水　玲子

十月十七日、雨の研修旅行でしたが、バスは満席。車内は各学年からの参加者が入り交じり初顔合わせの社交場。

最初は、味の素川崎工場の見学。ショーケースに並んだ製品を見てビックリ。馴染みの物がたくさんありました。うまみがいかに大切かを教えていただき、長い間敬遠していた、あの懐かしい味の素を料理に使おうと思いました。

次は横浜中華街でコース料理。えびのクリーム煮がおいしくて、このうまみも味の素？と思ったりして・・・。食後はゆっくり街を散策。数人で各々の趣味に付き合って、あちこちの店を覗きました。食べるだけでは味わえない中国を少し感じることができました。

帰りの車内は、校長先生のハーモニカ演奏会。公民館等で教えていらっしゃるそうで、心地よい響きがいつまでも耳に残りました。

今回、研修を立案する立場になり、横浜方面にと申し上げただけでこんな素敵なコースを考えて下さった先生、この様な研修をＰＴＡ行事として大切にして下さる学校に心より感謝しております。



それから、日本最古の学校といわれている史跡足利学校に行きました。東の小京都と呼ばれている足利は何とも風情がありましたが歴史を感じることができました。

＊＊＊

なりきた

PTA広報誌第74号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



なりきた散歩道

北高の校門から入り正面の駐車場に車を止める。と、目の前の駐輪場の横を携帯電話の画面を見ながら女子生徒が歩いている。誰かにメールでもしているのだろう。周りのことも目に入らないらしい。だが、駐輪場の壁にぶつからないのだから見えてはいるのだろう。ある日の昼休みのことだ◆こんなにも没頭し夢中にさせる携帯電話。これほど便利で不思議なツールは他にない。キーを押せばありとあらゆるものが画面に出てくる。辞書、年表、地図、時刻表、音楽。テレビも映る。買い物、ゲームも。世界中の情報が瞬時に得られる。携帯電話は通話よりもメールが圧倒的に多く、インターネット利用も１割を越えている。掲示板へのアクセス、書き込みは面白い◆便利だがネットは危険がいっぱい。地獄への入り口かもしれない。チェーンメールは昔流行った不幸の手紙のネット版迷惑メール。スパムメールの多くは悪意の塊である。出会い系サイトは仮面同士。カモがネギをしょって歩いてくるようなものだからたまらない。犯罪の影が常につきまとい、見えない恐怖が突然牙を剥いて襲いかかるスピルバーグの世界だ◆携帯もＰＣも生活の道具だから使い方次第では多くの知識を得て心も豊かになれる。それにしても件の女子生徒は誰にメールしていたのだろうか。

（広報委員長　瀧嵜　博）

新PTA会長　御厨さん×小松校長先生　対談


小松校長


御厨会長


佐藤さん


岩井さん


佐藤先生

日時　平成18年6月26日
場所　校長室
聞き手　佐藤敏之先生（広報担当）
　　佐藤真由美さん（広報委員）
　　岩井清美さん（広報委員）

自主性を大事に

佐藤（敏）　まず総会で話された御厨会長の挨拶の中からもう一度強調しておきたいことがあればお伺いしたいのですが。

御厨　PTAの役割ですが、保護者の方から学校へ要望すること、言いたいこともあるでしょうが、学年が上がるにつれて自立心が育ってきます。もっと自主性を大事にし、何をすべきかを考えて行動できる子どもを育てることに、親も学校も注力すべきだと思います。

小松　いろいろなタイプの生徒がいますから、画一的な指導ではうまくいきません。奈良の放火殺人事件でもあったように、親が一生懸命だから子どもにそれが伝わるとは限りません。

御厨　同じように子どもを育てても、子どもによって受け止め方がぜんぜん違うし、同じように育たないですね。そういう難しさは確かに感じます。

佐藤　先日の総会の一学年企画で、「親業」の話を伺ったのですが、親としての子どもとの向き合い方についてどう思われますか。

小松　親であっても、子どもに言ってはいけない言葉があります。その言葉によって子どもががんばる原動力にもなるし、逆にその言葉によって子どもの心を「殺して」しまうことにもなりかねません。

御厨　心ならずも言ってはいけない言葉を使ってしまっているかもしれませんね。

生徒も先生を評価



岩井　昨年あった学校外部評価というのは今年もあるのですか。

小松　はい、今年はさらに一歩進んで、秋ぐらいに生徒からの授業評価というのも行う予定です。

御厨　子どもが先生を評価するということには違和感がありますが。

小松　今は「説明責任」ということが求められています。外から見て分かるようにしなさいということなのです。ただ、人気投票になってはいけない。「あの先生は厳しいから嫌い。だから評価はバツをつける」というようなことでは正しい評価になりません。生徒の授業に対する要望を吸い上げるのが目的です。普段なかなか言えないような本音を言ってもらい、教師もできるだけその要望に応えていくというものです。

学校の情報はホームページでも



岩井　親としてみると、学校で行われていることがなかなか見えないということがあります。学校からの連絡が届かないとか。

小松　何らかの形で家庭に伝える方法はあった方がいいですね。学校から出す文書をホームページで確認することができれば、知りたい人はホームページにアクセスして、簡単に情報を手に入れられるようになります。

御厨　ホームページだけで情報を得てしまうというのも、味気ないというか、関わり合いという部分が抜けてしまう気もします。

小松　もちろん、学校から生徒を通じて家庭に、というのが基本ですから、そこはなくしてはなりません。ホームページにはタイトル、または概要だけを載せ、それを見た保護者が、「学校からの文書はないか」と子どもと話すきっかけをつくることができます。

休日でも学校利用を



佐藤　三年生の保護者ですが、先日の三者面談で夏期講習の話をした際「学校には先生方が必ずいるのだから、学校で勉強することを考えればいいんじゃないですか」と言われました。先生方の夏休みの様子も分からないのですが。

小松　先生方は夏休みも同じように勤務されています。部活や出張のために、必ずしも学校内にいるわけではないですが、他にも先生方はいますので、是非学校の先生方を活用して下さい。

御厨　今年は、少林寺拳法部と女子サッカー部が全国大会に出るようですね。費用の点でも全国となるとかなりかかると思いますが。

小松　生徒会から出る費用ではとても全部をまかなえません。並大抵のことではできないことですから、保護者の皆様のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

＊　＊　＊　＊　＊

私たちは校長室に入ることはまずないことなので、当日は緊張しながら伺ったところ校長先生は笑顔で迎えてくださり、スムーズにそして和やかに対談を進めることができました。

（佐藤・岩井）

来年夏、教室に冷房

18年度　PTA総会

六月十日（土）午後二時より、本校体育館において、平成十八年度PTA総会が開かれました。

小倉國雄会長挨拶の後、校長より挨拶がありました。主な内容は次のとおりです。

①新年度スタート時よりの学校の取り組みについて
②体育館の補強工事について
③印旛地区等の中学校に配布している「成田北高ニュース」の紹介
④地域に開かれた学校作りのための学校評価について
⑤進路実現
⑥部活動の推進
⑦国際交流の報告

議事では、十七年度事業報告・決算、十八年度事業計画・予算、また、十九年度普通教室等への冷房設備設置等、予定されていた議案はすべて承認されました。また、新旧の本部役員挨拶に続き、旧役員への感謝状が贈呈され、会を閉じました。



本部役員

会　長	御厨　　誠	
副会長	地頭　浩美	（３学年委員長）
副会長	吉村　貞男	（２学年委員長）
副会長	青野　　穣	（１学年委員長）
副会長	石井　時子	（校外指導委員長）
副会長	瀧嵜　　博	（広報委員長）
副会長	茂呂実千代	（国際交流委員長）
会　計	渡邊　真弓	
監　事	佐藤　雅美	
監　事	原　　浩美	

17年度の進路報告

祝合格

千葉大２名
茨城大２名
公務員５名！

今春の卒業生は、大幅改訂のあった新教育課程の初年度生であり、理科型、文科型に２年次から分かれるクラス編成を展開した最初の生徒でした。

３年間の退学・転学者は合計５名。毎日の欠席者数の少なさも含めて、学校を辞めない、欠席しない生徒でした。

進路面では、卒業生３２２名のうち未定等は29名。特に、就職では５名が公務員に。進学は国立大学に４名合格。学部別でも、薬学部に合格するなど、進路実現に向けて勉強した生徒の姿がうかがえます。６月に全保護者に配布した進路結果報告をご覧ください。

平成18年度　ＰＴＡ事業計画

月　日	曜	事　業	内　容	場　所
５．19	金	役員会	ＰＴＡ総会準備	市内
６．７	水	県高Ｐ連総会	総会、表彰式、講演	県教育会館
６．10	土	ＰＴＡ総会	平成17年度事業・決算報告 平成18年度事業・予算案 役員選出等	本校体育館
６．16	金	広報委員会	「なりきた」74号の編集	本校
６．23	金	校外指導委員会	自転車通学指導について	本校
７．３ ～５	月 水	校外指導委員会	第１回自転車通学指導	市内
７．３	月	広報委員会	「なりきた」74号の編集	本校
７．７ ～８	金 土	関東高Ｐ連大会	関東高Ｐ連大会全体会・分科会	千葉県　千葉市
７．21	金	国際交流委員会	オーストラリア研修生見送り	成田空港
８．７	月	国際交流委員会	オーストラリア研修生帰国出迎え	成田空港
８．24 ～25	木 金	全国高Ｐ連大会	全国高Ｐ連大会全体会・分科会	秋田県　秋田市
９．５	火	理事会	報告事項、文化祭参加について	本校
９．16	土	黎明祭参加	バザー	本校
９．27 ～29	水 金	校外指導委員会	第２回自転車通学指導	市内
10．16	月	ＰＴＡ研修視察		
10．19	木	地区研修会	印旛地区公立高等学校合同研修会	県立八街高校
11．８	水	県高Ｐ連集会	県高等学校ＰＴＡ研究集会・分科会	県総合教育センター
11．15	水	学年ＰＴＡ	学年計画、学級懇談会	本校
11．28 ～30	火 木	校外指導委員会	第３回自転車通学指導	市内
２．２	金	広報委員会	「なりきた」75号の編集	本校
２．14 ～16	水 金	校外指導委員会	第４回自転車通学指導	市内
２．16	金	広報委員会	「なりきた」75号の編集	本校
２．16	金	合同理事会	校外・広報・国際交流委員会	本校及び市内

校外指導ルポ

校外指導委員長　石井　時子

本年度委員長をお受けすることになりました石井です。皆様のご協力のもと、大役を務めていきたいと思っております。

今年度は、年四回の自転車登校指導と共に、十二月の下校時に、成田駅西口周辺の巡回指導を行うことになりました。早速、七月三日（月）、朝八時十五分より、先生方二名と保護者四名で、自転車登校指導を行いました。先生方の「おはよう」の挨拶に「おはようございます」と元気に答える生徒たちにホッとしました。以前よりは、生徒たちのマナーも改善されたようですが、対向車と自転車が接触しないかとハラハラしてみていました（中台小前の曲がり角）。







朝、元気に「行ってきます」と登校し、無事に帰ってくるというあたり前のことが続くように、子どもたちと学校・家庭の三位一体となった、家庭指導・生活指導を宜しくお願い致します。

地区指導部活動状況と保護者へのお願い

生活指導部長　中津和夫

印旛地区は7市の広範囲にわたり、校種も多岐にわたっている。このため生徒の通学及び行動範囲も広くなり、各校における問題行動も多様化していて、単純に印旛地区の生徒という捉え方は難しい。

当地区においては、毎月生徒指導連絡協議会を開催し、情報交換等により連携をとり生徒指導に役立っている。今後、この会を基にして地区の中・高の協議会やＰＴＡ・関係機関との連携を深め、より一層活発な活動が期待されている。四街道地区では巡回指導を行い、地域住民との交流を深めながら、学校教育に対してより一層の理解を得ている。

また、成田地区では学警連と合同で街頭指導を実施する際に中学校の先生方や保護者と協力し、また中・高の情報交換会を開催し連携を深めている。これからも地区内において多種多様の問題行動が予測されるが、対応に追われるのではなく未然に防ぐことが重要であり、そのためにも、学校・地域・関係諸機関との連携を深めることが重要であると考えている。

いよいよ夏本番。体調を崩すことなく、有意義な夏休みを過ごしてもらいたいと思う。

ニート

進路指導部長　川島洋子

ニートと呼ばれる学校にも会社にも行かない若者が今84万人。年10万人の勢いで増加中です。Not in Employment, Education or Trainingの頭文字をとったNEETは、雇用されず、教育も職業訓練も受けようとしない若者のことで、英国労働政策の用語です。

一方、フリーター（学生や主婦を除く15～34歳の内、パート・アルバイト及び働く意志のある無職の人）が、今４００万人。加えて、35歳以上の中高年フリーターが50万人（10年後の予想１００万人）。

これら５３４万人を抱えているのが、現代日本社会の実態なのです。年金の資源どころか、税でまかなわれる国や地方自治体の運営に暗い影を落としており、我々も早急に対応をしなければなりません。

特に社会との接点がほとんどないニート化の防止は急務で、「出来ることから始め」「やりながら成長し」「やりたい事にこだわりすぎず」「社会貢献の意識を持つ」よう育てることが大切です。

※現二年生は一年の11月に「フリーター・ニートになる前に受けたい授業」という文科省授業キャラバン鳥居先生の講演を聞きました。

学年主任より

一学年主任　佐藤敏之

今年度一学年主任を務めさせていただきます佐藤と申します。よろしくお願いいたします。

さて、今年度一学年の目標として、一、卒業後、社会で通用する考え方や行動を身につけさせる。二、進路実現のために必要な情報を与え、考え、行動させる。の二点を掲げさせていただきました。

高校は勉強をする所であるというのは異論のないことですが、高校時代は、卒業後いずれ社会に出る現在の高校生が、社会で受け入れられる生徒であってほしい、そのためにこの目標を設定させていただきました。一年生は、高校生活の入口として特に大切な学年だと考えます。「鉄は熱いうちに打て」です。

次に進路実現へ向けての努力の点です。当然高校生活の基本として、基礎学力の充実、学習する態度の涵養が特に大切であることは申し上げるまでもありません。その上で、私達が何か成し遂げようとする場合、一般的にたどるだろう道のりをつけさせることが進路指導に必要であろうと思います。つまり、(1)目標の設定　(2)目標を実現するために必要なことの理解　(3)目標達成に向けての計画　(4)実行（行動）　(5)目標の見直し　です。この5項目をサイクルとして継続していくことが大切です。そのうち一年生でやらなければならないことは、全部です。二、三年生の時期と言うのは2周目以降のサイクルに入り、そして(4)の部分の比重が大きくなります。常に見直しをしていくわけですが、とりあえず現段階での目標設定はしておかなければなりません。まもなく夏休みに入りますが、この長い休みを有効に使うためにも、しっかりとした目標設定を実行させてください。

現一年生に関わらず、北高校の生徒はまじめで明るいけれども、がむしゃらさに欠ける傾向があると思います。目標を高く持って、それに向かってとことんがんばる姿勢を忘れなければ、北高校の生徒は能力はあるのですから、進路を考える幅も広がっていくのではないかと思います。これからの北高生の、そして一年生の健闘を期待します。

二学年主任　池畑羊一

世の中の趨勢に、もはや私の価値観はついていけなくなってしまったのでしょうか。当然と思っていたことが、そうでなくなり、「何故？」と思えることが増えている気がしてならないのです。

勉強しない高校生の増加は、ここ数年肌で感じています。そして、生徒の学力は確実に低下しています。それなのに、進学率は上昇し続けています。何故？

高学歴化が進み、「生きる力」を育む教育が行われるようになったのに、仕事をしないニートと呼ばれる若者が増えています。何故？

高齢社会が叫ばれ、若者が少なくなっているのに、社会の色々な場面で、マナーの悪い若者の増加が指摘されています。そして、注意されると直ぐに切れることも、大きな問題となっています。何故？

「何故？」と、問わなければならないのは若者だけなのでしょうか。

三学年主任　飯森秀樹

現在三年生は、個々の自覚を持ち、落ち着いた状態で学校生活を送っていると思います。

授業を受ける姿勢や態度にもやはり三年生だなという印象を受けます。ぜひ、卒業まで続けてほしいものです。

学年としての指導は、『社会生活で必要なものの考え方や行動を身につける』ことと、『進路目標を実現する』の二点です。目先に惑わされず、一歩先の自分を想像し、あきらめず妥協せず焦らず、地に足をつけて生活し、人のことばに耳を傾け、素直な心で人と話すことができ、自らを拓きこれからの人生を創ることのできる生徒にさせたいと思います。

学校は、学校という集団の中で教育します。「守る」、「人を思いやる」、「勉強する」、生徒がそれを雰囲気の中で学べる学校にしたいと思っています。

事務室からお知らせ

体育館の耐震性能向上

◆本校の体育館の耐震性能を向上させるため、本年7月から12月までの6ヶ月間耐震補強工事が行われます。この間、体育館を利用している部活動等は、市の体育館や近隣の高校、中学校の体育館を使用していただくことになります。

体育館を利用して部活動等をしている生徒にはご迷惑をおかけしますが、地震の際の安全性の向上のためご協力をお願いします。

普通教室に冷房

◆平成18年6月10日（土）に開催されたPTA総会において、平成19年度普通教室に冷房装置を入れることが承認されました。PTAが設置費用及び維持管理費、運転費用を負担することで、県教育委員会の許可が得られます。

PTAでは、来年6月からの稼動を目指していますが、それに伴い4月から従来のPTA会費のほか新たに700円前後の負担金が発生することとなります。冷房装置を普通教室に設置することで、夏場の学習環境が格段に向上することが見込まれますので、ご理解とご協力をお願いします。

生徒会より



生徒会長　古林　恵

生徒会の主な活動内容は、四月に新入生歓迎会、五月に生徒総会、球技大会、そして九月に文化祭があり、これらの企画や運営を行っています。その他にも各委員会や部活動、行事などの予算案を立て、年度末に予算折衝として全校をまとめたりしています。

今取り組んでいるのは、五月頃から話を進めてきている文化祭です。今年は、体育館が使えないという厳しい状況ですが、生徒会役員一同、日々力を合わせ楽しい文化祭になるよう頑張っています。北高の文化祭は、九月十五・十六日に行われます。毎年ＰＴＡの方達にバザーの出店でご協力をいただいています。今年もよろしくお願いします。

黎明祭 ＰＴＡバザー献品のお願い

平素は、本校発展のため多大なご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、９月16日（土）に実施される黎明祭に、ＰＴＡとして今年もバザーの形で参加することになりました。例年、収入はすべて生徒会へ寄付しております。バザーを行うにあたり、献品できるお品等ございましたら、黎明祭の当日までにご持参ください。◆連絡先　総務部・寺内

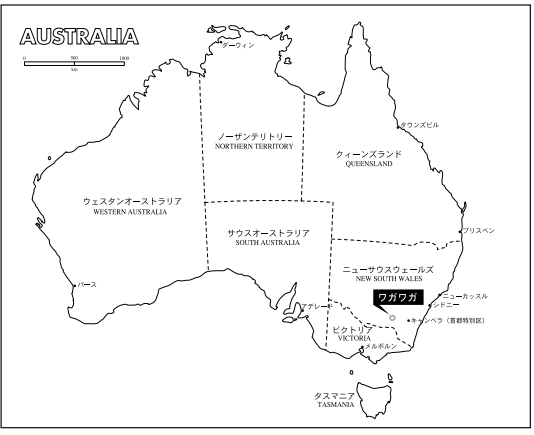
オーストラリア短期派遣プログラム

国際理解教育推進委員会　原野　隆

今年はオーストラリア、ニューサウスウェールズ州のワガワガ市にあるワガワガ高校への生徒派遣が可能となりました。ワガワガとは先住民の言葉で「カラスが多く集まるところ」の意味です。

ワガワガ高校とは96（Ｈ８）年より交換プログラムを実施してきました。今年は交流11年目の年ですが、９回目の派遣です。これは03（Ｈ15）年に新型肺炎騒ぎとイラク情勢の変化で急遽訪問が取りやめになったからでした。また昨年度は、人事異動その他の関係でワガワガ高校の受け入れ態勢が整わず、訪問が実現しなかったからでした。

そして待ちに待った交流の再開です。今年は男子２名、女子10名の12名（１年６名、２年６名）の生徒が交流を深めてきてくれます。１学期終業式翌日の７月21日（金）夕刻出発し、８月７日（月）の早朝帰国です。帰国後文化祭でワガワガ高校生徒との交流の様子を発表してくれますので、楽しみにしていてください。



スウェーデンから来たエリアス・エルシュトルプです



成田空港に着いて先ず気がついたことは、暑くじめじめしていて僕にとってはほとんど熱帯と思われるような気候でした。次に気がついたことは、人々の背が余り高くないということでした。僕は高校三年生としては平均的な背丈です。

電車やバスに乗ったり、通りを歩いてみて気がついたことは環境は余り配慮されていないということです。駅や通りはとてもきれいで、壁にはいたずら書きもありません。しかし、日本の建物は余り状況は良くなく、大きな建物の多くは醜いと感じるほどです。灰色で生気が感じられないのです。これに対して小さな家屋は細部にいたるまできれいだと思います。

日本の人々は非常に礼儀正しく、親切で、ユーモアがあります。また、結構話し好きで驚きました。日本人はもっと控えめな人々だと思っていました。年配の女性たちは一様に大きな日よけの帽子をかぶっていて少しこっけいだと思いました。

日本の生徒の英語は、当初僕が思っていたのとは少し違ったような気がします。でも他の教科、とりわけ数学は特に優れていると思いました。もし私自身数学を選択していなかったならば先生が教えてくれていることを理解できなかっただろうと思います。

スウェーデンではたいていの生徒はほとんど毎日新聞を読みます。日本のテレビはコメディー番組が多いようですが、スウェーデンではドキュメンタリーやニュース番組がもっとたくさんあり、日本の生徒と比較してスウェーデンの十代の若者たちは、十分な情報を得ていると思います。

スウェーデンの教育費は小学校から大学まで無料なのです。また、どの生徒・学生も学校へ行くことで少しお金をもらえます。高校生は一万五千円、大学生は三万四千円毎月もらえます。教育費は外国人も含めて誰でも無料なのです。

スクールカウンセラーより

丸尾良恵



四十才を過ぎると、体力や記憶力の低下、病気がでてきたこと等の話題がよくでるようになります。親の介護が加わることもあると思います。身体的な衰えや負担がでてくる年代です。それに加え、仕事での責任も重くなり、子ども達も親の話に耳を傾けなくなり精神的な負担も大きくなってきます。ただでさえ疲れやすいのに精神的な疲れが加わり、体調も悪くなりがちです。四、五十代は、心と体に負担がかかってくる時期でもあります。

そこで今回は、体から心へ働きかけることをお勧めしたいと思います。心と体は、お互いに影響しています。心が疲れている時にぼーっとしたり、布団に横になる等は既に自然に行われているかと思います。それに加え、意識的に体に心地よい刺激を与えることも、かなり心の疲れを取ることに有効に働きます。

周りの景色を見ると、若い頃に気づかなかった自然の美しさを感じます。木々のざわめきを聞いたり、川のせせらぎを聞くと不思議と気持ちが落ち着きます。自然のエネルギーを感じ、何かに見守られている感覚さえしてきます。日常生活の中でも、香りのよい入浴剤をお風呂に入れてリラックスしたり、ちょっと贅沢な豆のコーヒーを飲んでも安らげますね。少しの時間でも、ほっとすることが心の疲労感を癒してくれます。ささやかな自分へのご褒美をあげることで、心のエネルギーが回復してきます。

親の私達も、心にゆとりをもって子ども達に対応していきませんか。あと少しで巣立ってしまう子ども達と、良い時間が過ごせたらいいですね。

カウンセリング申し込み方法

日　時　　毎週木曜日　10:30～17:00
場　所　　本校１階　教育相談室

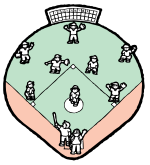
下記のいずれかでお申し込み下さい。
①相談室へ来て、直接スクールカウンセラーに申し込む。
②電話で申し込む。　TEL　0476-27-3411
　最初は事務が出ます。「内線219、スクールカウンセラーに」と言って下されば、お名前を名乗る必要はありません。
③担任その他の教員を通して申し込む。
　相談内容についてお話になる必要はありません。申し込んだ先生がスクールカウンセラーに連絡してくれます。

※相談者の秘密は絶対に守ります。
※生徒、保護者、教員からの相談をお受けいたします。

＊＊＊

部活動紹介

野球部





現在、部員は二十九名、マネージャー二名で活動しています。夏の大会も間近になり、選手一丸となり練習に励んでいます。去年の夏は一回戦を突破し、今年の目標は、去年を上回ることです。最後まで諦めないプレーをモットーに、平常心で挑みます。

毎年皆様方から、ご声援を頂き感謝しております。今後も宜しくお願い致します。

サッカー部



「闘う集団」を目指して、日々、意識改革をテーマに練習に取り組んでいます。ゲーム、トレーニングにおいては、常に「何故?」という疑問を持ち、何が出来て、何が出来ないのかをコミュニケーションを図りながら解決策を自分達で見つけています。そして、サッカー選手の前に学生であることを基本に考え、文武両道を目指して、北高サッカー部に誇りを持って活動しています。

祝 全国大会出場



少林寺拳法部

7/28より 愛知県にて



女子サッカー部

7/30より 静岡県にて

祝 関東大会出場



ハンドボール部

神奈川県にて

編集後記



お忙しい中原稿を書いて下さった多くの皆様、本当にありがとうございました。おかげさまで、「なりきた」第七十四号をお届けすることができました。広報委員一同より感謝申し上げます。これからもよりよい紙面づくりを目指します。

なりきた

PTA広報誌第75号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



なりきた散歩道

人間は常に何れかのグループ、組織に所属している。家族、学校、会社、サークルや団体、組合。自治会・町内会にも所属している。その所属するグループ・組織は社会を構成し、一人ひとりはその一員として社会との関わりを持つ社会的存在でもある。そして、組織と組織、個人と組織、個人と個人という人間関係が社会の基盤をつくっている◆しかし、今、その人間関係が危うくなり、さまざまな問題を引き起こしている。豊かさの反面、家族機能の低下、地域関係の希薄化、引きこもり、虐待が増加し、自殺者は年間三万人にもなる。少年の凶悪犯罪も少なくない。インターネット社会の仮想世界は、義務も責任も問われることはない。人と関わっている実感がなくリセットも簡単にできる世界である◆人間関係の希薄化は社会を構成している最小単位、家族関係においても顕著に現れている。親が子を殺し、子が親を殺す。配偶者を殺し兄弟姉妹を殺す。このような状況をどう理解すればよいのか◆生まれてきたときから家族の愛に見守られ育てられ、家族の絆を育んできた十数年間はかけがえのない歳月である。北高を巣立ち、社会の荒波に揉まれるであろうみなさん、目には見えないものほど大切なものはない。どんなときでも家族に思いを馳せて欲しい。

（広報委員長　瀧嵜　博）

卒業に寄せて

PTA会長　御厨　誠



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様、お子様のご卒業心よりお喜び申し上げます。

皆さんは北高で勉強だけでなく、部活動や行事を通じ、かけがえのない友情も手にしてきたと思います。若いころに培った友情は末永く続くといわれますが、これらを基礎にして新たな未来に向かっていってほしいと思います。

しかし、人生は順調な時ばかりではありません。むしろ人生には挫折が付き物だと言えます。そのときにどう立ち直り、再び立って歩きはじめるか。そこにこそ人生の真実が隠されていると思います。

皆さんはこの学校で夢や目標を見つけられましたか？「夢はかなう　きっとかなう」という強い気持ちと努力が大切です、皆さんが見つけた夢や目標を失わず最善を尽くせば、きっとかなうと思います。

だがそれだけでしょうか、夢や目標を見つけられない人もいると思います。その人は何も苦にすることはないのです。ないものはないとして、身近にあるものをどんどん大きく育てる生き方もあります。「自分にあった学部でないから勉強できない」「自分にふさわしくない仕事だから、就職しない」と夢を追いかける人はこのように言いますけど、それよりは、遥かにましな生き方だと思います。最善をつくさなくても昨日より今日が少しでも良くなっていることで良いのです。ベストよりベターな人生を歩んでも「幸せの神様」は見捨てないと信じています。

皆さん、胸に手を当ててみてください。心臓が脈打っています。心臓は常に動いていて、私たち人間はそれで生きています。しかしそれだけで本当に人間は生きていると言えるでしょうか。皆さんが何か興味深い本を読んだり、美しい風景を見たりすると、皆さんの心臓は感動して高鳴ります。このような高鳴りをどれだけたくさん持てるかが、生きるということではないでしょうか。

これからの皆さんの人生に、このような胸の高鳴りが多いことを祈ります。

祝卒業

北高から世界に派遣する

校長　小松　栄三郎



卒業生諸君卒業まことにおめでとう。また、保護者の皆様には、お子様のご卒業を心からお喜び申し上げます。

さて高等学校の役割の最たるものは、有為な若者を社会に送り出すことである。卒業生諸君は、本校での三年間の勉学により有為な若者に育った。もちろん、これからも成長し続けるわけであるが、社会人になるための基礎は出来上がった。

今、日本は戦後の日本を営々と築き上げてきた団塊の世代の大量退職の時期を迎え、この人たちの高度な技能や豊かな経験をいかに若い世代に引き継ぐかという国家的な課題を抱えている。

また、地球温暖化や食糧危機、エネルギー確保など、地球規模の深刻な問題も少なくない。諸君はこれらの問題に立ち向かっていかなければならないのである。

それは可能だろうか。

世界的な経営学者であるP・F・ドラッカーが、『明日を支配するもの』という著書の中で、日本に対して最大級の期待を寄せている。「私は、日本が今日の問題に独自の解決策を見出し、近代的ではあっても西洋的でない日本として、この転換期を乗り越え、再起することを期待している。世界には、もうこれ以上の均質性はいらない。必要なのは多様なモデル、多様な成功、多様な価値観である。」「私は、二一世紀の日本が、あの日本に特有の社会的な調和、『和』を発展させていくことを願う。」

明治維新を世界史的な偉業と評価する著者が、多様なモデル、多様な成功、多様な価値観を日本人に期待している。私は、日本人はその期待に応えることができると思う。

学校は、生徒を育て社会に送り出すが、その社会とは「世界」のことである。今、私たちは、君たちを世界に派遣しようとしている。北高は「遣世高校」である。君たちは、北高から派遣される一人びとりなのだ。

ぜひ、その自覚と誇りを持って価値ある一生を送らんことを。

卒業する君達へ

第三学年主任　飯森　秀樹

早いものでもう卒業です。三年前の四月、真新しい制服を着た三二五名が入学しました。月日が経ち、あどけない顔だった君達もだいぶ大人になりました。

その君達に、「大人の常識を持て」という言葉を送ります。

それぞれ違った道に進むことになっても、生きるうえで一番大切なことだと思います。もう少しくだいて言えば、節度を持つことと他人の痛みを知ることです。今はそんなものなのかでしょうが、歳を重ねてくるとそうだなと思う事になるでしょう。頭の片隅に置いておいて下さい。

卒業おめでとう。

三年A組担任　佐々木輝彦

卒業おめでとう。この三年間―千九十五日、二万二千八十時間…―長かった人も、短かった人もいると思います。もともと時間は相対的なもので、大切なのは自分が何をしてきたか、何に感動してきたかです。

自分の時間は、無限だと思えるのは若者の特権ですが、有限だと考えて、時をすごすのもいいことだと思います。ちがった時間を感じることができるかもしれません。これからもすばらしい自分の時を刻んで下さい。

春、三月。

三年B組担任　佐倉　範子

そとで走り回った「けいどろ」つなが風切る長なわとびぎゅっと詰まった北高生活にはようしゃない定積分の計算もうりあげNo.1の金だこもあったねおおきな海に向かう今。めんばーそれぞれ自分のナビでできる、と信じてまず一歩とび立つことをおそれずにうわさの3B、本日これにて解散します！

祝！卒業　頑張れ

三年C組担任　山崎　弘康

高校3年間で良き友達を得られましたか？教室で39コの机を並べ授業を受けること、クラスで協力して同じ感動を味わうことはもう無いと思います。

「一期一会」という言葉があります。「茶会に臨む際は、その機会は一生に一度のものと心得て、主客ともに互いに誠意を尽くせ」の意です。人との出会いも誠意を尽くし、掛け替えのない友を得て自分を成長させていって下さい。一生に一度の「その時」「その場」を大事にして下さい。

三年D組担任　木内賢次郎

卒業おめでとうございます。

入学以来、あっと言う間に卒業になってしまいました。私も高校時代はとても長く感じましたが、年を重ねていくうちに、時間の感覚がどんどん短くなっていきます。そして常に、あの時、こうしてこうしておけばよかったと後悔ばかりしています。特に、若い時にしか出来ないことはたくさんあるはずなので、今のうちチャレンジしてみてください。皆さんの活躍を期待しています。

嘘も方便

三年E組担任　酒井　滝雄

「裏表のない人間になれ」と言う人がいる。人の心が全てを曝け出すことのできるような立派な物ならそれでもいい。しかし、どんな人の心にも必ず闇がある。人を恨む事もあるだろうし、気に入らない人間の一人や二人はいるだろう。そんな不完全な人間が自分の思い通りの言動をしたら、世の中は滅茶苦茶だ。だから私はよく生徒に言う。「どんなに気に入らない相手にも、ニッコリ笑ってコンニチハと言える人間になれ。」と。

裏表のある立派な社会人になって下さい。

三年F組担任　加藤　健一

卒業おめでとう

どんなに長いと思われた道のりも終わりが近づけば案外短かったなと思うもので、この三年間も今となってはとても短く、そして早く過ぎてしまったと感じています。きっと君たちと過ごした毎日が楽しかったからでしょう、本当に感謝してます。

最後に伝えておきたいことがあります。

自分の人生はこんなもの、なんて簡単にあきらめないでほしい。

まじめに取り組むのなら人生って素敵だよ、辛いことや苦しいこともひっくるめてそう思う。あとは君の努力と運しだい。

幸運を祈ります、さようなら

三年G組担任　岡田　裕

あーおもしろかった。

あーこの三年間、本当に楽しかった。何かの縁で、この三年間一緒させてもらったけど、毎日毎日本当に楽しかった。

きっと皆んなも、楽しかったはずだ!!

これからも、色々なところで、すばらしい出会いがあるはず。「運と縁」を大切にして下さい。

ではまた、お身体も大切に!!

バイバイ！

三年H組担任　石倉　裕之

去年の「成北」を見ていたら、高柳先生が「人生に与えられたしあわせの量は皆平等だ」って書いていました。いやはや困ったもんだ。この三年間は公私ともに毎日ものすごく幸せだったから、けっこう幸せを消費しちゃったかもしれない。だとしたら、それはかなりの部分、皆さんのせいなんですから、もし私が使い果たしちゃったら、少しずつ分けてね。

あー楽しかった。じゃ、また。

進路は日々の過ごし方から

進路指導部長　川島　洋子

今二月十一日は、大学一般入試真最中。一月末現在の進路状況表は、今後多数増の見込みです。推薦・AO・専門・就職の結果はほぼ出揃い、ここで一、二年生の参考にもなる気づきを記します。

新教育課程二年目、「弁慶の七つ道具」よろしく次の七つが大切だと実感しました。

①「基礎学力」
②「基本的生活習慣」
③「目的意識」
④「早いスタート」
⑤「情報収集力」
⑥「自己決定力」
⑦「コミュニケーション能力」

これらが納得の行く進路選択の要です。

受験勉強に不可欠な①。国語力不足で数学や理科の問題が読めない、何を聞かれどう答えてよいかわからない、計算力不足で理数の問題を半分以上手付かずで残し、単語力不足で授業でやった英文以外お手上げ、そんな受験生が増えています。日々授業に積極的に取り組み、自分の中でそれらを総合的な基礎学力に高める生きた勉強をしよう。ろくに予習復習もせずに一、二年生を過ごしては、お話になりません。あなたは大丈夫？

就職希望の諸君、試験は一般教養（五教科・一般常識）と面接。女子事務職は、三年間の高評定と一般教養の好成績を求められます。男子は基本的に事務職の求人は無いので、事務系希望なら公務員試験に合格しなければなりません。どんな進路にも①ははずせません。

②は、社会を支える人材に自分を育て活かす基本です。また、②が出来ていないとハードな受験勉強に耐えられず、頑張れない。就職は特別な事情がない限り3年間で二桁の欠席では内定をもらうことは大変難しい。自然に基本的な生活が出来るようになろう。

③が無いと、安易なブランド志向や多数派志向の学校選びや企業選びに陥ります。入り易いとか友達が行くからでは困る。何のためにどの進路をとるか、二年生の前半には方向付けしておきたい。

④は、③さえあれば、二年後半から努力し始めることが出来ます。二年終了までに取り掛かった人は満足の行く結果を出しています。

⑤は、色々な事に参加し相談することで養われます。自分を狭く限定せず、小手先の要領や楽な方法を求めず、幹を太くする情報収集を。先生や友人との会話から生きた情報は入ってくるのです。知らないと損。

⑥は、①②④からの自信・③⑤から来る確信です。自分の生き方の決定は、自分の実績の積み重ねの上にしかありえません。

⑦は、他との関わりをより良いものにという気持ちに発します。「回りに気を使いつつ自分ものびのびと過ごせる力」を養うには、経験が必要です。家で頭の中でいかに緻密に組み立てても、現実は動く。学校で、動く仲間の中でしなやかに逞しく力を養っていこう。私は⑦を、挨拶・言葉遣い・電話の応対などに限定したくない。教室で受験勉強が出来る集中力、疲れても頑張れる体力、不機嫌でも微笑むことが出来る忍耐力、困った時には人を頼ることが出来る信頼感、他人の中で確認する自分の個性、これらを含みたい。

卒業生の皆さん、これら七つの力はOKですか？「周りの人と共に生き、しかも誰とも違う自分の道への扉」を開いて歩んでください。幸多かれと祈っています。

平成18年度１月現在進路状況（３学年在籍314）

1. 進学　　＊数字は合格数、（　）内はのべ受験数

	大　学	短　大	専門等	計
指定校推薦	24（24）	10（10）	14（14）	48（48）
公募推薦	13（40）	7（10）	50（60）	70（110）
自己推薦	1（4）	4（4）	3（3）	8（11）
AO入試	18（35）	6（6）	1（2）	25（43）
一般受験	－	2（2）	31（40）	33（42）
計	56（103）	29（32）	99（119）	184（254）

＊　主な合格先大学
國學院大學　駒澤大学　専修大学　帝京大学　文京学院大学　立正大学　共立女子大学
立命館アジア太平洋大学　流通経済大学　東北福祉大学　川村学園女子大学　淑徳大学
千葉経済大学　千葉商科大学　中央学院大学　帝京平成大学　東京情報大学
東京成徳大学　東洋学園大学　明海大学　麗澤大学　和洋女子大学　千葉科学大学
千葉工業大学　東京電機大学　東邦大学　　日本大学　　他

＊　主な合格先短大
青山学院女子短期大学　大妻女子大学短期大学部　共立女子短期大学　国際短期大学
女子美術大学短期大学部　杉野服飾大学短期大学部　戸板女子短期大学
東京家政学院短期大学　日本体育大学女子短期大学部　文化女子大学短期大学部
山脇学園短期大学　植草学園短期大学　聖徳大学短期大学部　千葉敬愛短期大学
千葉経済大学短期大学部　千葉明徳短期大学

＊　専門学校等　　看護医療系をはじめ約40校

2. 就職

学校斡旋	縁故就職・自己開拓	自営・家業	公務員等	計
21	2	－	3	26

ＰＴＡ臨時総会

昨年６月10日に開かれた総会で、教室等に冷房を保護者負担によって設置することが決まりました。しかし、ＰＴＡとして、冷房設置は、大きな事業の一つでありますので、その後の経過、決めた事を皆様に報告、周知して承認得る、設置するための会則改定の承認を得ることが必要と判断し、臨時総会を開きました。

議事は、

（ア）千葉県立成田北高等学校保護者負担による空調設備設置増額協議までの経緯。

（イ）千葉県立成田北高等学校ＰＴＡ委員会規程の改定について。

（ウ）千葉県立成田北高等学校ＰＴＡ空調設備運営費取扱規程について。

委任状824名（全体の85.9%）、出席者数25名（合わせて88.5%）で、満場一致で可決されました。

詳細は、以下です。

（１）普通教室24室と多目的３室、音楽室、書道室への冷房装置を設置する。

（２）保護者の負担額は，月額７００円（年額8,400円）、４月より納入。

（３）契約期間は１０年間。

（４）契約業者は、千葉ガス（株式会社エネルギーアドバンス）。

（５）使用開始　平成１９年６月１日（予定）

（６）稼働期間　６月～９月（冷房のみ）

（７）空調設備運営委員会の新規設置

（８）他

以上をもって、株式会社エネルギーアドバンスとエネルギーサービスの提供に関する基本合意を締結しました。

皆様の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

ＰＴＡ研修旅行



理事　地頭　浩美

今年度は、十月十六日（月）に本所防災館に行きました。

実際に、人工呼吸と心臓マッサージによる応急手当、煙の中での避難、消火器を使った消火作業、大地震の揺れの凄さを体験する事が出来ました。また、地震をテーマにした映像を３Ｄシアターで鑑賞しました。

災害時に、どれだけ冷静に行動出来るかどうかわかりませんが、この日の体験はとても勉強になり、いざという時役立つと思いました。

印旛地区研修会

平成十八年度印旛地区ＰＴＡ合同研修会に会長を始め九名で参加をしてまいりました。

研修会は「印旛地区における生徒指導の現状」についての報告がありその中で、最近の傾向として、学校内の規律を厳格に守らせる指導法である「ゼロトレランス」や「段階的指導」の取り組みを行っていること、喫煙や暴力等で特別指導を受けた生徒が昨年の三五〇名に比べ二

一学年委員長　青野　穣

一〇名と大幅に減少した事などが報告されました。先生方の指導の成果が形として現れたのではないかと思います。

続いて、親業訓練協会の寺田節子先生の親業についての講演では、コミュニケーションを阻害する障害についての話がありました。

最後に情報交換会が行われ、他校のＰＴＡとも懇親を深めることができ、大変有意義な一日でした。

高Ｐ連全国大会

ＰＴＡ会長　御厨　誠

八月二十三～二十五日秋田で行われた『第五十六回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会』に、成北からは、小松校長先生と羽田で落ち合い別れるまで二人だけの参加でした。

秋田空港では、なまはげが歓迎し、大会は一万人を超える参加者で、体育館、武道館二箇所で開幕されました。前東京大学総長佐々木先生による「『一億総中流』時代の後に来るもの」の記念講演等が行われ、高校生のハンドベル、竿燈会による竿燈実演は見事でした。

ホテルは何処も満室で成田国際高校の先生とＰＴＡ会長さんと相部屋で、部屋に着くと直ぐに教室への冷房談義が始まり風呂にも行けませんでした。二泊三日の研修はとても有意義で楽しかったです。

PTA行事報告

関東地区高P連大会

二学年委員長　吉村　貞男



七月七日・八日の二日間、千葉市内に於いて第五十二回関東地区高等学校ＰＴＡ連合千葉大会が開催されました。本校から外山教頭先生・寺内先生・三之宮理事と私の四名が参加しました。初日の全体会は『豊かに生きる』と題し、中尾彬氏の記念講演があり、フランスの絵画展「ル・サロン」でグランプリを受賞する才能を持ち、俳優として活躍する中尾氏らしく参加者からの質問にもユーモアのある話で会場は盛り上りました。二日目の分科会では『高校教育とＰＴＡ』のテーマで笠間高校と佐原白楊高校よりＰＴＡの活動内容と考え方が発表されました。北高の保護者の皆さん、是非学校に来て子供達の豊かな表情・笑顔とＰＴＡ活動を身近に感じて下さい。

校外指導委員会

委員長　石井　時子

今年度、ＰＴＡ校外指導委員会は、第一回目の会議を六月二十三日に行いました。年四回の自転車登校指導を始め、印旛地区高Ｐ連合同街頭指導の割り当てを速やかに決めることが出来ました。

自転車登校指導の場所は、第一、三回が中台小学校の校門近くの交差点。第二、四回が成田北高校の裏から坂道を下ったところにある雷神社付近の二カ所です。時間は、朝八時十五分から三十五分までの二十分間です。雷神社の脇から下ってくる自動車とあぜ道から来る自転車が、交差点で接触しないように見守っていました。「おはよう」と声を掛けると「おはようございます」と気持ちの良い挨拶を返してくれる生徒達は、本当に素直な子ども達だと感じました。私達が、日々、大きな交通事故にも遭うこともなく過ごすことが出来るのは当たり前のことですが、みんなが交通ルールに従っているからです。最近は赤信号を無視する人も少なくありません。交通ルールを守ることは、集団の規律を乱さないことと同時に、自分の身を守る最大の手段ではないでしょうか。日本の社会は規範意識の高い、自分で考え、行動出来、責任感のある人間を求めていると思います。交通安全は、交通ルールを守ることにより実現します。私たち親が、朝出掛けるときに一言「車に気を付けて」と声を掛け続けることも大事だと思います。成田北高校の生徒達が、交通事故の被害者・加害者になることなく社会人として活躍することを願ってやみません。最後に御協力していただいた先生方をはじめ、役員の方々に御礼申し上げます。有り難うございました。

国際交流委員会

委員長　茂呂実千代

本年度は、交換留学校であるワガワガ高校へ十二名の生徒が留学。残念ながらワガワガ高校からの来校は叶いませんでしたが、スウェーデンより短期一名、アメリカより長期二名の留学生を迎える事が出来、原野先生はじめ、校長先生、諸先生方の暖かい眼差しに見守られ、友情を深め、育む事が出来たのではないでしょうか。私も役員となり微力ながら、御手伝いをさせて頂き、楽しく有意義な三年間を送る事が出来ました。これからも、元気に成長する成田北高校を心より応援しております。



黎明祭・バザー風景



生徒と共に授業を創る
―生徒による授業評価―

校長　小松　栄三郎

昨年の十月、本校で初めて「生徒による授業評価」を実施しました。各先生方は、評価してもらう学級をひとつ選び、延べ一、八六四名の評価を受けました。

質問は十項目です。①あなたはこの授業に臨む姿勢はどうですか②この科目に関して、あなたの家庭での学習状況はどうですか③授業の進度（スピード）はどうですか④話し方はどうですか⑤板書はどうですか⑥説明の仕方はどうですか⑦生徒からの質問に対する対応はどうですか⑧授業の印象はどうですか⑨全体としてこの授業の満足度はどうですか⑩授業に対して感想・要望等があれば書いてください。

実技教科は、質問の一部を「実技・実習の説明・手本はどうですか」「技術の向上はありましたか」の質問に代えてあります。

◎大半の生徒は真面目

主な傾向を見てみますと、平均で七四・二%が授業には「意欲的」「真面目」に参加しています。家庭科、理科、英語がやや低くなっています。この三教科については三割の生徒が「あまり集中できない」と答えています。

◎家庭学習は半分が「しない」

全国規模の調査でも同じ傾向が見られます。宿題を出すなど、家庭学習に取り組ませることが大きな課題です。

◎授業のスピードはちょうどよい

ほとんどの教科で七割近くの生徒が、授業のスピードを「ちょうどよい」と答えていますが、数学は五二・四%が「もっとゆっくり」やってほしいと思っています。

◎話し方は八割が満足

先生方は、「言葉がはっきりしてよくわかる」「声が大きくてよくわかる」と多くの生徒たちから評価されました。

◎板書にもっと工夫を

「わかりやすく、ノートに写しやすい」と答えた生徒は、五〇%台に過ぎず、「分量が多すぎてノートに書き写すのが大変である」「板書をあちこちに書くためノートに写しにくい」と多くの生徒が思っていることがわかりました。先生方には、生徒がノートに写しやすい板書を心がけていただきたいと思います。

◎説明の仕方はとてもよい

「説明の仕方はどうですか」に対して八つの選択肢を選ばせたので、回答が分散してしまいました。選択肢の内容は「良い説明」と「悪い説明」に二分でき、国語は八六%の生徒が説明の仕方が良いと答えていますが、地歴・公民、数学、理科、英語に対しては、説明が分かりにくいと答えている生徒が二割前後います。「情報」では「言葉がむずかしい」と答えた生徒が二割います。確かにコンピュータの用語は難しいと思われます。

◎質問によく答えてくれる

先生方は生徒の質問を歓迎し、丁寧に答えてくださっています。情報や理科は、「後で個別に答えてくれる」と答えた生徒が一割台いますが、それは実験や機器の操作に関する質問なのかもしれません。

◎やりとりのある授業

「授業の印象はどうですか」との問いに八つの選択肢の一つ「やりとりがある」と答えた生徒が芸術で四二・九%、英語で三八・九%、国語で三四・二%、他の複数教科でも三割近いことから、一方的な授業になっていないことがわかります。

◎おおむね授業に満足

十教科・目のうち、六教科の授業に生徒の過半数が満足しています。残りの教科にも、四割の生徒が満足しています。「不満である」「非常に不満である」の合計が、全教科で一割前後です。残りが「どちらでもない」となっています。どちらでもない生徒たちの数を減らしたいものです。

◎授業評価の意義

生徒による授業評価は、先生方の授業改善に資するだけでなく、生徒自身の意識改革にも寄与してくれます。授業は生徒と先生の双方で創るものなのです。

◎外部評価

今年で第三回目になります。保護者の方々七十一名にご協力いただきました。ありがとうございました。紙幅の都合もあり、詳細な分析は割愛させていただきます。

生徒の学校生活全般については比較的高い評価をいただいていますが、学習指導、進路指導については、「やや不十分」「よくわからない」との回答が多かったので、今後の指導に活かしていきたいと思います。



修学旅行報告

真剣なまなざし

山口　剛

沖縄といえば、青い海、白い砂浜。美しい自然も生徒たちに見せたいが、沖縄に行ったら、生徒たちに会わせたい人がいた。

佐喜眞美術館の館長佐喜眞道夫さん。淡々と事実のみを語っているが、その瞳には熱がある。それを聴く生徒たちの真剣なまなざし。生徒の視線の先には、壁一面の『沖縄戦の図』…。沖縄戦の悲惨さを描いた『沖縄戦の図』を見ていると、その迫力に圧倒される。館長は生徒たちに「ここに描かれた死体はきれいに描かれているのですよ」と説明する。被爆した身体は手足がちぎれ、肉片が飛び散って内臓がむき出しになっている。

しかし、この絵にはそれがない。死者の肉体が生きたままの「きれいな身体」のまま描かれている。戦争によって犠牲になった人々の人間としての尊厳を守るためである。それが実写フィルムとは異なる、作者の思想性を表現する芸術の力だと佐喜眞館長は生徒たちに語っていた。



部活動紹介

吹奏楽部



吹奏楽部は現在一年生十五名、二年生六名の計二十一名で活動しています。週六日、夕方六時まで音楽室は元気な音であふれています。部長が中心となり、よりよいハーモニー、よりよい演奏を目指して練習をしています。今年度は、文化祭や卒業式での演奏、千葉県、印旛地区、成田市などの地域の音楽祭での演奏を行った他、吹奏楽コンクールや個人コンクールに出場し、日頃の練習の成果を挙げることができました。今後も温かいご支援のほどよろしくお願い致します。

読書感想画 県コンクール

三年D組　江口紗也佳

冬の寒さも薄れ、春の陽気となり、私は卒業前となりました。

毎年、コンクールに入選してはいるものの、ついに最優秀賞を頂くこともなく三年間を終えてしまいました。毎回仕上る際、作品に手を抜いてしまったのが敗因です…。コンクールへの参加はとても良い思い出ですが、少しばかり未練が残ります。今年最後のチャンスがある三年生には、是非悔いの残らない作品を描いて頂きたいです。

佳作入選



マラソン大会





男子

順位	ｸﾗｽ	氏　名	記　録	部活動
1	1G	蝦名　宏大	34′39″	陸上
2	2C	藤村　圭一	34′52″	陸上
3	2E	片野　勝英	34′57″	陸上
4	2D	中村健太郎	35′05″	サッカー
5	2G	駒嶺　隆毅	35′28″	サッカー

女子

順位	ｸﾗｽ	氏　名	記　録	部活動
1	2C	木川いづみ	23′26″	サッカー
2	2E	海保奈緒美	24′28″	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ
3	1B	酒匂さとみ	24′35″	サッカー
4	1E	宮内　彩佳	24′58″	ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ
5	2A	田嶋　茜	25′03″	サッカー

編集後記



先生方、役員他皆様方のご協力をいただき「なりきた」第七十五号を発刊できました。広報委員一同、心より感謝申し上げます。

なりきた

PTA広報誌第76号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



なりきた散歩道

新学期が始まり、三ヶ月が経過し、新入生は学校生活に慣れ、新しい友達もできた事と思います。二年生はこれからの進路を決定し、準備を進めて行くところだと思います。そして三年生は各々が目指す進路・目標を実現する為の努力をされている事と思います。保護者の皆様は、子供達が何を考え学校生活を送っているか想像して下さい。そして子供達の未来に向け家庭内で話し合い、温かく見守って行くことが肝要であると思います。

今年ＰＴＡ活動の一環として、新入生と保護者を対象としたアンケートを実施しました。本校を志望した理由では、在校生の雰囲気と回答された保護者が約34％、新入生に至っては55％強でした。これは、先生方が日常より努力されている結果、生徒が明るく素直に育つ健全な教育環境が保たれているからです。

本校の教育目標は「自律の精神を持ち、協調性に富む、心身ともにたくましい人間の育成」であります。

この教育目標を達成する為に、健全な教育環境の更なる育成と、学校教育の一助となるＰＴＡ活動を目指し、保護者としての責任を果たして行きたいと考えます。

（ＰＴＡ会長　吉村　貞男）

緑輝く成田北高校

校長　玉造　功



昇降口前の庭園の紅梅の実が黄色く熟して落ち始めました。梅雨らしい空模様が続いております。

保護者の皆様には平素より本校に対し、物心両面から多大なご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。ＰＴＡ広報誌「なりきた」第七六号の発行にあたり、新任のご挨拶を申し上げます。

小松栄三郎前校長の後任として、本年四月に着任いたしました。着任するにあたり、成田ニュータウンを北高前の交差点を右折すると、広々としたグラウンドの向こうに、一段と高く屹立する校舎の裾を桜の花が帯状にとりまく光景に、目を奪われました。

校門から玄関まで桜、イチョウなどの並木が続き、県木のマキ、成田市の市木ウメ、メタセコイア、カシ、シイなど多種多様な樹木に恵まれた学校、ニュータウンにありながら緑輝く学舎という印象を受けました。

後日、本校の創立十周年記念誌をひもとくと、第二代ＰＴＡ会長の山内克己様が『砂埃の舞う開拓地に、草も木も疎らな砂漠に、忽然と建ちあがった校舎。このような荒涼とした自然環境の中で、果たして子供たちの情操教育ができるのであろうか？』と回想されていました。そこで、保護者の皆様が家々の木を持ち寄り、生徒達が協力して一本一本植樹して、校窓にも緑が映るようになったとのことです。

ニュータウンの造成地に産声を上げた本校も、平成二一年度に創立三〇周年の節目を迎えます。過日のＰＴＡ総会でご了承いただいたように、三〇周年記念事業に向けての準備作業も始まりました。

一方、二二年度には成田新高速鉄道が印旛日本医大駅から成田空港まで延伸され、成田ニュータウン北駅（仮称）が本校から徒歩五分の地に開業する予定とのことです。本校を取巻く状況にも大きな変動が予想されます。

今日の成田北高校の歴史を作り上げた先人の労苦に思いを致し、今後の本校の更なる発展を思うとき、身の引き締まる思いがしております。微力ではありますが、全力を尽くしたいと存じます。

＊＊＊

委員長あいさつ

校外指導委員長　石井時子



本年度校外指導委員長をお受けすることになりました石井です。皆様のご協力のもと、大役を務めていきたいと思っております。

今年度は、年三回の自転車登校指導と共に、下校時に成田駅西口周辺の巡回指導（六月）、乗車指導（十二月）を行う予定です。

早速、六月二十二日（金）に第一回委員会を開催し、自転車登校指導の場所と日程の確認をしました。委員の皆さんより、活発な意見交換があり、子ども達を見守る親心に大きな力を感じました。また生徒指導部長の先生より、北高生へのマナーについて、近隣住民から様々な意見が寄せられていることを知り、安全な自転車の乗車、交通ルールを守る大切さ等、家庭でもしっかり注意したいと思いました。北高生の安全な登下校を願い、子どもたちと学校、家庭の三位一体となった家庭指導、生活指導を宜しくお願い致します。

国際交流委員長　岡部千恵子



本年度、国際交流委員長をお受けしました岡部です。微力ではありますが、少しでも皆様のお役にたてるよう頑張っていきたいと思います。

今年もオーストラリア、ニューサウスウェールズ州のワガワガ高校へ七月二〇日（金）より八月六日（月）まで十七泊十八日の予定で二年生女子生徒七名の訪問が予定されています。

壮大な大自然の中で、語学はもちろんのこと様々な生活を体験し、交流を深め多くのことを学んできてほしいと思います。

また、十一月には、ワガワガ高校からの訪問も予定されています。その折りには、ホームスティ先などの募集のお願いもしたいと思っております。皆様の御協力をどうぞよろしくお願い致します。

広報委員長　村島佐由利



今年度、広報委員長をお受けする事になりました村島です。

昨年同様、年二回の発行ですが、皆様の御協力を得ながら、学校や生徒の様子、さまざまな情報をお知らせし、皆様からの御要望にもできるだけ御答えできる様にと、思っております。御気軽に御意見などありましたら、お聞かせ下さい。

『読まれる広報誌』を目ざし、頑張って行きたいと思っております。

また、役員を引き受けて三年になりますが、高校生にもなると、なかなか行く機会の少ない学校にも顔を出す事がたびたび・・・・。

自分と子供の間でも少しは距離が会話が・・・・。

どうぞ皆様、一年間、よろしくお願いいたします。



黎明祭・PTAバザー　献品のお願い

平素は、本校発展のため多大なご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、九月十五日(土)に実施される黎明祭に、PTAとして今年もバザーの形で参加することになりました。例年、収入はすべて生徒会へ寄付しております。バザーを行うにあたり、献品できるお品等ございましたら、黎明祭の当日までにご持参下さい。

◆連絡先　総務部・寺内





冷房使用開始！



冷房導入後の学校の様子について

教頭　外山　日出男

冷房が導入されました。

おかげさまにて、勉強もはかどっております。これまでＰＴＡの皆様に、絶大なる御協力と御支援をいただいたことに感謝申し上げます。

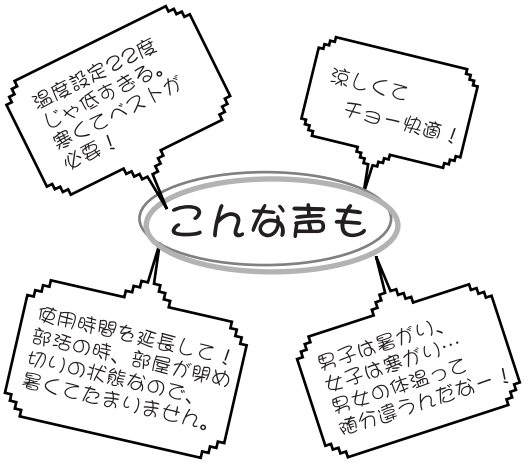
快適な環境のもと、教室の中で静かに学習に取り組んでおります。

教科書のページを繰る手、筆記用具を操る手が快適に見えます。暑い中で、むずかしい教科学習の内容を一日六時間も学習しているのですから、たいしたものです。思考と忍耐を要する時期だと言えば言えるのでしょうが、この暑い時期に涼しい学校で学ぶことが出来るしあわせを、生徒諸君にはこころから感謝してかみしめていただきたいものだと思います。

重ね重ね御礼を申し上げます。







＊＊＊

教育課程について

佐々木　輝彦

教育課程は、高校三年間でどのような生徒を育てるか学校の根幹に関わる大変重要なものである。

北高の教育課程は、五年前の新学習指導要領に伴い「①落ち着いて勉強し実力をつけ、センター入試にも対応できる。」「②個々の生徒の進路希望に対応できる。」という二つの目標を基に作られた。

本校の教育課程の一番の特徴は、二年次より文理選択をとっている点である。旧教育課程では、理系の学習指導について不十分であったという反省から、早い時期から目的意識を持たせ、個々の生徒に対してきめの細かい進路指導を実施している。新教育課程で学んだ卒業生の中から、千葉大学等の国立大学や中央大学等の有名私立大学に合格者を出すことができるようになったのは、その大きな成果である。

その反面文理選択希望を、一年生の二学期にとるため、二・三年の途中で進路が変更しても文理選択の変更ができないという短所も合わせもっている。学校では、そのような生徒にある程度対応できるように昨年度教育課程を一部変更したが、全面的な解決には至っていない。やはり大切なのは、一年次から積極的に自分の進路について考え情報を集めることである。学校でも実力テストや適性検査、ＬＨＲでの進路指導・教科「情報」での進路課題等で積極的に進路学習をするように指導している。

進路実現のため、生徒諸君の積極的な学習と進路への取り組みを期待している。

成北卒業生より

茨城大学合格体験記

小川　宗男

二年生の終わりまではほとんど受験の勉強は取り組んでいませんでした。一・二年の時に受験対策として取り組んだことといえば、模擬試験を欠かさず受験していたくらいです。

受験を意識して勉強を始めたのは三年になってからです。一学期は全時間（一日数時間）の七割くらいは苦手な英語に費やしました。夏休み中は一日十時間ぐらい取り組みました。英語・数学・理科を4・3・3のペースでこなしました。二学期は塾に通いながら毎日数時間勉強をこなしました。冬休みは塾を中心にセンター対策に専念しました。学校や塾の宿題を根気強くこなしていくことで、実力が付いていったような気がします。センター試験後は受験する大学の赤本を解くことで実践力を付けました。

時間が足りないと感じることはありましたが、授業中の内職は一切しませんでした。数学と理科は授業でなるべく理解してしまうことで結果的には勉強時間を短縮することができたように感じます。

十一月に同大学の一般推薦を受験し、不合格になってしまいましたが、そのときすぐに一般受験に頭を切り換えて前向きに頑張ったこと、夏休み前から一般受験の勉強に取り組んでいたことがよかったと思います。

（茨城大学工学部二年）

合格体験記

内田　恵美

受験勉強に本格的に入ったのは高校二年生の夏休みで、セミナーの夏期講習に通い、参考書で基本的な問題から解くようにしました。

私は数学が特に苦手なこともあり、高校一年生の頃の教科書を引っ張り出して計算問題をひたすら解きました。英語と国語は基本的な復習と英文の読解力の強化などの応用力に力を入れました。

重点的に力を入れたのは面接の練習と小論文の書き方でした。担任の先生を含め、先生方に面接のご指導を頂き、たくさんの小論文の手直しをして頂きました。小論文は字数が決まっている中でどのように自分の考えや想いを相手に分かりやすく伝えるのかがとても重要です。また面接も同様に人と同じことを言うのではなく「この学校にどうしても入りたい」という自分の個性をアピールすることが大切です。これは進学も就職も同じです。

受験を控える皆さんにとって毎日が不安や悩みでいっぱいだと思いますが、頑張って勉強したぶん結果はともなってついてくると私自身、実感しています。

不安になったり、悩んでしまったときは同じ気持ちを分かってくれる友達や、大先輩である家族、そして皆さんを支えてくれる先生方に相談してみて下さい。きっといい答えをくれると思います。最後まで諦めずに全力を尽くして頑張ってください。

皆さんの合格を心より願い、応援しています。

（日本医科大学看護専門学校二年）

復習の重要性

田村　光生

受験勉強で重要なのは、復習である。ほとんどの人が、そんなことは当たり前だと言うに違いないけれども、復習することの重要性を本当に認識している人は少ないであろう。今回は、受験生のときの私の復習方法を紹介しつつ、復習の本当の重要性を述べたい。

私は浪人をしたが、志望校には合格できなかった。しかし、現役時には50そこそこだった偏差値が浪人時には65を越えた。念のため断っておくが、浪人をしたからといって必ずしも成績が上がるというわけではない。私の成績が劇的に上がったのは、しっかり復習を行ったからであると思う。

浪人のとき、私は勉強した内容を、まず翌日に復習し、そして週に一度、一週間分の学習内容を復習し、さらに模試の前には、覚えきれていないものを復習した。もちろん、入試直前には、一年間の総復習を行った。このように、二、三度復習を繰り返さなければ、記憶は定着しない。人間の記憶力はそれほど優れていない。ある心理学者によると、人間は一度覚えたものを、一時間後には56％、一日で70％も忘れるということだ。いくら勉強しても、頭に残らないなら、何もしなかったのと同じだ。

翌日に復習をしてみると、勉強した内容を意外に忘れており、復習に割く時間も多く、焦りを感じるかもしれない。だが、復習をし、既習内容を着実に覚えるしか、成績は上げる方法はない。先を急ぐよりも、復習に重点を置くべきだ。

（立教大学大学院在籍中）

生徒会より

生徒会長
北村　健太



生徒会は、新人生歓迎会に始まり、生徒総会、球技大会などの行事の運営にあたっています。

現在は、九月の黎明祭（文化祭）の準備に追われています。テーマの募集から始まり、各団体の発表内容の検討を行なっています。今年は、ポスターも公募し、今後、評議会で決定していくことになっています。できれば、八月上旬にはパンフレットやポスターを完成し、各学校に配布したいと考えています。

黎明祭では、ＰＴＡの皆様方にもご協力をいただいています。成田北高校の未来をつくっていくつもりで頑張っておりますので、今年もよろしくお願いします。

国際交流について

国際理解教育推進委員会　原　野　　隆

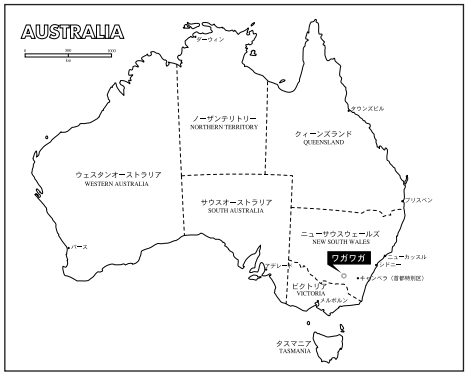
昨年度から今年度にかけて国際交流の面では多くのことがありましたし、これからもありそうです。

昨年度12名の生徒をオーストラリアの姉妹校であるワガワガ高校に派遣する準備が進行中に、アメリカから長期の留学生２名が本校に来ることになりました。

バージニア州からErin Brownさん、ワシントン州からBenjamin Overton君です。２人とも昨年９月20日（水）から本校に滞在し、クラスメート、学年、担任、ホストファミリーの方々に見守られながら、Erin Brownさんは今年の１月24日（水）まで４ケ月間、Benjamin Overton君は６月19日（火）まで９ケ月間を日本で過ごしました。

ワガワガ高校





そして今年もまた姉妹校であるワガワガ高校への派遣プログラムを実施します。途中やむをえない事情で派遣できなかった２回をはさんで、平成８年よりこれまで生徒を９回ワガワガ高校に派遣しており、今回がちょうど10回目の派遣となります。嬉しいことに、今年は11月下旬にワガワガ高校の生徒たちが本校を訪問してくれることになっています。

２学期にワガワガ高校生を10日から２週間受け入れていただけるご家庭を募集しますので、その際はご協力をお願いします。

―ネット犯罪にご用心―

最近携帯電話等を使用したネット上のトラブルとして、掲示板やブログなどへの誹謗中傷・名誉毀損や個人情報の漏洩、ネットオークションでの詐欺行為や、フィッシング詐欺、架空請求などが問題になっています。被害を受けたときは、関係機関に相談しましょう。

○相談機関
県警少年センター　0120－783－497
県警サイバー犯罪相談窓口
043－227－9131

親業講演会について

一学年主任　石倉　裕之

さる五月二六日のＰＴＡ総会に際し、一学年行事として、親業訓練協会の内田智代先生をお招きし、講演会を実施しました。五〇名強の保護者の皆さんに参加いただき、親子のコミュニケーションをテーマに約一時間半の講演が行われました。

子どもが「学校に行きたくない」と言い出したとき、親はどのような言葉をかけるでしょうか。「行きなさい」「行くべきだ」「怠けちゃダメ」「甘ったれね」という命令や非難めいた言い方や、「頑張れ」「あなたは頑張れる」といった激励、あるいは「何があった」と追求し「送って行こうか」と提案し、時には「何か食べる」とごまかす。すべてが子どもへの愛情ゆえの対応だと思います。

しかし、そうした親の言葉こそがコミュニケーションを阻む要因であるということです。保護者の皆さんが話し手と聞き手に分かれてロールプレイングを行い、そのことを実感しました。大切なのは時に相槌を打ち、気持ちを汲みながら、とにかく話を聞くこと、これがコミュニケーションの第一歩だということでした。

一方、親の側が心に問題を抱えているときには「どうしてあなたはそうなの」といった口調で子どもを叱責しがちです。こうした場合に大切なのは、主語を「あなた」ではなく「わたし」にすることだそうです。子どもの行動が「わたし」にどのような影響を与え、その結果「わたし」がどのような気持ちになるのかを伝えることで、子どもが親の気持ちを汲むようになる（かもしれない）ということでした。

こうして、親も子どもも心に問題がない状態（先生は「心のトゲが抜けた状態」と表現しました）になって初めて、親と子の本音の心の交流が可能になるということでした。

内田先生ご自身の体験を含めてさまざまな例を紹介いただき、ロールプレイングや会話を通しての講演は、大変わかりやすく、楽しいものとなりました。とりわけ、内田先生ご自身が、常に笑顔を絶やさず、明るく前向きな話し方をされていたので、初めはぎこちなくロールプレイングをされていた保護者の皆さんも、楽しく、活発な雰囲気となり、あっという間に一時間半が経過しました。講演終了後には、多くの保護者の方々が何か大きな勇気をもらったといった感じの、晴ればれとした表情になっていたのが印象的でした。

後日、内田先生からメールをいただきました。「もし聞いて下さった方々が、子育てという大事業を楽しめるようになったならば、こんなうれしいことはありません。」とのことでした。

北高生に求めるジコチュウになるな！

生活指導主事　岡田　裕

「プルルー、プルルー・・・」生徒指導室の電話が鳴る。外部からの電話と分かる。事務の方が、「岡田先生いらっしゃいますか？近所にお住まいの方から、生徒指導担当の方へ外線電話です。」「はい、お電話かわりました。生徒指導を担当している岡田です。」と電話に出るやいなや、「お宅の生徒が・・・、×○×△×！！！」と大変ご立腹の苦情電話。「・・・大変申し訳ありませんでした。以後こころして指導したいと思います。今後ともよろしくお願い致します。失礼します。」と、電話を切る。「フーッ」と自然に出てしまうため息。北高生は、いつからこんなに、状況判断ができなくて、我がもの顔で街を歩くようになってしまったのだろうか？なんと、自己中心的な考えで行動をするのだろうか？

自転車での歩道の並列走行、携帯をやりながらの走行、右側逆走、だらしない服装などなど・・・・・。

大人の仲間入りをした高校生として、まわりが見え、まわりの空気を感じ取っていますか？

勉強ができること。これは、大切です。でも、勉強ができるだけの人は、けっしていい人ではありません。「まわりの空気を感じ取って、他人に迷惑をかけず共存してゆけることが必要な当たり前の生き方。」そんな当たり前を身に付け、社会の一員として立派な成田北高生になりませんか？

スクールカウンセラーの相談　申し込み方法



日　時　毎週木曜日10：30～17：00
場　所　本校１階教育相談室
担　当　丸尾　良恵先生（スクールカウンセラー）

下記のいずれかでお申し込み下さい。
①相談室に来て、直接スクールカウンセラーに申し込む。
②電話で申し込む。TEL　0476－27－3411
　最初は事務が出ます。「内線219、スクールカウンセラーに」と言って下さいれば、お名前を名乗る必要はありません。
③担任その他の教員を通して申し込む。
　相談内容についてお話になる必要はありません。
　申し込んだ先生からスクールカウンセラーに連絡してくれます。
※相談者の秘密は絶対に守ります。
※生徒、保護者、教員からの相談をお受けいたします。

部活動紹介

陸上部



現在二十三名で活動しています。春の総体、秋の新人大会、駅伝に向けて、多くは成田駅近くの中台競技場で練習をしています。これらの大会以外にも毎月のように競技会に出場し、自己記録の更新を目ざすことで少しずつ力をつけ、大きな大会で少しでもよい結果を残せるよう日々がんばっています。今後とも皆様からのあたたかい御声援をよろしくお願いします。

美術部



私達は、毎日絵の具や色と格闘しながら、かつ楽しみながら制作に励んでいます。過去の実績は全国レベルで、大賞や多くの賞をもらっています。現在も活動は活発で、昨年は「学展」入賞、今年は第三十一回全国高等学校総合文化祭の美術工芸展に千葉県代表として二名が出品します。また他の部員も八月にある「学展」で大賞を目指し頑張っています。

祝 関東大会出場



女子サッカー部

たいへんよくできました

祝 全国大会出場



少林寺拳法部

編集後記



「なりきた」第七十六号、暑い中役員の皆様、先生方、生徒の皆さんのご協力により、お届けする事ができました。広報委員一同、心より感謝申し上げます。

平成19年度　部員数

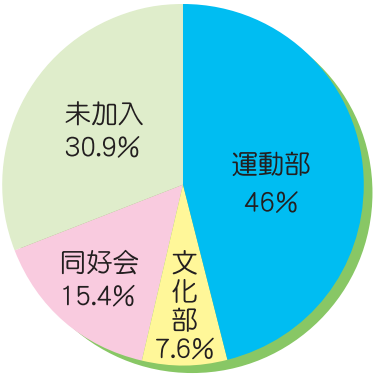
運動部	1年	2年	3年	計	
計	172	157	118	447	46.0%

文化部	1年	2年	3年	計	
計	25	30	19	74	7.6%

同好会	1年	2年	3年	計	
計	39	60	51	150	15.4%

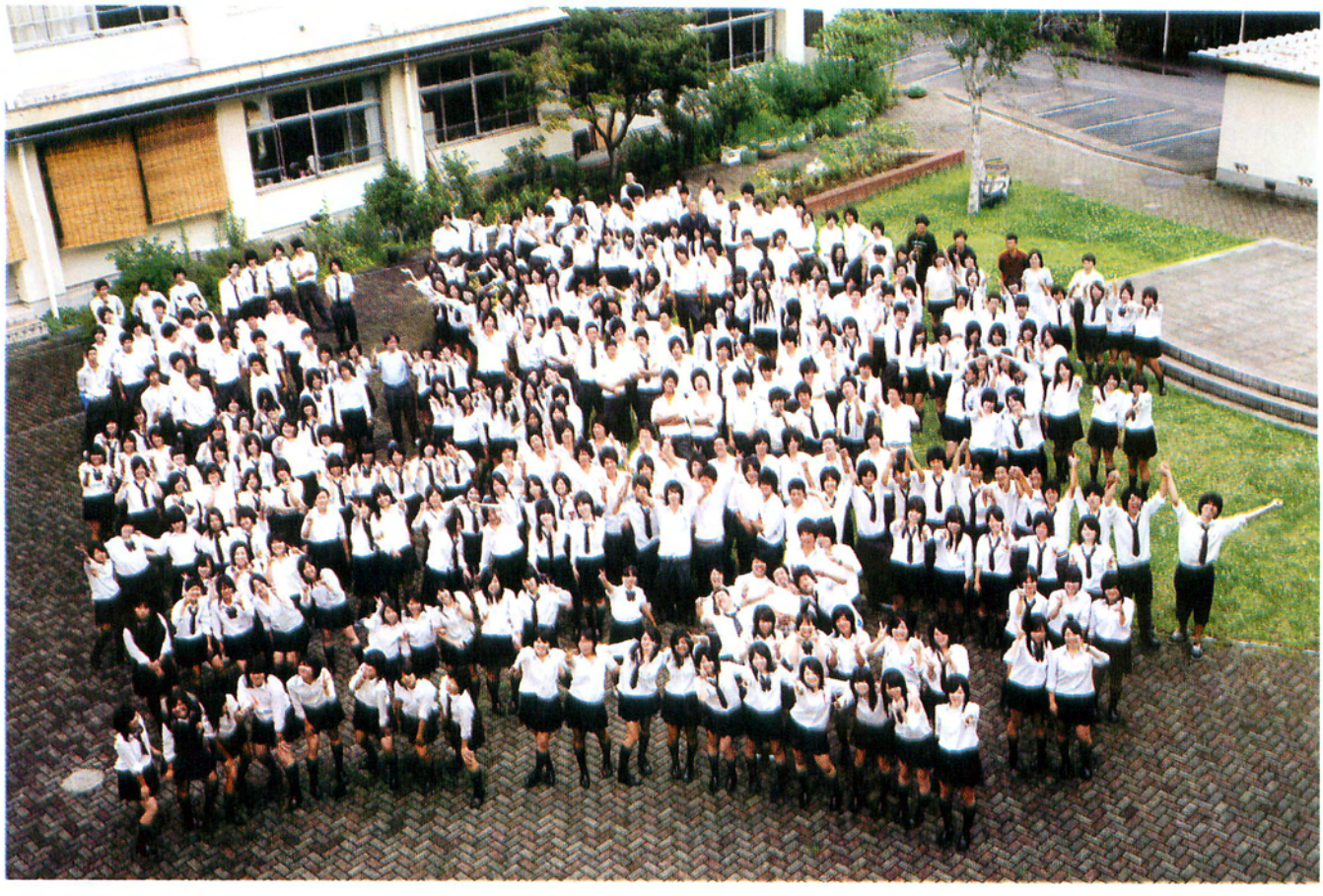
全学年合計	236	247	188	671	69.1%
各学年%	72.7%	76.0%	58.9%		
全校生徒数	327	325	319	971	

部活加入率について



なりきた

PTA広報誌第77号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



なりきた散歩道

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。これから、それぞれの道で頑張っていかれる事と思います。御活躍を期待しています。

もう一人皆さんと一緒に卒業する予定だった彼…。去年、思わぬ事故により尊い命を奪われる事になってしまいました。あの事故は、高校生三人が亡くなってしまうという大変に悲しい出来事でした。

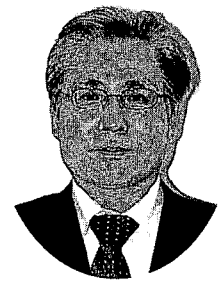
朝いつもの様に「いってきま～す」「いってらっしゃ～い」を最後に、たくさんの愛情で今日まで育ててきた我が子がそれっきり帰らぬ人…。帰って来た姿は…。親にとってこれほどの悲しみ、苦しみはないのではないでしょうか。御両親の気持ちを思うと胸が詰まります。今回の事故で、御両親はもちろんの事、御兄弟、親戚、友人、担任の先生、たくさんの人達に、深い悲しみを残したのではないでしょうか。私自身もいろいろ考えさせられた出来事でした。彼の御冥福、心からお祈り申し上げます。六頁でも触れますが成北ＰＴＡの皆さんには、もう一度、高校生の運転免許取得について、御家庭でもいろいろな方面から考え、話し合っていただけたらと思います。

（広報委員長　村島佐由利）

祝　卒業

卒業に寄せて

PTA会長　吉村　貞男



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、保護者の皆様、お子様のご卒業を心よりお慶び申し上げます。

私も卒業生の皆さんの入学と共にPTA会員の一人として活動させて頂き、思い出も多く、月日の経過が早かったと感じていますが、皆さんの三年間は如何でしたでしょうか。北高では、勉強・部活動・学校行事等を通じて、仲間意識を養い、友情を手にしたことと思います。この三年間で得たものは、これからの人生において、必ず活かされますので、大切にして下さい。

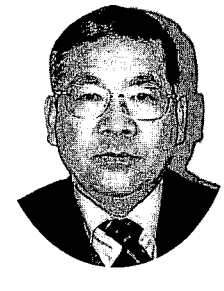
さて、皆さんには今しか出来ないことがたくさんあります。欲張って様々な挑戦をして頂きたいと思います。挑戦し、経験された事の一つひとつが人生の宝となり、将来の目標に向かって進む中で必ず役立つときがおとずれます。これからの人生、楽しいこと、そうでないこと、いろんなことがあると思いますが、常に前向きに思いやりをもって前進して下さい。そして、実社会に出たとき、自分が社会の中で役に立っていると実感できるよう頑張ってほしいと思います。それは、仕事の中身の問題ではなく、自分にとってそう実感できるかということが重要です。

皆さんが成田北高校の卒業生として、実りある人生を過ごされることをお祈り申し上げます。

最後に、三年間子供たちの成長にご尽力頂いた校長先生はじめ、教職員の皆様に御礼と感謝を申し上げます。また、保護者の方々には常にPTA活動にご協力戴き誠にありがとうございました。

卒業に寄せて

校長　玉造　功



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。心よりお祝いいたします。

皆さんは変化の激しい社会に歩を進めようとしています。何事によらず、改革が叫ばれ、変化の激しい現在、このような時にこそ、松尾芭蕉の「不易流行」という言葉を噛みしめる必要があると思います。「不易」とは永遠に変わらない真理、変えてはならないもの、「流行」とは、時代とともに新しく変わっていく、あるいは、変えていかなければならないもの、このようなことを意味しています。

皆さんは、新しい時代、新しい世界の担い手として、絶えず、「不易」なるもの、守り続けるべきものを確認しながら、「流行」に、変化する社会に臨んでいくことが肝要です。

成田北高卒業生にとっての「不易」なるものは何か。それは校歌に託され、脈々と受け継がれてきた

「自律の旗　高くかかげん」
「協調の輪を　固く結ばん」
「健全の道　ともに進まん」

に尽きます。卒業生の皆さんは、校歌に託されたこの思い、この願いの深さをしっかり心に刻んで、高らかに謳い上げ、実践していってもらいたいと思います。

「鉄は熱いうちに打て」といいます。若い時こそ、敢えて苦難に挑戦する精神をしっかり持ち続けてはばたいてください。健闘を祈ります。

春風や闘志抱きて丘に立つ　虚子



餞の言葉

決別

第三学年主任　池畑　羊一

卒業。着古した高校生の自分を脱ぎ捨て、今こそ新しく生まれ変わらなければならない。君達の人生はこれまでの延長にあるのではない。これからは、大人の世界で生きていかなければならないのだ。だから、今までの自分や、周りのしがらみに拘っていてはいけない。卒業とは決別なのである。いつまでも、親の庇護の下で過ごすべきではない。友達の温もりの中に甘えていてはいけない。決別してこそ、新しい出会いがあり、新しい生活が始まるのである。

漢字検定

三年A組担任　飯塚　恭子

クラスで「私と一緒に受検しよう」と言って漢字検定の申し込みをしたが、生徒で一名しか受検をしなかったのは二年前のこと。漢検勉強していて『三〇歳を過ぎるとせっかく覚えた事も定着が悪くてすぐに忘れてしまう、若いときにもっとやっておけばよかった』と後悔したのを覚えている。▼小テストの計画表に「持っていて邪魔にならないもの、それは知識」とコメントを書いたら、反応を示した生徒がいた。廊下で会うたび、「勉強頑張ってるよ！」と言ってくれた。▼君たちは、高校三年間で知識という財産をどれだけ蓄えることができたのだろうか。財産を得ることは容易い事ではない。エネルギーが要る。若い今だからこそ持っているエネルギーをそれに使ってほしい。▼物覚えが悪い私だが、君たちとの三年間のことは八〇歳のおばあちゃんになっても覚えていることだろう。たくさんの思い出、ありがとう。

三年B組担任　篠原　隆

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。この一年間担任として楽しくやってこれたことに感謝します。卒業後は各自目標に向かって新たな一歩を踏み出すわけですが、その歩みの中で様々な壁や困難に何度もぶつかると思います。そんな時、前向きに粘り強く取り組んでいくことで、自分の道を切り開くことができると思います。みなさん一人一人素晴らしい力を持っています。自分を信じて未来に向け、頑張って下さい。



祝卒業

三年C組担任　岡野　正博

御卒業おめでとうございます。

今やるべきこと

三年D組担任　市村　雄二

あなたにとって「今やるべきこと」とは何ですか。私にとってそれは「今しかできないこと」です。あの時気づいていればとか、やっておけばよかったとか思うことがたくさんあります。十代、二十代でなければできないこともあります。五年十年なんてあっという間に過ぎてしまいます。あなたにとって「今しかできないこと」時々考えてみてはいかがですか。

和

三年E組担任　鎌田千絵子

和。このことを誰よりも大切に思い行動してきた、そんな素晴らしい君の今後の活躍を期待します。

二十五年前の高校の卒業式の日、担任の先生が私のサイン帳にこの言葉を書いてくださった。今でも私の根底に、この励ましが生きている。

和を育てるために、和を守るために必要なものは、個々の自律・協調・健全だ。成田北高校の三年間で培ったものを、いつでもどこでも誰にでも、いかしてほしい。

おめでとう

三年F組担任　井野　和浩

今思うと、三年間は早かったのではないでしょうか。人生はあっという間です。

自分が、何年生きられるか、わかる人はいないでしょう。悔いのない人生を送りたいものです。

苦あれば楽あり、楽あれば苦あり

しあわせ

三年G組担任　高柳　良訓

仏教でいう「悟り」の境地。私には無縁の世界と思っていたが、最近プチ悟り気味。

例えば、物欲の低下。例えば、寛大な許し。そして、「しあわせ」新採点基準採用。

【しあわせ価値基準法第〇〇条】

自分のために生きるより、誰かのために生きる、しあわせ。「憎しみ」や「不満」を抱えて生きるより、平凡な日常に「感謝」し、「ありがとう」と言葉にする、しあわせ。

挨拶、大事にしていますか

三年H組担任　山口　剛

「おはようございます」この言葉が好きです。朝起きて、二人の息子たちに「おはようございます」と声をかける瞬間が好きです。

クラスのドアを開けると、ストーブを囲んで、朝から楽しそうに話をしている生徒たち。その横を小さな声で「おはようございます」と言って教壇に向かう私。村田君と目が合い、彼はみんなに号令をかける。この号令がなかなかいい。私も「おはようございます」とみんなに挨拶。三Hの一日が始まる。

高P連全国大会

ＰＴＡ会長　吉村　貞男

昨年八月二十四日～二十五日、埼玉県で行われた「第五十七回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会」に、外山教頭先生と参加させていただきました。

会場のスーパーアリーナには全国より一万人を超える参加者が集い、全体大会が開催され、池坊文部科学副大臣をはじめとする祝辞の後、「ご近所の底力」というテーマでＮＨＫエグゼクティブアナウンサー堀尾正明氏の記念講演が行われました。

また埼玉県内の高校生による舞台競演では、私たち参加者の歓迎のために、埼玉光陵高校のオーケストラ演奏、芸術総合高校自作自演のモダンダンス、秩父農工科学高校の秩父屋台囃子、春日部・川越・浦和ほか三校共演による旧制中学ならではの伝統ある応援団演舞が披露され、たいへん楽しませていただきました。

二日目の分科会は浦和埼玉会館で開催され、「生徒指導とＰＴＡ」をテーマに四校による事例発表がありました。

福島県福島高校では、自分の親以外の身近な大人＝他の親・先輩・先生からの生の体験談を生徒たちに伝え、人間的成長に繋げるためのメッセージ集「木見立」を発行、埼玉蕨高校では、「学校へ行こう」を合言葉に、保護者が学校とともに生徒たちを育んでいくという共通認識を持って活動しています。

富山八尾高校では、教師が加わらない自由な意見交換の場「親と子の懇談会」の開催や、地域行事への参加による地域と連携した生徒指導を実践し、高知大方高校では、学校に対してサポーターからパートナーになるべく活動に取り組んでいます。

各ＰＴＡ共に苦労はあるものの、学校・保護者・地域が協力し合って活動している様子がうかがえる発表は、今後の活動の礎となるものと思われ、とても有意義でした。

印旛地区ＰＴＡ合同研修会

ＰＴＡ副会長　石橋　久和

印旛地区公立高校十三校のＰＴＡの役員及び代表者が参加し、十月十一日、ウイッシュトンホテル・ユーカリで行われました。

最初に、生徒指導の現状として成田国際高校の荒先生より、残念ながら印旛地区でこの一年間に二件の交通死亡事故が発生した事、携帯電話のネット上の書き込みによるトラブル等が報告されました。交通事故については、本校は自転車通学の生徒が多数いる上、けして他人事ではないと痛感致しました。いじめにつながるネット上のトラブルは、私達大人の目に見えない事だけに、非常に不安な気持ちになります。

講演は、愛国学園大学附属四街道高校の吉田英夫校長先生より、長年の教員生活でのとても興味深く、又人間味溢れるお話を聞かせて頂きました。

最後に各校の紹介があり、他校のＰＴＡの中には学生時代の同級生も何人か含まれていた事もあり、印旛地区十三校の様子と連帯感を感じる一日でもありました。

関東地区高P連大会

ＰＴＡ副会長　青野　穣

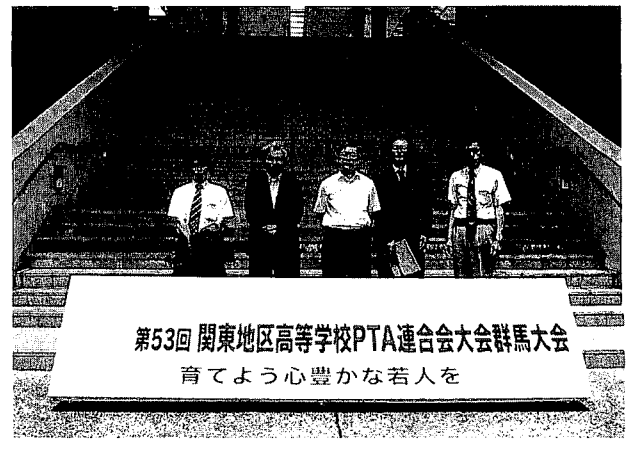
群馬県で行なわれた第五十七回関東地区ＰＴＡ連合会大会に、本校より玉造校長、吉村会長をはじめ五名で参加をしてまいりました。

今大会では「育てよう心豊かな若人を」をメインテーマに、健全で心豊かな青少年の育成を目指し家庭、学校、地域の連携を推進することで高校教育の充実を図るため、組織をあげて邁進することが大会宣言として決議されました。

初日の全体会では「星野富弘さんを語る」と題し、富弘美術館館長の須藤泝一郎氏による講演が行われ、星野氏が困難を克服し口にくわえた筆で絵を書くようになったこと、星野氏の普段の人柄など、心洗われるような講演内容でした。

二日目の分科会では、学校とＰＴＡが連携し学校再生に取り組んだ神奈川県の県立高校の取り組みが紹介されました。生徒が誇れる学校を取り戻すため、学校と家庭が手を携えてあきらめずに根気強く対応した結果、平穏な学校を取り戻すことができたそうです。

どんな困難な状況であっても、学校と家庭が手を携えて粘り強く子供と係わることが重要であると改めて認識させられました。



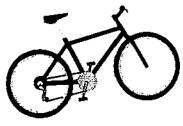
委員会活動報告

校外指導委員会

委員長　石井　時子

今年度の校外指導委員会の活動は、六月二十二日第一回の委員会をはじめ、年三回（七月、九月、二月）の自転車登校指導と印旛地区高Ｐ連合同街頭指導（六月、十月）に参加しました。自転車登校指導を通して、改めて、安全な自転車の乗車、交通ルールを守る大切さを実感しました。十月に印旛地区高Ｐ連合同街頭指導として、成田駅より、佐原方面に乗車し、生徒達の乗車マナーを見守っていましたが、北高生は、楽しそうにおしゃべりしながら、普通に乗車していたので、安心しました。又、ＰＴＡ活動を通して最近の「人に迷惑をかけなければ何をしてもいい」という風潮に親としてきちんと対応していきたいと思いました。

最後にご協力をいただきました先生方をはじめ、役員の方にお礼を申し上げます。



国際交流委員会

委員長　岡部千恵子

本年度は、七月二十日より八月八日まで、本校の姉妹校であるオーストラリアのワガワガ高校を原田教諭引率のもと二年生女子生徒七名が訪問しました。また、ワガワガ高校からは、十三名の生徒（男子一名、女子十二名）が十一月二十一日より十二月五日まで日本に滞在し、本校を訪問したり、関西方面を見学したりしました。それぞれの国の言語はもちろんのこと、文化や歴史の違いに触れ、子供たちは素晴らしい経験ができたことと思います。



来校したワガワガ高校の皆さん

ワガワガ高校生徒の本校訪問中のホームステイについては、募集もスムーズに進み、ホストファミリーとなられた方々のご協力により、車の手配が必要なときも快く引き受けていただいたことに大変感謝申し上げます。

先生方を始め他の役員の方々のご協力により、国際交流委員長として無事に活動を終えることができました。皆様、本当にありがとうございました。



オーストラリアにて



黎明祭バザー



PTA研修旅行（銚子方面）

願い

PTA広報委員会

十一月二日、本校生徒が交通事故により亡くなりました。

この事故は、他校生の運転する乗用車に同乗中に起こったものでした。

このような痛ましい事故は二度と聞きたくない、また事故を聞いたときの衝撃と哀しみを風化させず、一歩進めて危険を防ぐ意識を持ち続けていきたいと思います。

危険を防ぐことを私たち、保護者と先生と子供とが一緒になって、PTAの根幹をなす活動にしていきたいと思います。このページでは高校や若者、そして家庭や親子を取り巻く問題点を探ってみました。

☆

今回の事故に対する保護者への学校の対応は

本校は、平成十四年にバイク運転中の事故により死者を出している。バイクの事故としては本年度一学期に事故、入院者一名を出している。こうした事情もあり、バイクの事故・「三ない運動」を踏まえ次のようにした。

事故直後、学校から『交通事故の絶滅を期するために』(十一月五日付、校長名で保護者宛・内容は生徒の死亡事故発生の報告と事故防止への協力依頼)を配布。

更に、『交通安全協力運動について』(十一月十九日付、校長とPTA会長連名・内容は学校としての交通事故防止策への協力依頼)の通知をした。これについては保護者の回答を要請した。全保護者から確認の回答があった。(生徒指導部)

情報は伝わっているか

二つの文書は、担任から生徒へは確実に渡っている。通知文書が子どもから親へ渡る確率を上げること、その部分をいま一度検討してみる必要がある。

「今回の通知文書を受け取っていないという例もある」

(生徒指導部の情報)

若干は仕方がないではすませたくない。文書や情報のやりとりは学校と保護者との意思疎通をはかる、連携には不可欠で、高校生の年齢では子どもを経由したやりとりが、子供自身に自覚を持ってもらうためにも有効と考えられる。

根本的なところでは、「ルールを守る」こと大切さを、みんなで確認し、実行することなのではないか。学校も親も「しなければならないことは必ずする、してはいけないことは絶対にしない」それが社会を成り立たせるルールだ。そのことを徹底して教えていかなければならないのではないか。

保護者宛の通知は渡す、期限を守って提出する、学校のきまりは守る、親の話は聞く、あいさつをする・・・。すべてはルールだ。こうした毎日の行動が適切にできること、子どもだけでなくみんながこのことが大切で、そしてひとつひとつはさほど難しいことではない。

いま企業や社会や家庭や教育や、マスコミをにぎわす多くの問題は「ルールを守る」この自覚によって解決するのではないか。

自分の行動が、どういう結果を生むか、それを考える人間に育って欲しい

たいへん便利で免許も必要ない、携帯電話やインターネットで、窮地に陥る例が県内の高校生でも出ている。開設したブログに

・自分の個人情報を書き込み、悪用された

・未成年の自分が喫煙や飲酒している写真を掲載し、法律違反の証拠となった

・友だちのちょっとした噂を書き込み、訴えられた

(生徒指導部情報)

特に、情報機器上では「半分ふざけて」「興味本位」「悪意はなかった」行為が、重大な結果を生むことがある。目に見えない形で、あっという間に広まり、広まったものはなかなか消せない、それが携帯電話やインターネットの怖さだ。結果としては被害者だが、きっかけは自分の「結果を自覚しなかった行為」にある。

高校生の年齢では携帯電話を持てない。日本では親が子どもに貸し与えるものとしている。家庭でも、携帯電話の使用ルールを作り、そのルールの枠で、自覚ある使用ができれば、社会生活の面でもひとつの訓練になるのではないか。

☆

「ルールを守る」こと、「自分の行動がどういう結果を生むかを予測する訓練をする」

私たちは人生の先輩として、このふたつを教えていきたいものです。

本校の学校評価について

校長　玉造　功

本校では、四年前から保護者の皆様による学校評価、昨年度からは生徒による授業評価を実施して参りました。本年度はＰＴＡと共同で、新入生とその保護者の皆様に、本校への期待すること等についてアンケート調査させて頂きました。紙幅の都合もあり、ここでは、その概況について報告させていただきます。

◎新入生・保護者対象のアンケート調査（平成十九年四月実施）

保護者の「学校として特に重点をおいてほしいこと」では、
「希望進路の達成」が二十三％、
「学力をつける」が十八％、
「人格形成」が十七％でした。

一方新入生の「高校生活で重視したいこと」では、
「学力をつける」が三十八％、
「希望進路の達成」が二十四％、
「互いに高め合える友達を見つける」が二十一％でした。

新入生の意欲的な姿勢に身の引締まる思いがします。

◎保護者等による学校評価
（平成十九年八月実施）

「子供は明るい学校生活を送っている」では七十六％の方が、
「学校生活は子供の将来に有益である」では七十三％の方が、高く評価していただきました。

生徒の学校生活全般についての満足度が高かった反面、教科指導の面では、
「基礎基本の徹底」は二十三％、
「より高いレベルを目指す子供への対策」では二十一％、
「学習の遅れがちな子供への対策」では二十六％、
「学習方法や内容を確実に身につけている」では三十二％の方が不十分とのご指摘をいただいております。従来の授業方法・授業内容・評価方法等に安住することなく、授業改善を進めることが今後の本校の課題であります。

なお、教科指導についての項目では「よくわからない」という回答が比較的に高率であることから、来年度の授業公開の在り方について検討を進めております。

本年度は、この結果を踏まえ、九月十五日の「学校を核とした県内千か所ミニ集会」で、地域の方々や同窓生をまじえて協議し外部評価を行いました。

◎生徒による授業評価
（平成二十年一月実施）

「授業に臨む姿勢はどうですか」では七十九％の生徒が意欲的、真面目に参加と回答しました。

前年度に比べ五ポイント向上しました。しかし、

「家庭での学習状況」については五十六％があまりしていない状況にあり、昨年度からさほど改善されていません。

「授業の満足度」では六十％の生徒が満足、五％の生徒が不満足、残りがどちらでもないという結果でした。前年度に比べ「満足」が八ポイント増加し、「不満足」が半減しました。

来年度は、これまでの本校の評価活動を踏まえ、保護者や地域住民の代表の方とともに「開かれた学校づくり委員会」を設置し、学校の関係者評価に取組む所存です。

お知らせ

本校は平成二十年度に「交通安全教育モデル事業」の千葉県の指定校となります。

県レベルの支援を受けながら、一年をかけて、交通安全対する意識の醸成と知識・技能を身につける指導をしていきます。

ご案内

今冬より、女子の制服に「スラックス」を追加しました。

活動性や防寒に考慮したもので、年間を通して着用できます。

冬スカートと同生地、同柄

一月末現在、二十名の生徒が購入しております。特に着用の許可は必要ありません。購入には本校の制服販売店をご利用ください。

価　格　一二〇七五円

部活動紹介

女子サッカー部

第3回関東高校女子サッカー大会
11/17 茨城県・鹿島ハイツ



祝 関東大会出場

少林寺拳法部

全国高等学校少林寺拳法大会



祝 全国大会出場

美術部

全国高等学校総合文化祭美術展
出品作品



3年　大徳紗代



3年　太田蛍子

座間味島への修学旅行

修学旅行担当　三橋　康孝

昨年十一月九日～十二日に二学年は、沖縄修学旅行に行ってきました。今までと異なり、本島から船で二時間の座間味島への旅だったので、出発前は様々な不安がありました。

しかし、始まってみると、最も懸念された天候は完璧、生徒たちも予想以上に自覚を持って行動してくれ、意義深い旅行になりました。離島の大自然、島の人情に触れ、平和の尊さを実感する。それぞれ中味は違っても、大切な何かを持ち帰ってくれたと確信しています。協力してくれた方々に深く感謝しています。





編集後記

皆様方のご協力により「なりきた」第七十七号をお届けする事ができました。先生方、役員の皆様ありがとうございました。広報委員一同心より感謝申し上げます。



マラソン大会



女子

順位	ｸﾗｽ	氏　名	記　録	部活動
1	1E	杉原ちひろ	24′10″	サッカー
2	2F	菅井　弥生	24′20″	陸上
3	2H	小川　歩美	24′24″	サッカー
4	1E	稲村　萌	24′28″	サッカー
5	1G	細貝亜由実	24′31″	ハンドボール

男子

順位	ｸﾗｽ	氏　名	記　録	部活動
1	2A	蝦名　宏大	34′53″	陸上
2	2G	海保　成臣	36′56″	野球
3	1F	若松　亮平	37′01″	野球
4	1D	人見　拓哉	37′06″	バスケットボール
5	1D	桂島　亮	37′18″	野球

なりきた

PTA広報誌第78号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



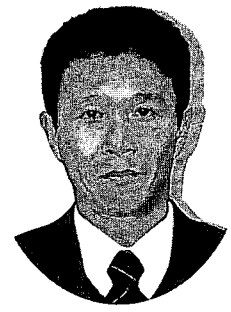
なりきた散歩道

立木を斧で切ると、鮮やかで水々しい断面が表れます。〝新〟年度が始まりました。今年はどんな新入生が入学してくるのだろう、上級にそれぞれ進んだ二三年生は、クラス替えをしてどんな雰囲気のクラスを作って行くのだろう。毎年同じことが繰り返されて慣れっこになっているはずなのに、その鮮やかで水々しい感覚は、私達にいつも活力を与えてくれます。また、子供達も誰と一緒のクラスだろうか、担任の先生は誰だろうか、と不安を感じながらも期待を胸に登校して来ます。それぞれが新しい切り口で新しい姿へ切り替えようとする春は、出会いの季節であると同時に発見の季節でもあります。保護者の皆様もまた、お子様の成長した新しい姿を発見され、頼もしく思われることがありましたでしょうか。情報過多の時代に在って、ほんの小さな変化や成長に気づき、確認し共有しあうことが教育にとって大事なことであると思います。せっかくの機会ですから、お互いに再発見し合うのも良いかも知れません。一年間宜しくお願い致します。

（教諭　福田　克行）

変化の時、我々PTAにできること

PTA会長　青野　穣



本年度PTA会長を務めさせていただきます青野と申します。このような大役をおおせつかり役不足ではございますが、皆様方のご指導を仰ぎながら、充実した活動が行なわれますよう全力で任に当たりたいと思います。

本校の校歌の冒頭を飾る言葉「黎明」を辞書で引くと「新しい事柄が始まろうとすること。また、その時」とあります。

国際空港都市であるこの成田の地に新しい時代の幕開けとともに新星のように誕生した本校も、間もなく三〇年の節目を迎えようとしている現在、教育現場を取り巻く社会環境は大きな転換期にさしかかっています。本校に目を向けてみますと、二年越しで進められた冷房設備の設置事業も歴代会長を始めとする皆様方のご尽力により、昨年より、県立高校としては地域に先駆けて稼動するなど、教育環境の整備も着々と進められております。

そして平成二二年には成田ニュータウン北駅が本校に隣接してオープンする予定です。これは本校にとって新たな飛躍を遂げる大きなチャンスであるといえます。しかし、反面、生徒を取り巻く環境に変化が及ぶことも予想されます。これらへの対応は学校だけでは限界があります。

創立三〇周年を間近に控えた現在、まさに「黎明」のとき、新たな飛躍を遂げようとしている本校のために、我々ができることは、まずは子供たちにより多くの関わりを持ってあげることではないでしょうか。そのためにどんどん学校に足を運んでいただきたいと思います。PTA活動はその口実にして頂けたら幸いです。

* * * \

委員長あいさつ

校外指導委員長

大柳瑞子



外指導委員回では、年間九日間の自転車登校指導。六月には、成田駅での印旛地区高P連合同街頭指導、十月には、成田駅より佐原駅までの乗車指導を行います。

今年度成北は、交通安全のモデル校になっており、七月には交通安全教室、十月には講演会を行う予定です。

成北の九割の生徒が自転車通学をしているそうです。残念ながら毎年、数件の交通事故が起こっています。

校外指導部長の岡田先生をはじめ、他の先生方、委員の皆さんと共に今年一年間、交通安全指導を行いたいと思います。

生徒の皆さん、スピードの出し過ぎには十分注意をして、交通ルールをしっかり守って下さい。

国際交流委員長

佐久間幸恵



このたび国際交流委員長を務めさせていただくことになりました佐久間と申します。経験不足のため至らぬことも多いかと思いますが、精一杯取り組みたいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。

本校の姉妹校であるオーストラリアのワガワガ高校へは、本年度は篠原教諭引率のもと、男子二名、女子八名が七月十八日（金）から八月四日（月）までの十八日間訪問する予定です。七月一日になり燃油特別付加運賃の改定により当初より旅行代金が高くなり、保護者の方々の負担額が増えてしまいご迷惑をおかけしました。また、はしかの影響も心配されましたが、参加者全員が予防接種を完了しました。

本校生徒のホームステイにつきましては、ワガワガ高校の先生方、保護者の方々のご協力により、全員のホストファミリーが決まり、安心して見送りできることとなりました。生徒の皆さんは、言葉や食生活、文化の違いなど不安もあるかと思いますが、是非今しかできない素晴らしい経験をしてきて欲しいと思います。ワガワガ高校からの本校訪問は今年度はない見込みですが、来年度ワガワガ高校の生徒が一人でも多く本校を訪問されるよう、今回の訪問を通じて親睦を深めてきてもらいたいと思います。

広報委員長

蓑田美紀



本年度、広報委員長の大役をお受けしました蓑田です。一年間委員の皆さんの御協力を頂きながら、共に楽しく活動していきたいと思います。

今年度も昨年同様、年二回（七月・三月）の発行です。球技大会をはじめ、四季折々の行事、色々な場で活躍する生徒達の姿、学習面では、進路状況などを折り込みわかりやすく伝えてゆきたいと思っています。

高校になると、役員をしなければ学校に行く機会があまりなく、子供達の様子を知る事が出来ません。私達広報委員が、保護者の方々に少しでも学校の様子を伝える事が出来ればと思います。また、広報誌「なりきた」を通し親子の会話のきっかけになって欲しいと思っています。

一年間、ご協力をお願い致します。

****

黎明祭・PTAバザー献品のお願い

平素は、本校発展のため多大なご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、九月十三日(土)に実施される黎明祭に、PTAとして今年もバザーの形で参加することになりました。例年、収入はすべて生徒会へ寄付しております。バザーを行うにあたり、献品できるお品等ございましたら、黎明祭の当日までにご持参下さい。

◆連絡先　総務部・寺内



昨年度のバザー風景

成田北高ホームページ

URL:http://www.chiba-c.ed.jp/naritakita-h/

生徒会より



生徒会長　八代　愛可里

こんにちは。生徒会長の八代です。今、生徒会では黎明祭に向けて準備を進めています。今年の黎明祭のテーマは、

「―北― Change The World」

です。このテーマには、例年とは違った文化祭を北高生全員で創り上げていこう！という意味が込められています。すでに各クラスの企画が決まり、中には夏休みから準備を始める団体もあるかと思います。また、今年の文化部や有志団体などの発表・展示も充実しています。クラスで一致団結し、北高生らしさ溢れる黎明祭にしましょう！

球技大会

五月二日、あいにくの雨で延期になりましたが、五月七日は朝から晴天に恵まれて、全生徒参加のもと、〝クラス別対抗戦〟で開催されました。

男子は、バスケットボール、サッカー、テニス。女子は、バスケットボール、ドッヂボール、バレーボール、卓球の各種目に分かれて熱戦が繰り広げられました。

各種目及び総合成績の結果は次の通りです。

平成20年度　球技大会結果一覧

	種　目	優勝	2位	3位
男子	バスケット	2H	3G	3F
	サッカー	3H	2C	3B,3C
	テニス	2H	3H	3E,3F,1E
女子	バスケット	3C	1E	3G,2E
	ドッヂボール	2H	3G	3C,1B
	バレー	2H	3B	3E,1G
	卓球	2F	3C	3A

総合成績

優勝　2年H組

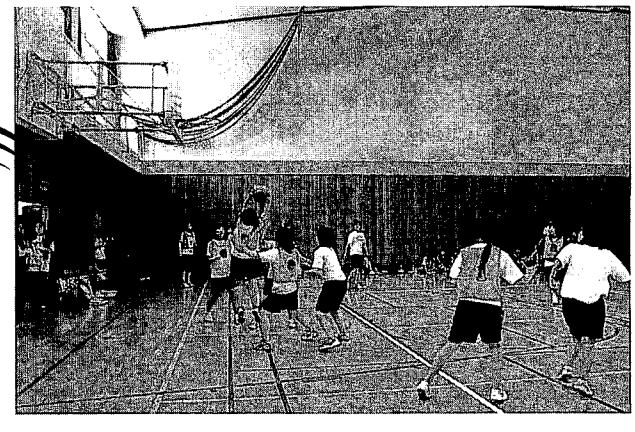
おめでとう!!

2位　3年C組

3位　3年H組







本校の進路指導

進路指導部長　川島洋子

進路指導部では、入学から卒業までの３年間を、「自分を知り、人生をどう生きるか真剣に考えデザインして進路を選択し」「自らの手で扉を開いて」「希望に満ちた一歩を踏み出す」ための、大切な一日一日と考えています。「自己理解」と「どう生きたいか」を柱とし、学年を追いつつその実現に向けての指導をしています。あらゆる教育活動に有機的につなげ、授業はもとより学年や他の分掌の先生方との連携を図り、数々の教育活動をこなしています。

３年間の主な流れを述べると、

【１学年】

○自己理解と将来の目標の明確化
○文理選択に向け生き方を考える
の２つを柱に、キャリア設計をし、高校３年間を有意義に過ごす意識を持たせる。

《核となる指導》
ＬＨＲ［文系・理系の進路と職業］
講演会　「フリーター・ニートになる前に受けたい授業」
講演か調べ学習　「仕事を知る」
小論文講座、模試等　延べ６

【２学年】

○進路目標達成のための力と知識と判断力を養う
を柱に、授業「総合的な学習の時間」を中心に活動させる。

《核となる指導》
総合「学校説明会」約30校
総合「上級学校見学」バスで一日
総合「上級学校の模擬授業」又は「小論文講座」
インターンシップ
　希望者・夏季休業中
模試等　延べ約10

【３学年】

○進路の決定
○社会で力を発揮できる自己を作り上げる
を柱に、あらゆる時間を使って活動させる。

《核となる指導》
「進路別一斉指導」「マナー講座」「進路講演会」「推薦説明会」「面接指導」「センター試験出願指導」「保護者様向け説明会（進学）」「保護者様向け説明会（就職）」「小論文指導」「出願指導」「合格・内定後指導」等、各分野とも全体指導と個別指導を計画的に重ねている。
模試等　進学模試・看護医療系模試・就職模試・公務員模試・小論文模試等、延べ約20
◎詳しくは、先日お渡しした『進路の手引』掲載の「進路指導年間計画」をご覧ください。

４月に保護者の方の押印の上提出頂いた「進路希望調査」の集計は**表１**の通りです。各学年とも、
①４年制大学進学希望が約160
②短期大学希望が25～30
③専門学校等希望が約80
　看護医療系（看護師・理学療法士・歯科衛生士・検査技師等）や福祉関係希望約20を含む
④就職希望は、公務員数名を含み、１年14・２年26・３年34、つまり、学年の半数が大学進学希望・１割が短期大学希望・３割が専門学校等・１割が就職希望です。

また、「３月卒業の現役生の進路結果概要」は、**表２**の通りです。
①大学128・短期大学33・専門学校104・就職21
②例年通り、希望を概ね達成。
③入学時の予想以上の結果を出している生徒が多い。
◎希望と結果に高い相関がある点が、喜ばしいことです。詳しくは、すでに６月にお配りした『進路の手引』の「平成20年度３月卒業生の進路」をご覧ください。

本校の進路指導の特色は、以下の４点です

【きめ細かさ】

大学・短期大学・専門学校・看護医療系・企業就職・公務員と全ての分野に希望者が存在するのでどの分野も、しっかりした指導が必要です。それぞれの分野の指導のために進路指導部の職員は研鑽を積んでいます。

【すぐ対応】

進路指導室に５人が常駐。他に４人が定期的に対応。昼休みと放課後に進路相談に来る生徒が多くいます。

【資料の整備】

基本的に必要なものはそろえてあります。卒業生が書き残した報告書も整備。生徒は、昼休みと放課後に閲覧コーナーで調べることができ、面接ビデオ視聴も可。毎日生徒が訪れています。

【校内の連絡体制】

進路と３年生の先生方との会議を毎週１時間持っています。共通理解と円滑な３年生の指導に資するように、進路としては努力しています。また、１年２名、２年３名、３年３名の進路指導部員が、学年の進路指導の牽引役であると同時に、受け持ちの各分野の全校的な牽引役を担っています。

さて、今後の進路指導の課題は、「生活の糧としての仕事」という認識を深めることにあると思います。これは社会参加の基本です。世間の風に十分当たっていない、生活感覚が薄い生徒や、「稼ぐと儲ける」の違いが分かっていない生徒、「趣味と生活」の区別がつかない生徒、「夢と現実」のすりあわせが極端にできない生徒がいます。生きた生活体験（＝手伝い・計画的な勉強・部活動・趣味や技能を身につける行動・相手のある会話など）を重ねないと、そういうことができるようにはならないものです。前記のような１年から３年の多くの進路計画をこなす過程で、いつももどかしく思うのがこの点です。自分の置かれた状況を客観的に捉え、今の成田北高等学校の授業・予習復習・部活動・教育活動に精一杯没頭するところにしか、「生き方を熟考し、明確な進路志望を持ち、それに向かって尽力する道筋」はありません。ご家庭でも、そういう学校生活を、大切なご子息ご息女がお送りになるよう厳しく温かく見守っていただきたいと思います。

子育ての仕上げの大切な３年間、それぞれのご家庭で、「世の中について」「我が家の生活について」「親の生き様について」「親の希望・期待」「してほしいこと」「なってほしいもの」「我が家でできることとできないこと」を、気持ちを込めて正面きって語っていただきたいと思います。今こそが、子供と向き合う最大の喜びと苦悩の交錯する尊い時間であります。自分の人生を選ぼうとしているお子様に、是非力いっぱい語っていただくようお願いします。それが、何にもまさる進路の道標ですから。

表１　在校生の進路希望状況

学年＼進路		進学 大学	短大	専修・各種	未定	就職 自家就職	未定その他	合計
1	男	110	2	24	5	7	7	155
	女	58	26	52	14	7	17	174
	計	168	28	76	19	14	24	329
2	男	99	1	15	8	12	3	138
	女	61	24	65	12	14	11	187
	計	160	25	80	20	26	14	325
3	男	96	0	25	3	13	5	142
	女	68	24	52	3	21	8	176
	計	164	24	77	6	34	13	318

表２　平成20年３月卒業生の進路結果

◎進路結果の詳しい内容は、過日６月初旬に全生徒に配ってある『進路の手引』をご覧下さい。詳細に出ています。

学年＼進路	進学（　）は推薦 大学	短大	専修各種等	就職 学校斡旋	縁故就職	公務員	家事家業その他	未定（　）は浪人	合計
男	80 (17)	4 (4)	30 (13)	4	4	2	0	16 (15)	140
女	48 (16)	29 (19)	74 (55)	8	3	0	2	11 (5)	175
計	128 (33)	33 (23)	104 (68)	12	7	2	2	27 (20)	315
	265			21			29		

《４年制大学》合格先…茨城大学　明治大学　法政大学　國學院大學　東洋大学　駒澤大学　専修大学　日本大学　他多数
《短期大学》　合格先…千葉県立衛生短期大学　青山学院女子短期大学　大妻女子大学短期大学部　共立女子短期大学　他多数
《専門学校等》合格先…藤リハビリテーション学院　八千代リハビリテーション学院　千葉医療センター附属看護専門学校
東邦大学佐倉看護専門学校　成田赤十字看護専門学校　日本医科大学看護専門学校
東京歯科大学歯科衛生士専門学校　等の看護医療系をはじめ、各分野に多数
《就職先》…千葉県警察官　警視庁警察官　等の公務員をはじめとして各企業に多数

◇「交通安全教育モデル事業」の会場校をうけて◇

本校では、昨年秋に不幸な交通事故がありました。日常から、ＰＴＡの校外指導委員の方々にご協力をいただきながら、交通安全教室には力を注いできたのですが、死亡事故が起きてしまいました。ご家族、本校生徒・職員のみならず関係者は、大きな悲しみにつつまれました。「われわれに必要な行動は何か？」平成十九年度末に生徒指導部では、この課題克服のため、いろいろなことを模索してきました。そしてその時、この「交通安全教育モデル事業」の会場校を受ける話がもちあがったのです。

具体的には、平成二十年度に二回、学校行事・学年行事として行われます。

第一回目は、七月十七日（木）に、千葉県警察本部交通部交通安全教育課の指導で、全校生徒を対象に、左記の日程でおこないます。

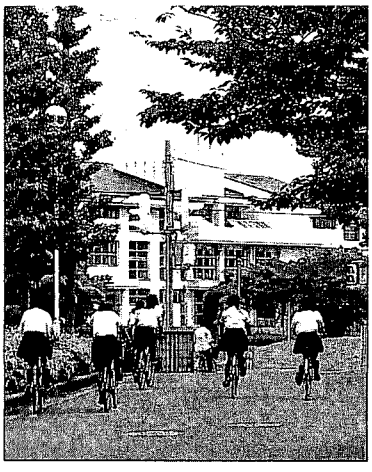
9:15～ 9:25	受付
9:30～ 9:40	開会式
9:40～10:20	講義１
10:20～10:35	休憩
10:35～11:15	講義２
11:15～11:25	閉会式

講義１「自転車事故、そのときあなたはどうしますか？」では、代表生徒三人がステージに上がって、ロールプレイ方式で具体的な事例に従い、事故対応について勉強します。

講義２「自転車事故の責任と損害賠償」では、高校生のレベルでもどれほどの事故に対して損害賠償があるかを、勉強します。

また第二回目は、十月二十四日(金)午前中に、一年生を対象に「通学路の危険」について、県警交通安全教育課から指導があり、さらにＭＡＤＤ Ｊａｐａｎの飯田さんから「大人になる前の君たちに伝えたいこと」という題名で、お話があります。

以上が、「交通安全教育モデル事業」の具体的な実施計画ですが、行事の成功はもちろんですが、このことにより、より一層生徒たちが交通安全に対する意識が高くなり、無事故で過ごしていけることを望みます。



◇キャップ貯金箱◇

このキャップがワクチンになる。世界の子供たちにワクチンを届けよう！

美化委員が、各クラスにペットボトルの『キャップ回収ボックス』を設置しました。飲み終わったペットボトルは、キャップを分けて回収ボックスに入れてください。貯まったキャップは定期的に美化委員が回収します。

このキャップの回収により、途上国の子供たちにポリオなどのワクチンを送ることができます。また、ＣＯ２の削減や石油の節約にも繋がります。ぜひ、ご協力を！



回収されたキャップの量
16.2kg（約6400個）

CO_2の削減
16.686kg（19.7316円相当）
石油の節約
95.256ℓ（6360.5898円相当）
ワクチンの購入

ポリオ（小児麻痺）	24.3人分
ＢＣＧ（結核）	69.4332人分
はしか	5.1192人分
ＭＭＲ（三種混合）	4.2606人分
ＤＰＴ（ジフテリア・百日咳・破傷風）	53.9946人分

◇スクールカウンセラーより◇

スクールカウンセラー　菊地　良恵



高校時代は、親から巣立つ時期に入ってきています。親も、子どもとの距離をどのようにとっていいのかを悩む時期でもあります。子ども達が充実した高校生活が送れるように、保護者の方と一緒に考えていきたいと思っています。

●スクールカウンセラーの相談・申し込み方法

日時　毎週木曜日10時30分～17時
場所　本校１階教育相談室
担当　菊地　良恵先生

次のいずれかでお申し込み下さい。

①相談室に来て、直接スクールカウンセラーに申し込む。
②電話で申し込む。
TEL　０４７６―２７―３４１１
最初は事務が出ます。「内線219、スクールカウンセラーに」と言って下されば、お名前を名乗る必要はありません。
③担任その他の教員を通して申し込む。

相談内容についてお話になる必要はありません。申し込んだ先生からスクールカウンセラーに連絡してくれます。

※相談者の秘密は絶対に守ります。
※生徒、保護者、教員からの相談をお受けいたします。

汗まみれ・泥まみれの運動部

①部活名
②部員数
③活動内容

①男子バレーボール部
②16名



①女子バレーボール部
②②26名
③水曜休みで毎日活動しています。土日は遠征、長期休暇の時は合宿など、日々目標の関東大会出場へ向けて練習しています。

①男子バスケットボール部
②24名
③僕たち男子バスケ部は、まずは県大会出場に向けて、毎日の練習に励んでいます。

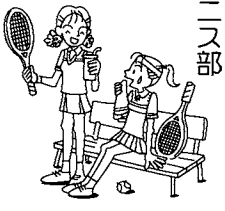
①女子バスケットボール部
②8名
③県大会に向けて、日々努力しながら部活に取り組んでいます。

①男子サッカー部
②28名
③火～日曜の6日間、曜日ごとにテーマを設けて、レベルアップのために練習しています。目標は国立！

①女子サッカー部
②26名
③月曜日ＯＦＦ。火～金曜日、約2時間練習。土、日曜日、練習、練習試合、公式戦。年に2回ほど合宿。

①男子硬式テニス部
②②22名
③曜日によってシングルス、ダブルス用のメニューを行い、日曜日には試合を多くしたりと大会で上位を狙うため皆日々努力しています。

①女子硬式テニス部
②9名



①空手道部
②②12名
③インターハイ千葉県予選、関東大会県予選に出場しました。残念ながら負けてしまいましたが、昨年よりは、強くなりました。

①バドミントン部
②31名



①少林寺拳法部
②②18名
③活動は主に週3回、一日2時間程行っており、基本的な突き蹴りの練習から大会や護身にも使える多数の技の練習をしています。

①弓道部
②男子5名、女子5名
③月曜日は北校舎4階廊下にて、弓を正しく引くための練習、火・金曜日は中台体育館弓道場にて、実射練習を行っています。

①柔道部
②②6名
③僕達柔道部は、日曜日を除く毎日活動しています。人数は少ないですが県大会ベスト16を目指し、激しい稽古に汗を流しています。

①剣道部
②②8名
③剣道部は、基本を中心とした練習をし、応じ技、試合稽古などの試合を意識した練習を2時間から3時間程度やっています。

①卓球部
②男子7名
③僕たち卓球部は7人という非常に少ない人数で活動しています。平日は4時から、休日は朝9時から活動しています。

①陸上部
②21名



①野球部
②男子38名、女子5名
③春夏秋と公式戦があり、今年の夏は90回大会で甲子園に2校が出場します。甲子園目指し、日々練習に汗を流しています。

①ゴルフ部
②②3名
③北高の練習場が近くにある練習場「ベストゴルフ」で練習しています。ゴルフコースも行きます。一緒にゴルフ楽しみましょう。

①男子ハンドボール部
②16名
③今は基礎的な事をしっかり身に付けて、夏の大会で優勝できるように16人全員で頑張っています。

①女子ハンドボール部
②25名



感性と美の文化部・同好会・愛好会

①部活名
②部員数
③活動内容

①科学部
②11名
③物理や化学の実験を行ったり、磯や砂浜での観察をします。成田市内の川の生物調査も行っています。





①美術部
②22名
③好きなものを好きなように描いています。活動日は特に決まっていませんが、用事がない日は自然とみんな集まります。

①吹奏楽部
②31名
③私達は今、野球応援の練習と一年間の練習の集大成である吹奏楽コンクールへ向けて日々、皆で一つのものを作りあげています。

①茶道部
②8名
③私たちは、毎週火曜日に外部講師の大堀先生の指導のもと、歩き方からお点前まで、熱心に稽古に励んでいます。

①書道部
②6名
③書道作品に自分自身を表現して発表しています。書いてみたい言葉や、伝えたいメッセージを皆さん一緒に書いてみませんか。

①演劇部
②3年生1名
③6月14日、成田市民ホールで行われた、地区発表大会に独り芝居で参加しました。現在、秋季大会にむけて部員募集中です。





①イラストレーション同好会
②31名
③毎週木曜日に視聴覚室に集まって、皆で絵を描いています。月一回ほどのペースでコピー本「下剋上」を発刊しています。

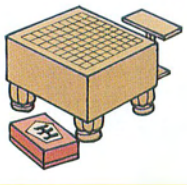
①工芸同好会
②5名
③週3回、月・木・金に活動しています。現在は文化祭の作品作りや、トンボ玉を作るなどの活動を行っています。

①体操・ダンス同好会
②男2名、女14名
③ジャンル別に分かれ、PVを見たり創作したりしながら、自分達の好きな曲で踊っています。みんな仲良い同好会です。

①調理同好会
②3名
③毎週月曜日に活動しています。家から材料を持ち寄って、お菓子作りを中心に協力し合って仲良く楽しく活動しています☆

①軽音楽同好会
②58名
③軽音楽同好会の主な活動は、各学期末に視聴覚室で行われるライブと文化祭でのライブです。皆、ライブのために日々頑張ってます。

①将棋同好会
②6名
③自由対局
詰め将棋
研究



①ペン習字同好会
②3名
③ペン習字同好会では、毎月の審査に向けて課題を練習しています。文化祭ではそれまでに書いてきた作品を掲示しています。

①合唱同好会
②5名
③週1回火曜日に、音楽室で活動しています。現在は文化祭練習を主にしています。校歌・式歌伴奏も合唱同好会が担当しています。

①パソコン同好会
②2名
③パソコン甲子園出場を目標として、そのためのパソコン技術の向上および、出品するプログラムの作成。

①山岳同好会
②8名
③僕達は、週4日、山に登るために必要な体力作りや、生活訓練、山岳知識などしています。みんなで楽しく活動しています。

①郷土史研究愛好会
②7名



編集後記

お忙しい中原稿を書いて下さった多くの皆様のご協力により、無事「なりきた」第七十八号を発刊することが出来ました。
今後も出来るだけ学校の様子を取り上げていきたいと思います。

なりきた

PTA広報誌第79号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



なりきた散歩道

私事で恐縮ですが、昨年末に病を患いました。普段は健康だけが取り柄の私だったので、激しい痛みにさらされること、思い通りに行動できないことに、非常に不安を感じました。

この時、私が改めて認識したことは、「感謝」という言葉です。様々な面でバックアップしていただいた先生方、気遣ってくれた生徒達、そして家族。きっと迷惑をかけていただろうと思うと、普段自分がどれほど感謝の心を持って接していたか、反省することが多々ありました。その意味では病気に対しても"感謝"です。

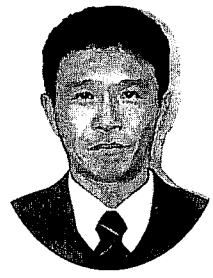
世間では不況や凶悪犯罪その他いやなことばかりに見えますが、何事に対しても感謝の心を持って目を向ければ、少しは気分も和むのではないでしょうか。

（教諭　福田克行）



社会へ羽ばたく皆さんへ

PTA会長　青野　穣



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの脳裏にはこれまでの三年間の思い出が走馬灯のように駆け巡っていることでしょう。皆さんはこの思い出と共に成田北高校を旅立っていくわけですが、皆さんの前にはたくさんの先輩が社会で活躍しています。高校というのは卒業生の社会での活躍がその高校の評価につながるという側面もあります。皆さんもこれからはこの先輩たちに続き、卒業生として成北を盛り上げてください。

明日、社会に羽ばたく皆さんの門出に際し一言送らせていただきます。それは「常に学び続ける姿勢を持ち続けてほしい」ということです。皆さんは高等学校の課程を修了するわけですが、身に付いている知識や判断力はまだまだ十分ではありません。進学する人はそれぞれの選択した分野の知識を深めることはもちろんですが、社会人となる人も職務に関する事はもとより、職務以外の分野でもより多くのものを学び続けるということを心がけて下さい。学ぶ姿勢を持ち続けることでより深みのある人間に成長できるでしょう。

これから皆さんが漕ぎだそうとしている社会は世界的景気後退の中にあり、必ずしも皆さんを温かく迎えてくれる状況ばかりではないと思います。逆風の中にあっても諦めることなくチャレンジし続ける。そして自分磨きを怠らず、社会人として輝ける存在となるとともに、成北の卒業生として在校生の鏡となっていただけることを希望いたします。

最後になりますが、これまでお子様を育んでこられました保護者の皆様のご努力と、ご指導くださいました職員の皆様に敬意を表しますとともに心からお祝い申し上げます。

旅立ち

卒業

学年主任　佐藤敏之

皆さんがこの文を読んでいるのは、卒業式が終わった後です。今日の卒業式、皆さんの心に残るものになったでしょうか。

スポーツ選手が、記録よりも記憶に残るプレーをしたい、とかよく言います。記録はデータとして残りますが、記憶は必要がなければ忘れ去られてしまいます。皆さんの三年間の歩みは記録としては残っています。むしろ、この三年間が、記憶に残るものになってくれたらと願っています。

三橋康孝

卒業おめでとう。担任としての三年間はあっという間でした。その間、皆さんはずい分成長しましたね。うれしい限りです。それに引きかえ、私自身は…。

「皆さんには明るい未来が待っています。」と単純には言えない時代になりました。でも必要以上に暗くなることはありません。

「明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。」

今日やるべき事をしっかりやって行きましょう。

では、また会える事を祈って。

森　知幸

昨日、息子の勇介が2才になりました。息子が生まれたのは卒業生の皆様が一年生の時です。私の中では、皆様の入学～卒業と息子の誕生～成長が重なります。生まれて泣く事しかできなかった赤ん坊が、「立って・歩いて・おしゃべり（単語だけ）・いたずら（よく物を隠す）」ができるようになりました。人は誰でもゼロからのスタートです。今までに多くの事を学び、経験し更に成長していくでしょう。「何ができないのか」ではなく、「何ができるのか」皆様の持つ可能性に期待しています。

川村美佐子

自分の権利を主張する前に成すべき義務を果たそう。そして感動の気持ち、感謝の気持ちを忘れず人間としての豊かさと、心の広さを持てる人間に成長できることを願っています。

意欲的に、絶えず自分の進むべき道を求めよう。今日より明日へ、より良いものを求めて「一歩踏み出す勇気」を常に持ち続けて下さい。

時に悩み、揺れ動き、時に感動を共有し過ごした三年間……。

ありがとう!!

そして、卒業おめでとう!!

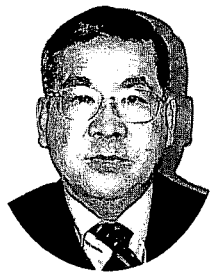
卒業おめでとう!

松枝成芳

今日、高校卒業は一つの通過儀礼にすぎない時代ですが、この三年間はみな誰でもが心身ともに確実に、そして一段たくましく成長しました。修学旅行、部活動、受

卒業によせて

校長　玉造　功



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。心よりお祝いいたします。

皆さんは、百年に一度ともいわれる歴史的な危機に見舞われた世界に歩を進めようとしています。

自分たちは何てついていないんだろう、損なめぐり合わせを怨む人もいることでしょう。

そのような人に「莫妄想（まくもうぞう　妄想スルコト莫レ）」という禅の言葉を贈ります。逆境や、ツイていない時期に遭遇することはたしかにあります。しかし、逆境が人間をだめにするのではありません。逆境時の妄想が人間をだめにするのです。

逆境にあって人はともすると、過去を変えることはできないのに、終わってしまったことをいつまでも悔やんだり、人のせいにして怨んだりします。また、未来のことは誰にも分からないのに、未来を「妄想」し、未来に怯えて悩んだりします。そこからは何も生まれません。過去や未来を思い悩むよりもまず、あるのは目の前の現実のみ。そのあるがままを受け止めて、今できることに全力を尽くすことです。

「人間万事塞翁が馬」の故事のように、禍福はあざなえる縄の如く人生にめぐりくるものです。順境にあっても決しておごらず、めぐりくるであろう困難に備えて力を蓄え、逆境においては最善の努力をしてこれに耐え、自分を錬磨する機会であり次の好機により大きく羽ばたくための期間とも考え、着実な歩みをしてほしいものです。

春風や闘志抱きて丘に立つ　虚子



祝　卒業　いい日

験勉強、級友との談笑等々どれもがそれぞれ喜怒哀楽を伴って脳裡に浮かんでくることでしょう。

これらはこれからの後半生において必ずや良き青春時代の一コマとして懐かしく思い出されるはずです。この高校生活の三年間を土台に、また糧として楽しく心豊かな人生を築いていって下さい。

おもしろきこと　なきせを　おもしろく

高橋　清行

これは幕末の高杉晋作の辞世の句である。このあとに続けて、何と読むつもりであったかのかはわからない。彼にはもう一句、「遅れてもなほ遅れても遅れても、誓ひしことを我忘れめや」という歌がある。とりたてて優れた歌だとは思わないが、志を持ち、自分の人生に誇りをもって生きたように思う。私たちも成田北高校の卒業生として、自分に誇りをもってさらりと生きたいものである。

出発の日

原田　久美子

あなたの心にあるのは、どんな思いでしょう。

人生という海原に漕ぎ出せば、誰にも同じだけの喜びや、悲しみが用意されていると言います。

心躍る素敵な出会いがあれば、胸が引き裂かれるほどの、辛い別れもあるでしょう。

船が転覆しそうな大嵐の日でもその後には必ず、穏やかな朝和ぎが待っていることでしょう。

不安もあるでしょう。でも大丈夫。きっと乗り越えていけます。皆さんに幸あれ！卒業おめでとう。

卒業する皆さんへ

東福　正彦

皆さんと出会ったのは二年前でした。皆さんが二年生になった年に私は北高に赴任し、同時に二年生の担任をすることになりました。右も左もわからず、毎日その日を乗り切るので精一杯でした。私が担任であることで、皆さんにはとても迷惑をかけたことと思います。私では役不足なことも多かったと思います。いっぱい我慢をさせてしまったと思います。それでもなんとか卒業を迎えることができ、今は「ホッ」としています。

最高の瞬間に！

高柳　良一

古くは山口百恵。最近では中田英寿。キャリアのピークで次のステップを目指す心境がわかる気がする。今の美しさを汚したくない。最高に美しい思い出を携え、新たな道を歩みたい。

今年のクラスは最高でした。去年もそう思ったけど、今年は更に満足。もうこれ以上は望めないくらい「平和で、誰もが主役のクラス」実現。成北九年今が最高。

PTA活動　一年を振り返って

校外指導委員会

委員長　大柳瑞子

校外指導委員会では、年間九日間の自転車登校指導と、年二回の合同街頭指導を行いました。

第一回目の成田駅での合同街頭指導では、服装の事で先生に注意を受ける生徒もいました。

第二回目の合同街頭指導は、成田駅から佐原方面への乗車指導を行いました。

マナー違反をしている生徒はいなくて比較的落ち着いていました。

今年、成北は「交通安全教育モデル事業」の会場となりました。

第一回目は、七月十七日（木）に、第二回目は十月二十四日（金）に行われました。

この会校により自転車通学の多い成北生徒一人一人の、交通安全に対する意識が高められたことと思います。

国際交流委員会

委員長　佐久間幸恵

本年度の活動は、七月十八日から八月四日までオーストラリアのワガワガ高校へ篠原教諭引率のもと、一年生四名、二年生六名が訪問しました。

今回の訪問の際には、燃油特別付加運賃の改定により、当初より旅行代金が増えてしまい保護者の方々にご迷惑をおかけしました。また、はしかの流行も心配されましたが、参加者全員が予防接種を受け訪問する事ができました。

オーストラリアでは、文化や生活環境、食生活の違いなど戸惑いも沢山あったようですが、十八日間滞在してきた生徒の皆さんを成田空港で迎えた時のキラキラした笑顔がとても印象的で、何も聞かなくても良い経験をしてきたという事が感じられました。

ワガワガ高校では創立百周年の記念行事として「楓」の植樹を計画しているそうです。昨年の訪問で見学した「宮島」の紅葉の美しさに感銘を受けた引率の先生と生徒の皆さんの希望だそうです。これからは「楓」を学校のシンボルにしていきたいという事でした。本年度はワガワガ高校からの訪問はありませんでしたが、来年度を楽しみにしたいと思います。

オーストラリア訪問を何事もなく無事に終了できたのも篠原先生をはじめ、他の先生方、保護者の方々のご協力によるものと感謝しております。皆様、本当にありがとうございました。

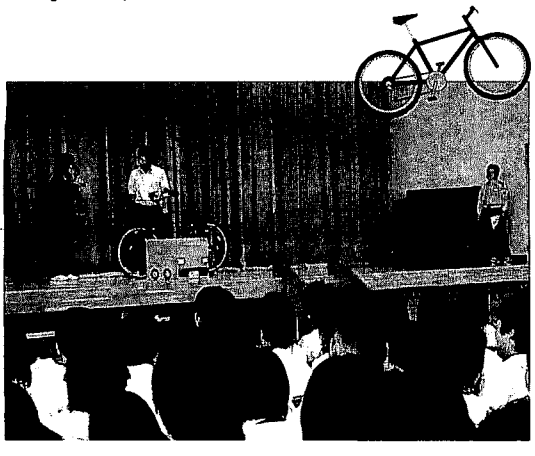
交通安全教室について

生徒指導部長　岡田　裕

昨年度秋に、不幸な交通死亡事故がありました。交通安全を生徒指導の第一と考えているところに、県生活交通安全課と千葉県警の方から、年二回開催する交通安全教室モデル校指定の依頼があり、本校の希望と一致し、この行事を行うこととなりました。

第一回目は、七月十七日に全校生徒対象で、講義1として、自転車事故についての講習がありました。自動車との事故が起きた時の対応について、数人の生徒代表がステージに上がり、ロールプレイングを行い、現実に事故現場で、良い運転手さんと悪い運転手さんの対応の違いや、自分たちの必要な行動を具体的に知ることができ、現場対応の大切さを学びました。その後、講義2で、自転車事故での補償・責任の問題の講習があり、自転車といえども歩行者や、交通弱者に対して、重い補償責任があることを知りました。

第二回目は、十月二十四日に一年生を対象に、講義1で、成田駅から本校までの間の危険な通学路を警察の方が写真で示し、場所の確認と安全に通行するための必要事項の理解をしました。



講義2では、飲酒運転による悲惨な事故体験を、MADDJAPAN飯田さんの講義があり、その後、飲酒体験ゴーグルをつけて、酔っぱらった状態では、自分の思いどおりにはならないということを知り、「絶対に飲酒運転はしない」という決意を、高校生の時から育てる大切さを学びました。

以上二回の講習会がありましたが、講習に臨む態度は大変真面目で、関係の方々からお褒めの言葉をいただきました。しかし、通学時の自転車乗車状態はあまり良くなく「他人に迷惑をかけない」「事故を起こさない」乗車マナーを身につけてもらいたいものです。

（※二月十日の下校時に、自転車の二列走行をしていて、自動車と接触しそうになり、路肩で自爆、数針縫う事故が起きてしまいました。）

関東地区高P連大会
七月四～五日

ＰＴＡ副会長　石橋　久和

第五十四回関東地区高等学校ＰＴＡ連合会大会が、茨城県つくば市で、七月四日、五日と開催され、本校より田中教頭先生、青野会長、寺内先生と四人で参加してまいりました。

一日目の全体会では、茨城の特色あるアトラクションが披露され、記念講演は、茨城大学の三村信男先生より、地球温暖化による、世界各地への影響と温暖化への色々の対策のお話を聞く事が出来ました。

二日目の分科会では、「生徒指導とＰＴＡ」をテーマに、二校による発表がありました。

二回目となる関東地区大会への出席ですが、各校ＰＴＡが苦労しながらも、学校・地域と連携しながら、特色ある活動をしている様子が伝わってくる大会でした。



高P連全国大会
八月二十三～二十四日

一学年委員長　瀧﨑　博

「絆」って何んだろう?

平成二十年八月、全国高等学校ＰＴＡ連合会愛知大会が名古屋市で開催された。大会は「絆～愛と知で結び会う心と心～」というテーマで、地域社会の中で親として子ども達にどう向き合えばいいのか、親子、地域、人間としての絆を今一度考え、ＰＴＡとして何が出来るかを考えようとの趣旨だった。

一日目は県内二校の管弦楽団、吹奏楽部による演奏の後、式典・表彰・記念講演と続き、分科会は「学校教育とＰＴＡ」に参加。開かれた学校づくりのために「学校評価制度」や「学校評議員制度」が導入されつつある今、学校とＰＴＡの望ましい連携のあり方を四校の実践発表をもとに研究協議した。

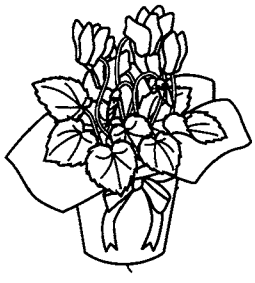
二日目は高校生によるファッションショーと、俳優・奥田瑛二氏の「絆」と題した対談。九千名が参加、一四〇〇人のスタッフと一億円の一大イベント。教育って本当にお金がかかりますね。

印旛地区ＰＴＡ合同研修会
十月十五日

一学年副委員長　佐久間真紀

ユーカリが丘のウィシュトンホテルにて印旛地区十五校の高校が集まり、研修会、講演会、情報交換会が行われました。生徒指導については、授業妨害になるような行動をとる生徒に対して教科教員が注意しても直らない場合、学年指導主任→指導主事→校長と話がいき、場合によっては出席停止にもなりうるように、きちんと授業を受けられる態勢を整えていくように取り組んでいるそうです。

また、「思春期の子育て」についてスクールカウンセラーの野村俊氏の講演があり、母親というのは子供を慈しみ可愛がる面と、時には疎ましく思う面とが誰でも持ち合わせているのですが、それもただ可愛がるだけではその比護の中で育ち自立できなくなってしまい、その二面性がうまくバランスがとれることで、子供にとっては良い方向に繋がるというお話で、とても興味深いものでした。



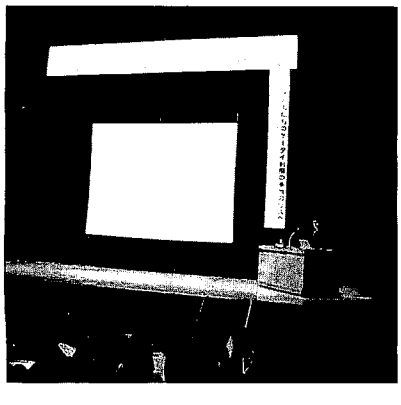
千葉県高Ｐ連研修会
一月二十七日

ＰＴＡ理事　山田　尚子

行って来ました研修会。テーマは「子どものケータイの本当のリスク」。

講演の前に千葉県の現状報告。リスク回避のため、ＤＶＤ制作等千葉県頑張ってくれていますよ。

ヤフーの法務部の方の講演は、予想外と言っては何ですが、実りの多いものでした。携帯のサイトやプロフについては、何となくは知っているし、細かく言われてはお手上げの私ですが、親として何を知っておくべきかという事に絞ってのお話でしたのでわかりやすかったです。携帯のリスクについては押さえておくべきでも、大切なのは、子どもが「相談できる親である事。」とのお話。安心するとともに、我が身を振り返って反省。それにしても、こういった教育は高校生では、少し遅いかも?



黎明祭バザー

九月十三日

二学年副委員長　大場　弥生

初めて手にした引き継ぎのノートには、今までたくさんの人が関わって作り上げてきた重みや温かさがありました。お米や野菜を毎年寄付して下さっている方々、献品、あるいは労力で協力されている方々等、子供達の母校を大切にしたいという親心がひしひしと伝わってくる記録でした。

さて、バザー当日、自分に大きな手ぬかりがないようにと願うばかりでしたが、そんな心配は無用、父や母の行動力は、笑顔とエネルギーとなり、ガンガン売りさばき、気がついた頃には、ガラガラになっていました。無事に、生徒会に八万七千百一円を寄付することができ、皆様のご協力に感謝すると共に、この大切なノートに新しい一ページを記させていただいた次第です。寺内先生はじめ、学校の方々にもお世話になりました。



バザー風景

PTA川柳

PTAと生徒に募集した川柳を今年も黎明祭当日に発表しましたのでご紹介します。

いつまでも　払うと思うな　携帯代
共学の　教室覗けば　みな女子（おなご）
ありがとう　たまには聞きたい　その言葉
明日こそ　一度ですんなり　起きてくれ
９０７　欲しいというが　我９００
マニフェスト　親子初めて　一致する
テスト前　せめて教科書　持ち帰れ
ないスネも　しゃぶれば少し　もつかもね
かじられて　年々すねが　スマートに
クラスでは　おとなしいのと　娘言い
それはない　多分充分　騒いでる
おい息子　昔のかわいさ　ど行った？
息子のシャツ　着ないからと　譲り受け
ごめんなさい　おまえが悪い　お互い様
若返る　私の服は　子のお古
機種変更　娘は新型　父古型
志望校　夏が過ぎたら　急降下
オレだって　やるときゃやるさ　それはいつ？

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

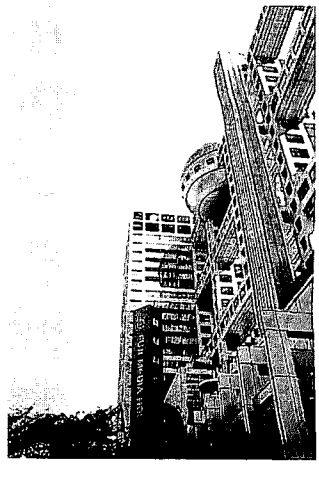
研修旅行

十月十七日

研修委員長　吉澤佳代子

去る十月十七日、朝九時に北高を出発した貸切バスは、一路東京港区お台場のフジテレビ目指して車中なごやか（？）に進みました。十時半前に到着し、記念撮影の後、二十五階の球体展望室に昇り大パノラマを楽しみました。その後は各自、スタジオ見学や本物そっくりのセットで写真を撮ったりし、パンフレット片手に「番組ができるまで」や「アナウンサーの一日」などを楽しく学んできました。





十二時半から日航ホテルにてランチをいただいた後、お台場の散策をし、会員同志の交流も深まったことと思います。お土産を手に四時半には無事、北高に帰って来ました。今回は、ＰＴＡ会長、教頭先生はじめ、二十六名の方に参加していただき、楽しく過ごす事ができました。ご協力に感謝致します。

このキャップがワクチンになる。世界の子供たちにワクチンを届けよう！

『キャップの貯金箱』

回収されたキャップの量
41.2kg（約16400個）

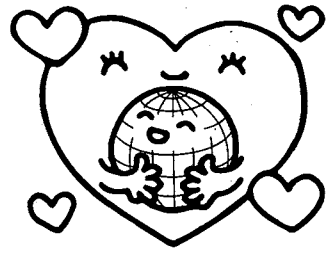


CO2の削減
42.4kg（排出権価格にして50.2円相当）

石油の節約
242.3ℓ（原油価格にして16176.3円相当）

ワクチンの購入

ポリオ（小児麻痺）	20.6人分
ＢＣＧ（結核）	58.9人分
はしか	4.3人分
ＭＭＲ（三種混合）	3.6人分
ＤＰＴ（ジフテリア・百日咳・破傷風）	45.8人分



美化委員が各クラスに設置したペットボトルの『キャップ回収ボックス』。このキャップの回収により、途上国の子供たちにポリオなどのワクチンを送ることができます。また、ＣＯ２の削減や石油の節約にも繋がります。

飲み終わったペットボトルは、キャップを分けて回収ボックスに入れてください。貯まったキャップは定期的に美化委員が回収します。

『キャップの貯金箱』事務局よりお礼と回収の報告も届いています。引き続きご協力をお願いします。



＊＊＊

部活動紹介

山岳同好会

僕達は五月に行われた千葉県高校総体で六位に入賞し、関東大会に出場することができた。場所は日光で一日目は開会式を行った。二日目はキャンプ場から山王帽子山、小太郎山、太郎山を登った。三日目は戦場ヶ原を一周し、閉会式をして関東大会は終わった。

天気にも恵まれ、秋の山は紅葉がとても綺麗だった。また、他の高校の人とも交流でき、いい経験になった。今年も積極的に活動し、更なる向上を目指したい。



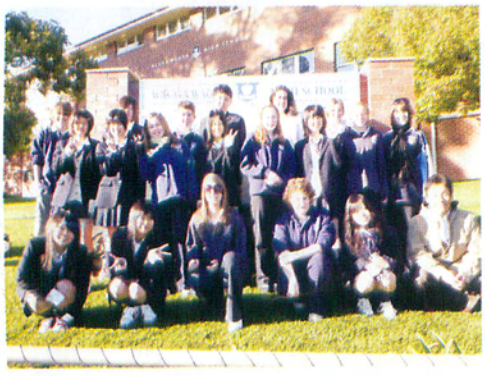
関東高等学校

祝 関東大会出場





ホームステイ inオーストラリア



修学旅行 inオキナワ





沖縄の修学旅行は天気がすべてと言われています。あとは沖縄が教えてくれるということです。

空港ロビーから一歩出たとたんに焼けつく日差しと真夏の風の出迎え。まぶしそうな目で上着を脱ぎながら「暑い」を連発する生徒達。百の言葉よりも確実に沖縄を教えてくれた瞬間です。同時に修学旅行の成功を確信した瞬間でもありました。

まぶしい太陽にぴったりの生徒達の笑顔に、何とも言えない幸せを感じた四日間でした。



編集後記



今年度も「なりきた」七十八・七十九号の発行に際して、先生方はじめ多くの方に快くご協力いただきありがとうございました。

広報委員一同心より感謝申し上げます。

なりきた

PTA広報誌第80号
発行・編集
千葉県立成田北高等学校
ＰＴＡ広報委員会
〒286-0011
成田市玉造５丁目１番
TEL 0476（27）3411



なりきた散歩道

「ウミハ」か「ヤマハ」か、夏になると人間は二通りのタイプに分かれる。つまり、海に行きたいか、山に行きたいか、である。「ウミハ」は開放的な雰囲気の中で冒険するタイプ。「ヤマハ」は厳しい自然条件の中で自分を鍛えようとするタイプ。▲将来について悩み、高原の湖畔で一人キャンプをした高校生時代の思い出がある。八ヶ岳山麓にテントを張る。簡単な夕食を済ませると早々にスリーピングバッグに潜り込む。いろいろなことが頭を過る。自分はなんでこんなところにいるのだろう。惰性的な日常生活から脱却するためか。友達はみんな今頃受験勉強をしているのだろうか。テントの中で一人、人生について、将来のことについてあれこれ考えている。そんなことを考えているうちに、いつしか犬のように眠り込んでしまった。一九六八年七月二十六日のことだ。▲誘惑いっぱいの華やかな海は人生を考えるのには少し不向き。やはり山がいい。どちらにしても、非日常的生活の中から日常に繋がる普遍性を発見することもできるのではないか。危険がいっぱいの夏休み、気をつけて。

（副会長　瀧嵜　博）

成田北高等学校の新たなる黎明の時を迎えて

PTA会長　石橋久和



本年度PTA会長を務めさせていただきます、石橋と申します。

PTA会員の皆様には、日頃より多大なる御理解、御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。さる五月三十日のPTA総会において、新しい役員、そして事業計画が承認され、新しい一年がスタート致しました。身の引き締まる思いと共に、一年間皆様とPTA活動に邁進したい所存であります。

さて本校は昭和五十五年に開校し、今年でちょうど創立三十年を迎える事となります。この大きな節目である三十周年を記念し、本年十一月二十日に記念式典を行う事が決定致しました。もっか実行委員会の中で、式典の内容、記念事業などを計画中であります。来たる十一月二十日には、在校生はもちろん、本校に縁のある皆様と三十年の歴史を顧みながら、お祝いをしたく思っております。

そしてこの本校創立三十周年に合わせていただいたかのように、本校より徒歩数分の場所に、成田新高速鉄道の新駅、成田湯川駅が来年春にオープンする予定です。この新駅のオープンと同時に成田空港と都心が成田新高速鉄道で結ばれ、京成スカイライナーの新型車両により、日暮里―空港間が最短三十六分で運転される事になっています。この新駅の建設、オープンに伴い、駅周辺の開発も進み、本校に対する注目度は一段とアップし、近隣の中学生の入学に対する関心も高まる事でしょう。

又、来年は、九月から十月にかけて千葉県において、第六十五回国民体育大会、第十回全国障害者スポーツ大会が行われる事が決定されております。その障害者スポーツ大会のグランドソフトボール競技の会場として、本校は指定されております。既に大会事務局が中心になり、準備そしてPR活動を行っていますが、競技会場校として本校も色々な形で、協力・お手伝いを行う事となるでしょう。

このように、今年から来年に渡り、創立三十周年、成田湯川駅のオープン、そして全国障害者スポーツ大会と大きな行事、出来事が続きますが、これも成田北高等学校の新たなる黎明の時と捉え、本校三十年の歴史を踏まえつつ、大きく未来に向けて飛躍する機会になる事を強く望んでいます。

* * * \

委員長あいさつ

校外指導委員長

大柳瑞子



昨年に引き続き校外指導委員長を務めさせていただくことになりました大柳と申します。

一年間、校外指導委員の方、先生方と共に年二回の成田駅での街頭指導、又、年九回の自転車登校指導を行いたいと思います。

昨年より校外指導委員となり、活動する中、気になる事は、信号無視が多い事や細い路地からの飛び出しなどです。

一人一人の自覚が大切だと思います。ちょっとした注意のなさが大きな事故になる事があります。

生徒の皆さん、交通ルールをしっかりと守って下さい。

広報委員長

蓑田美紀



昨年度に引き続き、今年度も広報委員長の大役をお受けしました蓑田です。

昨年同様、広報誌「なりきた」は、年二回（七月・三月）の発行です。発行については変わりませんが、一回の発行につき広報委員会の集まりが、二回から三回と回数が増え、役員の方々には少し負担がかかるかと思いますが、限られた時間の中で協力し合いながら、より良い広報誌をめざし努力していこうと思っています。又、原稿をお願いし、快く引き受けて下さる先生方をはじめ、子供達の力により「なりきた」は支えられていることを実感しています。

今年も学校でのさまざまな行事や情報、部活で活躍する子供達、そして、十一月に行われる三十周年記念事業についてもお知らせしていきたいと思っています。

広報誌「なりきた」を通し、保護者の方にも、色々な様子を伝えられたらと、役員一同頑張っていきたいと思います。

一年間、どうぞ皆様よろしくお願い致します。

国際交流委員長

佐久間幸恵



本年度も国際交流委員長を務めさせて頂く事になりました佐久間と申します。

今年も予定しておりました姉妹校であるオーストラリアのワガワガ高校への短期派遣プログラムの活動計画についてですが、五月中旬に問題となった新型インフルエンザ流行の影響によりやむを得ず中止を決定いたしました。今回、一年生六名、二年生二名の応募があり、引率の先生も決定して事前研修も始まった矢先だった為、残念に思います。

ワガワガ高校からの例年の訪問が十一月の為、本校で今年行われる創立三十周年記念式典と重なれば、姉妹校としての更なる飛躍を願い、記念植樹をとも考えていたのですが、世界経済悪化でオーストラリアドル安にもつながったこともあり、とても日本への訪問計画を立てる状況ではないとの連絡が入りました。

国際交流委員会としての大きな活動は中止となってしまいましたが、他の学校行事には参加をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

＊＊＊

学年主任より

お願い

一学年主任　綿貫　清

早いもので、あの入学式から三ヶ月以上が過ぎ、もう一学期も終わろうとしています。生徒たちの様子は、良く言えば学校生活に慣れた、悪く言えば気がゆるんできたといえるでしょう。

この気のゆるみは、頭髪や服装の乱れ、授業に取り組む姿勢など様々な面で見受けられます。学校ではその都度きっちりと指導しておりますが、いま一番の心配事は、何と言っても交通事故の多さです。

わずか三ヶ月程の間に、無傷で済んだ事故から入院に至る重大な事故まで数件あり、中には加害者となるケースもありました。それらのほとんどが気のゆるみや自転車マナーの悪さが原因です。

学校では集会やホームルームでことあるごとに指導しておりますが、本当に残念なのですが、我々の言葉はなかなか生徒たちの心に届かないのが現状です。

入学式の時にもお願いしましたが、今一度お子様の学校生活全般について、交通安全について、御家庭で御指導頂ければと思います。

他人ではなく肉親の、本当の愛情から発せられる言葉は必ず子どもたちの心に響くはずです。

近況報告

二学年主任　福田克行

本年は生徒達にとって高校生活の最大の行事となる修学旅行を十月に控え、事前学習や体験見学コース作りなどの準備を着々と行っています。出来る限り生徒達自身に考えさせ、作り上げて行けるように学年職員も取り組んでいます。

また、一方では最終学年に向けて夢・希望の実現に各々が準備しはじめるのも第二学年にとっては大事なことです。先日（六月十八日）には分野別進路ガイダンスを実施し、進路先となる企業・大学・専門学校の方々をお招きして、「どのような力を身につけておいて欲しいのか」「高校生に望むこと」をテーマに二時間にわたって話していただきました。講師の方々に後から伺ったのですが、概ね意欲的に聴いていた様です。来学期は見学会も実施致します。

さて、夏休みを迎えます。自ら計画的に過ごすというのは中々難しいことですが、是非自分を大切に、チャレンジして欲しいと思います。一歩一歩の成長を期待します。御家庭におかれましても、妥協せずかつ温かくお願い致します。

何とかなる？

三学年主任　石倉裕之

「進路は決まった？」「ちゃんと準備してる？」「勉強は？」…先生方からよく言われる言葉です。それに対してよく耳にするのが「何とかなるんじゃない？」という答えです。何気ない会話なのでしょうが、私にはとても気になるのです。

人生において、とてつもない壁に当たった時、絶望した時、心の傷を癒し、再び立ち上がろうとして、あるいはそういった人を励まそうとして「何とかなるよ」という言葉を使うことは、とても有効でしょう。でも、この言葉は、現状から逃げたり、努力を怠ったりする時の言い訳として使ってはいけないと思います。何もしないで「何とかなる」ことは決してありえないからです。

今の時代は、努力しても「何とかならない」ことが多くなっています。「何とかなる」と考えるのではなく「何とかする」という強い意志が必要とされます。何とかしようと努力して壁にはね返された時、初めて「大丈夫、まだまだ何とかなる」と、自分を励ましましょう。健闘を祈ります。

「創立30周年記念事業実行委員会」経過報告

教頭　田中正之

いよいよ創立30周年記念事業まであと残すところ５ヶ月になりました。３月に第３回準備委員会を開き実行委員会立ち上げの最終確認をし、５月18日（月）には第１回実行委員会を開きました。実行委員長にはＰＴＡ会長の石橋久和様、副委員長には後援会長の谷照雄様、同窓会長の石井幹夫様そして本校校長が選出され、委員にはＰＴＡ副会長・顧問の皆様と校長が指名した職員とで組織されました。その後会計と会計監査をそれぞれ選出し、準備委員会での決定事項を確認し、新たに提案された案件について審議しました。実行委員会で承認・確認された事項について報告いたします。

(1)日程　平成21年11月20日（金）
　午前中　授業・清掃・準備
　午後１時～　記念式典・記念講演会
(2)場所　本校体育館（記念式典・記念講演会）
　メルキュールホテル成田（祝賀会）
(3)記念品　学校東門周辺の整備
(4)記念講演会講師
　元千葉ロッテマリーンズ投手　黒木知宏氏
(5)記念誌　250部（CDを中心にできるだけコンパクトに）
(6)校内委員会　①30周年記念事業総務委員会(祝賀会を含む)
　②30周年記念誌編集委員会
　③30周年記念式典準備委員会(記念品を含む)

以上が当日承認・確認された事項です。なお次回は来賓等の検討を中心に７月23日（木）に開催する予定です。

日頃の学習活動について

教務主任　佐々木　輝　彦

七月、一年生も高校生活に慣れ最初の期末考査を迎えようとしている。三年生にとっては進路を決める上で大事な考査でもある。この時期の放課後の教室では、一心不乱に机に向かっている者や、友達同士で教え合っている者など様々な光景を見ることができる。このような生徒達の姿を見るにつけ日頃の学習活動の重要性を強く感じる。

なんといっても、授業を大切にすることが大事である。本校では「遅刻をせず、チャイムとともに授業がはじまる。」ということを生徒も職員も目標としている。休み時間と授業のけじめをしっかりつけ、積極的に授業に臨むことが重要である。また、学力の定着をはかるのには復習が一番である。復習の習慣がない生徒は、是非とも復習の習慣を身につけてほしいものである。

次に、基礎学力の向上を目的として学年が主体となって漢字テストや英単テストをHR等で実施している。地味ではあるが三年間真面目に取り組むと大きな効果を上げることができる。特に、英単テストは三年間でセンター入試に出る単語のほとんどを網羅しているので、一年生から進学の準備ができるのである。

期末考査が終わると生徒たちが待ちわびた夏休みが始まる。その夏休みには、進学希望者を対象とした十八講座の夏期補習が開講される。この機会を逃すことなく進んで受講し、自分の目標が達成できるよう更なる飛躍を期待している。

卒業生より

拝啓　北高生の皆さんへ

北高で３年間を過ごして

小西　麗生

私が受験を意識するようになったのは、実は２年の中頃からでした。それまでは留学を考えていたからです。英語こそしっかり勉強してはいたものの他の教科に関しては全く自信がなく不安だらけでした。何をどう勉強すれば良いかも解らなかったので、とりあえずそれまで通り授業をよく聞き、テスト勉強をしました。模試を受け復習をし、一方で私自身が興味のある経済について勉強を始めました。推薦を意識しての行動です。誰だって早く進路を決めたい、私も例にもれずそのその内の一人だったわけです。

勉強する時は、推薦だろうが一般だろうが「受かってやる、北高生なめるなよ！」と闘志を燃やしていました。因みに私は女ですけれど、この闘志が合格には必要不可欠です。

とても幸運な事に、北高には素晴らしい先生方が揃っていて、質問するととても丁寧に教えて下さったので、勉強そのものが楽しくもありました。勉強は解れば楽しいのですが解るまでが大変です。その解るまでの苦労を先生方と共有する場、それが学校だと考えて、かなりの苦労を先生方と共有しました。その結果、合格を知った時の達成感や満足感を味わう事ができました。

勉強の仕方は人それぞれですが、ともかく戦って下さい。そして勝って下さい。戦う相手は、自分と睡魔と未来とかいうやつです。私は勝てたようです、先生方と一緒に。　（早稲田大学政経学部）

大隈講堂に感動して

加瀬　叶

今年の春、僕はとても満足して大学の入学式を迎えることができた。目指した大学、心から行きたいと思った大学で入学式を迎えることができたからだ。大隈講堂を一学生として見たときは思わず泣きそうになった。

去年１年間、僕は恵まれた環境にいたと思う。予備校では勉強を始めたばかりで授業について行けなかったが、同じ理想を持った原君がいたおかげで頑張ることができた。原君とは数学や物理を教えあったり、予備校の小テストを競い合った。夏からは部活を引退した當房君が加わって、みんなで英語の勉強を競い合った。休日はみんなで昼食をとりながら、勉強の進み具合を話したり、わからない問題を考えたり、みんなで模試の結果に一喜一憂した。もちろん第一志望に受からなかった人もいるがお互いに高めあえたのは間違いない。

学校では遅刻したり早退したり、授業中に別の勉強したりしている僕に嫌そうにしながらも励ましてくれる先生がいたし（もちろん全員とはいえないが）、何気ないことだがとても励みになった。

入学試験はもちろん一人で挑むものだ。テスト中に助けてくれる人などいない。だが僕は助け合う友だちがいなかったら第１志望の大学に合格していなかっただろう。

ただ一つ確かなことは去年１年間でとても成長できたということだ。　（早稲田大学教育学部）

部活から勉強へ

當房　隼人

受験勉強を始めたのは、部活が終わった６月の後半からだった。何となく「とりあえず予備校に行ってみよう」という気持ちだった。予備校の体験授業で、僕が見たのは、黙々と何時間も自習室に籠もり勉強している他校の生徒たちだった。今思い返してみるとその時に他の高校生との勉強の差を思い知った。僕が受験で競っていくのはこういう人たちなんだ、と気づくことができたことが大学受験の大事な一歩だった。

次の３つの理由で、７月から受験までの８ヶ月間を勉強に集中することができた。

１つ目は受験科目の英・社の勉強がもともと好きだったこと。私立文系を目指す僕にはこの２科目が得点源になった。２つ目は切磋琢磨しあえる友人がいたこと。自分より勉強のできる友だちと模試などで競い合うことでお互いの向上心のアップにつながったこと。３つ目は成績が上がっていく自分を感じることができたこと。僕の中ではこの３つ目がもっとも大きな力になった。

１、２回目の模試はひどい結果だったが、その反省を後の勉強に生かして成績が伸びたときは自分の勉強方法が間違っていないことが実感できたし、本番への弾みもついた。

大学受験を終えて、少し成長することができたと思う。今までの人生の中で、ここまで一つのことに集中できたことは大きな出来事だった。勉強に明け暮れた８ヶ月間は高校生活の大きな思い出だ。　（法政大学文学部）

生徒指導部より

★身だしなみ指導について

成田北高の生徒が、制服の着こなしが悪く、そのため、本来の姿に見合う評価が世間でなされていないことを、平成二十年度末に、保護者の皆さんにお手紙でお伝えしました。

新年度四月より、身だしなみを整える指導として、「短いスカートの預かりや、ネクタイの正しい位置での締め、シャツをズボン・スカートに入れること」などを指導してきました。

三年生は、スカートを自分で切ってしまったり、切ったスカートを先輩から譲り受けているなど、違反スカートが多くありました。進路決定に関わる面接の時の服装を考慮に入れるなど、現状を把握し、世間の目に対する配慮の必要性や考え方を理解する生徒が多くなり、切ってしまったスカートは激減しました。

二年生は、切ってしまった生徒は少なく、預からなければならないスカートの数は、三年生よりは下回りました。

現在の指導の中での問題点は、切ってはいないがウエストで折り曲げて、スカートを短くしてはく生徒が大多数いるということです。ウエストで折り曲げると、ヒダもバラバラとなり、本来の目的である身だしなみを整えるという観点からは、かなり見た目が悪く、悲しい状態での着こなしとなっています。

注意をされれば直すことができる素直な生徒達も、ほとんどの人が、言われなければ乱れたままの着こなしとなっています。我々は、二十四時間張り付いて指導することは出来ません。生徒本人の自覚にのみ、世間で認められる状態をつくることができるのです。高校生となり、自由を獲得した分、自己責任と集団への責任が重くなっています。このことを本当に理解し、行動することはできないのでしょうか。

七月一日に、印旛地区ＰＴＡ合同ＪＲ成田駅前街頭指導がありました。校内ではなく校外ではどのような服装でいるか。この三ヶ月の成果を知る機会となりました。前年度に比べれば、改善はされているものの、まだまだ短いスカート、シャツ出し、だらしないネクタイが多く、残念な結果でした。

今後も、本当の中身と外見にギャップがない評価となるよう、根気強く指導をして、生徒の理解と責任ある行動力を求めてゆきたいと思います。

★交通安全について

新学期がはじまり三ヶ月が過ぎましたが、昨年の交通安全教育モデル校として、安全教育に重点をおいて指導したにもかかわらず、今年は例年にくらべ、悲しいことですが、交通事故が多く発生しています。印旛地区内の高校でも、やはり多いようです。

事故の内容は自転車がらみの事案で、対自動車・対自転車・対歩行者です。

六月の初めに、成田日赤病院近くの国道信号交差点で、右折の自動車にはねられ、救急車で運ばれ、成田日赤病院に入院するという事故がありました。幸い命に関わることは無かったのですが、事故直後は、大変心配をする大事故でした。過失のほとんどは自動車側にありますが、ケガをするのはこちらです。横断歩道上であっても、道路横断の時は十二分に周りを注意して、事故を防ぎたいものです。

苦情電話の多くに、信号無視があります。北高の近くにある神宮寺小学校横の信号交差点は、地元の自動車ドライバーに「常時赤信号交差点（北高生自転車の信号無視があるため）」と言われているそうです。嘆かわしい現実です。

交差点歩道上での自転車同士の衝突事故もありました。完全な前方不注意です。注意不足の原因のひとつに、耳にウォークマンをつけて走行することがあります。かなり多くの生徒が、いろんな機会に注意しているにもかかわらずやめません。ヒヤッとしたことはないでしょうか。

対歩行者の事故は、歩道上で起きています。歩道でバス待ちをしている歩行者に接触したり、歩いている人が危険を感じるような無謀な走行です。道路交通法の改正により、歩道上の自転車走行も一部許可となりましたが、他方自転車の賠償責任も重くなりました。高校生と言えども、何千万円もの賠償責任を負うことがあります。昨年の交通安全教室でも説明がありましたが、北高生の歩道走行の様子からは、その責任を感じているようには見えません。

以上今年になってからの交通安全関係の事例をあげましたが、いずれも自己中心的な行動や、状況判断のあまい考え方が事故を起こしています。世の中の約束事に対して、責任ある態度と行動力の不足が、事故その他の原因の一部と言えるのではないでしょうか。

今後、北高生が責任ある社会人として、大人の世界に正しく入ることができることを期待したいと思います。

保護者より

朝の通学路で

「プップーッ！！」
クラクションを鳴らして通る通学路。坂道いっぱいに広がって乗っている自転車の北高生達。クラクションを鳴らしても全く動じてくれません。もう少し端を走りませんか？何年間か、学校裏の坂道を通勤していますが、今年は交通マナーのひどさを痛感しています。
ぜひ保護者の皆さんも機会があったら一度通学路を通ってみて下さい。

生徒会より

会長　天沼久八

現在、私達生徒会は、黎明祭の準備を行っています。昨年は、とても盛り上がったので、今年は昨年以上に活気あふれる黎明祭にするために一生懸命活動しています。

北高の黎明祭は、調理、食品、遊戯、商品、発表・展示、部活動による発表、有志の七団体による発表です。調理団体や食品販売には、衛生等の説明をするために現在担当者が衛生の道具を集めて各クラスに配布できるように準備しています。

また、パンフレットを作らなくてはならないので、そのために各クラスの部屋割りを行っています。この仕事は、すべての階にバランスよく、各団体を置かなくてはいけないので、ただ今検討しています。

部活動や有志の発表は、校舎内で行われるものと外で行われるものがあるので、両方のタイムスケジュールを作っています。

最後に、先日決まった黎明祭のテーマについてです。今年のテーマは、「YES北CAN」というテーマに決まりました。このテーマの意味は、「やるときはやる、北ならできる。」という意味が込められており、私達生徒会一同もこのテーマに恥じぬ活動をしていきます。本校最大の黎明祭にするので楽しみにしていて下さい。



『キャップ貯金箱』

美化委員が各クラスに設置したペットボトルの『キャップ回収ボックス』。キャップの回収により、途上国の子供たちにポリオなどのワクチンを送ることができます。また、CO_2の削減の削減や石油の節約にも繋がります。

飲み終わったペットボトルは、キャップを分けて回収ボックスに入れてください。貯まったキャップは定期的に美化委員が回収します。

『キャップの貯金箱』事務局よりお礼と回収の報告も届いています。引き続きご協力をお願いします。



回収されたキャップの量
52.9kg（約20,800個）

CO2の削減
　54.5kg（排出権価格にして64.4円相当）
石油の節約
　311.1ℓ（原油価格にして20770.1円相当）
ワクチンの購入

ポリオ（小児麻痺）	26.5人分
ＢＣＧ（結核）	75.6人分
はしか	5.6人分
ＭＭＲ（三種混合）	4.7人分
ＤＰＴ（ジフテリア・百日咳・破傷風）	58.8人分

保健室だより

養護教諭　内藤八重子

本校には養護教諭が二人おります。協力し、生徒が充実した学校生活を送れるよう、健康面からの支援を心がけています。

保健室の利用状況ですが、昨年度内科的理由による来室者数は、延べ一九三二人。九月が三一四人で最多。十月、十一月も三〇〇人以上でした。来室理由は、腹痛・頭痛・倦怠感が多く、その中には、受験勉強も含め不規則な生活習慣や、対人関係の悩みに起因する体調不調ではないかと窺える生徒もおります。一方、外科的な内容では、年間延べ五六七人の来室者がおり、最多は九月で一一四人でした。擦り傷等の出血・打撲・捻挫が多くみられました。

保健室では、けがの応急処置・体調不良者の休養(原則一時間まで)・身体の不調に関する相談等を行っています。症状によっては専門医の診察をお勧めしますので、受診結果を保健室へお知らせいただくようお願いいたします。また、保護者の方に連絡の際、ご不在の場合があります。お子様自身にも、保護者の方の勤務先等確実な連絡先をお知らせいただけると、緊急時により迅速な対応が可能になるかと思います。

本校では、通学時の自転車利用率が高く、自転車でのけがも多い状況です。特に車との接触事故の場合、軽症のようでも、次第に悪化することがあります。事故直後、本人に冷静な判断はできません。可能であれば、その場で保護者の方に電話し、保護者の方と相手方とで直接お話しいただき、連絡先を確認の上、病院の受診と警察への届出をされるようお勧めいたします。

黎明祭・PTAバザー 献品のお願い

平素は、本校発展のため多大なご支援・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、九月十二日(土)に実施される黎明祭に、PTAとして今年もバザーの形で参加することになりました。例年、収入はすべて生徒会へ寄付しております。バザーを行うにあたり、献品できるお品等ございましたら、黎明祭の当日までにご持参下さい。

尚、黎明祭当日もペットボトルのキャップ回収を行っております。ご来校の際に是非ご持参下さい。

併せてご協力お願い致します。

◆連絡先　総務部・寺内

「学校を核とした県内1000か所三二集会」開催のご案内

●平成二十一年九月十二日（土）
●十三時三十分～十四時三十分
●本校多目的室1
●テーマ
「学校と地域や家庭の連携をめざして」
当日は黎明祭一般公開日です。



球技大会

総合成績

優勝	2G
2位	3H
3位	3D

5月1日、朝から晴天に恵まれ、全生徒参加のもと、“クラス別対抗戦”で開催されました。

男子は、バスケットボール、サッカー、テニス。女子は、バスケットボール、ドッヂボール、バレーボール、卓球の各種目に分かれて熱戦が繰り広げられました。

各種目及び総合成績の結果は次の通りです。

平成21年度　球技大会結果一覧

	種　目	優勝	2位	3位
男子	バスケット	3H	2B	3B,3E
	サッカー	2B	3D	2F,3B
	テニス	2A	1C,3F	1D,2D
女子	バスケット	2G	1E	2E,3F
	ドッヂボール	3H	1G	1F,3E
	バレー	2G	1D	3D
	卓球	1A	1B	3D



祝・関東大会出場



女子ハンドボール部

祝・全国大会出場



少林寺拳法部

おめでとうございます

編集後記

今号は、少ないメンバーでの作業で、原稿依頼・編集とだいぶ苦戦をしましたが、原稿にご協力して頂いた皆様のおかげで、無事に「なりきた」第八十号を発行する事が出来、メンバー一同感謝しております。

ありがとうございました。

これからも更なる充実した内容をめざして、皆様からの御意見、御感想を募集しています。広報委員会までお寄せ下さい。

成田北高のホームページをご覧下さい



URL:http://www.chiba-c.ed.jp/naritakita-h/

第24回 黎明祭



2004.
9.11
(土)

駆け抜けて青春
～ハッスルハッスル♪～

千葉県立成田北高等学校


第25回 黎明祭
愛・北高博
～利益よりサービスを～
2005.9.10(土)
千葉県立成田北高等学校

第26回 黎明祭



団結祭じゃ!!

ワッショイ・ワッショイ♪

'06 9.16(土) 9:30~14:30

千葉県立成田北高等学校


成北アワー
～みんなとボクと、
時々、先生～
第27回
黎明祭
H19.9.15(土)
9:30～14:30
千葉県立成田北高等学校
画：髙柳裕美　山崎めぐみ


第28回
文化祭
-北- Change The World
H20.9.13(土)
9:30~14:30
千葉県立成田北高等学校
画：高橋亜美　土佐　岬

編集後記

十一月二十日、千葉県立成田北高等学校創立三十周年記念式典が盛大に挙行され、引き続いて、元プロ記野球選手黒木知宏氏を講師に迎え、記念講演会が開催された。夕刻からの記念祝賀会等、一連の行事が滞りなく盛会のうちにすすんだ。

二十周年から三十周年までの懸け橋となる「創立三十周年記念誌」の編集委員を仰せつかり、三十周年の現在を象徴する内容と装丁で作成するという方針で、編集委員会を重ねてきた。委員それぞれが、分掌の部長としての多忙な校務をこなしながらの編集作業であり、時間を作るのが大変であった。が、泉水編集委員長のもと、一年間の会議と作業を重ね、記念誌は徐々に形を成し、本日完成を迎えることができた。現代の情報化社会における記念誌としてふさわしいものになったと思う。

その編集の過程を振り返ってみたい。

平成十九年十二月十一日、本校応接室において「第一回創立三十周年事業準備委員会」が、開催された。

その議決事項として、校内組織に、次の３委員会が設置された。

ア　三十周年記念事業総務委員会

イ　三十周年記念誌編集委員会

ウ　三十周年記念式典準備委員会

そして、三十周年記念誌編集委員会は、教頭・事務長・情報部長・教務主任・総務部長で構成され、編集委員長は情報部長であるということがこの日に決定した。のちに、この編集委員会に進路指導部長・保健厚生部長が加えられた。

三十周年記念誌編集委員会の経過は、以下のとおりである。

平成二十年十二月十一日	三十周年記念誌の内容検討
平成二十年十二月十九日	三十周年記念誌発刊までの予定検討
平成二十一年一月十六日	三十周年記念誌 発刊までの予定の原原案決定 内容・体裁の原原案決定
平成二十一年三月十一日	三十周年記念誌 発刊までの予定の原案決定
平成二十一年三月二十三日	三十周年記念誌内容の原案決定 構成の原案決定
平成二十一年四月二十二日	原稿依頼先の決定 原稿依頼の方法 原稿の分量 提出方法 ＣＤの構成
平成二十一年五月十四日	寄稿依頼連絡状の作成・発送
平成二十一年五月二十日	原稿の正式依頼の予定表 業者選定
平成二十一年五月三十日	発刊までの予定の調整 原稿の依頼・取りまとめ打ち合わせ
平成二十一年六月十六日	原稿正式依頼 寄稿の状況確認 校歌の録音について

文化祭ポスター・ＰＴＡ広報「なりきた」ＰＤＦ化確認

平成二十一年七月八日
校正の分担と内容決定
校歌の録音日時決定　九月一日
式典関連の記事について
　式典の内容
　御祝辞
　記念講演

平成二十一年七月十六日
夏季休業中
前回の打ち合わせ内容の確認
校正

平成二十一年九月十八日
進捗状況確認
冊子原稿とＣＤＲＯＭ原稿について
今後の予定
校歌の録音終了の件
冊子の装丁
ＣＤＲＯＭの表紙デザイン

平成二十一年十二月
完成・最終打ち合わせ

四十代から五十代後半までのそれぞれの編集委員は、この一年間の編集作業の一コマ一コマで、分掌の仕事をこなしつつ、これまでの教員生活とこれまでの勤務校を振り返った。そして、その視点から、成田北高等学校の三十年の歩みを改めて見つめなおした。結果、成田北高等学校の三十年という歳月の重みと、今の成田北高等学校との双方の素晴らしさを深くかみしめることになった。その重みと素晴らしさとは、言葉にすれば、成田北高等学校が、いかによき生徒に恵まれ、いかによき保護者に恵まれ、よき教員に恵まれ、学校を取り巻くあらゆるよき人々に恵まれていたか、ということであった。





このよき校風と歴史が、この先も限りなく長く続くことを確信しつつ、編集の筆を置きたい。

編集委員（文責　川島　洋子）

ＣＤ-ＲＯＭ中心の記念誌は、いかがだったでしょうか。今回の記念誌の準備作業は、昨年度の夏休みにさかのぼります。過去の記念誌のＰＤＦ化から始めました。実際の製作作業に入ったのは、今年度の桜咲く春のことです。全体的な構想と御寄稿をお願いする方の一覧作りからです。以来約八ヶ月、長丁場の仕事でした。いつの間にか、季節はめぐり冬の訪れを告げています。

教員の弱点は、生徒のためという建前ならそれなりに頑張れますが、そうでないと今ひとつ身が入らないことでしょうか。何とか発刊のめどがついてきて、最後のひと頑張りです。草創期の御苦労を思えばたいしたことは無いのですが、その苦労が今は少しだけうらやましい気がいたします。

多くの原稿を目にしてみますと、学校が多くの人の思いが交錯している場であり、そして歴史が作られていくのだなという感を強くします。ありきたりな言い方ですが、多くの出会い、交流、別れがあり、時が刻まれていきます。三十年の節目を迎え、これからの本校は生徒自身、そして多くの教職員・関係者の皆様のお力で、ますますその輝きを増し続けることでしょう。

言い訳がましくなりますが、今回のＣＤ-ＲＯＭの内容は、校正をはじめ編集・構成まで校内で製作しています。限られた予算・時間のなかでの作業でしたので、いたらぬ点も多々あるかと思います。なにとぞ、ご容赦いただければと存じます。



最後になりますが、お忙しい中御寄稿をいただいた方々、校正・編集に御協力いただいた皆様方には、心よりお礼申し上げます。

編集委員長　泉水　清和



創立三十周年記念事業　記念誌編集委員会

委員長　教諭　泉水　清和
委員　教諭　川島　洋子
教諭　寺内　温穂
教諭　田中　正之
教諭　土屋　幸夫
教諭　佐々木　輝彦
事務長　伊藤　京子